

UFOs & SPACE

UFOと宇宙

AMAZING
NONFICTION
STORIES

1978 12

総編集

UFO
スペシャル
'78

ネオ・ピラミッドロジー特集

宇宙農場をはじめた

ブラジルの牧師

硝子障子

ネリ玉青

国連で今年もUFO旋風

此箱二尺許四方



長廿三間餘

金三
張りり

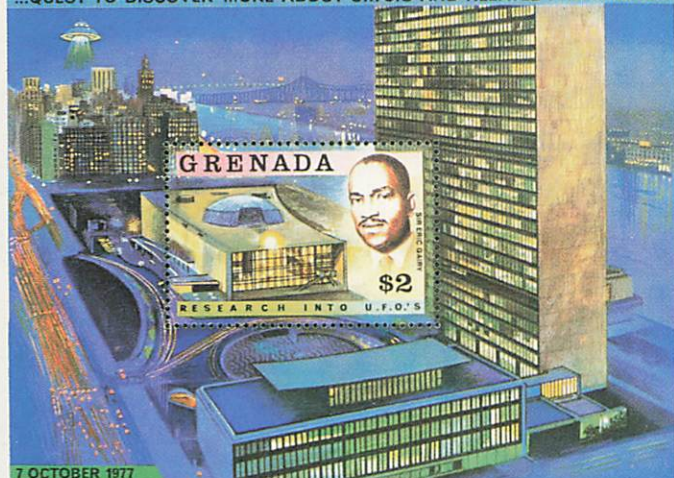
保存版



THOUGHT TECHNOLOGY LTD.
CANADA

富川正弘の ホットレポート

"...QUEST TO DISCOVER MORE ABOUT U.F.O.'S AND RELATED PHENOMENA..."



7 OCTOBER 1977
32ND REGULAR SESSION OF THE GENERAL ASSEMBLY OF THE UNITED NATIONS

GRENADA \$3



GRENADA 35¢



GRENADA 5¢



世界初の UFO切手シリーズ

グレナダのゲリー首相は、UFO切手を発行すると公約していたが、このほど世界で初めてのUFO切手シリーズを発行した。(正式発行日1978年8月17日)

シリーズは5セント、35セント、2ドル、3ドルの4種類となり、通貨は東カリブドル。(1東カリブドルは約0.39米ドルに相当する。)

このようなUFO切手シリーズの発行は世界でも初めてであり、UFOマニアだけでなく、切手マニアたちの注目を集めることが予想される。

(右上)3ドル切手。最近のUFO写真と光線を放つUFO図。(右中)35セント切手。火星上空を編隊飛行するUFOとレーダー。(右下)5セント切手。ドイツ上空に現れた不思議な物体とアダムスキー型UFO。(上)記念シート付き2ドル切手。国連ビル上空を飛ぶUFOと歴史的演説をしたゲリー首相。

"UFO先進国"グレナダ

国連総会でゲリー首相の演説を傍聴する富川正弘氏



国連でふたたび UFO演説!

ニューヨークの国連本部で開催中の第33回国連総会で、グレナダのゲリー首相は昨年に引き続きUFO問題をとり上げ、150カ国から集まった国連代表に、1時間以上にわたって熱弁をふるった。

このグレナダのUFO案件は、11月27日に国連の特別政治委員会で討議される予定だが、その際、討議の参考資料としてUFOのフィルムや写真が計画されている。

グレナダの勇気ある行動が受け入れられ、国連でのUFO機関設置が実現することを期待したい。(詳しくは本文14ページの記事をご参照ください)



列島上空を飛ぶ未確認物体

和歌山に光体出現(右)

1978年3月2日午後5時57分、隈元庸行氏(38歳・会社員)は和歌山県田辺市下方呂道路上で南西の空に発光体を目撃した。発光体は数秒で消えたが、隈元さんは消滅した方向に走り、同市内扇カ浜公園まで来たところで再び西空に光体を発見した。彼は近くで運よく夕日を撮影していた丸尾匡昭氏(62歳・無職)に撮影を依頼、これはその時写されたものである。なお、現場にいた丸尾氏の同僚西本氏も3、4枚撮影したという。

軽井沢に銀色の物体(下)

これは1978年8月7日、避暑地軽井沢で撮影されたUFOである。その日、小俣剛さん(23歳・東京都石神井清掃工場勤務)は例年のように軽井沢に旅行していた。午後3時30分頃、旧軽井沢の交番の近くで友人数人と一緒に銀色に輝く物体を発見、持っていたカメラで2度シャッターを押した。物体は1、2分間ふわふわ飛んだ後、中軽井沢方向に飛び去った。写真では黒く見えるが、肉眼では銀色に近かったという。

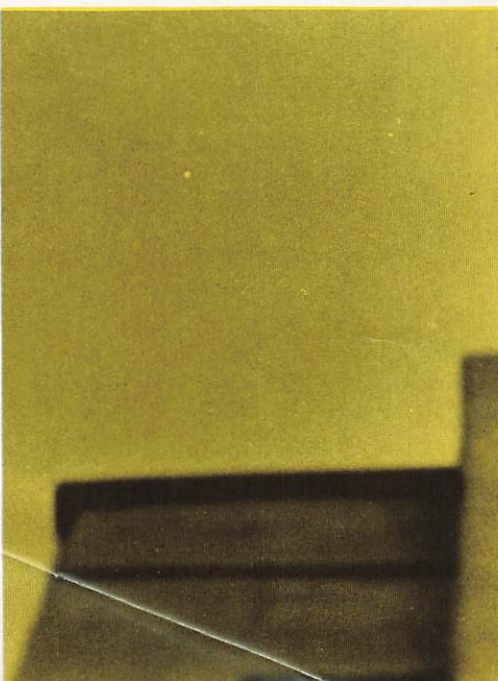
データ・ニコンF2 50ミリ 1/125秒 f8 フジフィルムFIIASA100



市民多数が白色物体を目撃(右)

まっ白な光を放つ物体が9月25日午後4時半頃、北海道・津別町の上空に現われ、次第に北に向いて美幌町の真上を通り、6時半には網走市上空に向かった。

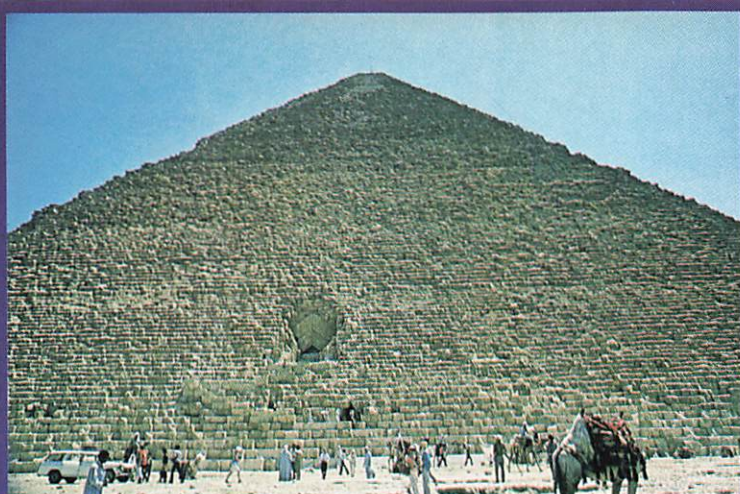
高度や大きさはわからないが、はるか上空を大きな星のような感じでゆっくり移動しており、胴体がくびれていたようにも見えた。美幌町では夕暮れ時からこの物体に気づく人が続出、おおよその市民が集まって空を仰いだ。この物体は網走気象台でも確認したが、「星や人工衛星ではないし、かといつて気球とも思えない」と首をひねっている。手前の黒い陰は美幌町民会館。(写真提供・北海道新聞美幌支局)



エジプト宇宙考古学遺跡の旅

PART 2: PYRAMID (パート2: ピラミッド)

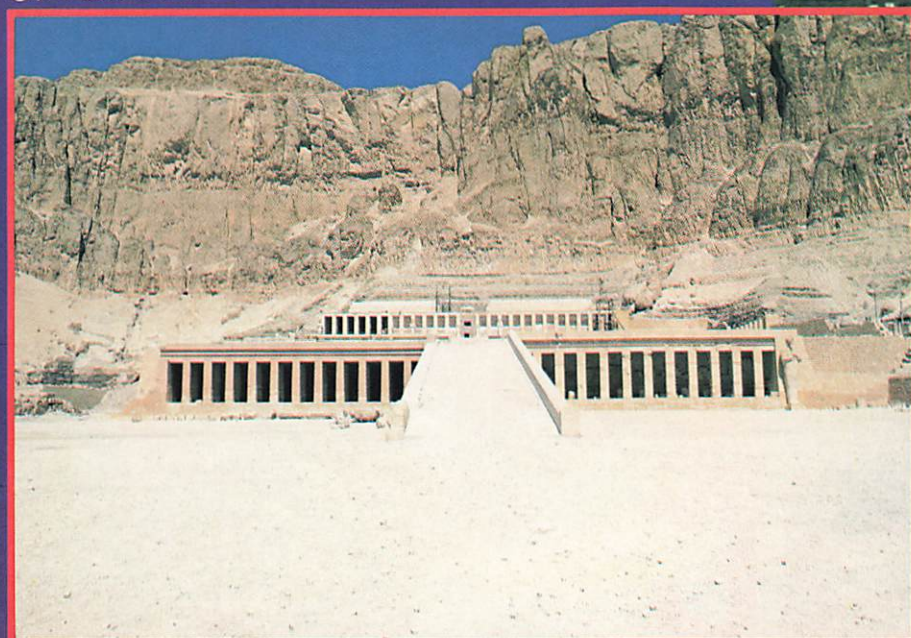
エジプト宇宙考古学遺跡の旅(ユニバーサル出版・国際アカデミックセンター共催)の最後を飾ったエジプト。そこには5千年にわたって照りつける太陽の下に立ちつづけてきた巨大な歴史の痕跡が旅行者を待っていた。世界のすみずみにまでその姿を知られながら、いまだに正体を明かさずとしらない石造りの構築物たち。そのベールを完全に脱ぎすてるのはいつの日であろうか。(P.28およびP.34からの関連記事もお読みください)



●クフ王のピラミッド



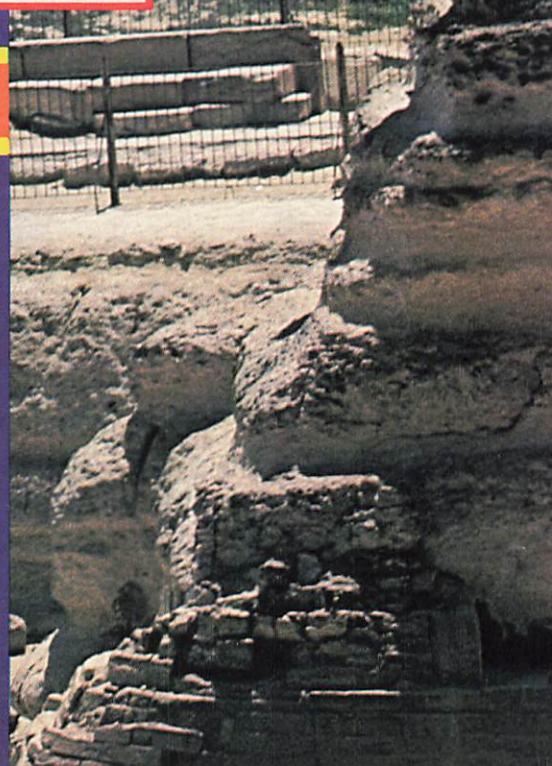
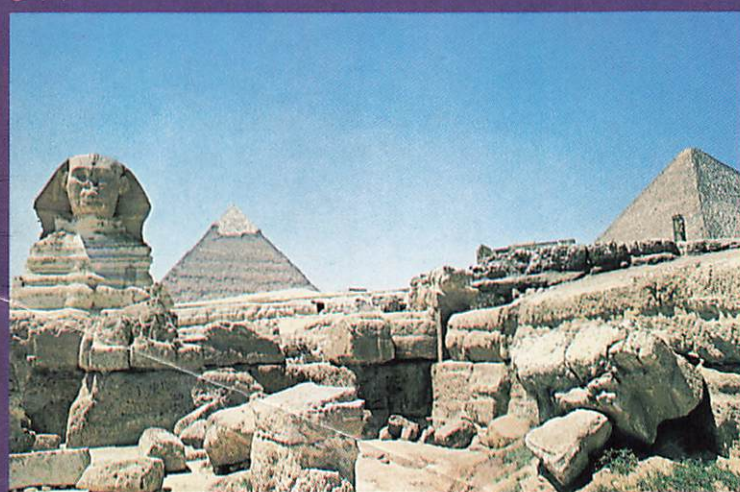
●ギザのスフィンクス



●ハトシェプスト女王葬祭殿

●カラー・レポート●

●ギザのスフィンクスとピラミッド



●大ピラミッド秘密トンネル探査隊

エジプトの大ピラミッドの地下に、秘密のトンネルがある——本誌でおなじみの科学ジャーナリスト、斎藤守弘氏は、氏ならではの独創的な仮説を裏付けようと、去る8月、現地で2日間にわたって実験を行なった。

実験具は針金製のダウジング・ロッド（水脈探知棒）。一見ちゃちだが、米海兵隊やアメリカの給水会社が使用して、その高精度は実証済み。

この実験は、斎藤氏が「エジプト宇宙考古学遺跡の旅」（当社共催）に参加しており計画されたものだが、同ツアー参加者の有志数名も積極的に協力した。名づけて「大ピラミッド地下トンネル探査隊」。さて、その成果は……。 （詳細は本誌34ページを参照）

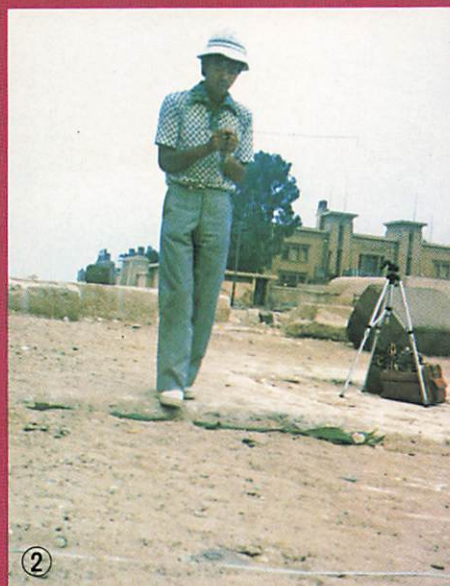
ダウジング・ロッド

水脈探知棒は反応した！

ピラミッドの南西の隅で実験する斎藤隊長



①

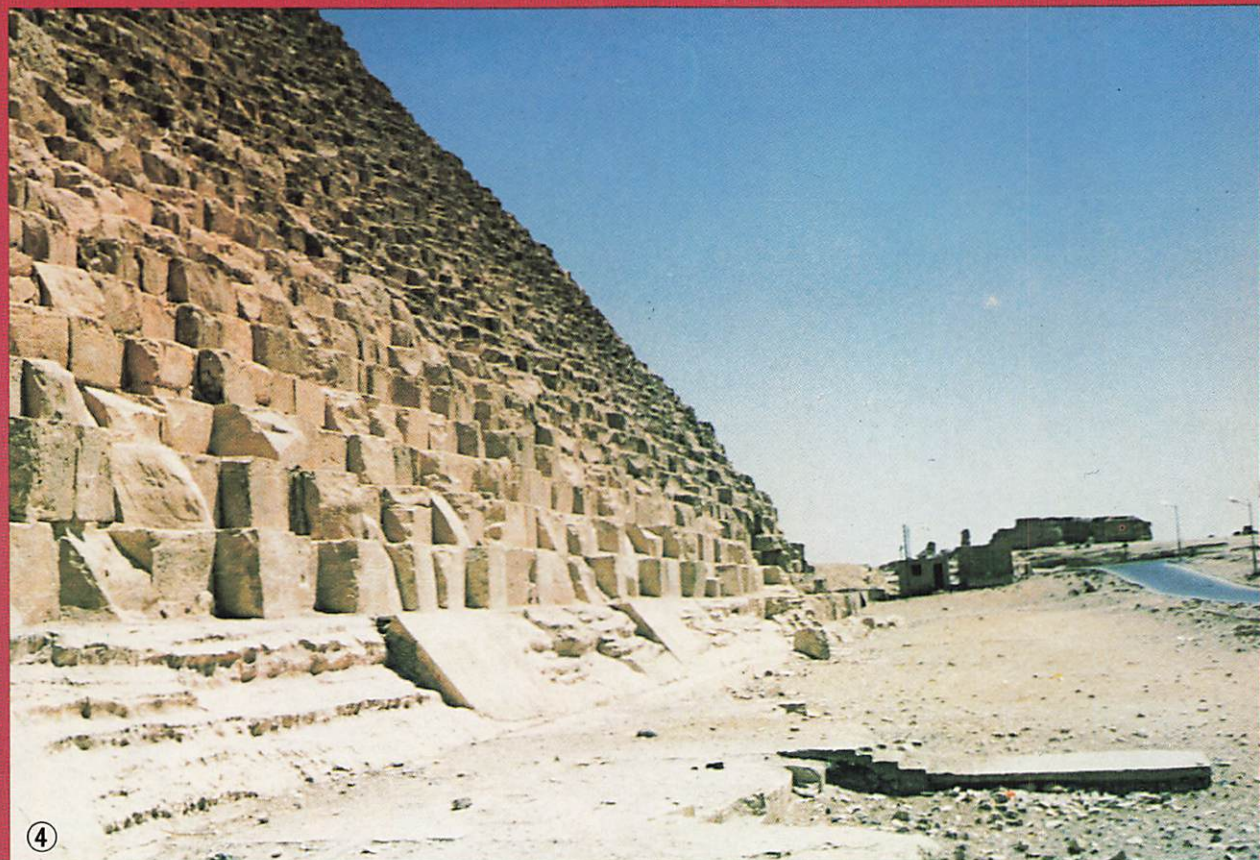


②



③

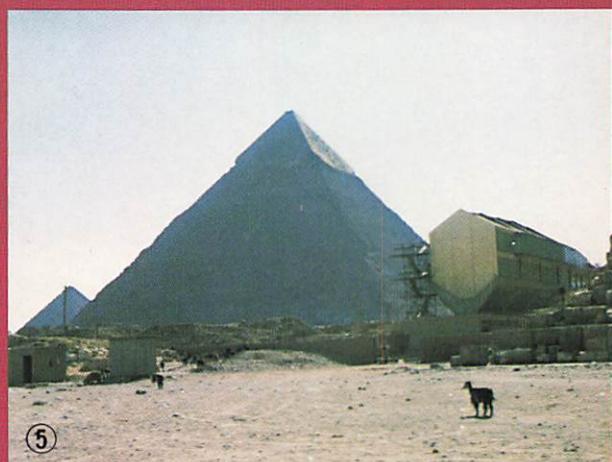




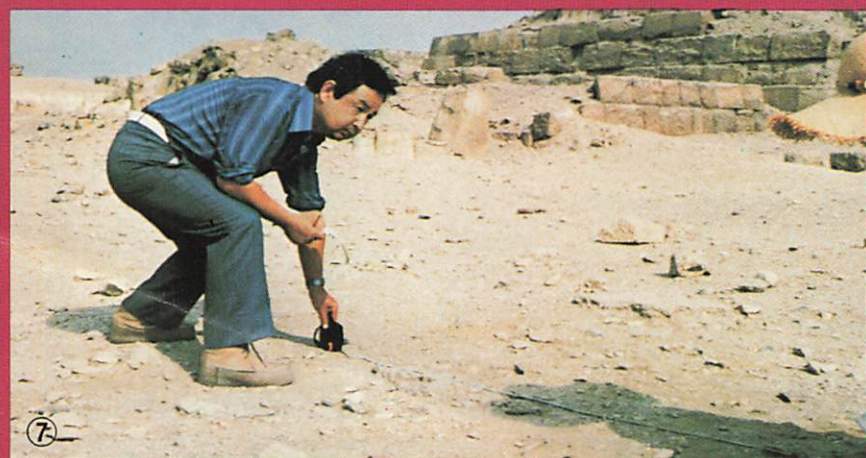
④



⑥



⑤



⑦

- ① 探査隊の紅一点、高橋嬢。
- ② 実験中の石塚隊員。
- ③ 同じく実験中の川上隊員。
- ④ 大ピラミッド西側。写真手前が地下トンネルの最有力候補地点。
- ⑤ 大ピラミッドの南東の隅。正面は第2ピラミッド。その右はただいま建築中の“太陽の船”収蔵庫。
- ⑥ 大ピラミッドの北西の隅。ここでダウジング・ロッドに最初の反応があった。
- ⑦ 大ピラミッド南側で測定中の斎藤隊長。

No.4

MARS 火星



▲バイキング1号から見た火星の日落

地球のすぐ外側を回る、血のような赤い色をした惑星、これが火星である。火星は、明るさや運動が気まぐれに変化して見えることから、古代から注目され、西洋ではローマ神話の軍神の名をとって、マルスと呼ばれてきた。

また、つい近年まで、火星表面に見える運河状の模様や、暗色部の季節的変動から、きつと高等生物がいるに違いないと、私たちの想像力をかきたててきた惑星でもある。

●火星の全体的な性質

火星の全体的な性質は、以前からかなり詳しくわかってきた。

・太陽からの距離 約2億2770 km (太陽 地球間の1.52倍)

・直径 地球の約半分

・重さ 地球の約10分の1

・自転周期 24時間37分

・公転周期 1.88年(780日)

・地球に接近し、15、17年ごとに地球から5500万kmくらいまで大接近する)

・表面重力 地球の0.38倍

・比重 4.0

マリナーの探査までに、天文学者がほぼ一致していた見解は、

・火星大気には雲が存在する。

・極冠は季節につれて消長する。

・火星の表面は、しばしば季節的な色の変化を示す。

バイキングが送ってきたデータは次のとおりである。

・大気圧 7.4 7.7ミリバール (地球の1/4分の1)

・大気組成 炭酸ガス95.3% 窒素2.7% アルゴン1.6% 酸素0.13% 一酸化炭素0.07%

・水蒸気0.03%

・気温 最高マイナス31度C 最低マイナス86度C

・風速 2.5~4m (常時)

・土壌 紅土に似ていて、ケイ素、

アルミ、鉄、マンガン、コバルト、カルシウム、リンなどを含む。

火星は、おおきく2つの異なった半球に分けられる。南北球にいくにつれてクレーターが多くなり、月の高地に似る。北半球の大部分は、クレーターの乏しい平原である。

●マリナーが撮影した写真

これまで、アメリカとソ連は、いくつかの探査機を火星に送り込んでいる。そのなかで、特に重要な情報をもたらしたものを列挙すると、

・マリナー4号 1965年7月14日に火星に接近、22枚の写真を送ってきた火星が地質学的に不毛の世界であることを示し、科学者たちをがっかりさせた。

・マリナー9号 1971年11月13日に火星を回る軌道に入り、火星面の80%を7千枚の写真に撮影。送られてきた写真から、巨大な火山、大峡谷、水の流れたあとと考えられる谷など、多様な地形が明らかになった。

●バイキングの実験

1976年7月20日、バイキング1号がクリュセ平原に、ついで同年9月4日には、バイキング2号がユートピア平原に着陸した。

これにより、火星最大の景観であるマリネリス大峡谷、壮大なオリンパス山などの姿が明らかになり、また、極冠が氷でできていることもわかった。

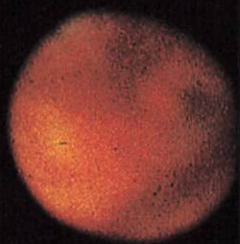
最も注目を集めた火星の生命をさぐる実験では、代謝機能テスト、ガス交換実験、光合成実験の3種が行なわれた。残念ながら、有機物は微量すら検出されなかった。

実験の結果について、バイキング生物学チームのリーダーであるハロルド・クライン博士は、

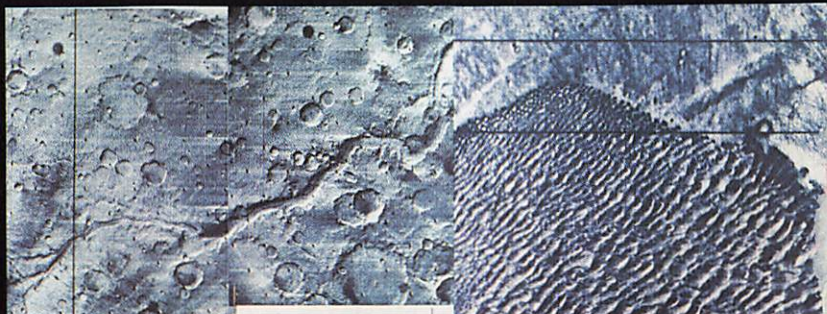
「これらの結果は、厳密な意味で、火星の生命の存在を証明するものではない。だが、同時にまた厳密に、火星の生命の存在の可能性を否定してもいない」と語っている。



▲壮大な火星のオリンパス山



▲名前とおりの赤い惑星、火星



▲火星のシメオウス谷

▲クレーター内の砂丘

●火星 ローバー計画

1980年代前半をめぐり、火星表面を自由に走り回れる無人の宇宙車を送り込む計画が進められている。これは、バイキングの着陸船にキヤタビラー式の車輪を取り付けたようなもので、原子力電池を動力源にして1日5kmくらい走り回ることができる。

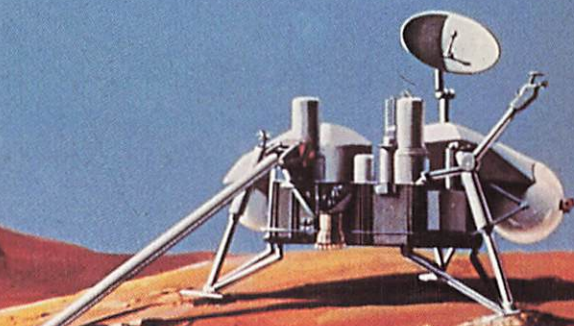
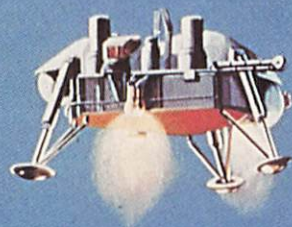
この火星ローバー計画では、1度に2台の火星車を送り、1火星年の間に1500km近くを動き回ることになっている。

こうして得られたデータは、おそらく、火星の生物について、はつきりと結着をつけてくれることだろう。



▶火星には2つの小さな衛星がある。このジャガイモのような衛星はフォボスで、1日に3回、西から昇って東に沈む。もうひとつの衛星はダイモスで、西洋ナシに似た形である。

火星に着陸するバイキングの想像図（写真 AP）



●写真で見る●

宇宙開発の 歩み

1964~1965

●その3●

アレクセイ・レ
オノフ中佐は
人類初の宇宙遊
泳に成功した。



▲ヴォスホート2号の乗組員と電話で話すフレジネフ共産党書記長

●初の宇宙遊泳の成功

1964年10月12日、ソ連は史上初の3人乗りの宇宙船ヴォスホート1号を打ち上げた。

多くの名譽を奪われたアメリカの面目を一新するような目ざましい成果をあげる。それについては次号（新年号）で紹介することにしよう。

▼1965年の正月、ソ連の宇宙飛行士たちは新年のメッセージを発表した。左からチトフ（1961・8、ヴォストーク2号）、エゴロフ（1964・10、ヴォスホート1号）、人類初の宇宙飛行士ガガーリン（1961・4、ヴォストーク1号）、ニコラエフ（1962・8、ヴォストーク3号）、初の女性宇宙飛行士テレシコワ（1963・6、ヴォストーク6号）、ポポビッチ（1962・8、ヴォストーク4号）、ズィコフスキー（1963・6、ヴォストーク5号）、コマロフ、フェオクチストフ（1964・10、ヴォスホート1号）。

の5日後の3月23日、2名乗りの宇宙船ジエミニ3号の打ち上げに成功する。ジエミニ計画はまもなく、宇宙開発の初期においてソ連に

なおよ、アメリカはこの5日後の3月23日、2名乗りの宇宙船ジエミニ3号の打ち上げに成功する。ジエミニ計画はまもなく、宇宙開発の初期においてソ連に

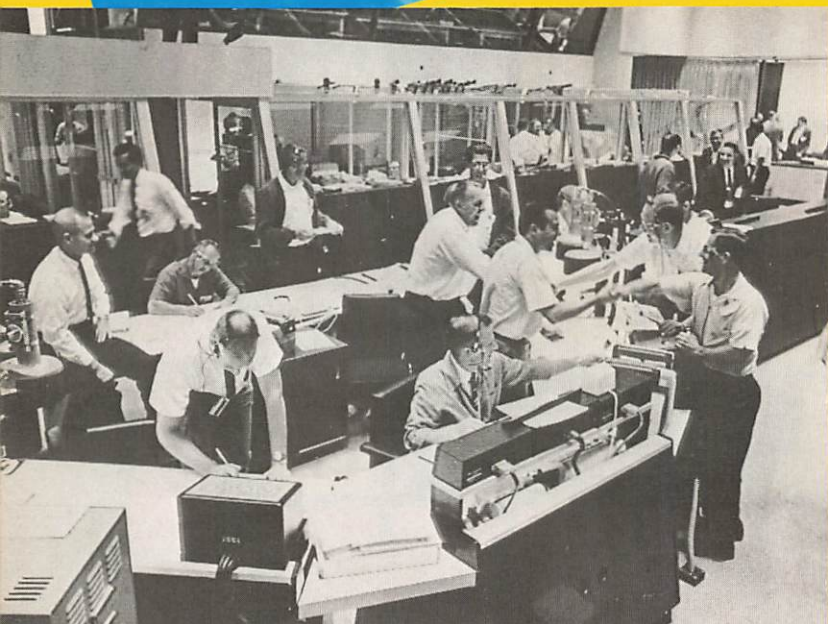


Нас уже девять. Мы счастливы, что проложили первые трассы в космос. Верим, что 1965 год принесёт новые успехи в освоении Вселенной на благо нашей Родины, всех людей Земли. С Новым годом!

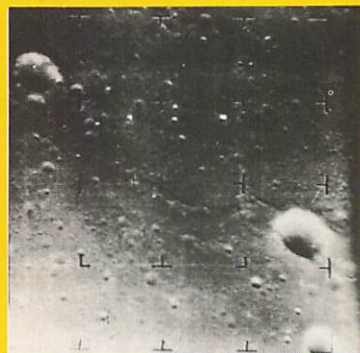


◀軌道周回中のヴォスホート1号内部の様子。左からパイロットのウラジミール・コマロフと科学者のコンスタンチン・フェオクチストフ。

▼ハッチから宇宙空間に出る決定的瞬間



●レンジャー7号、月面の近接撮影に成功



▲レンジャー7号から送られてきた月面の写真。

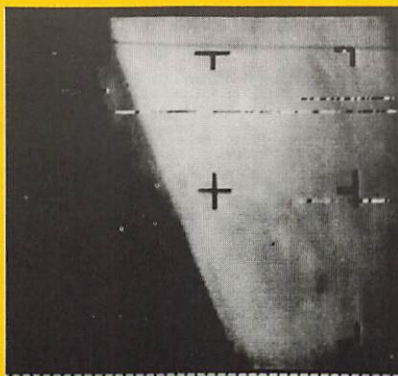
	打ち上げ 年 月 日	結 果
1 号	1961. 8.23	予定の軌道にはのらなかったが性能テストはほぼ成功。
2 号	1961. 11.18	予定の軌道にはのらなかったが性能テストはほぼ成功。
3 号	1962. 1.26	月から3万6800キロそれて失敗。
4 号	1962. 4.23	軌道修正に失敗し月の裏面に激突。
5 号	1962. 10.18	月から720キロそれて失敗。写真もとれず。
6 号	1964. 1.30	2月2日に「静かの海」に激突。写真撮影は失敗。
7 号	1964. 7.28	7月31日に「雲の海」に激突。4316枚の写真を撮影。
8 号	1965. 2.17	2月20日に「静かの海」に激突。7138枚の写真を撮影。
9 号	1965. 3.21	3月24日に「アルフォンス環状山」に激突。5814枚の写真を撮影。初のテレビ生中継にも成功。

▲レンジャー7号のナサジェット推進研究所の科学者、技師、この部屋からコントロールされた。

アメリカは、1961年から月探査機レンジャーの打ち上げを始めたが、1964年7月28日に打ち上げられたレンジャー7号が、初めて月面の近接撮影に成功した。レンジャー7号は、発射後68・6時間、月面の「雲の海」に落下、衝突前の15分間に4316枚の写真を電送してきたのである。

1962年から1964年にかけて、アメリカとソ連は、それぞれ火星探査機を打ち上げたが、アメリカのマリナー4号だけが成功した。マリナー4号は、1964年11月28日に打ち上げられ、翌1965年7月14日、火星から9790kmまで接近、写真22枚を電送してきたのである。

●最初の火星探査機 マリナー4号



▲マリナー4号から送られてきた火星の写真。

▲レンジャー計画の観測結果

《につぼん宇宙人白書》

謎の新刊書ついに登場!



この本で
君も宇宙人通になろう

全国書店で
好評発売中!!

日本人にも宇宙人と遭遇し、UFOに乗ったという人々がいる。現実とははやSFの世界と同化しているといつてよい。真の宇宙時代の到来を、われわれはこれらの人々の体験を通していやが上にも知らされようとしている。

グラフィックデザイナー 横尾忠則

宇宙人はすでに日本列島に潜入している。謎につつまれた宇宙人の活動を探るために現地を訪れた編集部が、コンタクティーたちに徹底取材。未公開情報をふんだんに盛り込み、事件の全貌をしだいに明らかにしていく。宇宙人問題の真相を解くカギが本書にかくされている。

本誌編集部
内野恒隆著

ユニバース出版社

¥980

●書店に直接ご注文下さい。書店がお近くにならない場合は当社営業部まで(送料160円)ご注文ください。

UFO 12月号 と宇宙

■カラー■

- 1 富川正弘ホットレポート／“UFO先進国”グレナダ
- 2 列島上空を飛ぶ未確認物体
- 4 エジプト宇宙考古学遺跡の旅パート2
- 6 大ピラミッド秘密トンネル探査隊の実験報告
- 8 シリーズ・プラネット4／火星
- 10 宇宙開発の歩み(1964～1965)



14●— グレナダ国のゲーリー首相 再び国連総会でUFO演説 富川正弘

20●— UFO研究の元祖 荒井欣一氏にインタビュー 編集部

44●— ブラジルの牧師が 宇宙人の指示で農夫に！ 矢追純一

編集編 UFOスペシャル'78

56 私の選んだ今年の3大UFOニュース

58 3大ニュースと私のひとこと

62 国内UFO事件マップ

66 UFOブーム、マスコミの反応

70 アメリカの研究動向

74 国内研究総ファイル

78 今年出たUFOの本



28 新ピラミッドロジ-1 大ピラミッドはアトランティスの遺跡だ

34 新ピラミッドロジ-2 ピラミッドの地下トンネルを探る 斎藤守弘

81 ストリングフィールド 衝撃講演第2弾 米空軍の第3種「回収」とは何か？

94 UFO問題レポート 日本の科学者に問う (完) 森脇十九男

100 短期集中連載(完) 現在の宇宙植民計画、スペース・コロニー

43 ブック・プラザ

93 豪華賞品が当たる「UFOと宇宙」クイズ

110 愛読者コンタクト広場

118 蚤の市

122 本誌バックナンバー紹介



ナダ国のゲーリー首相 再び国連総会で UFO演説



● 富川正弘

（UFO研究家
在ニューヨーク）

去る10月12日、グレナダのゲーリー首相は、ニューヨークの国連本部で開催中の第33回国連総会の第32回本会議において演説を行ない、世界150カ国から集まった国連代表たちに、国連がUFO現象の調査および情報の配布に積極的に取り組むよう呼びかけた。

1時間以上にわたって行なわれたゲーリー首相の演説は、UFO問題のみならず、サイキック現象研究のための国連機関設置の提案とか、発展途上国への経済協力、軍縮、人権問題、環境保護問題等々、幅広く多岐にわたったが、UFO問題に関しては、昨年の第32回総会以来、世界中の人々から、より一層、国連でのUFO研究の運動を強力に推進して欲しいという支持、激励が寄せられているので、11月に予定されている特別政治委員会でのUFO案件の討議には、ぜひ各国政府の強力な支持を

頂きたいと訴えかけた。

ゲーリー首相はまた、グレナダに国際的なUFO研究のためのセンターが設置される可能性もあること、1979年にグレナダにおいて第2回国際UFO会議を開催することを計画中であることなどを発表した。

国連での

UFO展を計画

このグレナダのUFO案件は、来る11月27日に、国連の特別政治委員会で討議される予定になっているが、その際、世界150カ国の国連代表たちにUFOに関する正しい知識を持ってもらい、真剣な態度でUFO案件の討議に臨んでもらうために、UFOの実写フィルムと写真を主体とするUFO展示を行なうことが計画されている。このUFO展は、グレナダ政府のリーダーシップのもとに、ハ

この爆弾文書ともいえる資料に
は、最近の米国の「情報自由化



1978年10月12日、国連総会でのグレナダ代表団。左からグレイス国連大使、フレイデー文部大臣、ゲリー首相、ルウキン氏。

ケビクツキー氏の「爆弾文書」の表紙▼

法」の施行により、やっと入手できるようなった「SECRET」のスタンプを押してある文書が多数含まれており、読む者をうならせる。筆者もケビクツキー氏からこの文書の寄贈を受け、目下鋭意研究中であるので、近いうちに詳しくお伝えしたい。

ゲリー首相UFO関係演説抜粋（1978年10月12日）

次に私は、グレナダが非常に関心を寄せて、1975年以来国連総会の注意を喚起し続けて来たUFOに関する問題についてお話ししたいと思います。

グレナダは1975年以来根拠強く、大国がUFO現象に関する情報を他国にも分かち合うように要求して来たことで世界に知られ

ています。我々はUFO問題が非常に興味あるものであり、かつ重要なものであると考えているので、今年も再び国連の場において問題を提起し、この分野の研究と調整を国連の機構によって行なうことについて、国連加盟各国の支持を得られるように努力すべきだと考えるわけです。

UFOの目撃は地球の1カ所や2カ所だけに限定されているものではありません。目撃報告は今日世界中から寄せられ、これらの報告の科学的な分析結果から、次のようなことが明らかになっていきます。つまり、ますます多数の人々がUFOは物理的な現象として存在すると信じるようになっていくだけでなく、ますます多数の国々

INTERCONTINENTAL U.F.O. RESEARCH AND ANALYTIC NETWORK

Re to
United Nations GENERAL ASSEMBLY, Thirty-Third Session. Special Political Committee, Agenda Item:128

ESTABLISHMENT OF AN AGENCY OR A DEPARTMENT OF THE UNITED NATIONS FOR UNDERTAKING, CO-ORDINATING AND DISSEMINATING THE RESULTS OF RESEARCH INTO UNIDENTIFIED FLYING OBJECTS AND RELATED PHENOMENA.

MEMORANDUM

- THE ENDANGERED INTERNATIONAL PEACE AND SECURITY BY ALIEN TASK FORCES OF EXTRATERRESTRIAL ORIGIN, — FORMALLY TERMED AS UNIDENTIFIED FLYING OBJECTS, U.F.O.s;
- NATIONS' ARMED OFFENSIVE — DEFENSE CONFRONTATION TO SUPERIOR GALACTIC POWERS EARTHBOUND OPERATION, WHICH JEOPARDISE THE PRESENT LAW AND ORDER AND RAISE A POTENTIAL THREAT TO THE CIVILIZATION

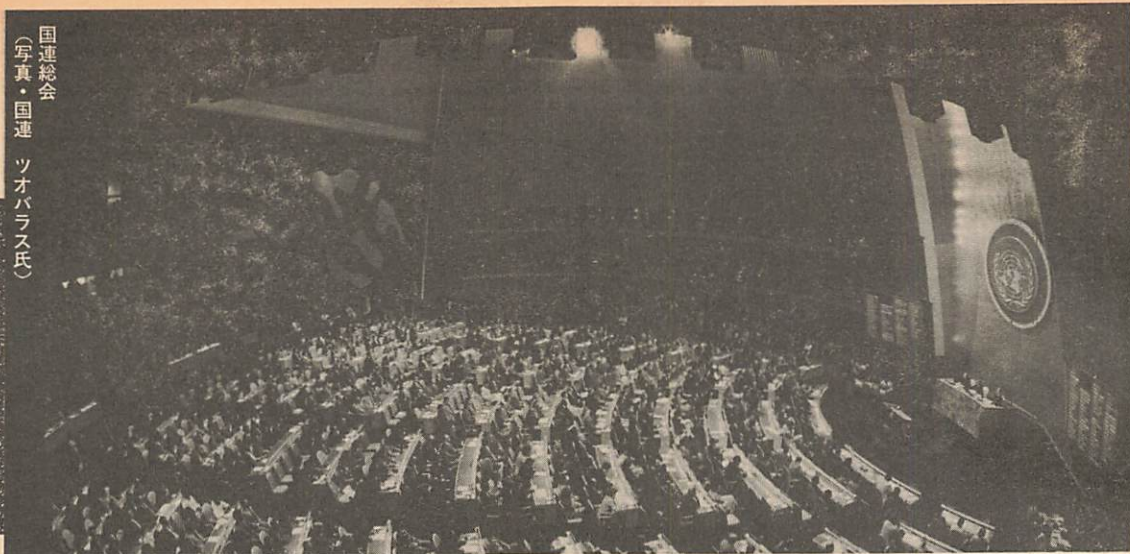
addenda to

United Nations Secretary General Dr. KURT WALDHEIM specific recommendation to establish a

UNITED NATIONS U.F.O. COMMITTEE

and SIR ERIC M. GAIKY, Prime Minister of Grenada's statement before the General Assembly Thirty-Third Session, on the Agenda Item: 128.

A respectfully submitted M O T I O N to the United Nations Thirty-Third Session of the General Assembly, the Special Political Committee and the respective Member Nations by
ICUFON (Intercontinental Galactic Spacecraft -UFO- Research and Analytic Network, USA. Originator of the FIRST UN-UFO Project.
DUIST e.V. (The German International UFO-Research Society) Wiesbaden
Schierstein, Germany. Chairmen: Karl L. VEIT.
IGAP (International Get Acquainted Program) Mølholm, Denmark. Chm.:
AF Major Ret. Hans C. PETERSEN.



国連総会
(写真・国連
ツオパラス氏)

が、UFO現象をより深く研究することが地球の安寧の実現に役立つばかりでなく、人間が自分自身をより良く理解し、地球上での人間の使命を理解することに貢献すると考えるようになっていくのです。人間の心を豊かにするためや人類の発展のためには何の役にも立たないようなくだらない情報が山ほど与えられているというのに、どうして、人間にとって非常に興味深く、かつ重要であるUFOに関する情報が排除されなければならないのでしょうか？

昨年の総会で私は次のように申しました。

「グレナダはUFO問題に関しては、ある特定の断定的な理論的立場を取るものではありません。民間や政府のUFO研究グループによく知られているように、UFOの本質、起源および意図については様々の理論があります。しかしながら、主な研究グループは、これらの様々な理論にとらわれず、次のような主目的を達成することに全力をあげています。即ちUF

Oの本質、起源、意図についての合理的で誰もが受け入れられるような考え方を得るためにUFOに関するすべての重要な報告を研究すること、これらの研究の結果を一般大衆やマスコミに配布すること、重要なデータが国際的に速やかに交換できるようなコミュニケーション・システムを国連が設置するよう、国連に働きかけることなどです」

国連にもっと積極的にUFO現象研究のための調整活動に取り組んでもらおうとする我々の努力に對して、世界中の沢山の人々、組織、著名なユーフォロジストたちから非常に強力なご支持を頂いたことをお伝えしたいと思います。

とりわけ先頃は、この分野の中でも最も傑出した科学者たちとお会いし、その方々と一緒に、UFO研究に関して国連が積極的な動きをするように説得するためには国連総会でどういう働きかけをすれば良いかを相談するために国連事務総長にお会いしに行ったことは私の最も喜びとするところであり

ります。UFO研究界において世界的な名声を得ている著名な科学者の方々と一緒に努力したことはこの重要な案件に関する我々の努力に非常な力を与えてくれました。

国連事務総長との対談のため、我々同行して下さった科学者たちは、まず、「ユーフォロジの父」と呼ばれるイリノイ州エバンストンにあるUFO研究センターの代表者アレン・ハイネック博士、フランス国立UFO研究機関の責任者クロード・ポエル博士、有名な天文学者・数学者でUFO研究者でもあるジャック・バレー博士、UFO着陸痕研究の權威テッド・フィリップス氏、有名な宇宙飛行士で現在ウォルト・ディズニー映画会社の副社長ゴードン・クーパー氏、統計学的心理学者で世界中の6万17万件のUFO目撃事件をコンピュータに記憶させてUFOCAT(UFOカタログ)を作成したデビッド・サンダース氏、UFO研究家で著者であるレオ・ストリングフィールド氏、

UFO研究家で映画プロデューサーのリー・スビーゲル氏、UFO研究家で、アカプルコの第1回国際UFO会議の主催者イジェルモ・ブラボ博士、その他有名なユー・フォロジストの方々と、その中の何人かの方々は今日、この国連総会場に来ておられます。

そしてこの方たちの他にも、我々は、我々が国連で推進している運動に非常な関心を示し、この問題が特別政治委員会での討議にかけられる際には、支援を約束して下さっている科学者、研究グループ、著者や、世界中のあらゆる地域のあらゆる分野の人々と連絡を取っています。

UFO現象のすべての面について、科学者たちの意見が一致しているわけではありません。ある人はUFOの出現により地球の安全が脅かされると信じています。一方、ある人はこれを否定しUFOは、弱く進化の遅れた我々地球人類に援助を与えるために我々の地球を調査しているのだと信じています。また、ある人はUF

Oは地球の人類を自滅から救うために活動しているのだと信じています。

私は今日ここで、これらの意見の相違について論ずるつもりはありませんが、アレン・ハイネック博士が言われるように、UFOは疑いもなく地球全体にわたって起こっている現象であると指摘したいと思います。物理的な構造と行動のパターンが似かよったさまざまな現象が、全世界の離ればなれの場所、信頼のおける人々によって目撃され、確認されているのは、まったく驚くべきことです。

去る1977年10月に国連総会で演説して以来、私は、国連においてUFO研究と調整を行なわせるための努力を続けるようにとのあらゆる種類の手紙や直接の呼びかけの洪水にあいました。実のところ、UFOについて深い関心を持ついくつかの組織によって、グレナダに研究のためのセンターが設置される可能性が大いにあります。また、1977年4月アカプルコで開かれた第1回国際UFO

会議では全会一致で採択された決議に応じ、1979年秋に、グレナダで第2回国際UFO会議を開催する計画も検討中です。

いずれにせよ、UFO現象の研究の調整と情報の配布に関して、国連にもっと全般的、中心的な役割を演じさせようとする我々の努力を支持する

強力な力が働いています。現在国連がこの重要な知識と調査の分野に

関与する絶好の機会です。世論調査の

結果は、世界の人々が国連のそのよ

うな関与を期待してい

るとい

うことを示しています。

私は再び各国連加盟国が、ユーフォロジ

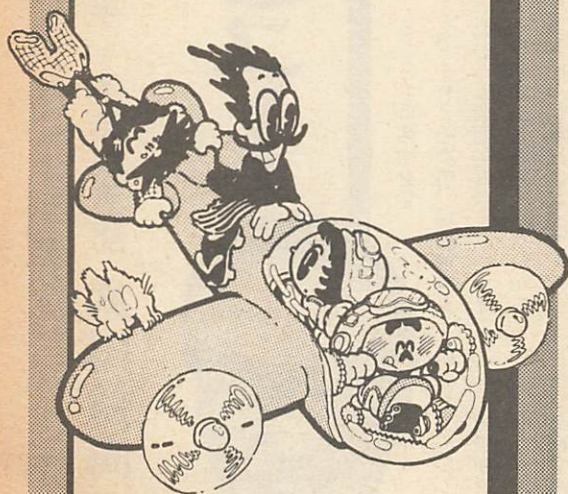


宝島

毎月10日発売 480円



雑誌宝島へ上陸すると——音楽が聞こえてきます。映画も上映中です。読みたい本もいっぱい。今まで知らなかったことや新しい生活を発見します。——未来への宝ものを自分で探すことの楽しさを覚えます。



〒162東京都新宿区揚場町15セントラル
・コーポラス207 電話03(268)6312

の分野での世界の指導的な科学者たちの呼びかけを支持し、マスコミ関係者たちの呼びかけを支持し、そして、すべての人類の利益と啓発のために、国連がUFO研究を調整し、情報を配布するよう積極的な指導的役割を果たして欲しいという世界の人々の呼びかけに

けるよ
う、切に要望する次第です。



1978年10月12日、
国連総会でUFO問題
について演説する
グレナダ国のゲーリー首相
(写真・国連ルウィン氏)

●UFO研究の元祖

荒井欣一氏にインタビュー

聞き手・本誌編集部 武田益尚

UFOファンならば、日本で最初のUFO研究団体『日本空飛ぶ円盤研究会』（JFSA）の設立者、荒井欣一氏の名を知らぬ者はないだろう。氏の歩みは、日本のUFO研究の歴史そのものといっても過言ではない。そこで、UFO研究の歴史をふり返る意味で、荒井欣一氏に今日までの歩みや氏のUFO観などをインタビューすることにした。

UFO問題は 人類の将来を 決定づける

——まず最初に、荒井先生がUFO問題に興味をもたれたきっかけ、そのあたりからお話しいただけますか？

荒井 あざやかなキッカケ、たとえば実際にUFOを目撃したとか、そういうのはないんですよ。私は戦争中、山口県小月の陸軍航空隊——現在は海上自衛隊の航空基地になっていますが、その機上レーダー、つまり戦

闘機や軽爆撃機に搭載する機上レーダーの整備基地におりました。それで、敗戦後は「翼のない日本」ということになってしまいました。航空機や気象・天文観測ということに対してはズーッと興味を持ち続けていたわけです。そこへたまたま、UFOというよりも当時は「空飛ぶ円盤」ですね、そのニュースが日本の新聞にも出たんです。——戦後の空飛ぶ円盤騒ぎの発端になったといわれている、ケネス・アーノルドによるレイニヤ山上空の目撃が、日本でも報

道されたのですか？

荒井 一般のニュースのようにすぐ報道されたわけではなかったようです。FENでは放送したそうですが、ただ、アーノルドの目撃が昭和22年6月24日ですが、早くも7月頃になると、アーノルド事件を含めて、アメリカに謎の物体が現わる、といった記事が出たし、8月頃になると、いったいあれは何だろう、ということの特集記事も組まれたように記憶しています。また、日本での目撃者も名乗りをあげはじめました。

——そういうのを読んで、これは私の直観ですが、どうもこれは地球上の飛行機とは形態もちがうし飛び方もちがう、他の天体の知的生命があるいは飛ばしているのではなからうか、と考えるようになった。そうなっ

るとさらに興味を覚

え、それとあの頃、国際情勢がたいへん凶悪になって、いつまた世界戦争が勃発するかわからんといった状況になってきた。こういう凶悪な情勢を打開し、

平和な状態にもどすにはどうしたらいいだろう。ここでもし地球を監視している第三者的存在のUFOというものの実在がはつきりすれば、たちどころに戦争はなくなるんじゃないか、そういう期待もあって、この円盤こそは、私たち人類の将来にとって貴重な存在ではないか、とこう考えるようになったわけです。

つまり私は、科学的観点ということはもちろんですが、政治的というか平和的な観点からも興味をもった。ですから、その後「日本空飛ぶ円盤研究会」を

結成してから「宇宙平和宣言」などの声明文を機会あるごとに発表しました。あの声明自体、

時代の変化はあっても、基本的には今でも立派に通用するものだと思うし、そういう姿勢をもって今日までUFO問題にとりくんできた、というのが私としてはひとつの大きな自負なんです。

本屋の 店頭での議論 からスタート

——なるほどよくわかりました。それで、いよいよ「日本空飛ぶ円盤研究会」を結成しようということになったのは……



荒井 今申し上げましたように昭和22、23年頃からずっと興味はもっていました。研究会を結成したり機関誌を発行したりということになるのは、もっと後です。そのキッカケは、昭和29年に例のジョージ・アダムスキーの本が日本でも翻訳されましてね、私はちょうどその頃、五反田の駅前で書店をやっておりました。私としては当時からこんな話は科学的な検証に耐えるものではないし、こんなにハッキリ写真が撮れるものかと疑問に思いましたが、そのうちに、この本を買った人や、近所で関心のある人たちが店の中に集まって、ウソかマコトかという議論が続くようになった。大半は否定的でしたが、なかにはずいぶん熱心に支持する人もいて、やがて、こういった問題をひとつ公の場で論じてみたら面白かろうということになってきた。ただ、アダムスキーがウソかマコトかという特殊な問題だけじゃなしに、UFO全般について論じあおうじゃないかということですね。それで昭和30年7月に「空飛ぶ円盤研究会」、当

時はまだ「日本」というのを頭にかぶせてなかったんですが、ともかくも名乗りを上げてましてね、翌年2月4日に五反田の私の家の近くの水野食堂2階で正式に第1回目の会合をもったわけです。

——その半年間は準備期間だったわけですね。

的にやってみてみたい、何かご援助いただけないでしょうか、というところで手紙を差し上げたりしました。そうしたら、君の意見に大賛成だ、大いにやりたえ、全面的にバックアップするから、というような返事をいただきました。たいへん気を強く



陸軍航空隊時代の荒井少尉

たわけですね。

荒井 ええ、当時、北村小松さんという有名な流行作家が、文芸春秋とかいろんなところにUFOについて書いておられましたので、この方にも連絡を取りましてね、科学的な研究態度でUFOの研究会を組織して専門

たわけですね。

荒井 ええ、おいでになりました。

——第一回目の会合にも来られたのですか？

荒井 ええ、おいでになりました。

て、当時では珍しい海外のUFO文献を見せていただきました。また、その頃、五反田の現

在の埼玉銀行があるところに大

映の映画館がありまして、その支配人と大映のプロデューサーの中代富士男さんという方も来られました。当時製作中だった「宇宙人東京にあらわる」という映画の裏話をいろいろ聞かせてもらいました。人数は近所の人を中心に30名ぐらいでしたが、意見発表も活発に行なわれ、こういう楽しい研究会はぜひ続けたい、年2回ぐらいはこういう集いをもち、それと同時にみんなの意見を掲載する機関誌も発行しようということになりました。私が編集を引き受けて、昭和31年の7月に『宇宙機』の第1号が誕生したわけです。

のです。星新一さん、荒正人さん、三島由起夫さん、いろんな有名人も入って来られました。——SFの柴野拓美さんも、その頃ですね。

荒井 柴野さんは、北村さんの紹介で、このどつと会員が増える前からおられました。私はあの人とはよくウマがあつて結局、会の運営に当たっては、私たち2人が中心になったわけですが、もっぱらSFの方で有名ですが、あの方が日本のUFO研究に果たした功績はたいへん立派なものです。

——斎藤守弘先生も会員だったとか？

荒井 斎藤さんはまだ文理科大学の学生さんでした。やはり新聞で見て私の所に訪ねて来られたように思います。あの人はもうその頃からUFOや超常現象の資料をずいぶん集めておられて、しかもそれを大学ノートにぎっしりと書いてあるんですよ。あれには驚きましてね。これはいい知り合いができたと思いましたよ。それで『宇宙機』にも書いていただくようになりましてね。それから昭和33年に

の第1号が誕生したわけですね。それからまもなく、この会のこと朝日新聞や週刊読売に紹介されました。たまたまその頃、国内でいくつも目撃事件があつて、その記事といっしょにこういう研究会もある、そこにはこういう目撃報告もよせられているというので紹介してくれました。朝日なんか夕刊で一面をさきましたからね。どつと入会希望者がきましたよ。かくして、われわれは町の中の同好会から一挙に飛躍をせまられた

「空飛ぶ円盤は宇宙機である」

というテーマで会員から論文を募集したんですが、これにも河津薫つまりは斎藤守弘さんのペンネームだったのですが、彼が一等に入選されました。この論文は「空飛ぶ円盤研究シリーズ」と銘打った小冊子の第一弾として発行させてもらいました。

それから高梨純一さんもお互いぶん資料をお持ちになっておられましてみんなビックリしたものです。彼はまもなく大阪で近代宇宙旅行協会(MSFA)という別の団体を結成されましたが、引き続いてこちらの機関誌にも執筆してもらいました。その後も高梨さんとはお互いに絶対的に協力し合うという関係で、これはどんな苦境にあっても、有名になっても同じです。

——しかしずいぶんそうそうたるメンバーが、荒井先生の研究会から巣立っていったわけですね。

荒井 ええ、ただし、斎藤さんにしても高梨さんにしても、それまで独自にずいぶん資料を集めて研究されていたわけですが、ただ、まあ、私がJFSAを結



昭和32年6月8日、日活ホテル(現在の日比谷パークホテル)屋上でUFO観測会を主催。故三島由紀夫氏も双眼鏡をもって参加した。

成したことによって、お互いの交流の場ができた、それが皆さんにとっての刺激となり、はげみになったということは言えるでしょう。

——「ウィ・アー・ノット・ア

迷宮入りに なつた銚子の 金属箔事件

荒井 ええ、何かことあるごとに調査に行ったもんですよ。

『宇宙機』

『宇宙機』は、JFSAの機関紙として、昭和31年7月に創刊され、16号までは月刊、以後昭和35年4月に32号で休号するまでは隔月刊で発行された。発行・編集人は荒井欣一、創刊号のみはタブロイド版新聞形式であったが、2号以降は平均50ページ程度の雑誌形式となった。この日本で最初のUFO研究誌『宇宙機』の目次をビック・アップして紹介しておこう。

第4号(1956・10)

円盤から金属片 編集部

ノールウェーに降下した円盤 高梨純一

円盤常識講座(1)円盤を写すには 橋本公秀他

第7号(1957・2)

日本の空飛ぶ円盤歴史記録(上) 斎藤守弘

観測と目撃報告の仕方 三上皓造

アダムスキとアリンガムを何故 信じる事ができないか(2)

高梨純一
重力場機関とは何か(1)
柴野拓美

第15号(1957・10)

羽田観測記録概要 編集部

UFO実見の感想 岡田春生

第二のアダムスキ登場松村雄亮

重力場推進に関する海外文献 柴野拓美

第22号(1958・9)

特集コンタクト・クレイム批判

1 酒井、永井両氏の体験の精神

病理学的診断(下) 高梨純一

2 空飛ぶ円盤同乗記は出鱈目

3 宇宙交信機の疑問点松村祐三

UFOか未知の自然現象か(4)

NICAP ニュース 仙波順一

第29号(1959・9・10)

土星型円盤の実在 高梨純一

宇宙生物編序話(2) 斎藤守弘

ユーフォロジイ概説(2)

周期性あるUFO様目撃 小隅 黎

煙野房子

——いちばん記憶に残っている事件をお聴かせ下さい。

荒井 そうですね、いろいろありますが、千葉県の銚子で起こった金属箔の事件がありましたねえ。あれは昭和31年9月7日のことでした。ちょうど火星が地球に大接近するというので、うちの研究会でも各地の支部に観測指令を出したところですが、



帯の数カ所に空から謎の金属箔 会員の滝田さんというお医者さんが降ってきたのです。銚子には、日本天文学会にも所属し昭和33年3月、大田区馬込に怪光体が落下、住民の一人がその破片を見つけたというニュースが報じられ、JFSAでも現地調査を行なうことを決定した。この写真は調査の事前打合せのため五反田の料亭松葉に集まった面々。前列左から柴野拓美、荒井欣一、保積善太郎の各氏、中列左から斎藤守弘、星新一、矢野徹の各氏、後列左端は松村雄亮氏である。

てらっしやる方がおられまして、この方から、どうも普通の金属箔じゃないというので送って来られたわけです。

——どれくらいの大きさのものだったんですか？

荒井 長さ4・5センチ、幅1ミリ、厚さ10ミクロンという細かくうすいものでした。それでもかく現地へ会員の石津君を調査に派遣する一方、私は野沢さんという読売新聞の科学記者の紹介で、この金属箔をもって都立工業奨励館を訪れ分光分析を依頼したのです。そうすると主成分はアルミニウムであるのに、鉛が10%も混入しているという結果が出た。アルミニウムに対しては0・3%以上の鉛は混入できないはずで、これは東京工大の金属学教室に問い合わせ確認しました。そこで再度分析してもらくと、金属箔の裏にビニールのコーティングがしてあって、その中に鉛が粒状に黒く点在していることがわかったのですが、分析した技師は、ふつう鉛がビニールの中に混入している時は完全に溶けて透明になるはずであり、このような

状態は見たこともない、また、なぜそういう分布状態にしたのか理由がさっぱりわからない、さらに極微量ではあるがバナジウムというような滅多にない元素がアルミニウムに混入しているのもよくわからない、とこう言うんですよ。

それから日本軽金属と東洋金属へ行ってみせたのですが「こんなものは作ってないし、また用途も不明」という返事でした。顧問をお願いしておりました糸川英夫博士のところへもって行くと、米軍の気象観測用ロケットに使うものではないだろうかとおっしゃるので、気象庁の観測部高層課へ行つたのですが、こんなものを気象観測に使うことはないという返事でした。

そこで、もうひとつの可能性として米軍がレーダーの防空演習に使ったのではないかと思ひまして、アメリカ大使館に空軍武官のラモール少佐を柴野拓美さんといっしょに訪ねたわけです。すると、9月9日には銚子付近で演習があったが、問題の金属箔の落ちた7日にはやって

ない、またレーダー妨害用の金属箔を落とす時は大小各種の金属箔を落とすが、これ一種類だけがかたまつて落ちていたというのは解せない、またこのような箔を扱ったことはあまりないというんです。そしてともかく調べてみるから預りたいというのです。それで、ともかく預けて帰ったんだが、1週間たつても1カ月たつても返事がない。たまりかねて、再び乗り込みましたところ、「あれは米軍のものだった」という一点張りです。そうとしない。じゃあ何に使つたのかという一切ノーコメントだったんです。

——へえ、それは奇怪ですね。結局、それっきり金属箔はもどってこなかったんですか？

荒井 ええ、それで私はこの10年間というものの、あの金属箔がてっきりなくなつたものと思つて悔やんでいたんですが、最近になってよく探すと少し残つてましてね。やはり警戒してぜんぶはもつていかなかったんです。もう一度あらためて分析してみようつもりです。

——新事実がわかりましたらぜ

ひ本誌に発表して下さいよ。

荒井 ええ、そうしましょう。

それから、エンゼル・ヘアー事件というのもあったなあ。最近の本を見ると、エンゼル・ヘアーの写真として、ボクラが撮影したのがのっているけれども、あれはエンゼル・ヘアーじゃありませんですよ。最初、山形県の学校の先生からエンゼル・ヘアーらしきものが落ちてきたので調べてほしいという電話が入ったのです。まあ、はじめのうちはみんな興奮しましてね、ところが現地調査してみると、はしに小さなクモがついていた、という証言がありまして古い文献を調べてみますと、雪むかえ現象^{ユキムカエ}というものがあらしい。クモが気流によって集団移動する。これが終わると雪が降るんですな。それでも、新聞なんかは面白半分にエンゼル・ヘアーということにしてしまった。

一時は円盤はこれつきりなし
しようかと！

——マスコミはとかくそういうことが多いようですね。それか

らさきほども話題に出た「宇宙平和宣言」ですか、あれを始めて、よく声明書のようなものを出されてますね。

荒井 ええ、最初に申し上げましたように、科学的な追求ということはもちろんいちばんの基本であり、たいへん大事なことです。やはりそれだけではダメだと私は思います。UFOの存在そのものが、人類の将来にとって、たいへん重大な意味をもっている、そういう観点にたつならば、当然、社会に問いかけるという姿勢が必要でしょうし、一般大衆にもアピールするUFO研究でなければならぬ。それで機会あるごとに、自分たちの見解を声明書という形で発表したわけです。

——「宇宙平和宣言」には、JFSA以外の団体も署名しておられますね。

荒井 ええ、ちょうど昭和32年7月にJFSA発足2周年記念の講演会を行ないまして、高梨さんはじめ、他の研究グループの方にも来ていただきましてね、ちょうどいい機会だということ、私が音頭をとりまして、研究

会相互の協力を目的とする全日本空飛ぶ円盤研究連合を発足させたわけです。それで、あのまた昭和32年、ソ連が原爆を



デッキー・池守氏の描いた荒井氏の肖像画

「宇宙平和宣言」は私が起草したのですが、JFSAだけではなく、他の皆さんにも呼びかけ共同声明の形にしたのです。

毎日新聞に東京天文台長の宮地政司さんが「円盤は飛ばず」という一文を発表されたことがありましたが、これがメンゼルの説のまったくの受け売りですね、我々は、メンゼル説だけではUFO問題は解決しませんよということ、会員のみなさんの発言を含めて、「それでも円

職法が国会に上程されました。あの法律によってUFOの研究まで規制される可能性があった。何かふしぎなことを研究して、世の中を不安に落し入れるものだ、というような誹謗^{ヒコウ}もありましたね。われわれはそれに対して、UFOの研究こそ人類の将来を決定づけるもっとも重要な問題だ、それを一片の法律によって葬り去られてはかなわないと思って反対声明を出しました。これは朝、毎、読の新聞にも報道されましたよ。もちろん多くの人が反対したので、わたしたちの声明がどれほど効果があったかわかりませんが、ともかくあんな法案は廃案になつてしまったわけです。

今のUFO研究団体というのは確かに科学的な研究は地道にやっているかもしれないけれど、こういう社会に問いかけるという姿勢が欠如しているように思えます。

——それだけ先駆的に、熱心な活動されてきたのに、休会を余儀なくされたときは残念でしたでしょう。

荒井 ええ、一時は千人近い

また翌33年には、悪名高い警

た会員がだんだん減りましてね、財政は大赤字になるし、体力的にも精神的にも疲れ果てましてね、いったん集めた会費をお返しして休会にしたんです。

——やはり宇宙友好協会（CBA）問題が影を落した、ということはありませんか？

荒井 CBAもそれなりに立派なところもあって、我々が持つてないような海外の資料も機関誌に掲載してました。それはよかったのですが、コンタクト・ストーリーを無批判に受け入れ地軸が傾くが宇宙連合が助けに来てくれるという騒動を経て、どんだんおかしな方向へ行ってしまうしねえ、赤外線宇宙通信機なるものの発明者である

CBA（宇宙友好協会）とは？

1957年8月、松村雄亮を中心に久保田八郎、橋本健、小川定時、桑田力などが参加して結成されたUFO研究団体。

当初は、いわゆるコンタクト容認派のゆるやかな連合体の観を呈していたが、松村自身のコンタクトの主張が前面に出る過程で、他の幹部は脱落、「生長の家」との論争を経て、1961年頃には、松村を絶対的指導者として仰ぐ擬似宗教的宇宙人信仰集団に変質、

G・H・ウィリアムスンという妙なアメリカ人を彼らが招聘したときには、公開質問状をぶつけてみたのですが、まったくナシのツブテ、これはこのままゆくとUFO研究の危機だということで、「UFO研究の本道」という声明文を発表して、我々の立場を明確にしたわけです。

まあしかし、こちらがある意味で固苦しいのに対して、あちらは面白いといえれば面白いですからねえ、それにもう宗教的な熱狂性を帯びてましたから、こちらの会員でCBAに乗りかえた人もいるでしょうし、あるいは私たちが危惧したように、CBAの狂態を見て、しよせんUFOなんて……というので脱落

科学的UFO研究を本旨とする「日本空飛ぶ円盤研究会」や「近代宇宙旅行協会」と激しく対立した。

なお、松村は、CBA結成以前は、1956年頃から神奈川県大磯で「空飛ぶ円盤研究グループ」を名乗り活動、荒井欣一を中心とする全日本空飛ぶ円盤研究会にも加入、「宇宙機」にも執筆している。ただ、この頃からすでに「不審な言動」が多かったという。

してしまった人もいたのかもしれない。

まあ、私も病気になるし、金もなくなっちゃったし、休会といっても、ホントのことという、円盤はもうこれで終わりにしようと思いました。CBA問題以外にも、安井清隆さんのコンタクトの問題なんかもあって、どうもみんなハッキリしないことばかりではないか、という絶望感にとらわれましたからね。

画期的だった UFO 25周年 記念講演会

——そして、再び活動を再開されたのはいつ頃ですか？

荒井 そう、昭和35年に休会してから5年ほどはこれといって何もしなかった。それが昭和40年ごろかな、銀座通りを歩いていると、一緒に会をきりもりして頑張ってた下だった柴野拓美さんにバッタリ出会ったんです。『どうしてるんだ』と言うから、『いやあ、もうUFOは止めようかと思ってるんだ』という、柴野さんは、そんなこ

とを言うなよ、というんだ。今イエナに行ったら面白いUFOの本を見つけたからぜひ読みたまえというわけだ。それは『オフィシャルUFO』の特集版でした。なるほど買って読んでみると、この5年の間にずいぶんいろんな事件も起こっていて、たいへん面白かった。こちらは海外とも交流を断ってましたから、知らないニュースもずいぶんある。それで、こういうものをベースにして、まだ研究を続けていた人や、これから始める人たちにも協力しようかと思いいました。ね、再びいろんな資料や本を漁り始めたわけなんです。

すると、たまたま神戸の平田留三さんが高梨さんと分かれて日本UFO研究会というのを設立されまして、彼が機関誌に何か書いてくれと言ってきたんですよ。それでまあ、私は高梨さんに対して遠慮もあつたんで、最初はペン・ネームで書き始めたんです。今ではお二人も仲良くなりあつておられますが、平田さんは近代宇宙旅行研究会の理事の一人で調査部長をしてお

られたのが、高梨さんの運営が独善的だというのが、いわばケンカ別れて独自に一派を構えられたといういきさつがありましてね。私はどちらの肩をもつというわけではないんで、ペン・ネームで書き始めたわけですが、そのうちにお二人はそれぞれの機関誌上で相手の攻撃を始めたんで、これはイカンと思って、私が間に入りましてね、非難の応酬をおさえたのです。それで、どうせ私が書いてるってわかってきましたので、ペン・ネームをやめて、荒井欣一の名で「UFO事件の問題点を探る」というのを10回ばかり連載したわけです。それで、これがキッカケとなって、会は休会のままですが、個人として再び活動するようになったのです。

——現在、並木伸一郎さんの主催する日本宇宙現象研究会（JSPS）の顧問を引き受けておられますが、並木さんのグループとの出会いはいつ頃ですか？
荒井 ええ、再びあちらこちらにポツポツ書き始めまして、そのうち昭和47年、ちょうどUFO 25周年の年がやってきたわけ

です。それで何か面白い企画をやってみようと思って、品川の公会堂でUFO講演会を開いたわけです。会としては休会したままですから、すべて何から何まで自分一人でやりました。まあ、女房が手伝ってくれましたし、当日の受付は会社の連中に応援を頼みましたがね。講師には高梨さん、南山さん、平野さん、柴野さんにもお願いして来てもらいました。この催しがたまたまNHKなんかで取り上げられ、朝日新聞の催し物案内の欄にも出ましてね、おかげさまで当日は押すな押すなの大騒ぎになりました。公会堂からも消防署がうるさいので何とかしてくれなんていわれたぐらいです。

——この翌年ぐらいから、ちょっとしたUFOブームになりましたね。

荒井 そうなんです。それまでも目撃事件があれば新聞の囲み記事程度にはなりましたが、やはり大きな話題として週刊誌なんかとりあげるようになるのは、この後です。我田引水になるかもしれないけれど、確かに

この講演会なんかひとつのきっかけになったといえます。まあ、こう言う悪いですが、ユニバース出版がスタートしたのもこの後ですからね。

——当時としては画期的なイベントだったと言えますね。

荒井 ええ、それでまたちょうどその頃、並木君なんかの若いグループもできてきた。かれらは平田さんとはつながりがあったけれども、私とは面識がなかった。この講演会に並木君や志水君が来て初めて知りあったわけです。志水君は予約を締切った後だったんですが、受付で強引にねばって入ったそうなんです。名刺には「会長」とかなんとか書いてあってビックリしましたね。それから彼らが協力して日本宇宙現象研究会を作るんで、顧問になってくれというんで、まあ名前だけで何にもできないよといって引き受けたわけですよ。

この翌々年の昭和49年にもやはり品川の公会堂で「ヒューマノイド講演会」を行ないました。その後は一昨年、霞ヶ関ビルの36階で日本で初めての「UFO

フェスティバル」を12日間開催したり、もう、このあたりのことになると皆さんご存知でしょう。

友好的なんでしょうか？
荒井 私は友好的だと思いますが……。

——でもアダムスキーは容認さ



東京12チャンネル「私の昭和史」

昭和48年、東京12チャンネル「私の昭和史」に出演

——あの時は、JFSA同窓会

れないんでしょ？

とかで、星新一さんや柴野さんなど昔のメンバーもおおいになつてましたね。ところで、荒井先生の見解ではどうなんでしょう。ヒューマノイドというのは、我々を援助するとか、そ

いうおせっかいなものじゃなくて、いつか我々と何らかの交渉をもてる相手だという意味です。そういう将来のユメがあるから長い間やってるんですよ。侵略的な意図はないように思いますね。

——まあ侵略が目的だとすればとっくにやってるはずですね。荒井 そうだね、アブダクションにしても、必ずしもどしてくる、殺傷したという例はやはり少ないです。

私はこれから日本でも本格的なコンタクトが発生すると思うね。4年前に宇宙人対策委員会というのを作りまして、まだ実際には機能していないんですが、綱領も条文も草案はできてるんですよ。それとコンタクト・マニュアルというのを作る必要があると思って、もう事例だけは200種類ほどまとめてあるんですよ。

——それはたいへんなお仕事ですね。ここでひとつ来年の計画や展望もおうかがいしたいところですが、それは新年号の座談会でお願ひすることにしましよう。

最新刊!

無限の宝庫を開く

ロイ・E・デーヴィス著 鶴田昌世訳

850円 160

メデティション——心の神秘へのたびだち! 人間の心に秘められた偉大な知恵は、瞑想によって引き出される。

釈迦がサマディに達したのも瞑想によってであった。あなたも霊的向上をはかれば、未知からのメッセージを得られるかもしれない。精神集中と正しい瞑想法を公開する。

ナ・ダム

あなたの中の不思議な力

●C・チェーズ C・キング著 川口正吉訳

超越心理学を主唱する精神科医と牧師が、臨床経験の研究から生み出したユニークな瞑想法と「夢を見る」方法を教え、性生活の再発見を訴える。すぐに利用できる、心身健康と問題解決の手引き書。

8000円 160

日本教文社

03(401)9111(代)

東京・港・赤坂9 振替東京4-55519

日本空飛ぶ円盤研究会 (J. F. S. A) の概要

〈昭和30年7月に結成された日本で最初のUFO研究団体〉

設立の趣旨 今世紀における世界最大の謎「空飛ぶ円盤」の実体を科学的に究明するため

機関誌 「宇宙機」昭和31年7月創刊、32号以後休刊中

代表 荒井欣一 大正12年東京生まれ 青山学院専門部商科卒 元陸軍航空少尉

顧問 石黒敏七、糸川英夫、北村小松、徳川夢声、中正夫、原田三夫、保積善太郎、(五十音順)

客員 荒正人、小嶺孝次郎、畑中武夫、平野威馬雄 (五十音順)

主な会員 石原慎太郎、岩倉具栄、金井為一郎、黒沼健、斎藤守弘、瀬川昌雄、柴野拓美、高梨純一、立花正照、仁宮武夫、橋本健、星新一、熊敏郎、三島由紀夫、南山宏、(五十音順)

会員数 最終的に約1,000名

現在 会としての組織的な活動は昭和35年6月以降休止中。従って現在会員の募集、入会の受付はしていない。

活動小史

- 昭和31. 9. 7 銚子市にUFO目撃後、金属片が落下、その正体究明のため大学、研究所、工場、気象庁、米軍等を廻って徹底的に調査したが不明、金属片は現在も当会で保管中
32. 6. 8 日活ホテル (現在日比谷パークホテル) 屋上でUFO観測会 三島由紀夫氏も参加
32. 7. 21 全日本空飛ぶ円盤研究連合会を提唱して結成、当時活動中の主なる5団体が参加
32. 10. 21 「宇宙平和宣言」を発表して宇宙時代における地球人の覚醒を促す
32. 11. 21 ソ連の月ロケット発射の動きに対して月面での原爆実験の中止をソ連首相に要請
33. 3. 1 東京天文台長宮地博士が新聞紙上に発表した「円盤は飛ばず」という記事に対して「それでも円盤は飛ばず」という円盤実在の声明書を発表
33. 7. 1 空飛ぶ円盤研究シリーズ第1巻「空飛ぶ円盤は宇宙機である」を発行以後「UFOの報告書の研究」「宇宙人着陸?」「円盤展開講座」等4冊発行
33. 9. 1 朝日新聞社発行のパンフィック「空飛ぶ円盤何でも号」に研究会のスタッフが全面協力
33. 11. 9 UFOの自由な研究が、法律の拡大解釈によって圧迫されるおそれがあったので警職法に対する反対声明を発表、朝日、毎日、読売がとりあげる
35. 4. 8 地球上に大変動近しという一部UFOの信者の憶説に対して「UFO研究の本道」と題する声明文を発表、科学的なUFO研究の道を明示した
35. 6. 1 代表者荒井氏の病氣と財政難から休会宣言、活動をしばらく休止
47. 6. 23 UFO25周年記念講演会を主催、平野、柴野、南山、高梨氏等が講演
48. 11. 1 新聞紙等に掲載されたUFOの関係記事、資料等をすべてマイクロフィルムに収録する作業を開始、相当数の貴重な資料が現在までにマイクロ化 (APカード) されている
49. 9. 14 「全日本空飛ぶ円盤研究連合会」の再編成と「宇宙人対策委員会」の設立について討議
49. 9. 15 「宇宙人 (ヒューマノイド) 特別講演会」を開催 平野、高梨、斎藤荒井氏等が講演
50. 6. 24 東京12チャンネル屋上でUFO観測会、参加10団体
50. 9. 14 東急百貨店吉祥寺店屋上にUFO観測会実施、UFO写真展も同時開催
51. 9. 15 霞ヶ関ビル36階で日本初めての「UFOフェスティバル」を12日間開催、東京12チャンネルが「生きて人間旅行」として10月5日放映
50. 9. 18 玉川高島屋1階ホールで「UFOと宇宙人展」を主催、連日多数の参観者で賑わった
52. 4. 1 銀座三菱ビル9階の三菱電機展示場で「謎の大UFO展」を3カ月間開催
52. 7. 26 三越池袋店で「夏休みUFO写真展」を開催、講演も行なう
52. 8. 5 東急百貨店本店6階で「77世界大UFOフェスティバル」を6日間開催、この模様は8月10日NHKがニュースセンター9時の「夏の話」でインタビューもまじえて紹介
53. 4. 28 世界初の「UFO年鑑」1977年度版を刊行。

トーチエ氏の心の法則

あなたの知らないあなた

●C・トーチエ夫妻著 長岡俊治訳

失敗、成功の心理的原因を究明、潜在意識を科学的に応用して、あらゆる問題を瞬時に解決する驚くべきベストセラーです。今、世界各国でブームを呼んでいる心理学の実用書! 米航空宇宙局で採用。

6500円 160

●新ピラミッドロジー1●

大ピラミッドは アトランティスの記念碑だ！

UFO・ミステリー研究家 久保田八郎

この夏、エジプトに旅行して大ピラミッドをまのあたりにした筆者が、この世界最古の巨大建造物の背後にアトランティス大陸の幻影を見た――

人類の記憶をとどめぬほどの大昔から灼熱の砂原に不思議な建造物が立っていた。天空を圧するこの4角錐の巨大な石造構築物を人々はピラミッドと呼び、神聖視し、畏敬した。

ところはエジプト、カイロの西方15kmのギザ。激烈な太陽の光を浴びて碧空の中にそびえるのは雄大なクフ王、

カフラ王、メンカウラ王の3基の大金字塔である。

クフ王のものが最大で、高さ138・6mあり、これは48階建ての超高層ビルに等しい。したがってクフ王（ギリシャ語ではケオプスと呼ばれる）のピラミッドは特に『大ピラミッド』と称されることもある。これは3基の北

カイロ西方ギザのピラミッド群

●クボタ・ミステリー・シリーズ●

端側にあり、観光者は通常これを主体に見学する。

80基もあるピラミッド

平均2・5トンの巨石を推定280万個も使用し、200種もの謎を有し、見上げる者を眩目させるこの途方もない大建造物は、今を去る4700年の昔、エジプト第4王朝の2代目ファラオ（王）クフの治下に完成した。その後、クフの王子カフラ（ケフレン）とメンカウラ（ミケリヌス）のピラミッドが並び、ギザの3大ピラミッドが形成されたのである。

しかし、いわゆるピラミッドと称される建造物はこの3基だけではなく、エジプト中に大小あわせて80基ものピラミッドが現存し、発掘されていない未完成のものをあわせれば推定100基以上になるといえる。

ピラミッドは古王国時代の第3王朝のジェセル王の階段ピラミッドから始まり、第4王朝でギザの3大ピラミッドを中心にして黄金期に入り、第5王朝で定着したが、第6王朝から第10王朝までの第1中間期と呼ばれる混乱時代は中断されている。そして前205

0年から1778年までの中王国時代の第11王朝から12王朝に至るまでがピラミッド建造の第2期にあたり、第13王朝で2人の王がピラミッドを築造したのが最後となる。

前1570年から715年までの第18王朝は、ピラミッドに入り込む盗掘者を避けて、ルクソール西岸の大岩山地帯の地下に各代の王墓を築き、永久に後世の俗人の眼から隠蔽しようとしたが、そうはいかなかった。考古学者によりツタンカーメンの墓をはじめとして、次々と白日のもとにさらけ出され、古代エジプトの燦然たる文化の跡が明るみに出たのである。

観光旅行者にとって世界で最も魅惑的なエジプトの地は、ピラミッドやマスタバ（墓）の建設者と盗掘者と考古学者のすさまじい三つ巴の競争の場であつたといつてよいだろう。

大ピラミッドは

果たして王の墓か

紙数の都合により詳述はできないが前述のとおりエジプトの遺跡中で最大のものは——古代の遺跡中で世界最大でもある——ギザのクフ王のピラミッド

なので、ここではこれを主体に考察することにしよう。

驚嘆すべきこの大建造物について最初に歴史的な記録を残したのはギリシヤの史家ヘロドトスであり、その大著『歴史』の第2巻にエジプトの遺跡についてくわしく述べてある。

これは叙事詩人である彼が前5世紀にエジプトへ大旅行したときの見聞記であり、現在も考古学者にとって重要な参考文献となっている。

それによると、ピラミッドは階段式の構築法を応用し、最初に階段を建造してから木製の起重機で石を吊り上げた」と記している。

しかしヘロドトスが現地人から聞いたときとクフ王ピラミッドが建設されたときとは実に2000年以上の差がある。この建造法が真実であるとは断定しがたい。その他にも後世の人により種々の憶測が試みられたが、いずれも正解には至っていないのである。それほどこの巨大なピラミッドは深い謎を秘めており、世界中のエジプト学者を悩ませてきたのだ。

ヘロドトスによると、大ピラミッドの築造には一時に10万人の人間が従事し、1集団は3カ月交替で働き、完成までに20年を要したという。そうすると20年間で2400万人を動員したこ

とになるが、一説によると延べ人員は1億人に達したともいわれる。

いったいこのような天文学的数字の資材や人夫を用いて建設したピラミッドなるものの用途は何であつたのか。史上の定説どおり、果たして王の墓であつたのか。

現代の科学機械を応用しても容易に構築できないようなこの偉大なるオペケを4700年前に実現させるような想像を絶した知識と技術を有していた頃に、いかに無知とはいえ王の命令により数千万人の民衆は肉体労働のみによって300万個近い巨石を積みあげるとに生けるロボットにすぎなかったのだろうか——。

これらの推測に先立って大ピラミッドの内部構造を調べてみよう。

周知のとおり、大ピラミッドの内部には王の墓所といわれる女室と王妃の間といわれる部屋がある。ピラミッドの北側斜面にある正規の入口から高さ約1・22m、幅1・07mの下降通路が26度18分の勾配で下り、これは基底部より地下の岩盤の中をつらぬいて地下の間に達し、この部屋からは縦に底なしの洞穴がある。

しかし下降通路の途中で上昇通路が交差して、ここからは下降通路と同じ勾配で天井の低い上昇トンネルが続



▲ルクソールのカルナック神殿

き、これを37・7m登ると急に高さ8・5mの大通廊と接続して、更に47・8m登ると控えの間に達する。この隣が玄室である。

しかし現在、一般観光客が入る個所は正規の入口ではなく、外部の最下段から5段目の盗掘入口である。これは820年にこの地へ来たカリフ（モハメッド亡きあとに回教の最高指導者に与えられた称号）のアル・マムーンが火と酢と梃子を用いて掘り進んだトンネルで、上昇通路の花崗岩の柱のあった部分につながっている。

マムーンが発見した玄室の内部には1個の空の石棺以外に何もなかった。12世紀の著述家カイシによると、マムーンではなくて別な墓泥棒がその頃に玄室に侵入して、貴金属におおわれた

1個の遺体を発見したただけだという。他の副葬品はまったく見当たらなかったのだ。この石棺は現在も玄室の中にあり、くたびれた参観者たちが腰かけがわりに使用している。

1922年、11月26日にイギリス人のハワード・カーターがテーベの山間で発見したツタンカーメンの地下墳墓の絢爛豪華な様子にくらべて、クフ王の玄室のあまりに粗末な——というよりも墓所らしからぬ——内状に失望したのはマムーンだけではない。以来数千年間、盗掘者や考古学者はこれを中心に頭をひねってきた。

「このピラミッドはいったい王の墓として建てられたものなのか？」そして、大ピラミッドの建造目的について大論争が展開する。いわく旧約

聖書に出てくるヨセフの食糧貯蔵庫、偉大な天文観測所、あらゆる数値の見い出せる知恵の書、予言の殿堂etc.。思いつく限りの推測と想像が学者やアマチュアの頭脳を流れたのである。

陰の偉大な

人物が指導した

しかし子細に調べてみると、ここで奇妙な事実に出くわす。このような大きな石造建築物、特に4角錐のピラミッドが現存するのは、世界広しといえどもエジプトだけであり、他のどこにもないという点である。

メキシコ、ユカタン半島とグアテマラのティカルに残る古代マヤのピラミッド群がよくエジプトのそれと対比されるが、年代がまるで違う。マヤは西暦600年から900年までの古典期後期が黄金時代で、それより早いオルメカ人がピラミッド建設の技術をエジプトから学んだとしても、作り方が異なるのだ。クフやカフラのピラミッドが、建設当初は紅花崗岩の板を張りつめたなめらかな外装をほどこしていたのに、マヤのそれはすべて階段状ピラミッドで、最大のものでもティカルの神殿は60mにすぎない。

したがってエジプトとマヤのピラミッドはまったく異質のものである。古

代マヤは太古に太平洋に沈下した輝かしい大陸ムーの影響を受けたと思われるが、詳細は本誌1977年11・12月号に連載した拙文『灼熱のジャングルより永遠に』を参照されたい。

ところでギザのピラミッド文化の漂流は何か。これはやはり太古に大西洋（？）で沈下したといわれるアトランティスの流れをくむものではないか。

4700年の昔、熱砂の地に突如として大地から根が生えたように出現したあの巨大な構築物の想像を絶した建造技術は、どうみても偶然の思いつきの結果ではないし、漸進的な学問の発達の成果でもない。原始的な象形文字しか知らなかった古代エジプト人の文化的所産としてはあまりに唐突にすぎるのである。

もちろん古代の巨石文化の跡は世界の各地にも見られるし、それらにまつわる神話や伝説は多く残っている。しかしエジプトのギザのピラミッドは群を抜いており、特に大ピラミッドのもつすばらしい科学性は現代の技術水準に肉迫するものがあるのだ。これがどうして、人間をミイラにすれば永遠に生きられると信じた原始的な人々の頭脳の所産だろう。

陰にだけかがいたのだ！傑出した偉大な人物が——。

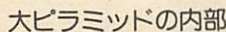
イムホテプ宰相は

宇宙人だった？

この人の経歴の詳細は不明だが、わかつてゐるのは、ジェセル王に仕えた天才的な人で、特に建築技術に卓越した才能を示したし、頭骨の切開手術まで指導したという驚くべき知識をもつ人であつたということぐらいである。

彼は死後の世界は永遠であるという思想を有し、それを堅固な石で表現しようとした。それまでの王墓はせいぜい日乾煉瓦ひびし煉瓦を用いた平坦な台形のマスへたんタビにすぎなかったけれども、彼は材料を一挙に石材に切り替えて、六層から成る階段状の大ピラミッドを王のたのみに築造したのである。

この構築物は革命的なものであった。中央底部に30 m近い堅坑^{ソコ}を掘って、王の遺体を収容する玄室を設け、その上に煉瓦状の石を積み重ねて東西12.2 m、南北10.9 m、高さ60 mのピラミッドを建造し、その周囲の15ヘクタールに及ぶ敷地の周囲を高さ10 mの外



壁で囲み、更に神殿を設置して広大な複合聖域を造りあげたのである。

これは世界の石造建築史上、画期的なものであり、後世のブトレマイオス5世はこれを讀^たえてフィラエにイムホテプ神殿を造営している。(ただし現在のは、くずれかけた階段状ピラミッドと神殿の一部が、静寂な砂漠の中に残っているだけである)

しかし注目すべき点は彼の思想にある。人間の生涯は一代限りではなくて永遠に輪廻りんねを繰り返すという深遠な哲学は一種宇宙のであり、これにより後世は死者のミイラ化が習慣となった。

そして第4王朝に至つて巨石を材料とする壮大なピラミッド建設の黄金期が続くことになった。いわばイムホテプは4角錐金字塔の開発者であり、人間の生命の永遠性を強調した哲学者でもあったのだ。

この不思議な人物は宇宙人ではなかつたかという説を、今夏ナイル河畔の野外レストランで食事を共にしながら、早大エジプト考古学研究所の吉村作治先生から聞いたとき、筆者はハッとした。

古代エジプトの豪壮きわまりない巨石文化は、太古のアトランティス大陸の影響下にあるもので、これには異星人が介入していたのではないかと、かねてより筆者は推測していたからだ。

在エジプト17年に及び、現地で発掘指導をしておられる斯界の第一人者たる考古学者が、みずからイムホテプ異星人説を唱えられたのは興味深い。

プラトンと

アトランティス

アトランティス大陸については古来研究者間で大議論が展開し、この研究書が実に2万点も出ていることは案外知られていない。

周知のごとくアトランティスは、エジプトのサイスを訪れたアテネの賢人ソロンが神官から聞いたという話をプラトンが対話編『ティマイオス』と『クリティアス』の中で伝えたもので、約1万1千年の大昔、1日1夜で海中に没したという伝説の大陸。一種の理想郷で科学的にも高度に発達していたという。これは『ヘラクレスの柱(ジブラルタル)』の外側の大海中に存在したともプラトンは述べている。

これに対しては昔から種々の批判があり、プラトンを大ウソつきとする説もあるが、執政官のソロンはプラトンの母ベリクチオンの親類にあたる人で、アテネでは名政治家として市民の尊敬の的になっていた。それを実名で出したからには、おそらくソロンが語ったというのは真実だろう。問題はサ

イスの神官の話の信憑性^{しんぴやうせい}と大プラトンの著作の内容にある。

これに関しても実に多種類の憶測や推論が行なわれてきた。いまここに論評者の名をあげただけでもストラボンとかプロクル、クノロゾフ、ラエルティウス、テイラー、ピロニス、ティウス、ヘルミッブ、ブアッソン、ハルキジアスやゾヘル、カルボフ、ブルターク、ベッターソン、ロンジン、ポリフィリアス、ヤンブリキウス、プロクレス、克蘭トリウス、その他、古今の学者・研究家が続々と名を出す。

しかしこれらプラトン研究家の論争ほどむなしなものはない。それはあの大ピラミッドの建造方法に関する論議と同じほどに私たちには空虚に響くだけだ。

こうした先人たちの研究調査よりもまず重視すべきは古くから各地方に伝わるアトランティス大陸に関する神話や伝説であろう。

前6世紀のギリシャの哲学者で数学者であったピタゴラスは、ドルイド僧から学んだという伝説がある。ドルイド僧とはガリアとブリテン諸島の古代民族であるケルト人の司祭階級で、驚嘆すべき科学知識と文字とを持っていたといわれる謎の人々であるが、後にローマ人により絶滅した。

ピタゴラスの伝説が正しければ、プラトンがピタゴラス派からアトランティスの物語を聞いたとも考えられる。つまり、ドルイド僧こそアトランティス人のはるかなる後裔^{こうい}だったかもしれないのだ。

しかしもっと重要なのは大西洋の兩岸に居住した過去の民族には、アトランティスに関する神話や伝説が多数残されていたという事実である。

特に大洪水や地殻の大変動に関する伝説が南北アメリカの原住民に根強く伝えられていた点は注目にあたいうる。そして多数の神話を残したギリシアの古代民族はミノア文明と呼ばれたクレタとエーゲ海文明から模倣した点が多いという点も一考すべき価値がある。大体にギリシアの神話は遠い西の彼方に存在した島々のことに言及しているのだ。

こうした神話や伝説をあたまから無視するわけにはゆかない。詳述の余裕はないが、アトランティスが存在した場所としてはどうも地中海の線が濃厚になってくる。研究家ルッソによると、紀元前1千年代に西部イタリアにすばらしい文明を築いた謎のエトルリア民族こそアトランティス人の子孫ではないかという。

カギを握る

謎のトト神

最後に見のがしてはならないものに、古代エジプトの神『トト』がある。これは科学と芸術の創造主で、文字の発明者であり、学問と建築の擁護^{ようご}



●クボタ・ミステリー・シリーズ●

あなたは知っていますか
こうすればすっかり変われる事を!

自己改造、自己コントロール用カセットテープ

心のクリーニングテープ(心の完全浄化法)

自分の心をおるがままに見つめていく
ことにより常に冷静な心でどんなもの事
にも対処できる自分を開発していきます。

- こころのイライラを静めたい方へ……
- こころの空しさや空虚感を消したい方へ……
- こころの怒りやあせりをなくしたい方へ……
- ……etc

文化放送取材分
同時収録

行動意欲増強・自信回復テープ

心身をリラックスし行動意欲開発イ
メージ訓練を実践していくことにより自分
に強い意欲と自信を植えつけていきます。

- 自分に大きな自信と意欲を持ちたい方へ……
- 障害にくじけぬ強い自分になりたい方へ……
- 無気力を克服していききたい方へ……
- ……etc.

SEI式 新自律訓練法 全9ステップ完全習得テープ

今までの自律訓練法は、自律神経そのものが弱
っているにもかかわらず、言葉で「強い」「強か
い」という自律訓練の結果から入っていること
に習得の困難さ、効果の低さ等の原因がありま
した。

SEI式新自律訓練法では、自律神経そのもの
の働きを内部から完全に活発化させていくもの
で、だれにも確実に習得できるように全体が構
成されてあります。

- 心身のコントロール力を高めたい方へ……
- はつらつと爽やかな自分を作りたい方へ……
- 疲れない丈夫な体を作りたい方へ……
- 確実な効果を高めたい方へ……
- ……etc

——従来の自律訓練よりをはるかに
高い効果を期待できます——

料金表

名 称	正価	分割の場合	テープ数
心のクリーニングテープ	4,800円		1個
行動意欲増強・自信回復	5,800円		1個
SEI式新自律訓練法テープ	22,500円	8,000×3回	6個

※お申込みはハガキが電話にてお申込み下さい。

(代金は現品到着後あと払い)

電話の場合は、月曜と祭日を除く

自己確立科学センター

〒160 新宿区荒木町5-9 津の守会館5F
TEL.03(357)7619(代)

者でもあった。

この神はエジプト第5、6王朝のピ
ラミッドの銘文『ピラミッド書』と
『死者の書』に出てくるが、遠い昔、
西方から来た神と考えられる理由があ
る。そしてトトは大宇宙を支える古代
ギリシャのアトラスと同じ性格を持つ
ものであった。これこそ偉大な文明を
有していた太古のアトランティス人の
象徴ではあるまいか。そして、その文
明の痕跡がなんらかの形でエジプトに
伝えられて、秘密の伝承かまたは知識
の源泉を知っていた少数の英才の一人
イムホテプが、アトランティスの巨石
文明の再現を試みたのではないだろう

▼サッカラの階段状ピラミッド



か。

悠久5千年の歴史を秘めたギザの大
ピラミッドが王の墳墓であろうがなか
ろうが問題ではない。これはかつて宇
宙の法則のもとに生きた栄光あるアト
ランティスの一大記念碑であったのだ
と解しても不合理ではあるまい。あの
数百万個の巨石を積み重ねた方法がど
のようなものであれ、人間の英知は測
り知れぬ太古から不変であったという
証しとして、今後もピラミッドは激し
い太陽のもとに永久にそびえ続けるだ
ろう。

(カラーページ及び本記事中の写真は筆者
撮影)

大実験・ピラミッドの地下

大ピラミッド建設の秘密は、その内部にはなく、誰も知らない地下にこそある。秘められた地下宮殿の入口はどこか。

斎藤氏を隊長とする少数精鋭グループは、ユニークな実験でピラミッド地下トンネルを探索した。



「動いた動いた。この地点ですよ。本当に『針金』が動いた」

はるばる持参した筆者手製の奇抜な実験器具。それを手にして、興奮の第

トンネルを探索！

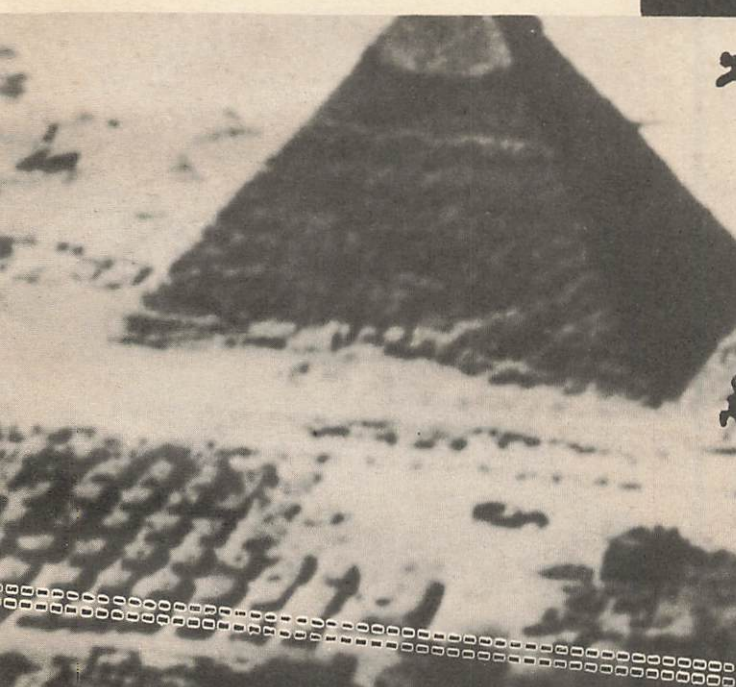
科学ジャーナリスト

斎藤守弘

一声をあげたのは川上隊員（以下、敬称略）である。真つ先に大ピラミッドの北西の隅にとりつき、実験の口火を切った。

そこは検査の対象として最初を選定した大ピラミッドの西の側面、そのいちばん端つこに当たり、さしも五月蠅くつきまとうラクダ使いやら自称ガイドの現地人も、ピラミッド正面入口からはずれるせいか、ほとんど寄りつかず、実験を邪魔されないで行ないやすかった。

探索は2回にわたって行なった。なにしろ四角錐のピラミッドには、



▶大ピラミッドの東側を測定中。段差のある場所で反応が見られる。



東西南北の四面がある。その西の側面ひとつの調査だけで3時間余り、砂漠の炎天下、じりじりと肌をやく日射しに耐えてである。とても一度では終わらない。

第1回目の探査は筆者を含めて隊員5名。第2回目の探査は全4名。いずれも現地カイロで筆者の実験計画に関心を寄せ、積極的に助力参加した気鋭の若者（注・ユニバース社主催宇宙考古学ツアー参加者）である。主なメンバーは川上英明（会社員、29歳）、石塚輝男（会社員、29歳）そして紅一点、高橋和美（16歳）と、まずは急遽編成の仮称『大ピラミッド秘密トンネル探査隊』の顔ぶれはそろった。

ところで、大ピラミッドの秘密トンネルといっても、あまり馴みはないはず。そんなこと初耳だという人も多いだろう。それもそのはず、それは筆者独自の推定にもとづく考古学的仮説であり、世界のピラミッド研究者の誰ひ



秘密トンネル

とり、まだ公然とはとなえていない説だからだ。

たしかに公然とはとなえていない。しかしながら真底、大ピラミッド建設の謎に挑む学者なら、だれしもつきあたる最大の疑問の壁でもある。大ピラミッドは一体、なんのために建てられたのか。これまでの定説どおり、内部の玄室に、建設者であるファラオのミイラを納めたのか。それにしては、それを疑わしめる各種の証拠（後出）があまりに多い。実際、謎だらけといっている。

とすれば、大ピラミッド建設の秘密はその内部ではなく、誰も知らない地下にこそあるのではないか。上つ面のピラミッド本体はたんなる巨大な墓標でしかなく、その地下にこそ未発見の、おそらく目もまばゆいばかりの副葬品を納めた大葬祭室を隠しているのではないか。

古来よりの大ピラミッドにまつわる伝説を分析してみたが、そうした地下の葬祭室に墓盗人が侵入した形跡はなく、したがって現在なお無傷のまま、秘密を保持して眠っている可能性が強い。

では、その地下の秘密室へ通ずるトンネルはどこにあるのか。すでにあらかた調べつくされたピラミッド内に無

いとすれば、当然、外部からの入口が考えられる。今回の実験目的は、その外部から通ずるトンネルの位置と方向を探索することにあった。

すでにこれまで、大ピラミッドについて無数の調査、研究が行なわれてきたにもかかわらず、なぜか、そうした目的をもった本格的調査は一切なされていない。今回の筆者らの探索実験がひとつのきっかけになり、今後、考古学者の眼があらためて大ピラミッドの地下に注がれるようになれば、筆者の本懐これに過ぎたことはないと思うのである。



さて、問題はその地下トンネルの探知方法だ。高価なエレクトロニクス装置を用意できればよいのだが、個人的な小規模な調査隊では、資金的にも労力的にもまず無理。もっと手軽で簡便な方法を採用しなければならない。

それにはうってつけの実験具があった。欧米で古くから知られ、実地にも使われて効果をあげているダウジング・ロッド（水脈探知棒）だ。実際、欧米ではこの手軽な方法を用いて、地下

▼大ピラミッド南西から撮影。地下トンネルの方向に小石を並べると、第2ピラミッドに続いているようだ。



の埋もれた未発見の遺跡をさがす考古学専門家さえ近年多くなっている。

これはある太さの針金をL字形に折り曲げたもので、いろいろのバリエーションがあるが、その一つは手に持つところが長さ15センチ、銅のチューブ

に差し込んである。水平に伸びた長い部分は45センチ、ここは標のままだの針金である。

今回、大ピラミッドの調査に筆者が用いたのは、これとやや寸法の異なるスタンダード型で、チューブ付きのもの

のと、そうでないものと2種類、いちおう実地検出用と確認用とに使い分けた。このL字形の針金を二丁拳銃のように両手で構え、調査地域をソロソロと歩いていく。

アメリカ、ミシガン州フリント市の

水道局では、この方法を使って、古い水道管の埋まった地点を探し出している。水道管の走っている場所に近づくと、針金の長い部分が、フラフラと磁針のように振れ始める。埋没地点を過ぎると、針金が開いて一直線になるので、すぐわかるのだ。

水道管を埋めたあと、地上の様子が大きく変わったため、目印を捜しにくい場所では、この方法は、とくに重宝される。

すでに述べたように、大ピラミッドの角で川上隊員が「本当に動く」と第一声をあげたのは、このダウジング・ロッドの自動開閉運動であり、この幸先のよい第一声により今回の実験に半信半疑、なおもいちまつの危惧をいだいていた一同、大いに元気づき、意気高揚したのである。

ついでながら、このダウジング・ロッドの自動開閉には、それを手にする人の超能力、あるいはそれに類したものは一切関係ない。なんでもないごくあたり前の人でも、信じられない程よく動くのである。ちょうど地磁気と磁針の結びつきのように、それは今のところ未発見の大自然エネルギーにつながっているのであり、それによる外的な力の結果、ひとりだけで動くと考えられている。

アメリカ、コネチカット州のミルフォード給水会社は、この方法を用いて過去30年間、いちじるしい成績を上げているという。

イェール大学の物理学教授ヒュー・ロビンソン博士はいう。

「そういうものは、古代から伝わる水脈占いの一種だろう。物理学的なものは科学的に、それらを説明することは今のところまだ知識不足というほかはない」

水脈占いというのは、少なくとも7千年か、それ以前から伝わる魔術的方法といつてよく、やはり地下の水脈を探り当てるのに使われた。

術者は、Y字状になった小枝の2つの枝分かれ部分を、それぞれ手のひらを上向きにして握りしめ、そのY字の合している部分を45度の角度で上に向ける。そして、ゆっくりと歩調をとって歩いていく。

その目は、じつと小枝にそそがれ、一種の催眠状態にあるのがわかる。

突然、手が激しくわななき、樹皮がむけるほど強く枝を地面に突き立てる。そこを掘ると、不思議に水が発見されるのである。

この水脈占いの不思議を調査した人類学者と心理学者は「小枝の動きについては、なんら未知のものはない」と

断言し、すべて無意識の筋肉運動によって説明できるといっている。

しかし、それにもかかわらず、ミルフォード給水会社は、この方法にヒントを得て、いまま実績を上げている。

げんに日本でも、15年前初めて筆者が紹介した記事(『週刊読売』)にもとづき、今も千葉の水道局では現場での針金式ダウジング・ロッドに重宝している。



さて、われわれの一行がピラミッドの現場で実験中、偶然、地元カイロの新聞記者の車が通りあわせた。すでに地下トンネルらしい反応をさぐりあて、その延長がどの方向に、どこまで続くのか、追跡にかかった頃だった。

「一体、なにをやっているのか」

「御覧のように、このあたりのダウジングだ」

「それは地下水を探す道具ではないか」

さすがにこの記者はダウジングを知っていた。だから、なおのこと首をひねったのだろう。

「こんなピラミッドの近くに地下水は

ない」

「いや、ピラミッドの地下にあるかも知れない秘密の隠しトンネルを探しているのだ」

「このあたりに、地下トンネルなんかはない。探しても無駄なことだ」

思わぬお墨付きを貰ったようなものだった。じつはあまりに強く、針金ロッドに反応が起こるので、大ピラミッドの確認されている地下への斜道の一部を誤認しているのではないかという疑問が、一同の胸をよぎっていたからだ。あとで確かめたのだが、その斜道は北側に入口をもち、その時、われわれの調査している西側には、大ピラミッドの外壁遺構のほか、それらしい構造物はたしかに皆無なのである。

「だいいち、水を探すためのダウジングで、なぜ地下トンネルが見つかるのか。きみらのやっていることはクレージーだ」

こちらの要領を得ない、ブロークンな英語のせいもあるが、新聞記者はあきれたように首を振り振り、車に引っこみ走り去った。

けれど、さすがの記者も知らなかったよ。この簡単な方法で、かつてベトナム戦争の時、米海兵隊はジャングルに仕掛けられた巧妙なおとし穴や地下トンネル、あるいは地雷のありか

まで探し出した。

このように針金ロッドは水脈だけに限らず、もっと広い範囲、つまり地下の空洞の探知にも応用できることが確認されているのだ。



貧弱すぎる 王の玄室

筆者は地下トンネルの探查にかかると、まず対象である大ピラミッドの内部に入り、王のミイラを安置した部屋といわれる玄室をさぐってみた。そして、その観察から、ますます地下トンネル存在への傾斜をつよめた。

その最大の根拠は、想像よりもはるかに王の玄室が狭いことだ。私の実感では八畳の間2つくらいしかない。

天井は高いが、殺風景なほどガラランとしている。四隅には縦型の蛍光灯があり、いちばん奥に一つだけポツンと置かれた、あまり大きくない石棺を冷

やかに照らしだしているだけ。ほかには黒っぽい花崗岩の壁ばかり。

「これが古代空前の大帝国を築き、何十万人の労働者を酷使した大王の生涯の最後に望んだ安眠の部屋なのか」

いや、違う。そんなはずはない。こんな狭い部屋は空前の大帝国を築いた王者にふさわしくない。そう叫ばずにはいられない何かが、この部屋にはあった。

これまでの常識のように、大王の墓室と考えるには、不審な点が多すぎるのだ。

大ピラミッドの一代前、第3王朝最初のサッカーラの階段ピラミッドの傍らには、当時の大臣クラスの人物の墓がある。現地を訪れて中へ入ってみたが、じつに豪華なものだ。一つのマスタバ（古代の墓）の中に部屋が十幾つもあり、なかには30室に及ぶものすらあるという。

どの部屋も壁から天井まで、ぎっしり余すところなく豊かな色彩の壁画で

伸たられ
方向を
掘るの
トンネル
地下に
びてい
どると
いいも
しい

おおわれている。大臣クラスですらそうなのだから、絶対権力の帝王の墓室の豪華さは想像するにあまりある。

ところが、それに比べて大ピラミッドの王の玄室は、あまりに貧弱なのだ。墓室なら必ずあるはずの再生の祈りをこめた壁画が、かけらすらない。大ピラミッドよりも古く、野外の空気にさらされているサッカーラの墓室でさえ、壁画は鮮明に残っている。もし描かれたのなら、大ピラミッドの内部にも、それが鮮明に残ってなければならぬ。

だが、人の手の触れぬ天井にすら、そのかすかな痕跡一つ、見つからない。はじめから描かれてないということ、は、墓室として異常であり、王者のミイラ室とはとても考えられない。

だいいち、王の玄室へ入るための上昇通路や玄室の入口があまりに狭すぎる。カイロの国立博物館に陳列されている有名なツタンカーメン王の遺物を観ると、大きなベッドの類いまで持ち込んである。なのに、大ピラミッドの狭い上昇通路は、ほんの小物しか持ち込めない。そんなことでどうして莫大な黄金、財宝に在位63年間にこまれていたクフ大王を満足させられようか。

狭い上昇通路では黄金の棺に入った王のミイラすら、ろくに運び込めまい。

玄室の隅っこの方にある石棺を見ても少く、大の男がやっと横になれるかなれないか。ミイラを保護するための何重もの内棺を、とても収納できない。いくら時代にへだたりのある後世とはいえ、王家の谷にあるツタンカーメンやセティ1世などの巨大な石棺と比べれば、誰でも首をひねるだろう。

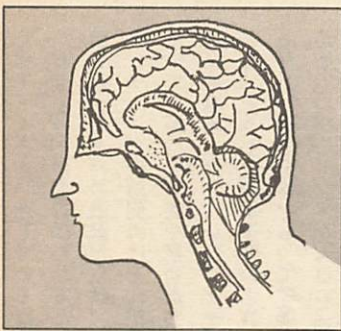


地下宮殿の 巨大墓標

伝説によると、一時期、エジプトを征服したイスラムの太守アル・マムーンが、大ピラミッドの壁を破って侵入した時、玄室の真ん中には人間の形をした一つの像があり、中にミイラが入っていて、黄金の胸板と鶏卵大のルビーをつけていた。ほかに多くのエメラルドや金貨(?)があったという。それが果たしてクフ大王のミイラだったのかどうか。

大きな疑問の一つは、玄室の唯一の遺物である石棺について、まったく触れてないことだ。石棺は玄室の入口よりも大きく、ピラミッド建設の中間段階で早くもそこに安置されたのであり、後から運び込まれたのではない。だからたとえミイラを収納した石棺で

キミの かくれた能力 を引き出し、 頭脳をもっと ヨクしよう!



頭脳強化通信講座

◎ アメリカのカール・ヘニングの脳生理学・深層心理学理論にもとづく能力開発システム「ボータ原理」によって、宇宙瞑想・イメージ心理法の技術を習得できます。

◎ 脳の眠っている細胞を活性にして、記憶力・思考力・数理解力・創造力・分析力・集中力・行動力・指導力などの能力が強化されます。

◎ 1日10分の自宅訓練を短期間行うだけで十分効果があがる最新教材を使い、段階を追って基礎から一步一步積み上げ、高度な技術を習得できるよう、適切な指導をいたしますので、誰でもスグできます。

説明書
無料

ハガキに住所・氏名を明記の上、お申込み下さい。

申込先

〒104

東京都中央区銀座2の8の17
中川ビル1号室

唯超学会U係

なかったにしても、その存在については必ず触れなければならない。だが、ほかのルビーとかエメラルドとか金貨とか、クフ王の古王朝期には異例ともいえる財宝ばかりあげている。

したがって、この時、アル・マムーンらが発見したのはクフ王のミイラではなく、ずっと後代に墓守役のサイスの祭司たちが運び込んだ、だれか分かっては別々のファラオのミイラだったのでないか。もし、そうでないとすれば、大ピラミッドの玄室自体の役割を暗示する、何かの神像だったのか。

あるいは大ピラミッドの内部のどこかに、今なお未発見の隠し部屋があるのではないか。そう考える研究者もい

るが、写真で見ると違い、現実には大ピラミッドを見上げると、意外に容積がない。傾斜角のせいもあるが、実際に全体の容積から計算しても、隠し部屋の余地はあまりないようだ。

一つの可能性は、王の玄室が中心部よりやや東に偏っていることだ。

北側の正式の入口とちょうど対称的な位置、すなわち南側に、もう一つの入口が隠れていて、そこからやや西に偏った中心部に、すれ違いの形でいま一つの玄室が存在できる余地はある。

しかし、どちらにしてもおそろしくクフ大王ほどの超スケールのファラオともなれば、そんな狭い部屋に閉じこめられることは嫌うにちがいない。

数年前発見された古代中国秦の始皇帝のような、壮大な地下宮殿の設計を命ずるだろう。

だが、古代エジプトの絶大な王権を維持するためには、人知れぬ砂漠のどこかに、その地下宮殿を造るわけにはいかない。万人の目に仰がれながら、しかし、内部へは誰一人寄せつけぬようにしなければならぬ。これがそれまでの階段ピラミッドを廃し、あらためてニュー・タイプの大ピラミッドを設計した目的の一つではなかったか。

もはや、死後、天へ昇る王者のための階段(階段ピラミッド)というよりも、むしろ、天から降りそそぐ太陽神ラーのエネルギーを一身に集中させるための巨大装置、そうした葬祭観念の一大転換が、大ピラミッドの設計の背後にひかえているのだ。

つまり、大ピラミッドは大王の墓室

本体ではなくて、その地下深く、壮大なミイラのための宮殿を隠す巨大な墓標なのではないか。クフ王の莫大な財宝は、その地下宮殿の中に今なお手つかずのまま眠っているにちがいない。

では、その地下宮殿への入口はどこにあるのかというのが、すでに述べたように、今回、筆者の組織した調査隊の目的であった。直接的な手がかりは何もない。過去5000年来、墓盗人どもが失敗してきたように、それは巧妙に隠されている。

しかし、大ピラミッドは生前に完成し、大王のミイラは死後でなければ葬れない。どこかに秘密の入口、おそら





▲大ピラミッド西側で地下トンネルらしい反応あり。さっそく計測する。

▶これが「大ピラミッド秘密トンネル探査隊」のメンバー。左から川上、高橋、石塚隊員。



念のため、針金ロッドの動く場所では、隊員全員がわかるがわる試し、確かめた。これで、可能なかぎり誤差を少なく、測定の精度を高められるだろう。

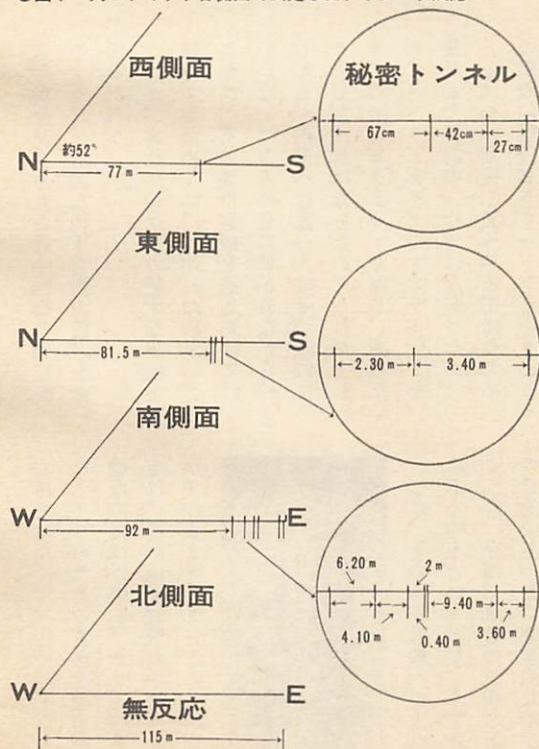
最有力な反応があったのは、大ピラミッドの北西の角から77メートルの地点。予想では底辺230メートルの中心点のあたりと思われたが、だいたい北へ偏っている。

それは設計者によって意図的になされたことであり、たぶん墓盗人たちを

く地下トンネルが通じているはずだ。ピラミッドの周辺はいたるところ崩壊したマスタバの遺跡だらけ。とくに大ピラミッドの西側にはそれが集中していて、かつて貴族や祭司たちのための高級墓地となっていたことを示している。そうした崩壊遺跡のど真ん中にあたかも墓地全体をもって守護されるが如くのびるトンネル入口を探すのは、われわれの貧弱な装備では不可能に近い。が、地下トンネルの位置、所在だったら、それを探知する方法はあるというわけで、ダウジング・ロッドの実験に勇躍とりかかった。

じつにラッキーだった。測定に2日を要した大ピラミッド四面のうち、最初に手がけた西側で、最有力な反応が早くも得られたのだ。

●図1 大ピラミッド各側面で測定したダウジング反応



はぐらかすための、クフ大王の卓越した智恵だったのか。

それとも、ピラミッドの全重量が地下宮殿にかかるのを避け、地上のピラミッドとはややずらした位置にあるのだろうか。

ギリシャの歴史家ヘロドトスの記録によると、大ピラミッドは石材運搬道路や地盤をならすのに10年、巨石を構築するのに10年を要した。なぜ、それほど地盤工事に時間をくったのか。むしろブルドーザーがなかったからでも、また、大ピラミッドの底面の芯に今も残る自然の大岩体を整地するためでもなかったらう。地下の葬祭室、す

なわち地下宮殿を作っていたからだ。そこへ通じる地下トンネルの幅はダウジングの結果、約1メートル半と測定された。ピラミッド内の通路よりやや広い程度。だが、トンネルの高さまでは、この方法によるかぎり確定できない。

この西面の地下トンネルの反応は、一方の壁と思われるほうは強くあらわれるのに対し、もう一方のほうは測定値が3つに分裂する。けれど、その間隔は42センチ、27センチと狭く、僅少差である。どうやら長年月の間に壁の一部がわずかに崩壊しているのか。このトンネル反応は西の方、すぐそ

キルリアン写真 & バイオフィードバック



h.v. fingerprint image

キルリアン写真セットTKP-101

素晴らしいキルリアン写真の世界をその目で確かめて下さい。カメラは必要ありません。

¥28,650(送料共)付属品、説明書付。

キルリアン写真キットTKP-102K

キルリアン写真セットTKP-101の高圧コントロール部及び付属品のキットです。あなたのセットを組み立てて下さい。

¥12,200(送料共)説明書付。

ESPテスター TES-03

エレクトロニクスを応用したESPテスターです。あなたの子知能力を測定できます。

¥3,500(送料共)説明書付。



バイオフィードバック・モニターBW-300

アルファ波を感知し、トレモロ音で知らせます。ストレスを取り除き、集中力を養えます。

¥18,500(送料共)説明書付。(輸入品)

カタログの御請求は下記まで

(株) テクノニクス

〒326 足利市鹿島町1156 ☎0284(62)8073

ばに迫るサハラ砂漠へ向かってどこまで続いているのか。それを探れば入口の位置も見当がつけられるのだが、そんな余裕はなかった。この西面の探査だけで3時間余りを要したのだから。簡単な方向調査から、この地下トンネルは砂漠へ向かってY字形に枝分かれしているかもしれない。また、近くのカフラー王(クフ王の息子のひとり)の第2ピラミッドと連絡するトンネルもあるのではないかという結果がでている。

ただし、後者のそのようなピラミッド間連絡トンネルについては、まだ不確実な要素が多い。なぜなら、それは

西側面の南端の角で強く反応し、最初に川上隊員の発見した北端の角の反応と類似するからだ。その共通性からすれば、どうやらピラミッド・パワール類似の未知のエネルギー反応と考える方が、トンネル反応より妥当のようだ。東側にも反応はあった。ナイル河に面し、しかも古代の参道はこちらの方にこそあったのだが、そのダウジング結果は大きく3線に分裂。いずれもその延長上に地盤の線状の浅い凹みがあり、一種のクラック(裂け目)反応と思われるので、探査対象のトンネル候補にはならなかった。

同じく南側ではさらに7本に分裂。

これは近代のマスターバ遺跡の影響から分離できず、有意意味なデータとはいえない。

大ピラミッドの正式の入口のある北側は完全に無反応。

これらの2日間にわたる全面測定から、大ピラミッドの隠れた秘密トンネルがあるとすれば、やはり西側の反応を第一候補にあげねばならぬと結論できる。

しかし、この西側ではほかにも幾つか強い反応が検出されると、隊員たちは報告したが、その重要性に気づいたのは帰国後であった。すでに20年ばかり前、南側で発見されたクフ王の2艘

の「太陽の舟」のほか、まだほかに、そうした葬祭用の模擬船が2、3艘隠されているはずであり、この最有力候補地と目されるのが、この大ピラミッド西側だったのだ。

ところで、もう一つの興味深い可能性がある。ピラミッド四面における異常なダウジング線の分裂。それはあるいは大ピラミッドの超重量による地盤岩体の、おそらく潜在的な網目状の割れ目を暗示しているのではないか。

こうした幾つかの可能性があるが、その焦点を絞り、最終的な厳密な判別をおこなう作業はこれからの第2、第3の探査隊に期待したい。

L になるう!!
 日本全国・世界各地の仲間が
 キミの電波を待っている……
 ハロ- CQ, CQ……から J 1 Z E
 A、ジュリエット、アルファ、ワグ、ゼブラ
 エロ、アルファ、お聞きのハム局応答ね
 がいます。スタンバイ中。バイ(どうぞ)

JHCCS
 75
 75

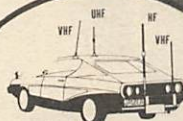
楽しみつきないハムの世界

『JA1ZEAさん、こちらJR6△△△。あなたの電波は59(ファイブ・ナイン)で沖縄県是那覇シティに入感しております……お初にお耳にかかりますが、QSO(交信)よろしくおねがいいたします。どうぞ……』

『電話級ハム免許』は〇×式のやさしい試験、小中学生の合格者も多数います。ラジオ、模型、BCL等の好きな方なら短期間の準備でOK。

—こんなふうに《電波の声》で仲間を呼び出して自由にラグチュー（おしゃべり）を楽しめるハム（アマチュア無線）が、いまヤングの間ですごい人気。マイクにむかって呼びかけるキミの声が天空をかけ一瞬のうちに世界各地の仲間（100万人以上！）

↑ クルマとハムを結びつけた《カー無線》は人気最高！ 運転免許を取ったらキミもぜひやろう。



●海外交言で外国の友達もたくさん
できるし●ローカル(近辺)の仲間と
のラグチューもゴキゲン●また学校
その他のクラブ局や野外交言でも活
躍できる●カラフルなQSL(交信)
カードあつめの楽しさはBCLFファン
なら見逃せないところ●ハムコン
テストやフォックスハンティング等
各種の催しも盛ん●手がるで予算少
々のハンディー局も急増中!



ハムガイド集 無料贈呈中!!

▶今すぐ右のよ
に書いてお申
▶読むだけでも楽しい
資料表! 急送します

▶今すぐ右のようにハガキ
に書いてお申込み下さい。
▶読むだけでも楽しい『最新ハム
資料表』急送します。

「ハムガイド」送れ
二番・住所
氏名・年令

58 東京玉川局
〒 私書箱19号
CQアマチュア無線
普及会H7係
20円

CQアマチュア無線普及会

QTH.東京都世田谷区尾山台3-9-5

〔CQハム☎サービス 03・704・4986〕

ブックプラザ



Book Plaza

エーゲ海に仮説を追う

アトランティス大陸沈没の謎

小松左京監修

謎の大陸アトランティスはどこに存在したのか？ ギリシャの哲学者プラトンの記述に端を発するこの問題に関しては、一般によく知られている大西洋説をはじめ、北海説、スペイン説、スウェーデン説、アフリカ説、あるいは南極説に到るまで諸々の仮説が唱えられている。

その中で最近注目をあびているひとつの仮説がある。それはギリシャの地震学者、A・G・ガラノプロス教授によって主張されている説で、エーゲ海のサントリーニ島が、アトランティ

ス伝説のモデルになったのではないかとされているのである。サントリーニ島は、かつて大火山がそびえ立ち、推定年代紀元前1500〜1400年に大爆発を起こしている。そして現在、40メートルにも及ぶ火山灰層の下から古代都市アクロティリの巨大な遺跡が発掘されている。つまり、紀元前15世紀にサントリーニ島を襲った大火山爆発とそれに伴う大津波や大地震が、サントリーニ島の古代都市を壊滅させ、クレタ島に栄えていたミノア海洋文明をも衰亡に導いたのである。この大災厄によるミノア文明圏の滅亡が、アトランティスの伝承として語りつがれた、というのがこの仮説である。

本書は、この仮説を追跡するため、去年の6月、日本テレビ

日曜スペシャル取材班が、SF作家の小松左京、地震学者の竹内均氏らと共にエーゲ海に徹底取材した成果に基づくものだけあって、写真が豊富でいけば「読むテレビ」として楽しみなが、アトランティス＝サントリーニ説の全体を知ることができる。ただ欲を言うなら、他の説、少なくとも一般的に知られているアトランティス＝大西洋説との長短の比較検討があってもよかったろう。(T)

(日本テレビ放送網株 出版部 1800円)

無限の宝庫を開く

R・E・デーヴィス著

鶴田昌世訳

(日本教文社・850円)

本書は、真理の自覚に到る道を、段階をおって簡潔に説き明かした、自学自習用のテキストである。

真理の自覚とは、神の本性、個生命の本性、さらにその個生命と神の創造された万象との関

係の完全な理解のことで、この全体的自覚に到達することによって、霊的に向上し、繁栄をはかることが、目ざされている。超感覚能力の活用や、創造的想念描出法など、読むだけでなくなかなか興味深い。ただ、言うまでもないが、実践しなければ無限の宝庫は開かれるはずがない。(N)

算命占星学入門

和泉宗章著

(青春出版社・650円)

東洋易学は、中国の「鬼谷子算命学」により頂点をきわめた

ブックプレゼント

2年前、イタリアのミラノ近郊で化学工場が爆発、付近の住民を



強制疎開させたというニュースが報道されたことがあります。この事件の迫真のルポルタージュ『夏の死―毒雲の流れた街』(アン・ヴィエル・1300円)が刊行されました。著者はUFO事件の古典的名著『中断された旅』のジョン・G・フラザー(野間宏訳)。化学災害時代の恐ろしさを痛感させてくれる本です。

この新刊を抽選で愛読者5名にプレゼント。12月15日までに(当日消印有効)本誌ブックプラザ係までハガキでご応募ください。当選者は本誌2月号に発表します。

近い将来、選ばれた異星人たちがやってくる。そのための食糧となる植物を！——宇宙人の頼みでエルミニオ夫妻は、妖精のような小人に案内されて広大な荒地を、全財産を投じて購入した……。

●日本テレビ
ディレクター

矢追純一



昨1977年11月5日、私は、さんと輝く太陽のもと、青い海とビキニ姿の美女で有名なブラジルのリオ・デ・ジャネイロにいた。

乗っていた自動車ごとUFOにさらわれ、元のハイウェイに戻されたが、いまでも宇宙人とコンタクトを続けているという、非常に興味深い宇宙人誘拐事件……「エルミニオ・レイス夫妻事件」の取材にやってきたのだ。ここ、豪華なホテル群のたち並ぶコパカバーナ海岸のすぐ近くに、私の10年来

地球人にまじって生活している宇宙人がいる！

グランチ夫人は非常にセツカチで、大柄な身体をもてあましきみにゆすりながら、ものすごい早口でしゃべりまくる。そのうえ、興味の焦点があちこちにとぶので、話の内容も時としてパッパッと飛躍し、なれないうちは話を合わせるのに苦労する。

「私の調査では、このレイス夫妻の事件は、とっても信ぴょう性が

の友人、イレエネ・グランチ夫人が住んでいる。

夫人は、世界最大のUFO調査組織といわれるAPRO（空中現象調査機関）のブラジル支部長で、昼は英語教師として働き、余暇はUFO調査活動を熱心に続けている、たいへんなバイタリティーの持主だ。

私は、グランチ夫人の快適なアパートメントで、日本とブラジルのUFO現況を報告しあいながら、レイス夫妻を待っていた。

高いと思うの。だって、ご主人のエルミニオは、事件に出くわすまでは、キリスト教プロテスタント教会の牧師をやっていた信望の厚い人でしょう？それに、今は牧師をやめて、大きな土地を買って耕しているんだけど、それだって大変な借金をして買ったのよ。ほんとうに宇宙人が指示したのでもなければ、そんなバカなことをする人なんていないわよ。そうでしょう？……」
「ちょ、ちょっと待って。その土地を買ったことと、宇宙人とどういう関係があるの？」

「あら、まだ言っていなかったかしら？レイス夫妻はね、何度目かに宇宙人と秘密の場所で会った時、ここから遠い、ペロリゾンテ市の郊外に大きな土地を買って、指定された植物を育てるように言われたの」

「へーえ、何のために？」
「それがね、近い将来、何人かの選ばれた宇宙人が地球へこっそり移住する計画があるんですって。その時の食糧確保のためだというのが」

「へーえ、すると宇宙人は、地球で生活するつもりなんですか？」

「今でも、地球人にまじってあたりまえに生活している宇宙人は大勢いるってきかされたらしいわ。それも、いろいろな星からやってきているんですって」

レイス夫妻は、これまでに何種類かの異なった星からの宇宙人と会っているという。なかには、宇宙人に使われているらしい、美しい姿の小人……我々が昔から童話やおとぎ話で聞かされてきた、妖精のような小ビト人間にも会っているというのだ。

私は、ますます、今日のインタビューが待ち遠しくなった。

その時、ドアが開いて「こんにちは」と当の本人が現われた。

女中の案内で入ってきたエルミニオ

ブラジルの牧師が宇宙人の指示で農夫に!

・レイス氏は中肉中背、精かな身体つきで色は浅黒く、やや額がはげあがっているが、優しいような眼をした紳士だ。

奥さんのビアンカさんは、なかなかの美人で、

「日本からいらしたんですって? 遠いところをどうもご苦労さまです」

と、にこやかに握手してきた。10歳ぐらいの眼のクリッとしたかわい子の子を連れてくる。

「娘のマリアです。こんにちは、を言わないの?」

と、たしなめられて、マリアは恥しそうにビヨコンとおじぎをした。まだ初対面の人に照れる年頃だ。

ご主人のエルミニオは43歳。奥さんは31歳だというが2人とも年齢より若々しい。両方

とも再婚同士

だそう

で、そ

れぞれ

前の結

婚の時

の子供がいる、

ということだが、

とても仲むつまじく、羨しいくらいだ。今は牧師をやめて、英国の百科辞典のブラジル語版編集責任者という地位にあるというエルミニオは、教養を感じさせる深みのある声で静かに話した。

**周囲が白熱して輝くと、
車は上に吸い上げられた**

「あれは、1976年の1月12日のことでした。私たち夫婦は、このリオ市から隣りの州のペロリゾンテ市に行く用があつて、愛用のカルマン・ギアで、リオリバイア・ハイウェイを走っていたんです。

夜の11時半頃でしたか……遠く真つ暗な夜空に、なにか光るものが、チカチカとまたたきながら動いているのを見つけました。私は、助手席のビアン

あれは、1976年の1月12日のことでした……とエルミニオ氏は静かに話した。

かに、あれは何だと思う? 星にしては光りかたが変だねって言ったんです」

「でも、私ははじめから星にぎまってるわ、と気にもとめなかったんです。

それまでは、UFOのことなんか、まったく私たちには関係のない存在だと思っていましたから、それがUFOだなんて夢にも思いませんでした。

そのうち、その変な光は見る見るう



ちに、こっちへ向かって飛んではじめたんです」

とビアンカは、当時をありありと思い出すかのように、大きな眼をいっぱいに見開いた。

ぐんぐんと近づいてくるその光体は、飛行機やヘリコプターなんかとはまったくちがっていた。翼もプロペラらしいものも見えず「球を半分に切ったような形」をしていて、「下のほうに幅の狭い帽子のつばのようなもの」が張り出している。

「ひょっとすると、あれがよく言われるUFOとかいうものだろうか？」

そう思ったとたん、その物体は急にスピードをあげ、まるで2人をめがけて飛んでくるかのようにものすごい速度で一直線に近づいてきた。

「ウワァ、助けてくれ！ ぶつかるぞ！」

エルミニオは、思わずブレーキを力いっぱい踏みつけた。そのとたん、車は、ものすごい勢いで横すべりしながら、ハイウェイの脇に急停車した。

その怪物は、車との衝突をさけると、そのまま、上空に静止したのを見えなくなってしまう。あたりには、何の音もきこえてこない。ハイウェイを通過する車もなければ、遠くに人家の明かりさえ見えない。

妙にシンとした不気味な静けさだった。

その時、上空から柔らかな光が静かにおりてきて、車のまわりをゆっくりと包みはじめたのだ。

何だかわからない奇怪な現象にすっかりおびえてしまった2人の眼に、ウインドウガラスを通して、車の周囲がすっかり白熱し異様な明るさに輝きはじめるのが見えた。次の瞬間、驚いたことに、車はひとりでに浮きあがり、ぐんぐんと上に向かって吸い上げられはじめたのだ。

「私たちは、あまりのことにびっくりして声も出ず、抱き合っただがガタふるえていました」

レイス夫妻は、そのまま、いつの間にか気を失ってしまったのだ。

次に気がついた時は、車ごと、巨大な格納庫のようにだだっぴろい、円形の部屋に入れられていた。

「ここはいったいどこだろう？」

エルミニオは、車のフロントシートに座ったまま、おそろおそろあたりを見回して、「アッ！」と小さく叫んでしまった。

キラキラとまぶしいばかりに照らし出された

広い室内の遠くに、カーブした

巨大な壁に沿って同じ半球形の帽子のような形をしたUFOが、何機も、整然と並んでいたのだ。

UFOは、その底部から、3本の着陸脚のようなものを出して、ゆかの上に静止している。

「さっき、我々が吸いこまれたUFOの中だろうか？」

血液の循環系と骨の数が 遠くクレルマー星人

そこには、背の高い美しい顔だちの男？が、ほほえみを浮かべて立っていた。「ウ、宇宙人だわ！」

ビアンカは、恐ろしさに車の助手席に身を押しつけるようにしてちぢこまった。

男は、身長2・1メートルくらい。全身を

ピタリとフ

した銀色の宇宙服のようなものに包んでいる。

髪の毛は黒く、彫りの深いノールな顔だちに、輝くような明るい

それにしても大きかった。

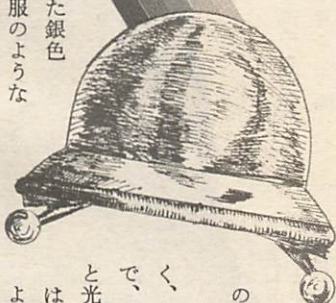
「ひょっとすると、あの時のUFOごと、もっと巨大な母船の中に連れてこられたのかもしれない……」

あまりのことに呆然としていたエルミニオは、とつぜん、車のドアがサッ！と開けられたのに驚いて腰を抜かしそうになった。

緑色の瞳が光っていた。

見ると、宇宙人は、ニコニコと害意のないようすで、2人に出てくるように手まねきしている。

エルミニオは、意を決してビアンカの手をひっぱると、車の外へ出た。



そこは想像以上に広く、チリひとつない清潔さで、天井もゆかもキラキラと光り輝いていた。宇宙人は、ついてこい、というようなジェスチャーをするとスタスタと歩き出した。2人がしかたなく、あとについていくと、そのUFOの格納庫らしい部

屋を出て、長い廊下を通り、一つの部屋にたどりついた。

そこは、壁も天井も銀色に光り、おびただしい数のスイッチや計器盤のついた器械が、あちこちに配置されている。宇宙人は、2人に座り心地のよさそうなソファをすすめた。

座ってみると、まるで身体が沈むように、ふんわりと包みこまれて、イスに座っている感じがまったくない。まるで空中に浮かんでいるようだった。

やがて宇宙人は、おびただしい数の電線がつながれた、銀色のヘルメットを持ってくると、やさしい手つきで、夫妻にかぶらせた。

そのとたん、驚いたことに、2人の脳に直接響くように声がきこえてきたのだ。

「こんにちは。ようこそ私たちの宇宙船へおいで下さいました……」

見ると、どうやら、さっきの宇宙人が話しかけてきているらしい。

「お驚きになったでしょう？ 今、頭にかぶっていたいているのは、言語翻訳機とでもいいましょうか……どんな言葉で話しても相手に通じるように特に設計された器械なのです。

私の名は「カラン」、
「クレルマー」といいう星からやってきました……」

そして、この「カラン」は、

◎自分たちが、我々地球の属する銀河系とはまったく別の、遠い銀河系にある巨大太陽をまわる惑星から、はるばるきたこと。

◎彼らが「クレルマー」と呼んでいるその星での社会体制、科学、哲学、習慣などが、地球のものとまったく異なっていること。

◎「クレルマー星人」は、外見的には地球人と変わるところはまったくなく、ただ、血液の循環系と骨の数がちがっているだけ……

などと話したあげく、驚くべきものを見せてくれたのだ。

「ほら、これを見てもらいなさい」

「カラン」が、つぎ目のまったく見えない、柔らかな光沢を持った宇宙服の袖をまくりあげたとたん、

レイス夫妻は、思わずアッ！ と大声で叫んでしまった。

「カラン」の腕には、血管が太く浮き出ていて、なんとそれが気味の悪いことに十文字に交差しながら、いく重にも重なり、肩から腕の先へと続いていたのだ。

「私たちの心臓は、あなたがた地球人の

ものところがって2つあります。そのために、腕を走る血管も、十文字に交差する形で配置されているのです。

だから、この地球に住みついている私たちの仲間のクレルマー星人は、正体が知られることのないように、夏でも長袖のシャツを着るようにしているのです」

宇宙人に初めて会ったときは、本当に恐ろしくてちこまてしまいました……と語る夫人のピアンカさん。



「え？ あなたがたは、もうこの地球に住んでいるんですか？」

「ええ、ほんの一部のボランティア（志願者）たちですが、世界のあちこちに分散して、あなたがた地球人の生態や、地球の資源を研究するために移

住してきています。病院で検査でも受けないかぎり、私たちが異星人だということは、わかりっこありませんからね……」

と「カラン」は、ほほえんだ。

小人型、巨人型異星人は それぞれの星の重力の差だ

何ということだ……。

いっ

たいこの地球上には、どのくらい
の人数の宇宙人
が、ひそかに人間
にまじって
生活し

「それは、ブラジルにもたくさんいます。何人が、どこにいるということ
は、まだお話できませんが、いずれ時期が来たら、おわかりになるでしょう。ただいえることは、この地球上に生活しているのは、私たちクルルマー星人だけではないということです」

「なんですか？ まだほかにも、来

ているんですか？」

「ええ、それもいざれわかる
でしょうが、いろいろ
な星から来た人

々が、あ

なたが

たにま

じって

生活し

ているこ

とは確か

す」

「いったい、どこの星のどんな人たちがいるんです？」

「それはいちいちお話ししても無駄でしょう。どこの星ということをおあなたが知っても、どうなるものでもないでしょう？ 星の名前だって、その星人が勝手にそう呼んでいるというだけで、あなたがた人間にとっては、全然別の名前か……あるいは、あなたがたがまったく知らない未発見の星だとい

うこと

さえあ

るので

す。た

だ、み

んなそ

れぞれ、

多少の

肉体的

構造の

ちがい

はあッ

ても、

基本的

には、

人間と

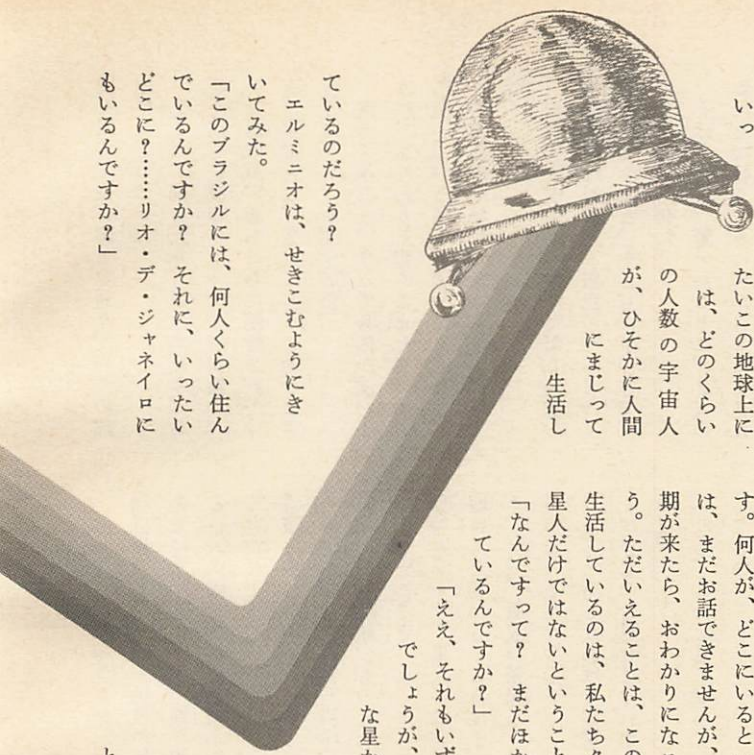
同じよ

うな姿

をして

いるので、外見で区別するのはむずかしいでしょう。

それに、あなたがた地球人は、我々異星人が、信じられないほど遠い星からやってきているというだけで、ものすごくとびぬけた科学力を持つ神様のような存在として考えていますが、そうではありません。我々異星人も、地球人と基本的にはほとんどちがわないのです。ただ、科学の指向した方向がちがうのと、我々の科学がホンのちょっと地球より進んでいるというにすぎ



ているのだろうか？
エルミニオは、せきこむようにき
いてみた。
「このブラジルには、何人くらい住ん
でいるんですか？ それに、いったい
どこに？……リオ・デ・ジャネイロに
もいるんですか？」

ないのです」

そして「カラン」は、レイス夫妻をこうして無理につれてきてしまった非礼をわび、これは、地球人の生理的、肉体的構造をもっと詳細に研究するために、定期的に行なう科学的調査だからと2人に協力を求めたのだ。

レイス夫妻は、こうしてとらわれの身となつてゐる以上、反抗してもムダだと観念して、「あまりひどいことはしないでくれるよう」頼んだ。

そのとたん、脳の奥にキーン！という金属的な音が響いてきたと思うと、2人は、徐々に意識を失つていつてしまったのだ。その後、エルミニオは、数人の宇宙人たちが、テーブルのようなものに寝かされた自分のまわりをとりかこんで、忙しそうに動き回っているの

を、うつすらと覚えてゐる。

驚いたことに、宇宙人たちは、一人残らず同じ姿、同じ格好をしていて、区別がまったくつかないほどだった。

また、この検査中、エルミニオは、何かの折に、骨格のことについて、宇宙人に質問し、

◎彼らは、地球人より、はるかに多い本数の骨を持っていること。

◎それは、どうやら、「クレルマー星」での重力のせいらしいこと。

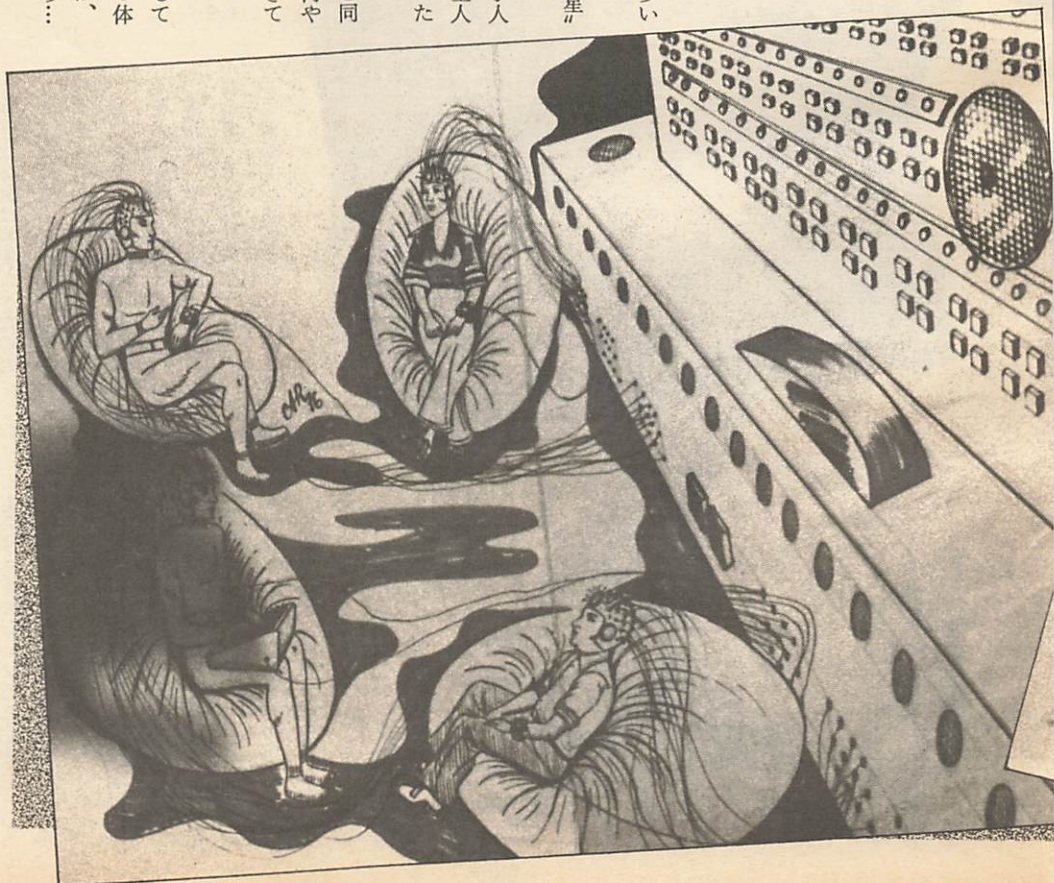
◎重力の大きな星では、宇宙人は小人型になり、逆に重力の小さい星の星人は、大きめになるようだ……といったことなどを教えてもらったという。

ビアンカは、身体検査が終わると同時に眼を覚まし、「カラン」が、何やら透明な液体の入った器を持ってきて飲むようにいったのを思い出した。

「これは、なんなの？」

「それは、あなたがたの記憶を消してしまふものです。お2人のここでの体験は、完全に忘れてしまったほうが、明日からの生活に便利だと思ふから……」

「いやよ。私は、この素晴らしい体験を絶対に忘れたくないわ。いえ、そればかりじゃなく、これからも、あなたたちとおつき合ひして、いろいろなこ



とを覚えてもらいたい」

とビアンカがいうと、「カラン」は、しばらく考えていたが、やがて、

「よろしい。それでは、その液体を飲

右ページ・エルミニオ夫妻を誘拐した UFO。
左ページ・夫妻とクレルマー星人が話し合ったときに使った言語翻訳機。

むかわりに、これをつけて下さい」

と小さな、イヤホンのようなものを、ビアンカの耳の中に押しこんだ。そのとたんキーン!とした、前にもま

だ。して鋭い金属音が脳の中に響きわた

の間、昼間は交通の激しいハイウェイの脇に駐車したまま眠っていられるはずがない。

期的にお会いして、いろいろとご協力

をお願いしなくてはなりません。ただ

し、会う時間と場所は、そのつどこちらから指定しますが、絶対に他の人にも

知らせすることのないように……」

そして、第1回目の会見の時間と場所を指定されたという。

夫妻の2回目の会見は、劇場だった。というのは、はじめて「カラン」とはちがう星の異星人「コルビ」に出会ったからだ。

「コルビ」は、直径10メートルくらいの円盤型UFOに乗って現われた。身長は、やはり2メートル以上もあり、赤いヒゲをはやしているのは、

「カラン」と外見が似ていたという。

「私たちが宇宙人の食糧となる植物を育てて欲しい」

次に目を覚ますと、2人は元のよう

に車の中に座っていた。フロントウィンドウを通して見えるのは、まったく車の通らない深夜のハイウェイだった。

「あら? ここは元のハイウェイだわ。とすると、さっきのUFOや宇宙人たちは……? ひょっとすると、私は夢を見ていたのかしら……」

不思議な気持ちにおそわれたビアンカは、ハンドルの前にボンヤリと座っているエルミニオに、何が起こったのかをきいてみた。

なんと、はじめにUFOに出会った時から、まる2日もたっていたのだ。いくらなんでも、まるまる2日間も

「これから、あなたがたお2人と、定

「コルビ」は、直径10メートルくらい

の円盤型UFOに乗って現われた。身長は、やはり2メートル以上もあり、赤いヒゲをはやしているのは、

「カラン」と外見が似ていたという。

「コルビ」は、直径10メートルくらい

の円盤型UFOに乗って現われた。身長は、やはり2メートル以上もあり、赤いヒゲをはやしているのは、

「カラン」と外見が似ていたという。

「コルビ」は、直径10メートルくらい

の円盤型UFOに乗って現われた。身長は、やはり2メートル以上もあり、赤いヒゲをはやしているのは、

「カラン」と外見が似ていたという。

「コルビ」は、直径10メートルくらい

の円盤型UFOに乗って現われた。身長は、やはり2メートル以上もあり、赤いヒゲをはやしているのは、

「カラン」と外見が似ていたという。

「コルビ」は、直径10メートルくらい

の円盤型UFOに乗って現われた。身長は、やはり2メートル以上もあり、赤いヒゲをはやしているのは、

「カラン」と外見が似ていたという。

「コルビ」は、直径10メートルくらい

の円盤型UFOに乗って現われた。身長は、やはり2メートル以上もあり、赤いヒゲをはやしているのは、

「カラン」と外見が似ていたという。

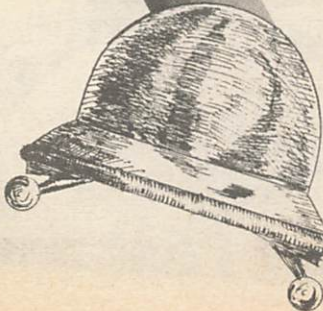
「コルビ」は、直径10メートルくらい

の円盤型UFOに乗って現われた。身長は、やはり2メートル以上もあり、赤いヒゲをはやしているのは、

「カラン」と外見が似ていたという。



宇宙人「カラン」



だが夢ではなかったらしい。エルミニオも、まったく同じ経験をしたというのだ。とすると……いったいどのくらいの時間UFOの中にいたのだろうか? 数分か……それとも数時間だろうか? しかたなく車を走らせた2人は、次のハイウェイ出口にあるガソリンスタンドで時間をきいてアッと驚いた。

「コルビ」は、「ジル」という星から、この地球へやってきている科学者で、地球の環境汚染調査をしているの

だという。

エルミニオも、ビアンカもそろって「異星人に口どめされているから」と、あまり詳しいことは話したがらない。

だが、「カラン」との何度目かの会
見で、

「これから私の指示する土地を買い、指定した植物を植えて育てて欲しいのです。これは、近く、地球にやってきて生活する予定になっている、私たち「クレルマール星」の仲間たちに対する食糧の準備なのです。どうか、協力して下さい」と頼まれたことを話してくれた。

宇宙人「カラン」の姿を 写真に撮った！

ようやくすべてを話し終わったエルミニオは、ホッとしたようにくつろぐと、

「シニョール・ヤオイ。こんな話は、信じられないでしょうね。私たち自身も、はじめはUFOの存在さえ疑っていましたが、こんなバカげた話をするハメになるとは夢にも思っていなかったくらいです。でも、これが現実、私たちの身の上で起こったことなのだ

驚いたことに、その土地

を指示するために、「カラン」

のよこした「使い」は、まるで、

昔からのおとぎ話に出てくる妖精そっくりの、小さなかわいい人間だった、という。

夫妻は、この「妖精」が道案内のためにヒラヒラと飛んでいくあとを追いつながら、ついに、ペロリゾンテ市郊外にある、その荒地についていた。

そして、ありったけの財産に、借金までして、この広大な荒地を買い占め、現在そこを耕やすのにけんめいになっているという。

からしかたがありません。人々が、私

たちの話を信用しようとしまいと、私たちは今でも「カラン」をはじめいろ

いろな異星人に会わなくてははいけませんし、彼らの指示に従わなくてはなりません。でも私たちは、そのことを楽しんでるのです」

と、ほほえんだ。なるほど、グランチ夫人の言うように、宇宙人からの指示がなければ、わざわざ、ペロリゾンテ

市郊外などというへんびな

所の荒地を大金をはたいて

買ったたり、そこを汗みずたらして耕すなどという大変なことをは

じめる理由はなさそうだった。

それまでエルミニオは、教会の牧師として安定した生活を送っていたのだし、現在の、

百科辞典のブラジル語版編集責任者という地位も、このブラジルでは、尊敬され、多額の収入を約束してくれる立派な職業なのだ。

なにも、広大な農耕地（それも、もともと砂漠に近い無人の荒地）などを苦勞して耕作する必要はないはずである。

グランチ夫人が、興味深いことを話した。た。

「エルミニオは、宇宙人「カラン」の姿を写真に撮っているのよ」

「え？ ほんとうです

会員募集

日本
GAP

UFOと宇宙哲学
研究グループ

わが国UFO研究界の先駆者久保田八郎はジョージ・アダムスキー研究家としても著名であるが、1961年よりアダムスキー主宰の世界GAP（知らせる運動）組織の日本代表となり日本GAPを設立。以来あらゆる困難と障害を乗り越えてアダムスキーの特殊な体験と宇宙の哲学の促進活動を展開してきた。機関紙「GAPニュースレター」はすでに63号まで発行。毎月東京文化会館の月例会で宇宙哲学を指導し、宇宙の法則と人間の真の生き方を探求。大阪・高知・熊本・新潟・岐阜・福知山・仙台・山形・札幌各支部設立。個人的奉仕活動として啓蒙運動を続行中である。真剣な探求者の参加を歓迎している。

不定期機関誌

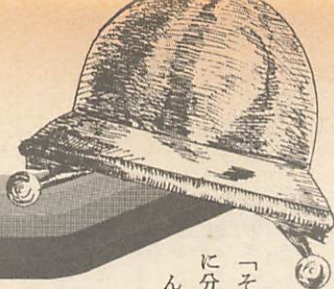
「GAPニュースレター」

第64号発行中

●本格的活版印刷・B5版・極上アート紙40頁●UFOに関連し他惑星における偉大な人類存在の認識と宇宙法則の探求専門誌
主要記事■ エゴを支配する道 G・アダムスキー 人間とは何か F・ステックリング G・アダムスキー財団について S・ホワイティング UFOと日本人 久保田八郎 / その他有益な記事写真満載

●入会希望者はハガキに「入会案内書希望UFO12月号」と明記してお申し込み下さい。入会者は高校生以上に限ります。非会員に機関誌の一冊売りはしません。

〒133東京都江戸川区本一色町365-818 日本GAP（主宰）久保田八郎



か？ エルミニオ。それはどこにあるんです？」
「それは現在、物理学者のもとに分析のため、まわされているんです。私が撮ったのは、何回目かの会見の時で、"カラン"が、UFOに戻ろうとして歩いていく姿を、連続してシャッターをきったんですが……不思議なことに、この写真の大部分は、奇妙な光の縞の干渉を受けて、UFOや"カラン"の姿がよく見えなくなってしまうている

んです。写した時には、まったく眼に見えなかったんですが、写真の画面には、ピンクとブルーの細い光線の縞模様になんかたくさんさしこんで美しい模様を描いているものや、不思議なことに、手前に立っていた郵便受けの箱と柱が、まっ白に浮き出ているのに、その背景になっているはずの"カラン"とUFOが、完全に黒くなっていて何も見えないものなどが大部分なんです」
とエルミニオは、残念でたまらないようにすなのだ。
グランチ夫人は、
「その物理学者というのは、まだ一般には秘密なんだけど、ヤオイには、こ

っそり教えてあげるわ。フランシスコ・アルベルト・ド・カルモという物理学の専門家で、エルミニオの写したネガを徹底的に分析しているの。その結果、驚くべきことがわかったんだって……」
カルモ博士は、そのピンクやブルーの光の干渉を調べた結果、それらの光は、7000度という、とほうもない高熱をもつ熱源から放射されたものだということがわかったという。
とすると、UFOには、そのような高熱を発するなにかがあるのだからか？
それとも、それは、眼に見えない熱線のような放射線がUFOから出てい

て写真フィルムに感光したものなのだろうか？
カルモ博士のフィルムに対する分析と研究は、まだ続けられていて、最近、さらに新しい驚くべき事実が明らかになったという。
グランチ夫人は、はつきりした結果が出次第、私にこっそり教えてくれる、というのだが……。
ともあれ、このエルミニオとビアンカの宇宙人との会見は、今でも続けられているのだ。
私も、彼らの近況や、新しい情報が入りしたい、皆さんにまさきにお伝えすることを約束しよう。



定価600円
送料140円

やさしい アニメーション のはなし

ジェスパ編著
蜻蛉舎発行
文久書林発売



- アニメーションむかしむかし
- 国内アニメーション製作者群像
- 外国アニメーション製作者群像
- 国内アニメーション作品紹介
- 外国アニメーション作品紹介
- アニメーションと音楽
- アニメーションのできるまで
- 作品制作に使われる物
- 技術と効果
- 用語の説明風技術の紹介
- その他のアニメーション
- アニメーション製作団体
- アニメーション関係図書

■文久書林

〒162 新宿区横町33小田木ビル
TEL 03(267)6920

振替 東京 2521番

大爆発、大地震、大洪水…

そして、一日と一夜で

海底深く沈んだと

プラトンが書き残した

アトランティス大陸。

ジブラルタル海峡にそびえ立つ

「ヘラクレスの柱」のかなたに

この世の楽園を謳歌していたという

伝説の王国とは…？

紀元前1,400年代に起きた

大異変を物語る、かずかずの

記録を、特写カラーや図版で

一挙に公開!!

【執筆】

小松左京(作家)

竹内 均(東大地球物理学教授)

根本順吉(埼玉大講師)

鈴木秀夫(東大地理学助教授)

野村雅一(民族学博物館)ほか



世界の秘境にいどむ!
ドキュメントシリーズ

好評発売中

シリーズ①エスキモーの道(¥1,500 千200)

北極の大自然の厳しさとロマンをうたう

シリーズ②ザ・ピラミッド(¥1,800 千200)

5,000年の歴史に挑戦する再現計画…

シリーズ③マヤ文明の謎(¥1,500 千200)

突如消滅した古代文明の謎をさぐる…

アトランティス大陸沈没の謎

¥1,800(千200)

監修◎小松左京

ドキュメントシリーズ第4弾・絶賛発売中

2,000年の謎に迫る!

日本テレビ・日曜スペシャル取材班が長期現地取材。
そのすべてをここに集録した必読の選書!!



書店に品切れの場合や、お求めにご不便のときは直接
下記へお申し込みください。電話でもお受けします。

日本テレビ放送網(株)出版部

東京都千代田区二番町14番地 千 102
☎03(265)2111 振替・東京 0-153213 番

超能力を強める

ESPトレーナー (超能力開発訓練機)



10,000円

ESPとは一般的には超能力と云われます。ESPトレーナーによってテレパシー (遠隔知覚)、プレコグニション (未来予知) クライヤボヤンス (透視) などの能力を高めることができます。

デラックス

ESPカード (超能力実験用)



1,200円

太陽、月、金星、木星、冥王星のシンボルマークのついたカードが各5枚づつ、25枚で1組です。ESP能力の有無や程度を実験したり強化もできます。又、友人などとゲームとしても楽しむこともできます。

化学の灯・サイリウム (アメリカ製)

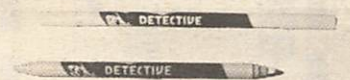
電気ではありません……

化学的に発光するサイリウム。水の中でもOK、パーティーなどのムード照明にも最適です。キャンプや登山にもどうぞ。



(長さ15cm) 1,000円

ラブ・サインペン



(西独製)

300円 (切手で可)

細い方で、字や絵を書くと透明の液体が出て何も書いてない様に見えますが、反対の太いペンでなぞるとアブリ出しの様に書いたものが浮き出てきます。ラブレター、交換日記、試験勉強に使しましょう。

UFO? ミラージュ 三次元実像

(アメリカ製)

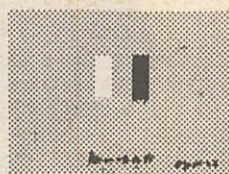


直径約34cm
高さ 9cm
15,000円

2枚のパラボラ鏡による、3D Illusion

鏡の底に置いた物体が、まるでミラージュの上に置いてある様に見えます。もちろん写真にも写りますが、手でつかもうとしてもだめです。皆を驚かせましょう。インテリア、ディスプレイ、教材に最高です。

だれにでもできるヒプノ板催眠術 ストークビスのヒプノ板



ドイツの催眠術研究家ストークビスにより考案されたもので、だれにでも容易に催眠術ができるようになります。

1,500円

カメロンの オーラメーター



10,000円

アメリカのゲウザーとして有名なバン・カメロンが考案した鋭敏に作動する振動増幅パネを用いた水平指示振子です。水や埋設物の探知だけでなく色々の分野に応用出来ます。

カシオ・バイオレーター



あなたのバイオリズムがワンタッチで出ます。健康管理、セールス、受験勉強、事故防止、旅行、スポーツに応用しましょう。相性判断もできます。

6,000円

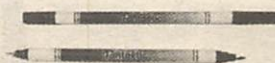
リズムメーター



1,500円

バイオレーター同様、簡単にあなたのバイオリズムが求められます。又、グラフに表されますので大変便利です。

消える ボールペン (西独製)



紙でも布でも手に書いたら反対側のインク消して、サッと消えます。あまりいたづらしない様に。

300円 (切手で可)

スイス アーミーナイフ (スイス製)



スイス軍が正式に採用している万能折たみナイフ。その中でも最高のチャンピオンで大小ナイフの他・ドライバー・缶切り・はさみ・栓抜き、のこぎり等々24もの機能を持っています。

11,000円 (長さ 9.1cm 赤色)

●カタログ請求は200円切手同封して下さい。

〒103 東京都中央区日本橋小舟町2-7

発売元



ポラックス株式会社U係

TEL (03) 666-0511(代)

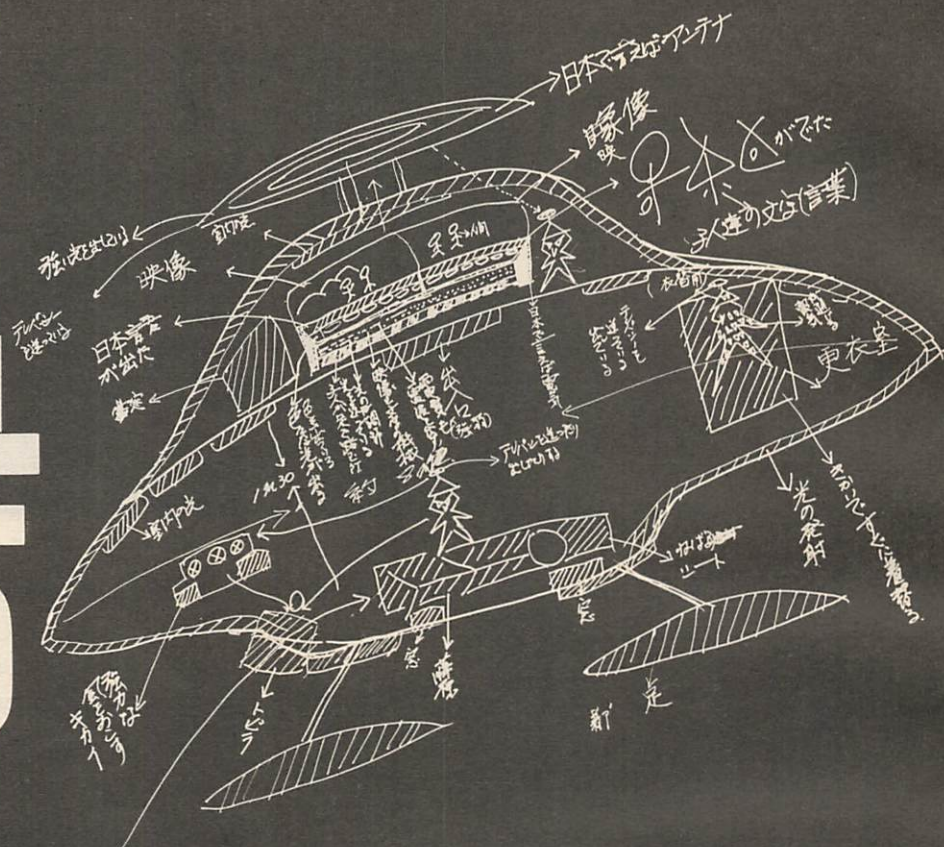
ご注文は

紙に商品名・住所・電話番号・氏名を書き捺印の上代金を現金書留封筒又は郵便振替 (東京4-8703) でポラックス株式会社U係にお送り下さい。

(送料はサービス)

総
集
編

UFO スペシャル '78



CONTENTS

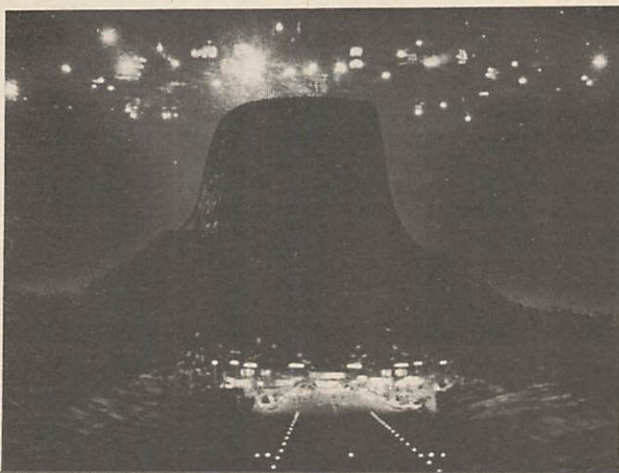
私の選んだ今年の3大UFOニュース	56
3大ニュースと私のひとこと	58
国内UFO事件マップ	62
UFOブーム・マスコミの反応	66
アメリカの研究動向	70
国内研究総ファイル	74
今年出たUFOの本	78



私の選んだ今年の3大UFOニュース

この1年間に発生した内外のUFO事件およびUFO問題に関連した22人の研究者から、日本を代表する3大ニュースを選んだ。

でもらった。なお、締切りの関係で10月半ば以降に起こった事件（オーストラリアのセスナ機UFO遭遇事件など）は対象になっていない。



1978年が過ぎ去ろうと
している。今年、UFOはな
に残していったのであろう
か。マスコミから映画界にま
で波及した78年UFOフィー
バーを多角的にふり返り、フ
来年を展望するUFO総集編。

荒井欣一

- | | |
|---|---|
| | グレナダのゲーリー首相の国連における活動 |
| | 「未知との遭遇」が日本で公開された（2月） |
| | 「未知との遭遇」の公開に呼応して、連続2日間にわたってUFOが出現（2月26、27日） |
| | 「スター・ウォーズ」の公開（7月） |
| | 映画などによるUFOブーム |
| | 科学的機器によるUFO現象の追求が本格化しはじめた |
| | アメリカのUFOの研究団体GSWによるUFO写真のコンピューター分析が普及 |
| | GSWのコンピューター分析で、アダムスキーの写真がトリックと判定された（らしい） |
| | 荒井欣一氏による「1977年UFO年鑑」の発行（4月） |
| 1 | NHK富山支局のカメラマンがUFOを撮影した（3月2日） |
| 2 | 北海道の航空自衛隊レーダーがUFOをキャッチ、ファントムが緊急発進（8月17日） |
| | 三重県で昼間の接近目撃発生（8月23日） |
| 3 | 南アメリカ自動車ラリーの参加車1台がUFOによって空中浮揚した事件（9月） |
| | アルゼンチンの雑貨屋に小人宇宙人が出現、虹のような光を残して去った（9月） |
| | 真言宗の北野恵宝大僧正が伊豆のホテルで宇宙人の声を録音する（1月上旬） |
| | 宇宙人が北野恵宝師に、某大学教授のコンタクト立会いを許可したというニュース |
| | 北海道札幌の中野氏の宇宙人コンタクトが続いている |
| | 埼玉県狭山市在住の天野秀一氏の宇宙人コンタクト事件（10月） |
| | 宇宙人とのコンタクト事件の増加 |
| | MUFON主催の第9回全米シンポジウムが開催された（7月） |
| | MUFONの全米シンポジウムにおけるストリングフィールドの講演（7月） |
| | 米UFO教育センターのシャーロット・ブロップ女史一行が来日した（5月） |
| | 米GAP本部のスティーブ・ホワイティングの来日（11月） |
| | シカゴで第5回世界宇宙考古学会議が開催された（7月） |
| | アレン・ハイネック博士の宇宙博来日が中止になった |
| | ユーホロジストクラブ主催の全日本コンタクティー大会が開催された（8月） |
| | 全日本コンタクティー大会のUFO観測会で多数がUFOを目撃した |
| | JSPS本部にUFO目撃データ整理用のマイクロ・コンピューターが導入された |
| | 東京12チャンネルが池袋のサンシャインビル屋上でUFO観測会を放映（4月） |
| | NTV木スベで「太古ナスカ平原は宇宙人の飛行センターだった!？」を放映（2月） |
| | TBSテレビでヒル夫妻事件のセミ・ドキュメントが放映される（9月） |
| | ユニバース出版社より「にっぽん宇宙人白書」が出版された（8月） |
| | ユニバース出版社主催の宇宙考古学遺跡の旅参加者多数が、ローマとカイロでUFO目撃 |
| | 岐阜県飛騨高山の位山周辺で数万年前の祭壇石が発見された（8月） |
| | 福田首相がUFO、特に重力エネルギーの開発に大きな関心を示した |
| | 清家新一氏が「ナショナル・エンクワイアラー」紙のUFO懸賞に応募した |
| | ユーホロジストクラブの主催で、金星天女ダイアンの啓示を勉強する会が発足した |
| | ユーホロジストクラブが中心となって、ユーホロジスト出版社を設立した |

池田隆雄	岡本讓治	久保田八郎	高坂勉	國際UFO	斎藤守弘	志水一夫	清家新一	高梨純一	谷藤弘雄	中岡俊哉	並 幸夫	並木伸一郎	荻沢潤一郎	平田留三	平野威馬雄	平野泰敏	南山 宏	森脇十九男	矢追純一	山本佳人	総計
------	------	-------	-----	-------	------	------	------	------	------	------	------	-------	-------	------	-------	------	------	-------	------	------	----



3大ニュースと私のひとこと

前ページで3大ニュースを選定した22人はいずれも日本のUFO研究界でひとこと研究家たちである。ユーフォロジの世界における彼ら

の影響力は今後も維持されるにちがいない。ここでは、3大ニュース選定理由を中心に、彼らに1978年をふり返ってもらった。



荒井欣一 1923年7月6日、東京生まれ。青山学院専門部商科卒。大蔵省印刷局勤務、書店経営を経て、現在は青松社勤務。1955年7月「日本空飛ぶ円盤研究会」を創立。今年4月に「UFO年鑑」を発行。

ひとこと ①は多くの人が目撃し、テレビカメラでキャッチされたという点で評価される。②も、人間の眼というあやふやなものではなく、リーダーにキャッチされた点で信憑性が高い。③は詳細な情報はまだ入っていないが、今年海外で発生した事件としてはもっとも注目されるのではないだろうか。

池田隆雄 1952年2月生まれ。1972年、東京電子専門学校電気工学科卒。日本宇宙現象研究会副代表。APRO、MUFONの西日本地区担当連絡調査員。日米流星研究会会員。著書「日本のUFO」。

ひとこと ①と②は我が国のUFO愛好者にとって、今年度も関心の高かったものです。②はまことに残念でしたが、来年はひとつユニバース出版あたりで音頭をとって実現してほしいものだと思っています。③は日本では最初の試みであるということから、その先駆的役割を評価して選びました。



岡本譲治 1957年2月16日、川崎市生まれ。日本大学文理学部史学科在籍中。日大UFO研究会副会長。全日本大学超常現象研究会連合代表。高校時代によくUFOを目撃、大学入学後本格的にUFO研究を始める。



ひとこと ①日本で初めて「UFO年鑑」を作った荒井欣一氏に拍手。特に目立った事件がなかった今年にあって、この労作の完成は光っている。②資料としての価値あり。③技術的な根拠があやしいので最後に(一)をつけた。オリジナル写真を使用したのか、糸は複写の汚れか、など判断基準に疑問点が多い。



久保田八郎 1924年、島根生まれ。慶応大学文学部卒。日本GAP代表。訳編書はT・ベサラム「空飛ぶ円盤の秘密」G・アダムスキー「宇宙からの訪問者」「空飛ぶ円盤とアダムスキー」「宇宙哲学」他。

ひとこと ①はたいへん喜ばしいことであり、今後、各国政府がUFO承認の方向に歩むことを期待する。②は旅行参加者の多数が同時に目撃、個人的体験ではあるが、私にとってはやはり3大事件の一つである。③はアメリカのGAP本部と日本GAPの提携が強化され、アダムスキー哲学の普及活動を促進。

高坂烈麿 1947年、青森県生まれ。北海道教育大学卒。UFOと宇宙考古学研究室。調布市児童会館UFOサークル講師。テレビラジオ出演多数。著書には「宇宙人のなぞ」がある。



ひとこと ①この祭壇石の発見は、宇宙人と地球人とのつながりを証明する意味で重要であり、私の研究にとっての大きな収穫である。②関東一円のコンタクトに連絡網をはり、テレビが全面的にUFO観測を行った。③講演終了後のフリートークキングの場で私が日本の竹内文献を英文で紹介した。

事件解説

本年度は未曾有のUFOブームだったといわれる。「ブーム」という言葉の良し悪しはさておき、「UFO」という言葉が日本語の語彙の中に定着し、どの程度かはともかく、世人がUFOに関心を持ち始めたことは事実だろう。そして、この「ブーム」を現出する大きなキッカケとなったのが、「未知との遭遇」の封切であったことはいうまでもない。

南山宏氏は選定基準を補足して、「もちろんUFOのでてくる映画はこれまでもあったが宇宙人の乗り物という小道具にしか過ぎなかった。この映画は、UFOそのものを「主役」にしたわけで、今までのSF映画とはちがう。ジョン・キールなどの研究家は、へ未知との遭遇以前・以後といった言葉を使い始めている。それだけ、人々のUFOに対する意識の変化をもたらした」と評価する。グレナダのゲリー首相の国連活動はもっとも得票数が多かった。去年の第32回総会でゲ



国際UFO研究会 1975年2月11日に創立。初代会長・森田寛、2代目会長・古市彰文氏を経て、岩瀬洋一氏が本年度総会で3代目会長に選出された。現在、会員数60名。9月、三重県鈴鹿市のUFO大接近を取材。

斎藤守弘 1932年、東京に生まれる。1955年東京教育大学理学部卒。大学講師、会社役員、経営コンサルタントなどを経て、現在は執筆活動に専念。著書は「宇宙の使者」「宇宙誕生の謎」「謎の四次元」など。

志水一夫 1954年2月生まれ。慶応大学文学部卒。JSPS創立以来のスタッフ。別に日本UFO情報センターを主催。1971年にコックリさんをテレビで初めて紹介した。著者「UFOと円盤101の謎」他。

清家新一 1936年、愛媛県生まれ。東京大学数物系大学院卒。茨城大学助手などを経て、現在は重力研究所所長。著書に「超相対性理論入門」「空飛ぶ円盤製作法」「円盤機開始動せり」など。



高梨純一 1923年大阪生まれ。関西学院大学卒、講師、貿易業を経て現在に至る。1956年に「近代宇宙旅行協会」を設立。著書に「空飛ぶ円盤実在の証拠」「UFO日本侵略」「世界のUFO写真集」など多数。

谷藤弘雄 1947年12月13日、東京生まれ。東京12チャンネルのディレクターとして、3年半続いた「びっくり大集合」で活躍。子供時代からUFOに興味を持ち、UFO目撃体験も何度かある。



ひとこと ①全日本コンタクトイ大会のUFO観測会で、私自身もUFOをこの眼で確認した。②公けの人類の機関にUFO問題が持ち出されたのは、U



ひとこと ①これまで重力研究所が福田総理に対して逆重力機関などの資料を送り続けた成果である。②このエンクワイアラ紙の懸賞金に所長が応募した

ひとこと ①公けの場でUFO問題が取りあげられるようになったという点に意義がある。②これまで噂にすぎなかった円盤墜落と小人搭乗員の遺体保存

ひとこと 今年、日本的な現象としてはブームとなったが、世界的に見ると一種の中間期に入っている。中間期には変わったパターンが出現するものだ

が、物的証拠とともに公表されたこと。③自衛隊が航空機ではない、と発表しているし、スクランブルが行なわれたという点で、注目に値する。

が、その兆候が現れだしている。私がベスト・スリーに挙げたすべてに言えることは、UFO現象が人間生活に密着してきたということである。



ひとこと ①この映画の上映によりUFO現象への関心が世間にも高まり、またこの映画の上映期間中、当会でも啓蒙活動をした。②我々の身近で発生したこ

ひとこと ③この事件について研究所にも連絡があった。以上の3つは、何らかの形で清家新一氏もしくは重力研究所と関係があったものである。

ひとこと ①SFとUFOのブームによりUFOはもはや日本人の生活の一部として固定。②コンピューター分析によるアダムスキーのUFO写真のトリック性が日本で紹介されたこと。③かつてフランク・スカリーが円盤墜落を本に書いたが、そのきっかけとなったらしい事件がMUFONで研究発表された。

ひとこと ①全日本コンタクトイ大会のUFO観測会で、私自身もUFOをこの眼で確認した。②公けの人類の機関にUFO問題が持ち出されたのは、U

リー首相が演説し、「事務総長を中心に国連はUFO問題に留意し研究し続ける」旨の史上初のUFO案件が万場一致で採択されたのが端初で、その後、ゲ

リー首相は今年の7月にハイネック、ジャック・バレー、ストリングフィールドなどの一流のUFO研究家を集め、今後の国連での活動方針を打ち合わせると共に彼らを連れてワルトハ

イム国連事務総長を訪問した。現在開催中の第33回総会でも、前総会の決議を踏まえ、UFO問題に関する演説を行ない、追加議題として「国連本部にUFO現象を研究、調査、情報伝達する部ないし局の設置」の要求を事務局に提出、11月には国連本部でUFOフィルムと写真の展示を行なう。ゲリー首相のスタンドプレーと指摘する声も一部にはあるが、ともかく、いかなる形にせよ、国連というグローバルな公式の場で、UFO問題が議論され始めたのは喜ばしいことである。

さて、今年は「UFOブーム」といわれる一方で、現実のUFO事件が目立ったものは少なく

とで、会員がUFO実在の認識を新たにしたい。③UFO問題はもはや国際的に解決されねばならない段階にきている。今後のUFO研究に与える影響は大。

中岡俊哉 1925年東京生まれ。中国芸大で中国演劇史を専攻。在華生活15年。帰国後超常現象研究に専念する。日本サイコロニクス研究協会主宰。著書は「世界のUFO」「ビラミッド・パワー」など70余冊。



ひとこと ①特に注目すべきはポーランドで数人の科学者を含むグループが約2カ月にわたって宇宙人とのテレコン実験を行ない、成功したこと。②写真の

コンピュータ分析など、個々には問題点もあるが方向性として評価したい。③つくられたブームは成功もしないし、長続きもしないことを示している。



並幸夫 1949年2月19日、宮崎県生まれ。大阪経済大学経済学部経済学科卒。現在、フエニックス国際観光に勤務。1974年に「日本宇宙UFO研究会」を設立。趣味は釣り、ゴルフ、フエニッシング。

ひとこと ①他国研究を一番にあげるのには残念だがいざにせよUFO研究の最先端をゆくアメリカでのシンポジウムは我が国への影響が大である。②日本

では最高の成果ともいふべき著書。表面的表現はあるにせよその努力は敬服に値する。③については特になし。国民のUFOに対する意識をあげたこと。

並木伸一郎 1947年東京生まれ。早稲田大学社会科学部卒。電々公社に勤務。1973年、「日本宇宙現象研究会」を創立。著書に「UFO入門」「UFO発見法」「UFOはホントにUFOか」がある。

ひとこと ①やつと国連レベルでとりあげられるまでにUFO問題が発展したことは研究者として何よりもうれしい。今後の成り行きに注目したい。②は日

本初の試みで内容も素晴らしい。来年もぜひ出版してほしい。③はいささか我田引水になるが、日本ではじめての試みとして評価されるものと自負している。



蕨沢潤一郎 1945年新潟県生まれ。法政大学哲学科卒。現在、たま出版編集長。日本PS学会会員。「UFO教室」編集責任者。「UFO教育グループ」主幹として、米UFO教育センター一行の来日講演などで活躍。

ひとこと ①コンタクト体験者に直接会えたことが意義深い。アダムスキーの直弟子などが来日して、既成概念で否定されやすいアダムスキーの体験を支持

したこと。②全地球的なグレナダ提案は、UFO界がこぞって評価すべきだ。③大衆の関心というものは、歴史的な方向性を暗示しているように思われる。

平田留三 1924年3月22日、宝塚市生まれ。旧制関西商工学校商業科卒後、日活映画勤務、小学校教諭、映画劇場支配人を経て、現在は阪神録音社経営。1966年に「日本UFO研究会」を設立。



ひとこと ①グレナダの主張から国連でUFO問題が話題となり、認められようとしている。今後の展開に注目したい。②ついにUFO写真がコンピュータ

で分析、鑑定される時代が来た。③この映画の公開でUFOに対する認識が一般的に高まった。全体的にはUFO目撃事件が少なかったのが残念である。

平野威馬雄 1900年東京生まれ。上智大学独哲科卒。フランス文学者。「お化けを守る会」の主宰者。200以上の著書があるがそのうちUFO関係は「宇宙人についてのマジメな話」など。



ひとこと ①はUFOに対する世人の関心を高めるのにたいへん有益であった。②荒井さんは私心なくコッソツとよくまとめた。資料的にきわめて価値

ある力作です。来年もぜひ出してほしい。③も今までバラバラに紹介されてきた日本のコンタクト事件をひとつにまとめた資料的に価値ある仕事だった。

各選者とも大いに苦勞されたようだが、このような「事件なきブーム」の中で、荒井欣一氏による「1977年UFO年鑑」という非商業的ベースの資料的価値の高い仕事が大きな評価を受けたことは意味あることといわねばなるまい。

アリゾナ州に本部を置くUFO研究団体、GSW(グランド・ソーサー・ウォッチ)の開発したコンピュータ写真判定の普及も注目された。中岡俊哉氏の指摘するように、この写真判定の適否自体には幾分問題点があるとしても、方向性として歓迎すべき試みといえる。

また、コンピュータといえば、JSPS(日本宇宙現象研究会)がマイコンによる事件データの整理を始めた。関係者2名が推薦しただけではあるが、やはり地味ではあるが重要な作業である。

このように、「事件なきブーム」の中でも、UFO研究は着実にその基礎を固めつつあるといえよう。事件そのものも、ブームがさめかけた後半からやや活発にな

平野泰敏 1949年1月9日、静岡県生まれ。浜松興誠商業高校卒。現在は自宅でドラッグストアを経営している。小学校のときからUFOに興味を持ち、1973年に「ユーロジストクラブ」を設立。



南山宏 1936年東京生まれ。東京外国語大学独語科に学ぶ。元「SFマガジン」編集長。SF研究家。主な著書に「UFO事典」主訳書に「UFO大襲来」「謎のバミューダ海域」「UFOとの遭遇」がある。

森脇十九男 1944年下関市に生まれる。1968年早稲田大学政経学部卒業。「宇宙問題研究会」などいくつかの団体を主宰。UFOを社会問題としてとらえ、各学術団体、政治団体へのアプローチを試みている。

矢追純一 1935年中国生まれ。1960年中央大学法学部法律学科卒業後日本テレビ入社。以後ディレクターとして活躍。8年前より超常現象やUFOを追って世界各地取材旅行。74年にユリ・ゲラーを呼ぶ。

山本佳人 1949年1月、山梨県生まれ。1975年東京芸術大学中退。1971年に「宇宙研究協会」を設立。75年に休会。翌年に「SPNW」を設立。著書に「ギリシヤ宇宙人説」「聖書とUFO」などがある。



武田益尚（本誌編集長）の選んだ3大ニュース
立場上、こういう選定はあまりしたくないんですが、まず1位は常識的なラインで「未知との遭遇」というところでしょう。UFOそのものを正面からとりあげたという点で画期的で、「UFO」の普遍化をもたらしたといえます。

ひとこと ①は、1954年から70年頃まで米国で開かれたコンタクト・祭典、ジャイアント・ロック大会の日本版である。②は1930年代から金星

の精霊ダイアンとコンタクトしたダナ・ハワード女史を研究する会。③将来は米国のコンタクト・ストーリー関連図書の日本語版を次々と出版する予定。



ひとこと ①写真のコンピュター分析、PSEによる誘拐ケースの検証などの普及を指す。②は結末のアドムスキー的甘さはともかく、UFOを初めて正



ひとこと 国連でのグレナダ国ゲリー首相の演説や姫路市在住の真言宗大僧正・北野恵宝師の驚くべきコンタクト追加情報「学問の場を媒体としてU

ひとこと ①映画が初めて、UFOが実在するという前提をもとにリアリティックに描いた点のみを挙げる。②この「太古ナスカ平原は宇宙人の飛行センター



ひとこと ①UFO問題が国連という公的な場で議論される傾向は喜ぶべきだ。②アドムスキー哲学の普及と理解を深めるのに一定の貢献をした。③「スターの遭遇」より評価されるべし。

2位も常識的なところで、国連におけるゲリー首相の活動でしょう。3位は、鈴鹿市での接近空間目撃。UFO現象自体、今年の前半はあまりバツとしなかったが、これから大きなUFOウェーブが来る前兆ではないでしょうか？

ってきたような印象を受ける。

8月27日、航空自衛隊根室分屯地のレーダーがUFOをキャッチ、ファントム2機が緊急発進するという事件が発生、新聞にも報道された。また本誌11月号で詳報したように、8月23日には三重県鈴鹿市で接近遭遇があった。国外でも、外電だけで詳細は不明だが、ラリー参加車がUFOに遭遇し空中に浮揚するという事件と、アルゼンチンに小人宇宙人が出現するという事件が報じられた。

現在、編集部にも複数の目撃者による昼間の比較的近距离からの目撃ケースが数件寄せられており、この傾向から推して、来年はかなりのUFOウェーブが期待される。

なお、北野僧正の宇宙人の声録音については当社刊「にっぽん宇宙人白書」を、MUFON大会については本誌9・11月号、UFO教育センター一行の来日については本誌7月号、シカゴの宇宙考古学会議については本誌11月号、コンタクト・祭典については9月号をそれぞれ参照されたい。

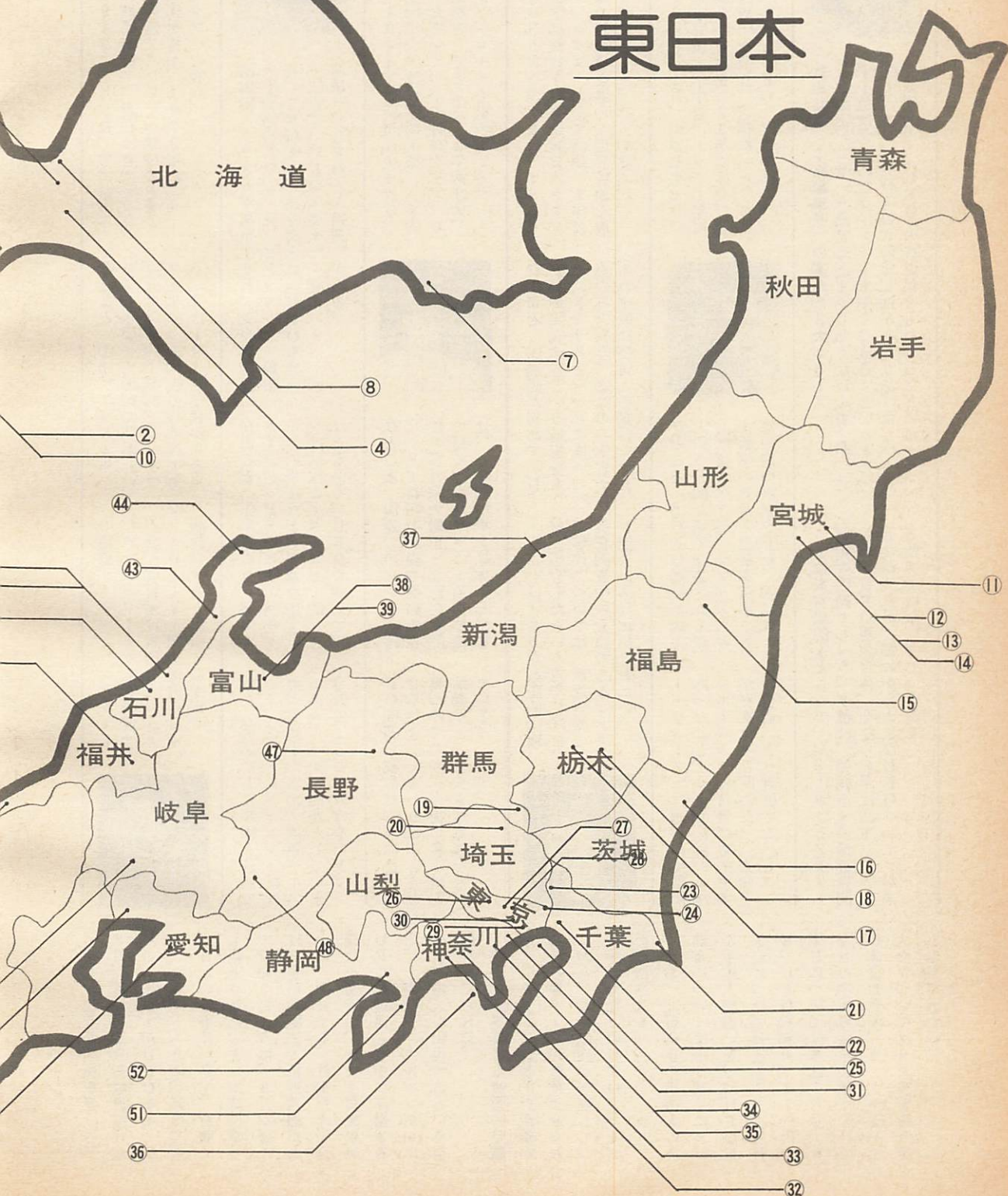


3国内UFO事件マップ

今年も、北海道から沖縄まで、日本列島の各地で数多くのUFO事件が発生している。そこで編集部では、手元に集まった膨大な資

料を整理して、地図にしてみた。総数 101 件 (10月現在)。これを手がかりに、UFOの謎の分析にチャレンジしていただきたい。

東日本



UFOスペシャル'78

北海道

- ① 5月14日夕方、札幌。5人がオレンジ色の光体を目撃。
- ② 6月5日夜、函館。高校生2名がターンする光体を目撃。
- ③ 6月11日夕方、空知。高校生が黒色リング状物体を目撃。
- ④ 6月22日夜、恵庭。小さな2光体を自衛隊ヘリが追跡。
- ⑤ 6月24日夜、札幌。観測会で10名以上が白光体を目撃。
- ⑥ 札幌市中央区

7月29日午後8時頃、市内の小学生4、5名が東の低空に停滞中の菱形UFOを目撃。オレンジ色で、大きさは満月の半分ぐらい。1分後に突如姿を消した。

⑦ 釧路市

8月17日午後10時頃、エトロフ島の南西方向を経由して釧路方面へ向かう飛行物体を航空自衛隊のレーダーが捕捉。高度1500~3000kmの低空で、時速200~70km。千歳基地からF4ファントム2機が緊急発進、追跡したが確認できず、18日午前0時25分頃、レーダーから消えた。

⑧ 9月11日夜、石狩町。黒煙を引く橙色の円型物体出現。

⑨ 室蘭市輪西町
9月11日午後8時55分頃、警ら中の警官がイタンキ浜の海上でピンポン玉大のオレンジ色物体を目撃。

⑩ 10月9日夜、函館。光体が五稜郭上空をジグザグ飛行。

宮城県

⑪ 宮城郡利府町

2月13日午後3時50分頃、中学3年の水間徳道君が自宅の庭で銀白色に輝く円盤を目撃。

⑫ 仙台市

2月20日午後1時40分頃（東北大地震の直後）、仙台第1中学校3年の前沢正彦くんが校庭上空を猛スピードで飛ぶV字型編隊を組んだ3個の卵型UFOを目撃。

⑬ 6月中旬夕方、仙台。3人が光体を連続6枚撮影。

⑭ 仙台市

10月中旬、市内の中橋武さん(28)が、飛行機の下方を飛行する卵型のUFOを8ミリにキャッチ。

福島県

⑮ 9月6日夜、福島市。スカイライン上空に光体出現。

茨城県

⑯ 6月18、19日夕方、日立。数人が怪飛行物体を目撃。

栃木県

⑰ 塩谷郡塩谷町

3月2日午後6時30分頃、斉藤守次さん(53)と長女の智子さん(19)が、自宅付近でキラキラ光る土星型UFOを目撃。南から南東へゆっくり動くのを5分間観測。

⑱ 塩谷郡喜連川町

3月7日午前6時頃、荒川豊さんたち数人が南西の空から西へゆっくり飛行する物体を約10分間目撃。望遠鏡で見ると、上下にオレンジ色の火が噴出していた。

群馬県

⑲ 館林市

10月11日午後0時35分、市立第5小学校の生徒多数と教諭3名が、同校上空に円盤型の物体が出現し、ヒラヒラと下降していくのを目撃。

⑳ 埼玉県

㉑ 熊谷市

1月16日午後5時20分頃、埼玉大学2年生の斉藤英雄さんが望遠鏡で木星を観測中にオレンジ色に輝く土星型物体を発見、母親と隣の中学生も確認した。

千葉県

- ㉒ 1月3日夕方、銚子。会社員が自宅から光体を目撃。
- ㉓ 1月23日午前、船橋。中学生が校庭で葉巻型物体を目撃。
- ㉔ 2月27日昼、流山。公務員がピンク色の物体を撮影。

東京都

㉕ 1月25日夜、都内。怪光体目撃の通報が相次ぐ。

㉖ 東京湾上空

2月26日午後5時半頃、東京湾上空付近を帯状に光る物体が飛び、多数の人々が目撃。警視庁通信司令室や東京管区気象台に問い合わせが殺到。

㉗ 東京都内

2月27日午後5時半頃、前日にひき続き東京の西の空で謎の光る飛行物体を見たという目撃者が相次ぐ。

㉘ 3月2日夜、中野。長円形の物体が旋回しながら飛行。

㉙ 7月11日夜、新宿。強い光を点滅する物体が浮遊。

㉚ 8月10日夜、大田。直径1mぐらいの光の輪を目撃。

㉛ 世田谷区

9月30日午後11時過ぎ、イラストレーターの横尾忠則さんが自宅近くでカレーライスの皿大のクラゲのように半透明のボヤーとしたものが飛ぶのを目撃。

神奈川県

㉜ 1月23日夜、川崎。中学生がジグザグ飛行の赤光目撃。

㉝ 5月10日夜、二宮。高校生が白銀色物体を8ミリ撮影。

㉞ 大山

6月8日午後9時過ぎ、平塚市中原でUFO観測を行っていた横尾忠則夫妻、秋元秀成さんら8人が、大山上空で輝くオレンジ色の光体を2度目撃。

㉟ 6月18日夜、横浜。会社員が黄緑色の丸い物体を目撃。

㊱ 7月9日午後、横浜。会社員が銀白色の楕円物体撮影。

㊲ 7月30日昼、葉山沖。3人がヨットから卵型物体目撃。

新潟県

㊳ 新潟市

7月17日午後8時20分頃、同市職員の森野大二郎さん(26)らが県民会館上空に円型のUFOを目撃。扇風機ほどの大きさで、緑とオレンジ色の光を点滅させていた。

富山県

㊴ 富山市及び高岡市

3月2日午後5時20分から約30分間、尾を引くオレンジ色の光体を多数の市民が目撃。NHK富山支局のカメラマンがその模様を16ミリフィルムに収め話題を呼んだ。

㊵ 4月8日夜、富山。西方に2本の尾を引く赤光体出現。

石川県

㊶ 石川県

3月2日午後5時半から6時にかけて、県上空をオレンジ色に輝く楕円形の物体が白い尾を引きながら東から南西へ徐々に降下した。

㊷ 小松市

3月6日午後5時半頃、加賀市南部の上空を、けい光灯を縦にしたような形の白く光る物体が飛んで行ったという目撃者が続出。自衛隊小松基地に問い合わせが殺到する。

㊸ 3月24日深夜、金沢。日食撮影写真中に円盤発見さる。

㊹ 7月26日夜、羽咋。千里浜沖に青い光体出現。

㊺ 7月26日夜、輪島。上空に畳半分ぐらいの白光体出現。

福井県

㊻ 3月2日夕方、大野。尾を引く光体を多数が目撃。

㊼ 5月30日夜、小浜。主婦が星より大きい怪光体を目撃。

長野県

㊽ 4月30日夜、上田。姉弟が三角形のUFOを目撃。

㊾ 下伊那郡清内路村七ヶ平

8月14日午後7時30分、全日本コンタクティー大会のUFO観測会で、12名の参加者が、ジグザグ飛行する星大の発行体を目撃。その後1時間に9回出現する。

岐阜県

㊿ 2月16日夕方、岐阜。西空を明るい半球形の物体が移動。

㊱ 6月13日夜、岐阜。鏡島大橋でUFOを集団目撃。

静岡県

㊲ 伊豆半島

1月上旬のある夜、伊豆のホテルに投宿中の真言宗大僧正、北野恵忠師が宇宙人とコンタクト。宇宙人のしゃべる奇妙な言葉をテープレコーダーに録音した。

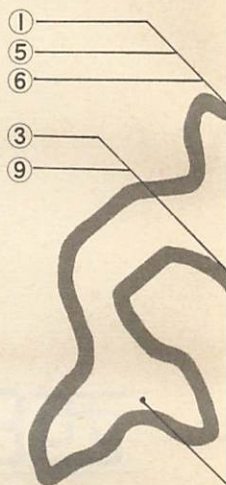
㊳ 7月28日夜、沼津市。アダムスキー型UFO目撃さる。

愛知県

㊴ 岡崎市明大寺町

2月26日午後7時頃、会社員・松延孝さん(36)の一家4人が西空にオレンジ色の光を放つ円盤型UFOを目撃。物体が3分裂し消えるまでの動きを子供がスケッチした。

㊵ 3月24日夜、名古屋。緑色に輝く雲状UFO目撃さる。



40

42

41

45

46

47

48

49

50

51

52

53

54

55

56

57

58

59

60

61

62

63

64

65

66

67

68

69

70

71

72

73

74

75

76

77

78

福岡県

⑥7 7月1日夜、北九州。会社員が自宅から楕円物体目撃。

北九州市

7月5日午後9時頃、関門海峡の西空に浮かぶオレンジ色の光体を、スポーツニッポン社写真部、上田章博記者が同社屋上から撮影。

⑥8 7月6日夜、北九州。オレンジ色の光体出現。

⑥9 7月6日夜、福岡。OLら4人が尾を引く光体を目撃。

⑦1 9月9日夜、福岡。オレンジ色の光体が3個に分裂。

⑦2 9月9日夜、福岡。小学生女子が黒い飛行物体を目撃。

佐賀県

佐賀市

6月20日午後9時過ぎ、卵大のUFOが白と橙色の光を放ち、同市上空を上下左右に移動するのを、同市高木瀬の市民7人が目撃。

長崎県

長崎市

9月17日午前4時半頃、舞の浜で夜釣り中の会社員ら6人が頭上に停止しているピンクとブルーに輝く直径1.5mの円盤を目撃。

熊本県

⑦5 8月15日夜、玉名。姉妹が月大の赤い物体を目撃。

大分県

大分市

5月8日夜、久住高原に修学旅行中の中学生多数が、ホテルの部屋から、まぶしく輝く電灯大の光体7、8個を目撃。

別府市

8月11日午後11時過ぎ、鶴見岳上空500mに点滅する光体を同市の四歩一光一さん(38)が発見、写真に撮影した。

宮崎県

⑦8 6月のある夜、宮崎。上下停止運動する光体出現。

⑦9 8月20日夜、清武町。双石山中腹から赤光体が急上昇。

鹿児島県

鹿児島市

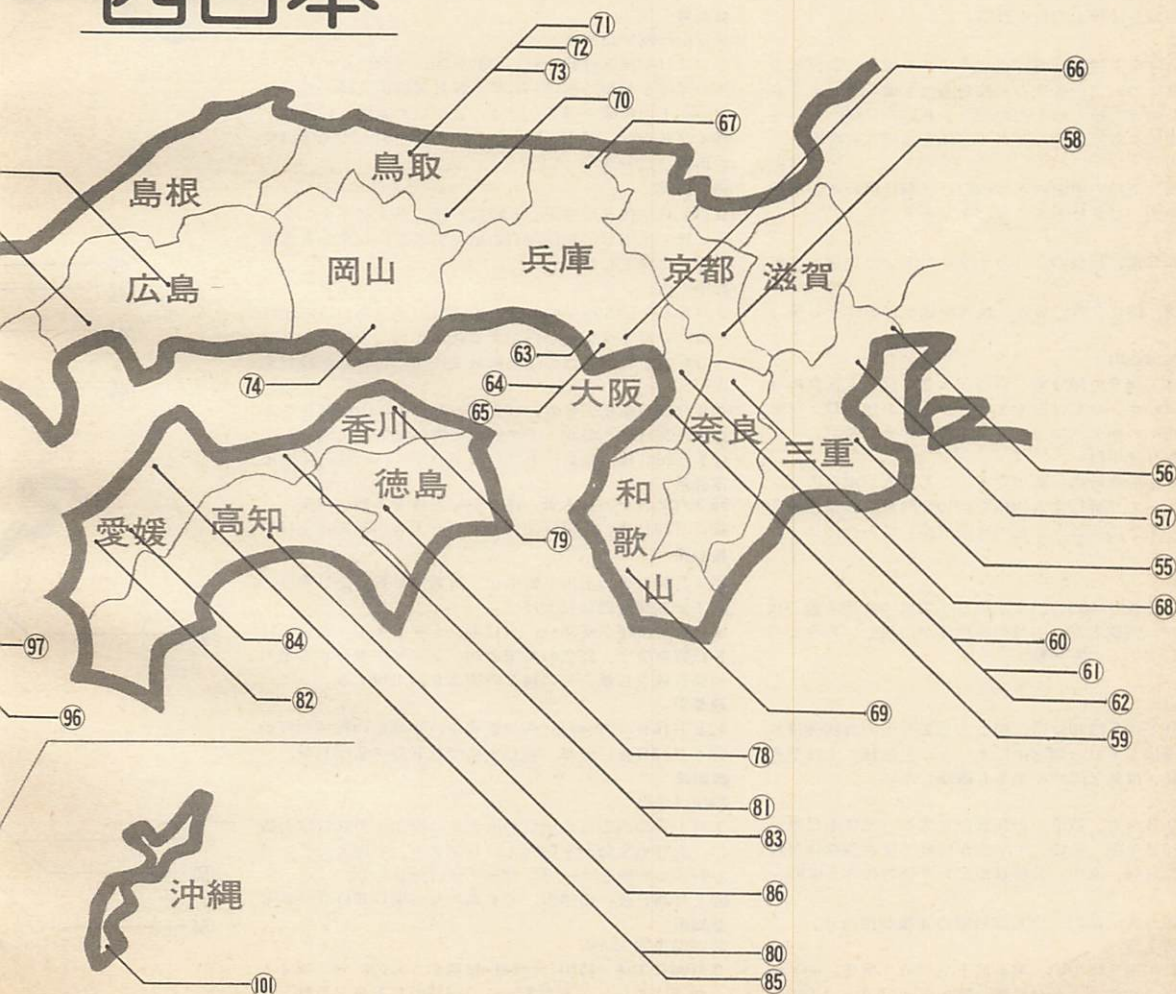
3月22日夜、同市郡元町の今村貴子さん(18)撮影の月写真に怪光体が写っていた。

沖縄県

那覇市

6月30日午後2時半頃、同市のレストラン・パリエンヌの女子従業員が上空に風船玉状物体を発見、同店コックが屋上から撮影。

西日本



三重県

⑤⑤ 渡会郡二見町二見浦

1月15日、二見浦の防波堤で松本市在住の堀江久数さんが、東方上空から飛来する紫色の円形物体を目撃、手持ちのカメラで連続撮影に成功した。

⑤⑥ 2月26日夕方、桑名。会社員2名が西空に光体を目撃。

⑤⑦ 鈴鹿市白子町

8月23日午後11時頃、農作業中の川端和子さん(31)ら8名が、銀色に輝く円盤型物体を目撃。物体は高度10m、距離60mの位置まで接近後、急上昇し海上へ消えた。

京都府

⑤⑧ 京都市右京区

8月19日午後9時頃、瀬戸内晴美さんと手伝いの少女数名が金星大の光体を目撃。光体は下降して薄い楕円形になり、光りながら小倉山上空へ移動、15分後に消えた。

大阪府

⑤⑨ 堺市

2月11日午後5時45分、同地に出張中の愛知県愛知郡日進町の会社員、丹羽豊さん(26)が、堺市上空を飛行するオレンジ色の光体を見え、カメラにおさめた。

⑥② 2月26日夕方、多数の市民が西空に赤い光体を目撃。

⑥① 大阪

3月2日午後6時頃、大阪、兵庫、和歌山の各県で、西空に正体不明の光る飛行体が出現、多数の市民が目撃、新聞社のカメラマンも撮影に成功した。

⑥② 6月14日夜、大阪。ドッジボール大の怪光体が出現。

兵庫県

⑥③ 2月22日夕方、神戸。オレンジ色の光体が西空を飛ぶ。

⑥④ 2月26日夕方、明石。数名が満月大の円形UFOを目撃。

⑥⑤ 神戸市生田区再度山

2月26日午後6時頃、同僚と再度山中腹付近で夕焼けを撮影中の会社員、小坂毅さん(23)が、東から西へ移動するオレンジ色に輝く物体を見え、撮影に成功した。

⑥⑥ 西宮市門戸荘

8月11日午後9時半頃、自宅で流星観測中の甲南大学教授、佐藤明雄さん(49)が頭上にUFOを見え、8倍の双眼鏡で確認すると、アダムスキー型に近かったという。

⑥⑦ 豊岡市

8月20日午後8時半頃、関野秀雄さん(33)ら3名が、円山川北西方の上空に美しく点滅する葉巻型UFOを見え、物体は一時停止をくり返ししながら山陰に消えた。

奈良県

⑥⑧ 2月4日夜、奈良公園の青白く光る物体が目撃される。

和歌山県

⑥⑨ 田辺市

3月2日午後5時57分頃、同市の会社員、隈本庸行さん(38)が西空に火球のような物体を見え、扇ヶ浜まで追跡し、そこに居合わせた丸尾国昭さん(63)らが撮影した。

鳥取県

⑦① 1月19日夕方、智頭。青白い光を放つ飛行体が目撃される。

⑦② 2月12日夜、鳥取。赤みがかった月大の物体が出現。

⑦③ 鳥取市富安

2月26日午後5時50分頃、豊田加奈江さん(18)が細長いオレンジ色に輝く物体を見え、家族と共に約10分間観測、135mm望遠レンズで撮影に成功した。

⑦④ 6月21日昼、鳥取。怪光体の海上落下を船員らが目撃。

岡山県

⑦⑤ 岡山市宮浦

8月19日夜、宮浦東所で夜釣り中の長谷川照茂くん(13)ほか3人が、上空をゆっくり飛行するオレンジ色の円形物体を目撃。光点が円形に集まったものようだった。

広島県

⑦⑥ 8月7日夜、五日市、安古。光体が一直線に飛行。

⑦⑦ 8月26日夜、豊栄町。住職と家族が明るい光体を目撃。

山口県

⑦⑧ 下関市東大坪

5月下旬午後9時45分、藤永博之さん(22)が北方を飛行中の赤と緑の光体を目撃。2光体はぴったりとよりそい、回転しながら無音で蛇行して飛び去った。

徳島県

⑦⑨ 剣山

7月8日午後7時30分頃、剣山に登った高知市役所の職員グループが記念写真を撮ったところ、今井光枝さん(62)を写した写真にUFOらしきものが写っていた。

香川県

⑦⑩ 木田郡三木町

2月4日午後3時頃、高松工芸高校2年の松下浩文くんが自宅付近の信行寺で、金色に輝くアダムスキー型円盤を友人と目撃、連続撮影に成功。

愛媛県

⑧① 2月2日夜、松山。上空に火の玉のような物体が出現。

⑧② 2月のある夜、川之江。父子がオレンジ色光体を目撃。

⑧③ 八幡浜市穴井

6月8日午後8時15分頃、治京与三郎くん(12)が、西空におむすびが2つくっついた形の光体を目撃。交互にオレンジ色の光を放ちながら北へ動いていった。

⑧④ 6月12日夜、川之江。会社員がピンク色物体を目撃。

⑧⑤ 上浮穴郡小田町

7月9日午後8時半頃、高岡譲さん(58)たち6、7人が、金星を2つ並べて大きくしたような横長の、黄色がかった光体が少しずつ移動するのを10分余り目撃。

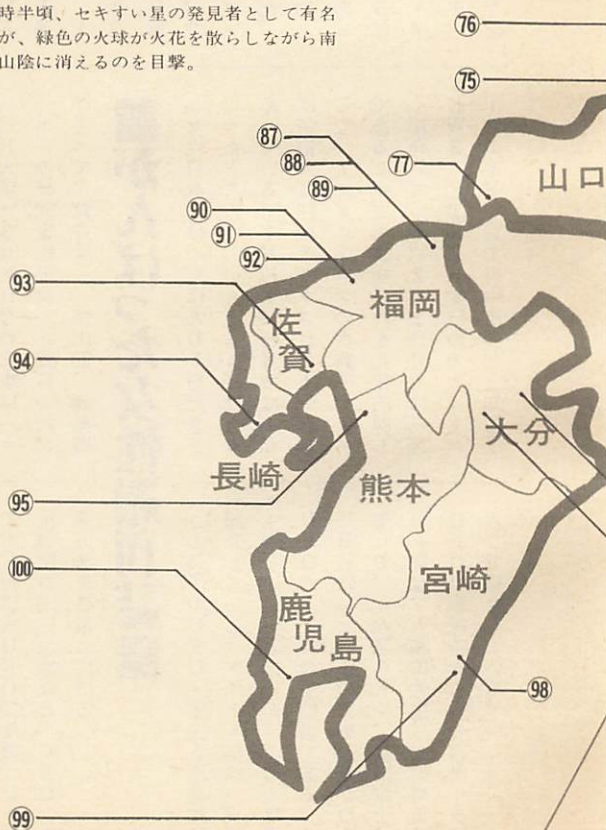
松山市

8月13日午後8時20分頃、3万人の観衆が市営球場上空を西から東へゆっくりと水平飛行するラグビーボール型の薄黄色をした光体を目撃。

高知県

⑧⑥ 高知市

2月2日午後7時半頃、セキスイ星の発見者として有名な関勉さん(47)が、緑色の火球が火花を散らしながら南から北へ流れ、山陰に消えるのを目撃。

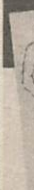


4 UFOブーム マスコミの反応

今年は各週刊誌が競ってUFO関連記事を掲載したが、リストを見てわかるように、「未知との遭遇」が封切られた2・3月に集中した。

トップバッターは、なんとあの『週刊朝日』で、数年前のスプーン曲げ騒動の時のようにムキになってUFO否定にまわれば面白かったのだが、それではチト大人げないと思ったのか、と、肯定サイドに立つわけにもいかず、いささか斜に構え、1月6日号の「あるとき救世主あるときインベダー・蒼ざめたUFOを見よ」という記事で勝負している。要するにヤジ馬的

▲『女性セブン』7月6日号の特集記事



金髪美人が男性といわれている

金髪美人が男性といわれている



上野・小野朝世
の接近

空前のUFOブームといわれる中で、今年は多くのマスコミがUFOにとびついた。
マジメにとりあげたものもあり、

立場から、UFO研究家やグループの系統や派閥を冷やかしかし半分に解説したもので、ごていねいにも「百家争鳴各派べつUFO教史」なる全ページ大のマンガまで添えられている。同誌はほとんどUFOにご執心なのか、7月7日号では、カラー口絵でアメリカ空軍の調査した写真の一部を発表している。『サンデー毎日』3月12日号の「UFO大全科」は、高梨純一、並木伸一郎、荒井欣一、久保田八郎の各氏に「わが会が間違いなくUFOと断定できる3大事件」を挙げさせている。高梨、並木両氏は、高知介良のミニUFO事件、甲府事件、新都丸の洋上遭遇を推選、荒井氏はミニUFO事件、1952年の羽田空港のリーダー事件、1956年の高尾山頂の3機編隊目撃事件、久保田八郎氏は、甲府事件、北野恵宝コンタクト事件、尾道のアダムスキー型母船撮影事件をあげていた。『週刊現代』2月2日号の「未知との遭遇」の体験と科学」は、映画のヒット振りを紹介したあと、1975年の新都丸の洋上遭遇、エドアルド・メイヤールとセムジャーゼのコンタクト、アメリカのアブダクションケースなど

冷かし半分のものもあるが、ともかく、うっかり見過したUFOファンのために、面白そうな記事を選んで紹介しておく。

に軽く触れ、JSPS、MFS A、などの研究会を紹介、最後に各国政府がUFOを科学的研究の対象にしているというのでしめくくっている。「NASAはUFO観測目的の人工衛星を打ち上げる計画らしいですが、ソ連でも、空軍の中将クラスをチーフに据えて、空軍、科学アカデミー、宇宙科学研究所の三者が一体となってUFO調査委員会をつくって、取りくんでいるそうです。ポーランド、チェコスロバキアにも同じような調査機関があるときいています」(中岡俊哉氏のコメント)『週刊大衆』3月30日号の記事は「ニッポンの研究家総動員」と銘打っただけあって、荒井欣一、南山宏、高梨純

■がんばった女性週刊誌

『女性自身』はいちばんUFO好きといたところ、少くとも4回はとりあげている。1月12・19日号では「私は宇宙人に妊娠テストされた!」と題して、アブダクションの古典的ケースであるヒル夫妻誘拐事件を比較的詳しく紹介している。2月2日号では「NEWS STREET」のオカルトコーナー1ページで府中市の井上知江子

一、並木伸一郎、久保田八郎各氏のコメントでつなぎ、最後に「もつとも異色といえ、それこそUFOよりもつとわからないのがゾロゾロでてくるのがこの世界」というので、「UFOを千回見た」と豪語するおなじみ高坂勉氏、「宇宙人と何度もコンタクトしたり、デイトまでしている」五井野正氏を登場させ、ついでに札幌の中野クンのコンタクトに触れ、『UFOと宇宙』の編集者と称する人物のまるで言った覚えのないコメントでしめくくっている。

『平凡パンチ』3月6日号の「CALL ON UFO」は、テレビ・コンタクト、プロジェクト・スターライト、折田式UFO探知機、UFO出現頻度の高い地域など、UFOとの遭遇方法を集めている。

さん母子のUFO・宇宙人遭遇体験を紹介している。タイトルには「平凡な主婦と……」とあるが、この人は府中UFOサークルの主催者である。3月16日号は「女の子のためのUFO大特集」で、女性誌らしく、桜田淳子、あおい輝彦、大和田伸也、太田裕美らのUFO目撃報告を本人の自筆イラスト入りで紹介している。



ロサンゼルス22チャンネルの福岡愛 鈴木明
私の人物像へスチロ・油田大作
金ドル体制の崩壊 長谷川慶太郎
●特別企画●作田豊一 荒正人 藤村幸弘 坂沢区丸山 豊二 石森賢
安部公房

UFO宇宙ミステリー

▶今年には総合月刊誌にもUFO特集が登場した
同誌9月28日号は「私の妻は青く光る服の宇宙人にさらわれた!」という大阪の岩井タミ子さんの失踪事件をレ

UFO関連記事を掲載した主な月刊誌

小説推理	2月号	立体構成/UFOの謎—宇宙の冒険とロマン
プレイボーイ	3月号	プレイボーイ・パネル/UFO
宝島	4月号	座談会/明日、あなたもUFOに遭遇する!?
リーダーズ・ダイジェスト	4月号	私はUFOを見た!—その目撃例を徹底研究する
月刊ペン	5月号	赤間剛/UFO—謀略に包まれた究極兵器
カートップ	5月号	UFO発見ドライブ大作戦
潮	6月号	特集/UFO・宇宙ミステリーへの接近
ジャッカー	8月号	夏期宇宙科学&UFO講座
SFマガジン	8月号~	日下実男/ユーフォロジー論考
ターゲット	9月号	キミはUFOを信じるか?
ハスラー	10月号	そこに宇宙人がいた
ギャラントメン	11月号	三根生久大/UFO目撃の99%は各国秘密兵器の誤認
月刊ペン	11月号	久保田八郎/宇宙時代の哲学を探る
教育の森	11月号	UFO・古代史・インド

(注) 今年初めから10月15日現在までに発行されている週刊誌・月刊誌の中から主なものを選んでみた。ただし、「未知との遭遇」のみを扱った記事は除いた。

UFO関連記事を掲載した主な週刊誌

週刊朝日	1. 6	空飛ぶ黙示録・蒼ざめたUFOを見よ
女性自身	1.12—19	私は宇宙人に妊娠テストされた
週刊現代	2. 2	「未知との遭遇」の体験と科学
女性自身	2. 2	平凡な主婦と中学3年の男の子が体験した「宇宙人との遭遇」記録初公開
平凡パンチ	3. 6	緊急指令!! Call on UFO
週刊明星	3. 12	UFOよ来い!! 大マジメ実験現場ルポ
サンデー毎日	3. 12	UFO大百科。日本人50万人が遭遇した!!
女性自身	3. 16	女の子のためのUFO大特集
女性セブン	3. 23	ぼくは異星人ラミュー氏との第3種接近遭遇に成功した
週刊サンケイ	3. 30	ついに年鑑まで出現したUFO狂騒曲
週刊大衆	3. 30	ヒット映画や最近目撃例で火がついた新UFOブームの「実在根拠」をさぐってみた
週刊現代	4. 6	ハローUFO—こちら円盤研究会(グラビア)
週刊平凡	5. 25	UFO—あなたも遭遇できる!
プレイボーイ	6. 6	J・アレン・ハイネック博士のUFO大講義
プレイボーイ	7. 4	ザ・UFO—BIG3・特別座談会
女性セブン	7. 6	宇宙への招待
週刊朝日	7. 7	ヤンキーもUFOがお好き(グラビア)
女性自身	9. 28	私の妻は青く光る服の宇宙人にさらわれた!

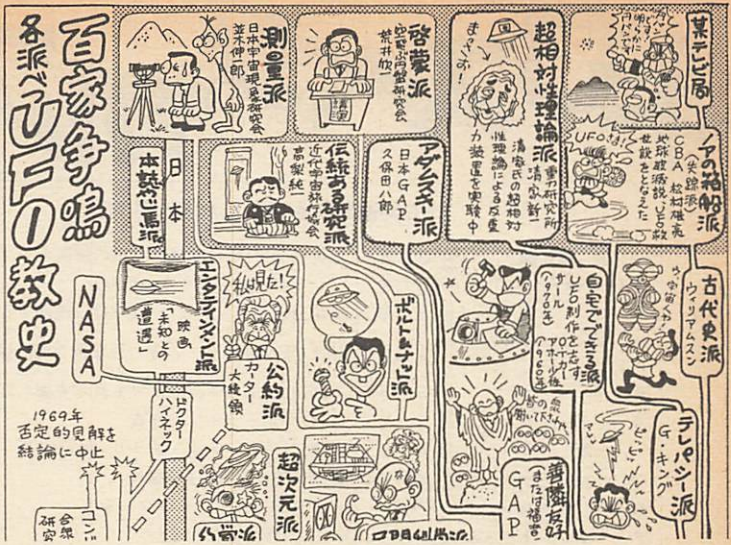
ポートしている。タミ子さんは昭和49年から「コリス・ジミー」と名乗る宇宙人とコンタクトしているが、その姿は本人以外には見えない。ただ、病氣治愈能力を宇宙人から授けられ、現に100人以上の患者を治愈したともいう。また、夫の幸一さんも、コンタクトに立ち会った際、何か得体の知れないものに触れられていると感じたこと

もあるという。そのタミ子さんが「宇宙人とのつきあいがある」と言い残して去る8月から失踪したというのだ。『女性セブン』は、3月23日号で、本誌No.29—30で詳しくレポートした札幌の中野クンのコンタクト事件を紹介、

空さわぎに終わったハイネック来日

7月16日開幕の宇宙博にアレン・ハイネック博士が来日、講演するというので、国際電話でインタビューを試みている。「私は「UFO現象」を研究しているんです。UFOは科学の問題で、ガンや太陽黒点の研究と同じことです」「遠くの惑星から来ているとは、私には信じがたい。そうだとしたら、恒星間の距離が、いかに遠いかを理解できないんですよ。私たちは人びとのいうUFOのように、恒星間を飛来できる科学技術について推測する知識もないんです。ですから、不思議であってUFOはパラドックスなんです。ありえない、しかしその現象は起こっている」「私が口を開くときまっ

と。じゃ、みなさんはガンの原因は何だと思えますか? UFOはガンと同じく、調査研究される問題なのに人びとは答えばかり欲しがります。周知の通り、このハイネック来日の



『週刊朝日』1月6日号に掲載されたマンガの一部

報道は勇み足に終わり、宇宙博協会の内部事情により流れってしまった。『報知新聞』9月8日の「見えたり消えたり UFO講演」という記事は、そのあたりの事情を皮肉をまじえながら報道している。なお本誌は、かかる結果になりかねないとの予測が当初からあったので、混乱をさける意味で、この「来日決定」についてはあえて報道しなかった。

なお同誌は続いて7月4日号でも、

国際円盤デー記念として荒井欣一、南山宏、頑迷なUFO否定派のSF評論家である横田順弥の各氏による座談会を組んでいる。

週刊誌はこれぐらいにして、月刊誌に目を転ずると、まず注目されるのは月刊『ブレイボーイ』3月号の「ブレイボーイ・パネル・UFO」だろう。これはアメリカの『ブレイボーイ』誌の転載記事で、アレン・ハイネック、レオ・スプリングル、ジャック・ヴァレー、ジェイムズ・ハーダー、フランク・ソールズベリー、フィリップ・ク

総合月刊誌に登場したUFO

今年はいわゆる総合月刊誌にもUFO問題が登場したことは注目される。

『潮』6月号は、「UFO・宇宙ミステリーへの接近」という特集に6ページをさいている。作田啓一「UFOブームのなかで考えたこと」、丸山健二、相沢啓三、谷川晃一、三上寛、小野耕世、石森章太郎、大島泰郎、荒正人の各氏による「私のUFO観」と銘打った小論、河合隼雄、種村季弘両氏の対談「なぜ『空飛ぶ円盤』がみえるのか」、飯沢匡「大八車」の商人魂、赤間剛「宇宙の蒼ざめた馬」という構成。作田啓一は京大社会学部教授、飯沢匡は

ラス、アーネスト・デイヴスという肯定派4人、否定派2人の豪華メンバーによるパネル・ディスカッションである。とくに目新しい論議が展開されているわけではないが、火花を散らす熱戦が興味深い。

『リーダーズ・ダイジェスト』4月号は、トラビス・ウォルトン事件などアレン・ハイネックとジェイムズ・ハーダーが最も真実に近いケースとして挙げている3つのUFO事件に対する、否定論者フィリップ・クラスの具体的な反論が紹介されている。

劇作家、河合隼雄はユングの翻訳で知られる京大心理学教授、種村季弘はなんと独文学者ということである。まあ、このあたりのインテリさんのおっしゃることは、人々のUFO希求は「人間固有の離脱要求」のゆえであり、「とりわけ『雑事やいがみ合い』から成る社会システムからの離脱の要求は、今日の巨大化した複雑な社会システムの中で生きている人間において非常に強まっている」（作田）とか、「今の子供がUFOしか見なくなっちゃったというのは、家屋構造が3DKとか、何とかハウスとかいって全部既製のものでしょう。かくれんぼする場

所がないんですよ」（種村）とか、誰でも考えつきそうなあたりさわりのないことばかりである。

むしろ興味深く読めたのは、「私のUFO観」で、作家の丸山健治氏が肯定的な立場を明確にしているほか、相沢啓三氏が「UFO情報をどう選択するか」という観点から、現在、UFOをめぐる情報が混乱しているが、「情報の流行はさらに過熱してもらった方がよい……そうすれば、たちまちに風化し、早々に終熄することになり、情報の選別が、あるいはいささか精密になしうようになるかもしれない、その情報の集積が情報を超えさせてくれるかもしれない」と述べ、また、谷川晃一氏が、「今日、へなげUFOなのか」というテーゼが私たちに少しでもリアリティを持つとすれば、UFOすなわち地球外異文明との遭遇によってひき起こされるあらゆるショックとその対応を想像力の及ぶかぎり想定し、袋小路に陥った私たちの文明の存在に向けての突破口を見出す以外にない」と述べているのが印象に残る。

赤間剛「宇宙の蒼ざめた馬」は、簡単に言うと、UFOは実体としては秘密兵器であるが、CIAが政治的戦略として「左の手で科学界の権威に否定論を語らせ、右の手で肯定論者を操作

夕刊フジ 昭和53年1月18日(17日発行) <第三版(夜間版)> <14>

のつき合い方、教えマス

気軽に会える
プレゼント交換、を



UFOが大衆飛来する、



これが究極の生命体であるUFOと宇宙(高橋氏)



24日(水)に「CAMPUS」第...
この場にもあつた情報は「夕刊フジ」
に掲載。

▲1月18日付の『夕刊フジ』。2〜3月頃は、
毎日のようにUFO記事が、夕刊紙やスポー
ツ紙にぎわせた。

する」という方法を選択したため、き
わめて複雑な様相を帯びるに到り、U
FOの観念的な正体が隠蔽され続けて
いる、というもので、謀略という観点
からUFO問題を分析している。妙に
リアルな気味悪さがあり、いわゆるU
FO研究家以外のUFO論として、も
っとも異彩を放っているといえよう。

NHKもUFOをとりあげた

次に新聞はどうであったか？ 単なる
目撃事件の報道は枚挙にいとまがな
い。「未知との遭遇」の封切と同時に
発生した2月26日および3月2日の首
都圏を含む全国的な目撃は各紙が報じ
たし、その他ふだんならニュースにな
らないようなケースも、ブーム便乗で
ずいぶん報道されたようだ。また、
『デイリー・スポーツ』が2月2日か
ら3月17日までの連日「来た！見た！
触った！UFO」という開き記事を、
『東京スポーツ』が4月2日から6月
18日まで連日、矢追純一氏の「UFO
との遭遇」を連載、さらに『スポー
ツニッポン』は2月6日から毎月隔日、
横尾忠則氏の「空飛ぶ円盤物語」を連
載、これは現在も継続中である。
テレビについては、研究家および研

究会の動向を参照されたい。注目すべ
きは、NHKがUFOをとりあげるに
到ったことで、6時の子供番組「こち
ら600情報部」5月11日に横尾忠則
氏のインドでのUFO目撃談を、6月
5、6日にそれぞれ国内、海外のUFO
情報を正面からとりあげたのである。
ラジオでは、日本短波が2月24日午
後10時50分から、屋上にスポットライ
ト3基、FM発信用スピーカーを据え
付け、UFOを呼ぶ実験を行なったの
がもっとも大きなイベントであったが
ユニバース出版社でも7、8月、ラジ
オ関東で週1回「UFOメーシオン」
を提供したように、各局ともかなりの
本数にのぼるUFO関連番組を製作し
たようである。
さて最後に総括めいたことをいうな
らば、マスコミベースのブーム作りには
もとより功罪はある。だが、この
ブームを経過する中で、少なからず
「UFO」が世人の意識に定着しはじ
めたことは否定できない。もともと今
年は「UFO、UFO」と騒がれたわ
りには、目立った事件は少なかった
が、そろそろ現実のUFOウェーブの
兆候も見えはじめている。来年は、実
体のある「UFOブーム」を、われわ
れUFOファンの手で作っていこうで
はないか。

UFO教育グループ

〒350-12埼玉県入間郡日高町高萩2648-38

振替東京3-54681

宇宙における人類の理想を、ジョージ・ア
ダムスキー氏が伝えた先進惑星文明の社会と哲
理から探究し、役立てるための情報教育機関
会員制なし 無条件自由参加

刊
行
資
料

進化した宇宙人その他の惑星に関する質
疑応答集——アダムスキーの質疑応答
集の決定版。73問答。350円送料100円
UFO教育センター来日記念講習会記録
——アダムスキーを継ぐ四人のコンタ
クティーによるセミナー 頒価1360円
(送料共) 1月刊行予定・予約受付中

情報誌
教育

UFO教室

年3〜4回発行 B5判簡オフ32頁
頒価一冊360円 送料140円
予約購読は四回発行分で2000円
送金は全て郵便振替を御利用下さい

説明・研究会

毎月一回、都内で
説明研究会開催。
初心者用、哲学研
究、科学研究等の
分科会形式もあり。
案内書希望者は50
円切手同封で申込



5 アメリカの研究動向

米UFO研究界の今年の活動と来年度の計画を名高い研究団体の代表者に聞く。報告はおなじみ、ニューヨーク在住の富川正弘氏である。

APRO

(空中現象調査機構)

アメリカで最も古くから活動が続いている民間のUFO研究団体。世界50カ国でAPROの代表者が活動している。創立以来の代表者であるロレンセン夫妻のもと、確固とした組織を作りあげている。最近、UFO



による誘拐事件の調査に主力をそいでいる。

本部・アリゾナ州ツーソン
機関誌・APROブレティン

CUFOS

(UFO研究センター)

世界的に有名な天文学者アレクサンダー・ハイネック博士が創設した科学的UFO研究団体。主要UFO研究団体をはじめ、警察な

1978年の主な活動

1978年末までに、アリゾナ州ケアフリー(フェニックスの北50マイル)にUFO研究ラボを完成させる。ここにコンピューターやウソ発見器、心理催眠テスト装置などを完備させ、本格的なUFO研究が行なえるようにする。

- 1)、今年6月、ノースウェスタン大学天文学部長の職を停年退職したので、これからはCUFOSでのUFO研究活動に専念できるようになった。
- 2)、国連でのグレナダの動きを助けるため、ワルトハイム国連事務総長に会ったり、国連でのUFO展の顧問をしたりした。

CIAに対して秘密資料公開を要求する法廷闘争を進めてきたが、GSW側に有利に進み、多数の秘密資料が公開されるはこびになったこと。

1979年の活動予定

より科学的なUFO研究が出来るような態勢づくりに努める。たとえば、UFO調査現場と研究ラボとの交信にマイクロウェーブや通信衛星を利用し、現場とラボとを直結できるようにすることなどである。

- 1)、CUFOSでのUFO研究活動に専念すると同時に、国際的なCUFOSのネットワークを拡充したい。
- 2)、国連での国際的UFO研究が実現するよう、運動を助けたい。
- 3)、1978年に日本を訪問する計画は残念ながら中止となったが、これを中止と考えずに延期と考えて、ぜひ日本訪問を実現させたい。

- 1)、1979年は、CIAのみでなく、CIA相手の法廷闘争で得た経験を生かして、空軍情報機関、NSA(国家安全保障機構)、DIA(国防情報機関)などにも手を広げて、法廷闘争を展開し、より多くのUFOに関する秘密文書を公開させたい。
- 2)、UFO写真のコンピューター分析の分野では、従来より格段に進歩した手法を開発し、UFO写真からホログラムを使った三次元の立体像を作って分析することなどが出来るようにする。

UFOLOGISTS OVERSEAS

テッド・ブローチャー氏

I、1978年の3大事件
まだ評価が済んでいないので3大事件を挙げるのはむづかしい。

II、1978年の主な活動

(1)、コンピューターを使ってCE-III(第3種接近遭遇)ケースのヒューマノイド・カタログを作っているが、これまでに1820事例をコンピューターに記憶させた。

(2)、現在、逆行催眠を使って7人のケースを調査中だが、非常に興味深い事実が明らかになりつつある。

III、1979年の活動予定
ヒューマノイド・カタログの作成作業と、逆行催眠テストを



続行していく。
〈略歴〉

ニュージャージー州サミットに生まれる。コロンビア大学で劇文学を学ぶ。1950年代後半から1973年まで、歌手兼俳優として活躍。現在、コンピューター専門家としてニューヨークで勤務。1952年のワシントンにおけるUFO事件以来、UFOに積極的な関心をいだくようになる。その後、APRO、NICAPなどのメンバーとして活動。現在、MUFONニューヨーク地区責任者。CUFOS調査員。ヒューマノイド研究の第一人者で、現在、コンピューターを用いてヒューマノイド・カタログを作成中。

レオナード・ストリングフィールド氏

I、1978年の3大事件

今年は特に大きな事件はないけれど、しいて挙げれば次のようになる。

(1)、5月14日、フロリダ州オカラのバインキャッスル海軍エレクトロニクス兵器実験場上空にUFOが出現し、多数の兵士により肉眼とレーダーの両方で

UFOスペシャル'78

どと協力関係を結び、データを入手、分析している。

本部・イリノイ州エバンスト



機関誌・インターナショナル

UFO レポーター

GSW

(ランド・ソーサー・ウォッチ)

少数精鋭主義の科学的UFO研究団体。多数の科学者、専門家がメンバーの中核となっている。UFO写真をコンピュータで鑑定するという画期的な手法を開発したことで有名。

本部・アリゾナ州フェニックス

ICUFON

(国際UFO星間宇宙船研究ネットワーク)

元国連公報局に勤務していたケビックスキー退役陸軍少佐を代表者とする団体で、1966年以来、国連に対して7度にもわ

UFO研究団体名

1978年の3大事件

APRO

代表者：ジム・ロレンゼン氏、コラル・ロレンゼン夫人

- 1)、コロラド州クリアビューでの事件(数年前から、この狭い地域でUFO目撃、ヒューマノイド目撃、ビッグフット目撃、キャトル・ミューティレーションなどが集中発生しているのが興味深い)。
- 2)、アリゾナ州ツーソンで若い女性と母親がUFOに誘拐された事件(昨年の事件だが、逆行催眠で調べたら不思議な事実が判明)。
- 3)、ノースカロライナ州のハーマン氏の事件(UFOの連続写真を撮影後、何日かして再びUFOに遭遇し、内部に連れ込まれた)。

CUFOS

代表者：アレン・ハイネック博士

- 1)、1978年5月14日、フロリダ州バイン・キャッスル海軍エレクトロニクス兵器実験場で起こったレーダー・眼視事件。
- 2)、1978年6月22日、ウィスコンシン州マディソン空港で起こった、管制塔と空港近くを飛行中のパイロットとのレーダー・眼視事件(管制塔とパイロットの会話のテープが証拠として残っている)。
- 3)、1978年10月8日、ミズーリ州ジェンキンの農場での6人の目撃者による着陸痕をとまなうUFO着陸事件(CE II)。

GSW

代表者：ウィリアム・スポールディング氏

1978年には、全般的にいうと3大事件と呼べるほど目立った事件はない。

確認され、しかも米軍がこの事件が起こったと認めたこと。

(2)、大西洋を世界で初めて気球で横断した4人が、途中、UFOに遭遇し、あやうく墜落しそうになるといふ事件を経験していること。

(3)、今年の初め、ケンタッキー州で緑色をした火球事件が相次いだこと。

II、1978年の主な活動

(1)、第3種回収(墜落UFOと宇宙人の死体の回収)について、MUFOONシンポジウムで発表したこと。これにより多くのUFO研究者たちが、これまで避けてきたこの問題を再び真剣に考え直すようになった。

(2)、国連でのグレナダ政府の動きに協力し、ワルトハイム国連事務総長に会見した。

III、1979年の活動予定

(1)、第3種回収をもっと深く調査し、動かぬ証拠をそろえた



い(ほとんど新情報が集まっている)。

(2)、国連でのUFO研究機関設置が実現するよう、グレナダ政府に協力する。

(3)、アメリカの各UFO研究団体が協力してより大きな成果をあげられるように尽力したい

〈略歴〉

本誌1978年11月号参照。

富川正弘氏

I、1978年の3大事件

(1)、国連関係の動向——国連でのグレナダ政府によるUFO案件に関する運動への協力(アメリカ国内の各UFO研究団体および日本、フランスなど)が

昨年よりも大きく力強くなってきたこと。11月末の国連特別政治委員会では初めてUFO展が行なわれること。ICUFONが部厚い未公開資料集を配布し、各国代表団の関心と呼んだこと

(2)、CIAに対するGSWの法廷闘争がGSWに有利に展開し、多数の秘密資料が公開されるはこびになったこと(11月頃、約1万件の資料が請求者に渡される予定)。



たりUFO問題の研究を提案してきた。今回のグレナダ政府の国連における活動にも、全面的なバックアップをしている。

本部・ニューヨーク州ニューヨーク

MUFON (相互UFOネットワーク)

目下、躍進中のUFO研究団体。ハイネック博士のC UFO Sと密接な協力関係のもとに研究を行なっている。1970年から毎年1回、全米UFOシンポジウムを主催している。

本部・テキサス州セグウィン
機関誌・MUFON・UFO
ジャーナル

NICAP

(全米空中現象調査委員会)

伝統のあるUFO研究団体のひとつ。1969年まで、有名なドナルド・キーホル退役海軍

1978年の主な活動

第33回国連総会でのグレナダ政府の動きを支援するため、上記の資料作成を含む種々の活動を行なった。

ライト・バターン基地のあるオハイオ州デイトンで第9回MUFON・UFOシンポジウムを開催し、成功を収めたこと。

- 1)、他の団体(GSW等)と協力して米国政府からUFO関係の秘密資料を出させるよう努力した。
- 2)、NICAPの運営は資金難から非常に困難に直面しているため、各方面に寄付をお願いした。

左に同じ。

1979年の活動予定

引き続き国連での国際的UFO研究機関設置実現のための活動を展開する。

- 1)、1979年7月7日、8日の両日、サンフランシスコで第10回MUFONシンポジウムを開催する。会場はサンフランシスコ国際空港の近くのエアポート・マリナ・ホテルなので、日本からも多数参加していただきたい。
- 2)、そのほか、アメリカの諸UFO研究団体の力を結集できるような協力関係を生み出せるよう努力したい。

- 1)、NICAPの活動を存続させていくために、現在直面している資金難問題を解決するのが第一の課題。
- 2)、他のUFO研究機関との協力を従来通り進めていくが、他と合同はしない。
- 3)、1979年は、1973年のUFOフラップから5年半目に当たるので、UFO活動が多発する可能性がある。

1979年には、現在詳しく調査・分析中の科学的研究結果を学会で発表する予定である。これにより、UFO研究が始まって以来の歴史的に重要な科学的データが公表されることになり、UFO研究は確実に物理学の分野で取り扱われる新時代に入るであろう。もちろん、この公表はマスコミで取り上げられ、全世界にセンセーションを巻き起こすであろう。

- (3)、MUFONシンポジウムでレオナード・ストリングフィールド氏が、これまでタブー視されてきた「第3種回収」に関する発表を行ない、多くのUFO研究者たちに衝撃を与えた。



展示物をグレナダ政府から借り出し、日本各地で展示できるように、日本のUFO研究者諸兄のご協力を得て働きかけたい。

〈略歴〉

1942年満州に生まれる。

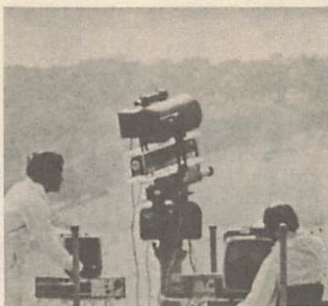
1965年早稲田大学商学部卒業後、某化学会社に入社。1972年度米国駐在員としてニューヨークに赴任。1976年アリゾナ州のアメリカ国際経営大学大学院を卒業し「国際経営学修士号」を得る。以後ニューヨークに勤務して現在に至る。

- (1)、アメリカのUFO研究事情を、できるだけ迅速に日本へ伝えること。
- (2)、これまであまり知られていない日本のUFO研究事情を海外(特にアメリカ)に知らせるよう努めること。
- (3)、グレナダ政府に協力し、国連にUFO研究機関を設置させるよう運動すること。また、国連特別政治委員会でのUFO

学生時代にUFOの本(平野威馬雄・荒井欣一共著)を読んできて以来UFOに興味を持ち、ベティ・ヒル、チャリー・ヒクソン、トラビス・ウォルトン等、UFOに誘拐された人々や多数のUFO目撃者たちに会いUFO実在の確信を得るに至ったが自分では残念ながらまだ1度も目撃経験がない。

1. ザーも設置している。また、つい最近、高度なUFO追跡・監視システムも完成させた。

本部・テキサス州オースチン



UFOのハード・データ収集を目的とする、世界初のUFO観測基地を有する団体。最新鋭の観測機器を完備し、UFOとの交信にそなえてヘリウム・レ

PSI
(プロジェクト・スタースライト・インターナショナル)

機関誌・NICAPブレティン (休刊)

本部・メリーランド州ケンジントン

少佐が代表者で、アメリカ政府や軍に対してUFOの秘密資料の公開を要求し、華々しい活動を展開した。その後、しだいに活動が低調になってきている。

UFO研究団体名

ICUFON

代表者：コールマン・ヴォン・ケビクツキー氏

MUFON

代表者：ウォルト・アンドリュース氏

NICAP

代表者：ジョン・エイカフ氏

PSI

代表者：レイ・スタンフォード氏

1978年の3大事件

1)、1975年10月末から11月初めに起こった各地の米国戦略空軍基地上空でのUFO活動に関する秘密資料がやっと入手できたこと。
2)、第33回国連総会にICUFONがまとめた米国政府のUFOに関する未公開資料が提出され、大きな話題を呼んだこと。

78年にもいろいろな事件が起こったが、特に目立つ事件というようなものはない。しいて挙げれば、1977年12月27日、ノースカロライナ州シャーロットで起こった2人の警官の乗ったヘリコプターによるUFO遭遇事件だろう。

1978年には、特にこれといった目立った事件はなかった。

詳しいことはまだ発表できないが、PSIがニューメキシコ州、テキサス州西部、アリゾナ州などの地域での現地調査活動中に種々の科学機器装置を使いUFOの物理的特性に関するハード・データを収集することに成功した。このデータの入手により、UFOが地球の科学水準よりもはるかに進歩した科学技術の産物であることが明かされる。

オーストラリアで

セスナ機がUFOに近接遭遇

10月21日夜、オーストラリアのメルボルン沖で1人乗りセスナ機がUFOに遭遇し、消息を絶つという大事件が発生した。

セスナ機を操縦していたのは、メルボルンに住むフレデリック・バレンティン氏(20)。

午後7時6分、フレデリックさんはオタウエー岬上空でUFOを目撃、付近を飛んでいる航空機がいまいか、管制塔に問い合わせた。だが、該当する飛行機はないという。

その未確認飛行物体についてフレデリックさんは次のように描写している。

「すごい速さで飛び去った。長い描写している。」

事件当時、付近の天候や気流などの条件はきわめてよかったし、フレデリックさんは熟練パイロットで、健康状態も良好だった。

さらに、同夜の午後8時15分頃、事件現場から約700キロ離れたベイトマンズ湾上空にもUFOが出現、2人が目撃している。いま、オーストラリアはこの事件の話題でもちきり。





「11PM」に出演中の高梨氏(右から2人目)。
エジプト旅行中の久保田氏(二行)。



6国内研究総ファイル

全国に数百といわれるUFO研究
団体、研究者の中から主要なものを
選び、今年の活動を追った。

日本空飛ぶ円盤研究会(JFSA)

①1955年7月

②荒井欣一(会社員)

③〒141 東京都品川区東五反田2-19-18

④「宇宙機」休刊中

⑤現在、会の活動を休止中のため、最終的に約1000名

⑦会員の募集はしていない。

⑧今世紀における世界最大の謎「空

飛ぶ円盤」の実体を科学的に究明するため。

⑨4月28日、世界初の「UFO年鑑」発行/NHK「テレビ・ロータリー」

12チャンネル「びっくり大集合」、日本テレビ「知られざる世界」出演/

サンボウ99の謎「UFOと宇宙人」企画協力と執筆/ソ連大使館と情報交換。

近代宇宙旅行協会(MSFA)

①1956年11月15日

②高梨純一(会社経営)

③〒560 大阪府豊中市夕日丘2-17-12

④「空飛ぶ円盤研究」(隔月刊。ただし現在不定期刊81号)「空飛ぶ円盤特別情報」(随時13号)他各種

⑤2400名

⑦ハガキ大の用紙に住所・氏名・年齢・職業(学校)を書き、会費半

分1200円(会誌3冊)か1年分2400円(会誌6冊)を添えて申しこんで下さい。

⑧広く内外の情報を究明に集めて分析し、科学的にUFOの真相を解明してゆく。



研究団体名

①創立年月日

②代表者(職業)

③住所

④会誌名(年発行回数)

⑤会員数

⑥支部(支部長)

⑦入会案内

⑧会の主旨、特色

⑨1978年の主な活動

〈海外との接触〉(米)Center for UFO studies/APRO日本代表/MUFON日本代表/NICAP(カナダ)Canadian UFO Report(英国)FSR(フランス)Lunier dan la Nuit(ドイツ)UFO Nachrichtenその他多数のUFO研究団体、研究者と連絡を取



矢追純一(日本テレビ)
(デイレクター)

2月23日、木曜スペシャル出演「太古ナスカ平原は宇宙人の飛行センターだった!!」/3月27日、11PM

り、情報を交換。
⑨1月15日、第2回UFO研究協議会/17日、週刊現代の取材/18日、ラジオ大阪の取材/22日、サンデー毎日の取材/23日、近鉄アベノ百貨店に資料提供/3月7日、週刊現代の取材/13日、読売テレビに出演/14日、週刊大衆の取材/15日、大阪新聞の取材/25日、テレビ朝日「宇宙組曲」に執筆/26日、第3回協議会/31日、読売新聞の取材/4月11日、NHKの取材/25日、テレビ朝日「SF」の取材/27日、日本テレビ「11

黄金・太陽の処女・宇宙人・謎と怪奇の国ベル」放送/5月2・12日、ニューヨークでユリ・ゲラーに会う/7月3日、11PM素人8ミリ大会/北野大僧正と鈴鹿市事件取材/9月25日、11PMで前記事件を放送/10月18日、埼玉県入間市の宇宙人遭遇事件取材/10月20・21日、伊東市のタクシー無線怪声受信事件取材/11月6日、前記事件を11PMで放送
PM」に出演/下旬、沖縄UFO展に資料提供/5月初旬、スーパー「ニチイ」鴻池店に資料提供/18日、女性セブンに資料提供/6月25日、テレビ朝日「宇宙組曲」に執筆/7月6・7日、日本債券信用銀行梅田支店に資料提供/15日、朝日放送に出演/16日、東京銀座コアビル「テクニクス・ギンザ」で講演/8月26日、フジテレビ系ワイドショーに出演/26日、朝日放送に出演/22日・9月30日、大阪日産ギャラリに資料提供/9月24日、第4回協議会/26日、東京12チャンネル系に出演。



▲全日本コンタクト大会にて、日本宇宙UFO研究会の会合風景。



2回刊)情報誌「UFOインフォメーション」(年3、4回刊)
⑤1000名

⑥秋田(越前谷瀬、神奈川(雲英恒夫)、名古屋(丹羽正二郎)、京都(橋本邦夫、大阪(林一男)、大分(高橋昌一郎)、福岡(畠山公作)

⑦入会金500円と会費2000円(1期分、誌差引別)を振替(東京61128740)で当会まで。

⑧事件、写真等を各分野から徹底調査。有力情報、着陸事件発生の際、ガイガーカウンター等各種器材持参で現地を調査。収集されたUFOデータはすべてマイコンで処理。海外6カ国の主要研究団体と会誌交換。

当会の池田隆雄副会長はAPROとMUFONの西日本地区担当連絡調査員である。

⑨CATS (Catch all thing in the Sky) 計画スタート。これは空を飛ぶすべての物体を撮影または記録し整理しようというものである。UFO目撃情報の整理のためマイコン・コンピューターを設置/4月2日、目黒雅叙園で並木会長と坂本八千代さんが挙式/4月12、28日、日本債券信用銀行渋谷支店に協力。

重力研究所
①1973年1月



②清家新一
③1988 愛媛県宇和島局私書箱33号

④「宇宙航」(隔月刊42号)
⑤開発支部(杉本和也)、編集支部(古賀信昭)、福岡(川崎秀高)

⑦年会費(誌代) 4000円(切手不可) 十入会金500円を現金書留か振替で当会まで。振替・徳島28986

⑧重力の研究を完成させ、量産可能な円盤を作製して世界に普及させるのが目的。アダムスキーの「同乗記」にあるように人類の寿命を宇宙人と同じ千年に近づけたい。逆重力と表裏一体である時間の逆転を利用して「過去観察機」を作製し、普及させることが目的。

⑨研究所ビルが、内装を含めて完成/「超対称性理論」(5訂増補版)発行/「円盤機関始動せり」(大陸書房刊)発行/「逆重力機関の組立方」発行/ダブルソレノイドの時間反転発振器(逆重力機関の原型)の試作成功/ブラウン効果(重量減少効果) 定式化できる/太陽系の惑星の光速度の推算値を得る/P型ゲルマニウム各パーツ試作に入る。

日本宇宙UFO研究会JSUFOS
①1974年9月1日

②並幸夫(会社員)
③1984 宮崎県児湯郡高鍋町蚊口浦

④「UFO」(年2回8号)
⑤2500名
⑥函館(木村建哉)、青森(熊谷安、山梨(井上善興)、福島(浅里広光)、栃木(荒川雅夫)、東京第1(中村智彰)、滋賀(西村康生)、大阪(赤井基蔵)、宮

高坂剋魅 (宇宙考古学研究者)

2月4日、テレビ朝日に出演/10日、文化放送に出演/27日、TBSに出演/3月5日、週刊現代の取材/12チャンネルに出演/25



崎南(藤井孜)、宮城県児湯郡(日高邦男、宮崎延岡(甲斐省平)、宮崎中央(新名良雄)、鹿児島(松原寿昭)、熊本(甲斐秀幸)

⑦会費2000円(年間、誌代差引別)と入会金2000円を現金書留で当会まで。否定派も可。

⑧UFO以外に超常現象も研究。科学的調査思考で会を運営、会員の主張を尊重。情報収集の完全化を目ざし、国内の支部・支局作りを促進中。

⑨2月11日、スプーン曲げの甲斐美栄子さんを取材/25日、宮崎日日新聞に会長談載る/3月11日、会長が高梨氏を訪問/15日、テレビ宮崎に会長出演/4月23日、スプーン曲げの滝口少年を取材/5月1日、霊能

日、ビクター「衝撃のUFO」に協力/27日、12チャンネル録画撮り/29日、長男・則照誕生/テレビ朝日録画撮り/4月23日、中野児童館で講演/5月14日、名古屋ラジオセンターで講演/6月12日、府中で講演/18日、女性セブン、毎日新聞の取材/27日、米シカゴ「さくら放送」に出演/7月27、30日、第5回世界宇宙考古学会議に参加/8月22日、飛騨高山の位山で太古の祭壇石を発見/他多数

力者花岡勢津子さんを取材/28日、宮崎県川南町奥の畑倉山を調査/6月22日、宮崎放送(ラジオ)に出演/24日、宮崎放送(TV)に出演/25日、定例会/8月16日、スポーツ日本が取材/29、20日、下関市大丸デパートの「UFO展」相談役として会長が下関市に滞在/他多数

国際UFO研究会

①1975年2月11日
②岩瀬洋一郎(教師)
③1984 三重県津郵便局私書箱34号
④「国際UFO研究会だより」(年3回発行4号)
⑤60名
⑥愛知(木村彰) 東京(中村智彰)



京都滞在中の米UFO教育センター一行とUFO教育グループ関係者。

南山 宏 (ノンフィクション・ライター)

3月にA・ハイネック著「UFOとの遭遇」(大陸書房)の翻訳を、6月にワニの豆本シリーズ「UFO大追跡」を出版/産報デラックス「UFOと宇宙人」に執筆/文春デラックス「UFOと宇宙船」企画協力/2月23、24日、中部電力静岡、浜松支店で講演/8月7日、仙台ロータリークラブで講演/4月、NETに出演/6月18日、東京



12チャンネルの「文春テレビ読本」、9月8日「ビッグリ大集合」に出演/毎週火曜日午前3時半から30分、ラジオ関東深夜番組にレギュラー出演/対談多数

⑦住所、氏名、生年月日、職業、TELを明記し、1年分会費2000円を添えて当会まで。

⑧UFO同好の士が集い、情報交換や研究発表をしながら謎を究明し、あわせて会員相互の親睦を図る。個人経営ではなく、すべての事業を会員の連係で行なっている。

⑨2月11日、例会/3月5日、CBCラジオに古市会員出演/9日津北ロータリークラブで奥野会員講演/11日4月29日、四日市中で「UFO写真展」開催/4月30日総会開催/5月21日、青山高原にハイキング/6月25日、例会/9月3日、10日、鈴鹿市事件を調査/15日、例会/16日、鈴鹿市事件でNTV取材に協力/10月3日、河芸ライオンズ・クラブ

ブで小津会員講演/8日、例会/11日、会誌発行/12日、忘年会。

高知UFO研究会

①1976年1月

②松岡正憲(会社員)

③千300 高知市昭和町23-18

④3カ月ごとに会報を発行

⑤南国、高岡、香美郡(以上高知県) 静岡、大阪

⑥UFO目撃者や興味のある方ならどなたでも。50円切手5枚同封のうえ、住所、氏名、職業、年齢、TELを書いて当会まで。

⑦1カ月に1回総会を行ない、UFOの映画会などを実施、グループ行動をせず、各人が取材したものを経会で話し合う

⑧NHKラジオとRKCラジオに出演。「UFOかわらばん」近日発刊。

SPNW

①1976年1月

②山本佳人(医書販売業)

③千400 山梨県甲府市湯村2-4-6

④スタッフ80名

⑤東京3カ所、福岡、熊本、竹柏

⑥入会システムなし。詳細は当会へ

⑦SPNWはSpace Project Net Workの略。UFO研究とカスターロフ研究を、マスコミ情報によらず、全国に配置した独自のスタッフからの情報をもとに研究する。また、宇宙哲学を研究してきてなかなか効果があらぬ人たちのために実践講座を企画(これは一応終了した)。

⑧1977年度分の全国カスターロフ・マップ作成終了。「宇宙哲学実践研究講座」22回で終了。来年はいろいろな研究プロジェクト

ムや講座も行なう予定。

UFO教育グループ

①1976年10月

②安斎純夫(電気研究所職員) 編集

③広報担当 藤沢潤一郎(たま出版編集長) 海外担当 竹島正(公務員)

④会場担当 増田幸雄(会社員)

⑤千350-12 埼玉県入間郡日高町高萩2648-38

⑥「UFO教室」(年3、4回発行5号) 頒価360円、送料140円。予約購読は4回分2000円を振替東京3-54681で申しこむ。

⑦会員制度はない。購読者800名

⑧G・アダムスキー氏によって知らされたUFOと宇宙人問題を通じて、人類の宇宙での本来あるべき姿を探究し役立するため、情報と教育の場を提供しようとするものである。会員制ではないが、発行物の購読や集

会に出席することによって、だれでも参加することができる。

⑨1月より都内で公開「説明会」を月1回平均で開催/5月、米国の姉妹団体・UFO教育センターの主要メンバー4人を迎え、東京、福岡、高知、京都、奈良で講演会を開催。報知新聞、スポーツニッポン、NTV、大分放送で報道された/8月からグループ別ディスカッション形式の宇宙哲学座談会を実施/8月に藤沢氏と竹島氏が来日中の国連要員とUFO問題について会談。

全日本大学超常現象研究会連合

①1966年(第1期) 1975年(第2期)、1978年5月(現)

②岡本譲治(日大在学中)

③千211 川崎市中原区木月3-1-1

51

④「シンド」(改訂計画中)

⑤加盟団体及び有志(1)日本大学UFO研究会(2)和光大学UFO超常現象研究会(3)立教大学未知現象研究会(4)早稲田大学神様・宇宙人と仲良くする会(5)早稲田大学UFO研究会(6)島根大学超自然現象研究会(7)京都大学UFO超心理研究会(8)京都大学近代ビラミッド協会(9)慶応義塾大学超心理研究会(10)東洋大学UFO研究会(11)東京大学UFO研究会(12)東海大学UFO超心理研究会(13)愛媛大学超常現象研究会(14)拓殖大学超常現象研究会(15)日本大学超心理研究会(16)電機通信大学超常現象研究会(17)新潟大学空飛ぶ円盤研究会(18)早稲田大学LOVINA/和泉由紀子(日本女子経済短期大学)/宮田太郎(玉川大学)

⑦返信用封筒(50円切手貼付)を同封の封筒に、会名称、大学名、会長(氏名、住所、TEL)、連絡先、創立年、発行誌名を書き当会まで

⑧大学研究団体、学生間の交流

⑨6月24日、NHKに出演。

福沢諸(大分放送ディスク・ジョッキー)からのお便り

今年4月から始まったアストロ・ジョッキーにたくさんのお便りがありがとうございました。

これからも、みなさんと宇宙的に交流する番組に育ててゆきたいと思

いますので、よろしく。なお番組では毎月テーマを決めてお便りをお待ちしています。12月のテーマは「貴方の行きたい惑星は……」

宛先は〒810-91 大分市今津留3-1-11 OBS大分放送「福沢諸のアストロ・ジョッキー」



今年出たUFOの本

今年もまた多数のUFO関係書籍が出版された。とくにUFO映画に刺激されたためか初春から初夏にかけて出されたものが話題になった。

T 今年は、単行本は、点数としては期待したほど多くはなかったね。

N しかし、中身の濃いものが多かったといえるんじゃないかな。アレン・ハイネックの本が2冊出たしね。

T やはり「未知との遭遇」のアドバイザーとして、彼が有名になったからだろう。

N 『UFOとの遭遇』は、科学者の批判に耐えうる本格的なユーフォロジを確立した名著として、以前から評判の高かった本で、原著は6年前に出版されている。ストレンジネス(奇妙さ)とポジビリティ(可能性)を軸とするSP図表という尺度を作って、これで個々の事件を判定し、ノクターナル・ライトから第3種接近遭遇までの分類を確立した。UFOそのものを相手にしないで、『UFOの目撃報告』という非常に主観性の強いものを、客観的データとしてとりあげうる科学的な枠組みを作ったわけだ。

T 逆にいうと、こういうUFO研究の基礎になるべき本が、ブームになるまで日の目を見なかったというのは多少残念だ。

N もう一冊の『未知との遭遇リポート』は、去年出たばかりのものだけあって、新しい資料もつけ加わり、これまた非常に有益だった。ただ、惜しむらくは原著のかんりの部分がカットされていることだが、ともかく以上の2冊でハイネック博士の主張はほぼ知ることができる。

T キーホーの『未知なるUFO』も面白かった。彼は最も古くからのUFO研究家の一人でこれは比較的最近、1973年の作だが、この中で印象に残ったのは、彼は飛行機とUFOの衝突の可能性が日に日に高まっていると警告している。これは先日のオーストラリアの事故で不幸にして現実になった。

N もうひとつ面白いのは、この人は、比較的多くの研究者によって最も信憑性があるといわれているヒル夫妻の事件を否定

していることです。まあ、理由は長くなるのではぶくが。

T トレンチの『UFOの秘密』は、UFOのパラノーマルな側面、テレポーテーションとか膨張と収縮などの現象に焦点をあてている。

N なんとというか非常に奇妙な本だ。ジョン・キールなど一脈相通するところがあるね。

T 日本人の書いたものに移りますと、まず平野威馬雄さんの『UFO入門』。これは入門書とは言いながら、かなり広範囲に、聖書やマハバラータなどの古代文書のUFO記述から、新しいところでは札幌の中野さんのコンタクト事件に至るまでカバーしている。

N それを見開きごとに整理しているの、読みやすいのだが、スペースに制約され説明が苦しいところも中にはあった。

T 矢追純一さんの『全国UFO目撃多発地帯』。これは実にいいアイデアの本で、現在までの主な目撃例が地域ごとに整理

今年出たUFOの本

●単行本

「ハイネック博士の未知との遭遇リポート」
原題：THE HYNEK UFO REPORT
J・アレン・ハイネック著(青木栄一訳)
二見書房(2月28日発行・定価890円)

「未知なるUFO」
原題：ALIENS FROM SPACE
ドナルド・E・キーホー著(北沢史朗訳)
大陸書房(3月7日発行・定価980円)

「UFOとの遭遇」
原題：THE UFO EXPERIENCE
J・アレン・ハイネック著(南山宏訳)
大陸書房(4月10日発行・定価980円)

「目覚めよ地球人」
高橋田一著
たま出版(4月20日発行・定価950円)

「UFOの秘密」
原題：THE ETERNAL SUBJECT
プリングリー・トレンチ著(長谷川正二訳)
大陸書房(5月8日発行・定価980円)

「UFO入門」
平野威馬雄著
サンボウジャーナル(5月20日発行・定価600円)

「日本列島、空の危機」
三根生久大著
かんき出版(6月26日発行・定価600円)

「全国UFO目撃多発地帯」
矢追純一著
二見書房(7月10日発行・定価690円)

「につぼん宇宙人白書」
内野恒隆著
ユニバース出版社(8月10日発行・定価980円)

「UFOはホントにUFOか」
並木伸一郎著
郷出版(9月1日発行・650円)

「円盤機開始動セリ」
清家新一著
大陸書房(9月12日発行・定価980円)

●ムック

産報デラックス99の謎「UFOと宇宙人」
サンボウジャーナル(4月3日発行・定価1500円)
文芸春秋デラックス「UFOと宇宙船」
文芸春秋(8月1日発行・定価980円)

*10月までに発行されたもの(子供向けは除く)。

され、紹介されている。しかも地図と写真がバッチリ入っている。たいへんな力作です。

N 実用的な価値が高い。毎年新情報を追加して、改訂版を出

してはいいものだ。

T 並木さんの『UFOはホントにUFOか』。これは「これまでまことしやかに流された目撃談や主張の裏面をあばき、そ

UFOスペシャル'78



ウ向きの本ですな(笑)。

T 清家新一さんの『円盤機関 始動せり』はどうですか？

N よくわからないねえ、もうちょっと数学に明るいといいたが……。ただ、UFOの推進原理に興味のある人には、ぜひすすめたい1冊ですね。

T 三根生久大『日本列島、空の危機』は、UFOなるものは米ソの秘密兵器だという主張を展開したもので、その傍証として、たとえば、ミリタリー・シークレット・ゾーンといって、アメリカの軍事施設が集中して

いる場所で、とくにUFO目撃が多いことをあげている。

N まあ、三根生さんはUFO否定論なんだろうけれど、向こうではかなり信憑性の高いといわれているコイーン中佐の目撃事件など、本人に会ってかなり詳しく紹介しているので、UFO肯定サイドからも、たいへん貴重な本だといえるね。

T わが社の『につぼん宇宙人白書』はどうか。

N まあ、われわれが言うのもおかしいが、ともすればUFO情報というのは、面白さという

点から事実が誇張されてゆく傾向があって、もとに通って調べようとした場合、かいく見当がつかないことが多い。

この点で実際に取材してキチンとまとめたという点は評価されるのではないかと思う。コンタクトを批判する人も、これをデータとすれば便利ならいいだともいえる。

T それからムックが2冊ほど出たね。産報デラックスでは、荒井欣一さんが羽田空港のレーダー事件や、高尾山の3個編隊目撃など、われわれの世代が知

らない、しかしたいへん重要な古い事件を詳しく紹介してくれているのは参考になった。

N 文デラの方では、例のGSWのコンピュータ分析。あれは本誌で去年紹介したが、今回はあらたにアダムスキーの写真がトリックだと判定されて、ちょっと波紋を投げかけた。

T あの判定方法自体には、いくつ疑問があつて、APROなども部分的には反論を加えている。ぜひ、アダムスキー支持者からの組織的な反論が期待されるね。



「未知との遭遇リポート」



「未知なるUFO」



「UFOとの遭遇」



「目覚めよ地球人」



「UFOの秘密」



「UFO入門」



「日本列島、空の危機」



「UFO目撃多発地帯」



「UFOはホントにUFOか」



「円盤機関 始動せり」

Ray-Ban®

レンズ片方無料の

東京・新宿西口メガネが贈るBig News

サングラスの傑作レイバン・ズバリ5割引！
新宿西口メガネ RAY-BANご愛用者、
ついに10,000人突破！

通信販売開始・もちろん店頭にて5割引販売
店頭特別企画好評実施中
メガネレンズ片方無料
ヤング向けブランド・
各種フレーム大量入荷
好評発売中

THE Roots of Ray Ban

ご存知ですか？

目をガードするためのカラーレンズは、2,000年以上も前に使われていたことを。もちろん、科学的に正しいレンズの開発と研究が行なわれたのは、ずっとあとの1920年代から。当時アメリカ・ボッシュロム社は、軍の要請で、明るい視力と目の保護を目的としたパイロット用サングラスを開発していました。1930年、ボッシュロム社は、米政府の規格をはるかにしのぐサングラスを、軍、特に空軍パイロット用に完成させました。数年後、このサングラスがレイバンと名付けられ、今日まで広く一般に愛用されてきたのです。

学生割引も致しております

各種メガネフレーム
ローテック・ストック・
マルヴィッツ・
メッツラー・スボルディング
レイバン・ニコル・
HOYAヤングナイロール・
HOYAキャンパスライン他
各種メガネレンズ
HOYA・ニコル・ツァイス他

DECOT<デコット>



	スモーク	グリーン	イエロー
金	¥21,000→10,500		¥23,000→11,500

METAL<メタル>



	スモーク	グリーン	濃スモーク	フォトサン
金	¥16,000→8,000			¥20,000→10,000
ブラック	¥17,000→8,500			

METAL II<メタル II>



	スモーク	グリーン	濃スモーク
金	¥18,000→9,000		
ブラック	¥19,000→9,500		

CARAVAN<キャラバン>



	スモーク	グリーン
金	¥16,000→8,000	¥16,000→8,000
ブラック	¥17,000→8,500	¥17,000→8,500

SHOOTER<シューター>



	スモーク	グリーン	イエロー	フォトサン
金	¥20,000→10,000	¥22,000→11,000		¥24,000→12,000
ブラック				¥25,000→12,500

アウトドアズ・マン II



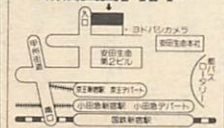
	スモーク	グリーン
金	¥19,000→9,500	

アウトドアズ・マン



	スモーク	グリーン	イエロー	フォトサン	ミラー
金	¥18,000→9,000	¥20,000→10,000	¥22,000→11,000	¥21,000→10,500	
ブラック				¥23,000→11,500	

新宿西口メガネ



●申し込み方法
ご希望のモデル名・レンズの色と住所・氏名を明記し現金書留又は代金引換にて申し込みください。送料はサービスいたします。

●申し込み先
〒160東京都新宿区西新宿1-11-6協立ビル
新宿西口メガネ UFOレイバン係
※おことわり 品切れの際は、入荷予定日をお知らせ致します。又、御返金も致します。

信頼とは 安心とは 安さとは
新宿西口メガネ

東京・新宿西口・安田生命第2ビル裏・ヨドバシカメラ並び
営業時間 AM10:00~PM8:00 年中無休

でんわ東京 03-348-3360

第3種回収!

米空軍の 第3種「回収」とは何か?

UFO 研究家 富川正弘 (在ニューヨーク)

「米空軍が墜落したUFOとヒューマノイド(宇宙人)の死体を極秘裡に回収し、空軍基地などに保管しているという噂を裏付ける多数の証言が得られた」
これは前号で一部お伝えしたストリングフィールド爆弾発表の第二弾である。

目撃者の証言をもとにストリングフィールド氏が描いたヒューマノイドの手
(1978年7月)

ALIEN HUMANOID HAND DRAWN
BY L. H. STRINGFIELD BASED ON
DESCRIPTION OF WITNESSES

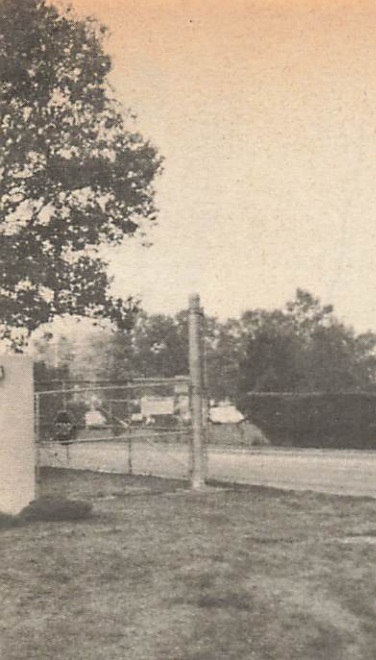
JULY, 1978

目撃者の証言をもとにストリングフィールド氏が描いたヒューマノイドの頭部
(1978年7月)

ALIEN HUMANOID HEAD
DRAWN BY L. H. STRINGFIELD
BASED ON DESCRIPTION BY
WITNESSES. — JULY, 1978

● ストリングフィールド衝撃講演第2弾

OF THE THIRD KIND



去る7月末、アメリカの大手UFO研究団体MUFON（相互UFOネットワーク）はオハイオ州デイトンで、第9回全米UFOシンポジウムを開催した。

このシンポジウムで最も大きな反響を呼び起こしたのが、UFO研究家レオ・ストリングフィールド氏の「米空軍は、ライト・パターソン基地に、墜落したUFOと宇宙人の死体を隠している」という内容の衝撃的な講演である。

先月号に引き続き、この爆弾講演で発表された信頼できる多数の証言をご紹介します。

(8) 1953年ライト・パターソン空軍基地での目撃

オハイオUFO調査連盟会長のチャールズ・ウィルヘルム氏は、彼の学校時代の友人から興味深い話を聞き出した。その友人の父親は以前、ライト・パターソン空軍基地の保安責任者であったが、死ぬ間際に息子に驚く

べき告白をしたのだ。

1953年に基地で勤務中、その父親は2機のUFOを見た。うち1機は完全だったがもう1機はこわれていた。さらにまた、到着したばかりのドライアイス詰めの人型フィギュアの死体4体も見た。死体の身長は4〜5フィート（1・2〜1・5メートル）、頭は身体の大きさにくらべて不釣合に大きく、つり上がった目をしていて、指が異常に長かったが、その他はだいたい人間と似ていたという。

(9) 1955年ライト・パターソン基地での目撃証言

チャールズ・ウィルヘルム氏が子供の頃から良く知っているG夫人は、1959年、自分がガンで余命いくばくもないことを知るとウィルヘルム氏に驚くべき話を打明けた。

G夫人は1959年に病気で退職するまで1940年代、50年代をライト・パターソン空軍基地の外来物質研究部で極秘の任務に携わっていたが、1955年、基地に搬入されて来る全てのUFO関係物質の写真を取り、番号札をつけ目録を作る仕事に任命された。この任務期間中、彼女は約1千件もの物質を処理したが、この中には回収されたUFOの内部から持ち出されたものも含まれて

いる。中でも特に興味深いのは、ある部屋から別の部屋へ手押車に乗せられて運ばれる2体のヒューマノイドの死体を見たことである。死体は化学薬品で保存処理されていたが、身長4〜5フィート（1・2〜1・5メートル）、頭が身体に比して大きく、目が吊り上がっている他は大体人間に良く似ていたという。この死体が以前から基地に保管されていたものか、新しく搬入されて来たものであったかは不明である。

G夫人はウィルヘルム氏に、ライト・パターソン基地での身分証明バッジも見せてくれたというが、秘密をすべて打ちあけた後「いくらアメリカ政府だって、私が死んでしまった後には、もう私に罰を課することはできないからね」と言ったという。6カ月後、G夫人は亡くなった。

(10) 1957年と1968年の事件

元第97爆撃飛行部隊の空軍軍曹であったM・S氏は、ストリングフィールド氏に次のような話を打明けた。1957年、M・S氏がライト・パターソン基地で勤務中、彼はT少将の娘と恋仲になり、いつもT少将の自宅に遊びに行くようになり、T少将とも階級抜きの談笑を楽しむようになった。T少将はライト・パターソン基地の兵站司令部で保安関係の

RETRIEVALS

最高責任者に任命されており、いつでも自由に使える飛行機も与えられていた。M・S氏はT少将とUFOについて話をした際、秘密の話を聞かせてもらった。

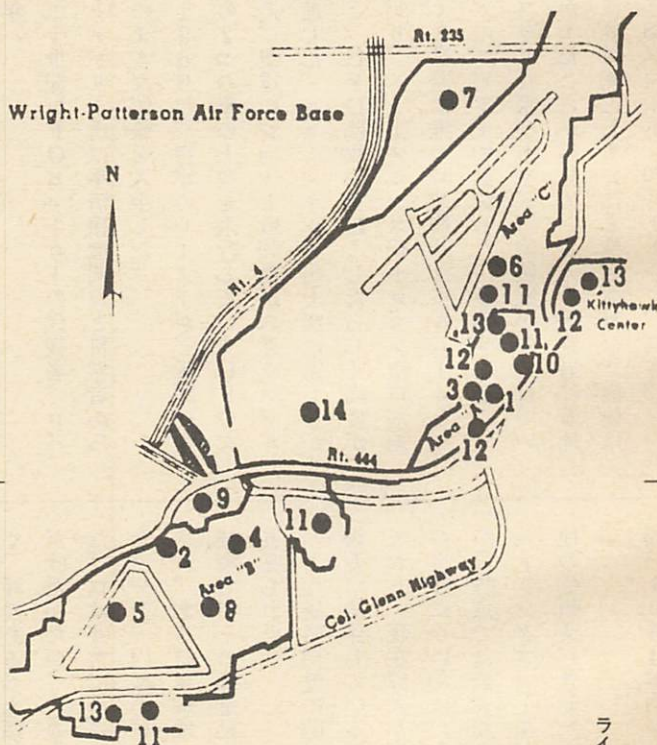
1957年、T少将がまだ中佐であった時、リーダーが米国南西部の州の上空を高速で飛ぶUFOを捉え、墜落したのを確認した。直ちにナショナル・ガード（国防隊）が現場一帯に非常線を張り立入禁止にした。機体の金属はとも固く、機体を分解する任務の科学者たちは苦勞したが、墜落時の衝撃で生じた

ライト・パターソン空軍基地



と思われる機体の裂け目をこじあけ、やっと内部に入ることができた。内部からは4体のヒューマノイドの死体が回収されたが、死体はひどく焼け焦げており、識別不能の部分もあった。しかし彼らの着ていた銀色の服は機体内部の非常な高熱にもかかわらず全く無傷であった。

死体はライト・パターソン基地に送られ、保存のために華氏マイナス120度（摂氏マイナス65度）に保たれた凍りつくような死体置場に保管された。T中佐はこの死体置場で



- 1 - Air Force Logistics Command Headquarters
- 2 - Aeronautical Systems Division
- 3 - Foreign Technology Division

ライト・パターソン基地の概略図

ヒューマノイドの死体を見たのだが、服は無傷で、焼けた肉の中に喰い込んでいたという。顔は熱のために溶けてしまっていたが、頭は身体のサイズに比し大きかった。墜落したUFOは、ロケットという名目で、2台の軍用ロケット運搬貨車にのせ、うまくカモフラージュしてライト・パターソン基地へ運ばれた。

M・S氏はまた、T少将から他に誰も人がいない時に、UFOに関する最高機密書類を見せてもらった。その報告書によると、19

LS OF THE

THIRD KIND



レオ・ストリングフィールド氏

68年ネバダ州ネリス空軍基地の上空に、3日間にわたって巨大なUFOがあらわれた。3日目にその母船から3機の小型UFOが発進し、うち1機がネリス空軍基地に着陸した。着陸したUFOに挨拶するため、大佐に率いられた保安分遣隊^{ぶんけんたい}が近づいた。UFO側の意図が分からないので待っていると、背が低くずんぐりしたヒューマノイドがひとりU

F Oから下りて来た。すると一条の光線が大佐めがけて発射され、大佐は身体が麻痺して動けなくなってしまう。これを見た副指揮官があわてて発砲を命じたが、不思議なことに武器は皆故障してしまい、発砲できなかった。UFOは母船に戻ると飛び去った。

大佐は病院に収容され回復したが、不思議

なことにヒューマノイドと何も話をしていないのに、数式の様なものか頭の中を流れて、まるで先方は数式を使って交信しようとしたようだったという。

ストリングフィールド氏はM・S氏からこの話を聞いた後、軍の情報関係者からT少将が実在の人物であること、ネリス空軍基地の事件は実際に起こったことなどの確証を得ている。

(1) 1962年ニューメキシコ州での墜落事件

二十世紀UFOビュローの代表者、ロバート・バリー氏は軍情報機関員と科学者から次のような情報を入手した。

1969年、空軍のレーダーが、米国西南部の2つの州の上空を飛行していくUFOを捉え、空軍のジェット戦闘機がスクランブル発進した。ニューメキシコ州上空に差しかかる、UFOは故障を起こしたらしく高度が下がり、ニューメキシコ州ホロマン空軍基地近くの砂漠に推定時速約90マイル(145キロ)のスピードで激突した。墜落する前のフラフラした飛び方や、着陸装置が使われていなかったことから見て、2人の搭乗者は着地前に既に死亡していたと推定された。機体は直径68フィート(20メートル)、高さ13フィ

ート(3・9メートル)の完全な円型で、機内から身長42インチ(1メートル)の2体のヒューマノイドの死体が発見されたが、彼らはボタンやジッパーなどがついていない継ぎ目無しの服を着ていた。

墜落の翌日、死体は機体から運び出されて、ある大学病院に持ちこまれ、皮膚の検査や様々な科学的検査が行なわれた。皮膚の色は灰色がかったピンク色で、頭は身体の子に比し大きく、目は少し大き目だが鼻は小さな突起が出ている程度だった。耳たぶは無く、耳のあるべき頭の両側に穴があいているだけだったが、穴の内部には内耳器官があった。口は非常に小さく、薄い唇がついていた。一方、円型のUFOは偵察用円盤と推定され、ある空軍基地に搬入されて、科学者や技術者がその推進動力を発見するよう任務を与えられた。

この墜落円盤に関しては合計20人の人間が調査に関係しているが、既に3人が自然死しており、現在17人が生存している。なお、この事件については、もっと強力な証拠があるが現時点では公表できないとのことである。ストリングフィールド氏は、この事件につき他の信頼すべき筋からも情報を得ている。

(2) 1964年カンサス州フォート・ライリ

RETRIEVAL

―基地での事件

1978年6月19日、カリフォルニア在住のA・K氏はストリングフィールド氏宅に電話を掛け、「貴方が書いた“Situation Red, The UFO Siege”を読んで、私の経験を話す気になりました」と語った。ストリングフィールド氏は、7月29日のMUFONシンポジウムの講演で、このA・K氏（匿名）の証

言を録音したテープと、A・K氏の目撃したUFOのスケッチ（図左上、左下参照）を公開し、聴衆を驚かせた。

1964年11月の某夜午前2時頃、A・K陸軍一等兵は、身の引締まるような寒さの中で、駐車場の歩哨に立っていた。すると当直のH中尉が彼と他の第一師団の歩哨3人を集め、M14ライフルの予備弾倉を支給すると、

REAR VIEW
UFO
Dec 1964
FT RILEY, KANSAS
(Camp FORTY)

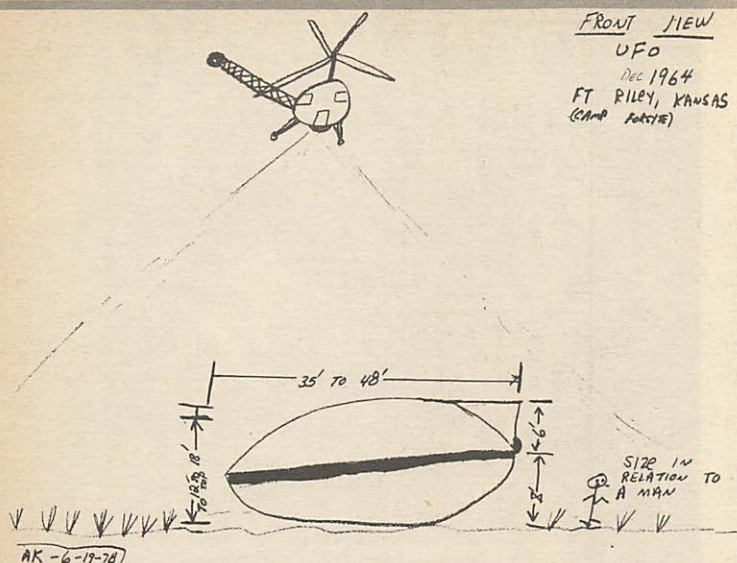


軍用車に乗せ、フォート・ライリー基地の一部にあるキャンプ・フォーサイトという陸軍の練兵場へ連れて行った。かなりの距離を走ってから中尉は路傍に駐車し、ここから先は歩けと命じた。1/2マイル（8百メートル）ばかり、平坦な野原を歩いて行くと、軍のヒューイ・ヘリコプターが空中からサーチライトで野原を照らしているのが見えた。光の中には、何と巨大な丸い機体が着陸していた。A・K一等兵は驚いて立ちすくみ「なんてことだ！ あれは空飛ぶ円盤だぜ！」と叫んだ。

現場には既に少将を始めとする色々な階級の軍人が10人程来ていた。A・K一等兵は直ちに身分証明書の提示を求められ、それから少将直々に「あの着陸している機体の回りをまわって警戒し、機体に近づこうとする者があれば誰でもかまわぬから射て。この件については絶対に口外してはならんぞ！」と命令された。係官が器具を使って機体の調査をしている間中、ヒューイ・ヘリコプターは無線連絡を交しながら頭上を飛び続けて現場を照らしていた。現場近くには軍の5トン・トラックがライトを消して止まっていた。2度程ヘリコプターは、他の証拠を探しているのかのように野原の他の地点へ飛び去ったが、その時は爆音が聞こえなくなり、あたりは死んだような静けさになり全く無気味だった。

FRONT VIEW
UFO

Dec 1964
FT RILEY, KANSAS
(Camp FORTY)



A・K一等兵は2時間半の間、数度その機体の傍に近寄ってみたが、機体の周りの空気はずっと温かく感じられた。機体は地中にめりこんだらしく傾いて立っていたが、直径35と48フィート(10・5と14・4メートル)、高さ12と18フィート(3・6と5・4メートル)位の完全な円型で、ハンバーガー用のパンのような形をしていた。機体の表面はなめらかなアルミニウムのような感じで、周辺部には、正方形のものが10インチ(25センチ)程



突き出して一列に並んで黒い帯になっていた。A・K一等兵にはその正方形のものが窓なのか、他の目的のものは分からなかった。UFOからは他にヒレのようなものがひとつ突き出ており、その下には排気口のような穴があいていた。UFOにはあかりはついておらず、何の音も匂いも感じられず全く死に絶えたような感じだった。

搭乗者の死体を見なかったかと聞くと、A・K氏は、「そんなものは見なかったし、後

で死体が運び出されたかどうかとも知らない」と答えた。翌朝A・K一等兵は頭痛がしたが、多分昨夜の興奮と疲労のせいだと思った。後で、A・K一等兵はあの着陸(墜落?)事件の起こる前に数機のUFOが基地上空で目撃されたという話を聞いた。

ストリングフィールド氏は匿名を条件にA・K氏の署名入りの証言を受け取った。

(3) 1966年アリゾナ州の事件

故ジェームズ・ミッチェル氏はもと海軍軍人で、テキサス州ダラスの航空基地で極秘フィルムを取扱う仕事に従事していた。1966年に除隊するとライト・パターソン空軍基地内の機密地域の電気技師となった。

1966年のある夜、ミッチェル氏は自宅に1枚の写真を持ち帰り、息子のマイクに興奮して秘密を打ち明けた。写真は8インチ×10インチ(20センチ×25センチ)の大きさの黒白写真で、灌木がまばらに生えた砂漠を背景に2人の男(1人は軍服、1人は科学者の着る白衣を着ていた)が約3・5フィート(1メートル)の身長ヒューマンノイドの死体を抱いて立っているのが写っていた。死体の頭は西洋梨型で身体に比べて大きく、目と口の切れ目があった。死体はしわの寄った鈍い色の金属的な服を着ていた。

RETRIEVALS OF THE THIRD KI

ミッチェル氏の話によると、アリゾナの砂漠地帯で陸軍の小隊が早朝訓練をしていると突然、1機の着陸円盤の近くにいたヒューマノイドのグループに遭遇したという。そこで小競り合いとなり、1人のヒューマノイドが奮戦むなしく組み伏せられて鎮静剤を注射されたが、これがもとで死んでしまった。残りのヒューマノイドは円盤の中に逃げ込むと飛び去ったという。ヒューマノイドの死体はドライアイスに詰められライト・パターソン基地に運ばれた。

翌日、ミッチェル氏は極秘写真を持ち出したかどでだいぶ油を絞られたらしく、その後死ぬまで2度とこの話を口にしなくなったという。ストリングフィールド氏はふとしたきっかけから息子のマイクを探しだし、この話を聞くことができた。

(14) 1966年ライト・パターソン基地での

目撃証言

元空軍のナイキ・ミサイル空軍情報機関(ADCAP)に勤務していたJ・K氏は現在フロリダ州タンパの民間会社で財務関係の責任ある地位についているが、ストリングフィールド氏に次のような非常に興味深い秘密を打ち明けた。

(1) J・K氏はライト・パターソン基地で、

厚いガラス・ケースの中に超低温の状態で保存されている9体のヒューマノイドの死体を見た。明かるい照明のもとで見た死体は身長約4フィート(1・2メートル)、灰色の皮膚をしていた。死体が保存されている研究区域は厳重な警備下にあった。彼はライト・パターソン基地には当時30体ものヒューマノイドの死体が保存されていると聞かされた。

(2) J・K氏は自分では見なかったが、ライト・パターソン基地に数機のUFOが保管されていると教えられた。また、他にも、バジーニア州ラングレイ空軍基地と、フロリダ州マクデイル空軍基地にも1機ずつUFOがあると聞かされた。

(3) J・K氏はまた、1960年代にライト・パターソン基地以外にも秘密のUFO作戦が行なわれていた3カ所の重要な地域を知っていた。それは、ラングレイ基地、マクデイル基地の一部のエアボーン射爆場、それにバジーニア州ノーフォークにあるセイモア・ジョンソン海軍訓練センターである。

(4) いくつかの米軍基地には、高度な訓練を受けた移動可能な部隊が、アメリカ中どここの地点であれ着陸または墜落したUFOを回収するために四六時中出動態勢にある。

(5) 1966と1968年の間にオハイオ、インディアナ、ケンタッキーの3州にまたが

って、5件のUFO墜落事件があった。そのうちの1つの事件では3体のヒューマノイドの死体が回収されたが、この時は米軍部隊と、ヒューマノイド部隊の間で撃ち合いが起こったと言われている。衝突はヒューマノイド側の意図が分からず敵意が感じられたために起こったことだが、この事件の詳しい場所、時間は明らかにされなかった。

(6) 1948年以来、米軍が関連したUFO活動に関する秘密情報は全てライト・パターソン基地のコンピュータ・センターのマスター・ファイルと、他の基地に隠された補完ファイルに分けられ、コンピュータ用語に翻訳されて保管されている。従ってこの完全なファイルを手に入れることができれば、米軍が隠しているUFOデータが全て判明するわけだとJ・K氏は語った。

J・K氏の言うことが本当であれば、ワシントンの国立記録保存所で一般公開されているプロジェクト・ブルーブックのファイルなどは子供だましに過ぎなくなる。(4)の特殊部隊に関しては、ストリングフィールド氏は他の軍情報関係者から、ブルー・ベレーと呼ばれる秘密部隊が存在し、暴動鎮圧や回収のために隠密裡に行動し、一般大衆の介入を防ぐため停電を起こしたりするような種々の牽制作戦まで行なうということを聞き出した。

VALS OF THE THIRD KIND

(4) 1972年ライト・バタースン基地での目撃

元ライト・バタースン基地の空軍憲兵であったカール・I氏は、1972年(または73年)に経験したシロッキン的な出来事をつい口をすべらせて妻のS・I夫人に話してしまった。ストリングフィールド氏の著書を読んだS・I夫人は、1977年8月にその話を報告した。

ある夜カールが夜勤の当直についていると、呼び出されてある場所まで車に乗せられ、そこで目隠しをされた。

そこからしばらく湿った野原を歩かされた後、手を引かれて階段を下り、長い廊下を歩かされた。ある所まで行くと目隠しを外されて、彼の任務と歩哨に立つべき場所を指示された。彼がいた部屋には、高級将校と科学者が何人かおり、驚いたことには到着したばかりらしい3人の小さなヒューマノイドの死体を観察していた。死体は冷凍されたテーブルの上にあお向けに寝かされていた。身長は約3フィート(90センチ)、手が異常に大きく、頭のとっぺんに短い毛が薄く生えており、皮膚はオフ・ホワイトまたはクリムム色であった。カールは一度しかS・I夫人にこの話をしなかったで、どんな顔をしていたと聞かされたか彼女は良く

ライト・バタースン基地内の「UFOコーナー」

覚えていない。

ストリングフィールド氏がカールにもっと詳しく話を聞きたいと希望したところ、カールから、秘密を口外することは禁じられているので話せないが、カーター大統領がUFOに関して本当のことを発表した後なら何でも話してやると断わられた。この話から判断すると、墜落、回収されたUFO搭乗のヒューマノイドの死体は、今でもライト・バタースン基地に運ばれ、研究、保管されているらしい。

(4) 1973年ライト・バタースン基地での目撃

1950年初頭から米軍のバイロットとしての長い経験を誇る元陸軍準士



官は、1977年オハイオ州シンシナティのランケン空港にある航空国防隊の事務所でストリングフィールド氏がUFO講演会を終えた後、他のバイロットたちに内緒で、彼が昔目撃したものを打ち明けてくれた。

1973年のある夜、彼がライト・バタースン基地にいと、DC7輸送機が着陸し、木箱が5つ下ろされ、フォークリフトで格納庫内に運ばれた。

彼は3〜4メートルの近さからその木箱を見ることができたが、3つの木箱には小さなヒューマノイドの死体が入っていた。残りの木箱の中身は分からなかった。あわてて作ったような粗末な木箱の中には身長約4フィート(1・2メートル)の小さなヒューマノイ

ドがドライアイスの上に横たえられており、ドライアイスと死体の間にはヒューマノイドの皮膚が凍傷にならぬよう布が敷いてあったが死体には覆いが掛かっていなかった。

木箱の近くには空軍憲兵が何人か無言で立っていたが、彼は何かうまくヒューマノイドを見ることができた。頭は身体に比して不釣合に大きく細長かったが、頭髮は生えていなかった。皮膚は格納庫内の照明の下で茶色く見えた。目はあいていたが、口は小さく、鼻はほとんど気が付かないほどだった。また、ヒューマノイドの腕は胴の脇に並んでいたが、手や足ははつきりしなかった。身体にびったりした黒っぽい服を着ていたが、そのために驚くべき身体の特徴がはつきり見えた。1人のヒューマノイドの胸は女性のよう

にふくらんでいたのだ!

のちほど基地内の宿舎で一緒に泊り合わせた輸送機の乗組員も、確かに1体は女性の身体をしていたと彼に語った。乗組員の話によると、UFOは最初、カリフォルニア州のパロマー山にある追跡装置によって発見され、アリゾナの砂漠地帯に落ちたことが直ちに空軍に伝えられたのだという。回収部隊が墜落現場に到着した時、円盤内のヒューマノイドの1人はまだ生きてい

July 18, 1978

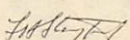
I hereby certify that I was shown a sketch of a hand stated to be that of a retrieved humanoid on July 13, 1978 in New York City. The sketch was in the possession of Leonard Stringfield and was the result of descriptions given him by various confidential sources. I had not seen nor discussed the sketch (or the humanoid material in general) with Len prior to our meeting on July 13-14, 1978. Based on other sources known to me and not to Len, the sketch appears identical to material I have been familiar with for quite some time. I had described the hands to my wife and two close friends in late 1977 and they can confirm the accuracy of the sketch as compared with my description at that time. Based on my somewhat limited knowledge, I must conclude that the sketch is accurate.



Ted Phillips

N578

Ted Phillips is a "time case specialist" who helps locate the Center for UFO Studies (CUFOS) and ALIENS. He was with me during our recent meeting for the United Nations. He is very reliable!



ス氏のスケッチに対するテッド・フィリップスの証明宣誓書

たが、酸素吸入をして助けようとしたにもかかわらず死んでしまったという。回収されたUFOは無傷で、ライト・パターン基地に運ばれたということだが、詳細は不明である。

(17) 1977年オハイオ州での事件

この事件は現在まだ調査中であるが信頼すべき筋からの情報によると、1977年春、オハイオ州の南西部の片田舎で起こったという。多分故障して着陸したと思われるUFOと、その回

収のために現場に急派された部隊との間に遭遇戦が行なわれ、11人の米軍人が死傷し、ヒューマンノイド側も何人かの死傷者を出した模様である。

この事件を追いかけている、あるUFO研究者は、ライト・パターン基地に勤務している人から、1977年の春、どこか秘密の場所から小さなヒューマンノイドを乗せた数台の担架が基地内の特別な場所に運び込まれたという情報を入手した。負傷した米軍人やヒューマンノイドの治療に当たった医療

関係者の証言が得られれば申し分ないが、まず難かしいであろう。このように、1970年代に入っても、まだUFOの墜落と回収が続いているらしい。

(18) 回収されたヒューマンノイドの特徴

ストリングフィールド氏は軍関係および医学関係の情報提供者から報告されたヒューマンノイドの一般的特徴を次のようにまとめた。

- (1) ヒューマンノイドの平均的身長は、3・5フィート(1メートル)から4・5フィート(1・3メートル)位である。5フィート(1・5メートル)という報告もひとつあった。
- (2) 人間の標準から見ると、胴や手足のサイズに比べて頭のサイズが大きい(81ページ下の図を参照)
- (3) 2つの目は大きいとか、奥目であるとか、人間よりも離れてついているとか色々な描写されているが、少し吊り上がっていて、「蒙古人風」または「東洋人風」に見える。
- (4) 頭の両脇には穴はあるが、耳たぶが無い。
- (5) 鼻は小さく、あるか無きかである。鼻孔がひとつ、または2つ報告されている。
- (6) 口は小さな「裂け目」として報告

され、ある場合には口は報告されていない。口はどうやらコミュニケーションや食物摂取の手段として機能していないように思われる。

(7) 首は細いと報告されるが、ある場合には着衣に隠れて見えない。

(8) 髪の毛は全く無いか、または頭頂部にうすく生えていると報告されている。体毛は全く無い。

(9) 胴体は一般に小さく細い。多くの例では着衣をまとっているため、ヘソがあるかどうかの報告は無い。

(10) 腕は長く細く、ひざのあたりまで届いていると報告されている。

(11) 手は4本指で親指が無い。2本の指は他の2本よりも長い。爪はあるという報告もあれば無いという報告もある。3人の権威ある目撃者は、指の間に水かき様のものがあると報告した。

81ページ上の図は、目撃者の報告によりストリングフィールド氏が描いたものだが、UFO着陸事件の研究で有名なテッド・フィリップス氏は全く別の証人たちからこれまでに聞き出した描写と、ストリングフィールド氏の描いた図とがあまり良く似ているので驚かされ、このことを証明する宣誓文を書いたほどである。(上図参照)

(12) 脚や足についての描写は無い。

(13) 皮膚はよくふざけて言われるよう

RETRIEVALS OF THE THIRD KIND

な緑色では無い。ほとんどの目撃者たちによれば灰色である。ある者は、ベイジュ(薄とび色)、黄、茶色、または茶っぽいグレイ、ピンクっぽいグレイなどと言ひ、ある者は超低温の光の中で青っぽいグレイに見えたと言っている。ある例では焼けたために焦げ茶色になっていた。

(14) 歯については不明。

(15) 生殖器に関しては微妙な問題であるが、ある目撃者は男性器も女性器も見当たらなかったと言った。あるいは彼らはホモ・サピエンスのような方法で生殖するのでは無く、クローニング(細胞増殖)とか、他の未知の方法で殖えるのかも知れない。

(16) いくつかの回収例では、ヒューマンノイドたちは皆、ひとつの型からとったようにそっくりであった。

(17) 脳容積は不明。

(18) 血液は人間のような血液ではない
(19) ヒューマンノイドには、地球のホモ・サピエンスにある程の人間間のタイプの違いが無いようである。ストリングフィールド氏の集めた例の中には、よくUFO搭乗者として報告されているような、地球人にそっくりのタイプから、グロテスクな形をしたタイプまでの様々なタイプはひとつも無かった。もしそういう別のタイプが本当に

存在するとすれば、別の惑星または別の太陽系から来ているのかも知れない。

(20) 死んだヒューマンノイドに関する極秘の医学的研究が、東部の2つの主要な医学センター、インディアナ州、イリノイ州、テキサス州、それに南東部の州や西部の州にある病院で行なわれており、ストリングフィールド氏はその内のいくつかの名前を知っている。

UFOが墜落し、回収されたという話は米国だけではなく、ノルウェー、イギリス、ベルー、メキシコ、ボリビア、南ア、中国、ソ連などでも起こっているという報告がある。もしUFOが実は米国の極秘の秘密兵器であるとしたり、外国領土に落とすような危険を冒すであろうか？ また、もし米国にそんな優れた秘密兵器が本当に有るのなら、なぜベトナム戦争で対ゲリラ戦に使わなかったのであろうか？

ストリングフィールド氏が今回発表した多数の例は、実はすべて米国情報機関が故意にストリングフィールド氏の耳に入るように流した偽の情報であるという可能性も考えられる。しかしそんなことをして何の得になるのだろう？ ストリングフィールド氏のような誠実で真剣なUFO研究者が邪魔だ

本格的UFO研究団体

JSPS ニュース

会誌バックナンバー及び UFO資料特別頒布!!

- 未確認飛行物体 No.7 - 特別号 "総145ページ、写真・図 多数掲載" (送共¥1,000)
- UFO INFORMATION No.1 (送共¥150)
- UFO INFORMATION No.2 (送共¥150)
- UFO INFORMATION No.3 (送共¥150)
- UFO INFORMATION No.4-5 (送共¥250)
- UFO INFORMATION No.6 (送共¥150)
- UFO INFORMATION No.7-8 (送共¥250)
- UFO INFORMATION No.9 (送共¥150)
- UFO INFORMATION No.10 (送共¥150)
- UFO カタログ (送共¥100)
- UFO写真パネル"四つ切大" (送共¥5,000)

申込先 150 東京都渋谷区神山町5-2

日本宇宙現象研究会

振替: 東京6-128740 (当会是非営利団体です)

から、わざと信じられないような発表をさせて、氏の信用を落とさせ、他の研究者に、ストリングフィールド氏もまた、フランク・スカリーと同様のインチキUFO研究者であつたかと思わせるための陰謀なのだろうか？ しかし今回のストリングフィールド氏の発表を聞いた人は誰でも、氏の信用を疑うよりも「やはり米軍はUFOの秘密を隠していたのか!」と考えるであろう。それでは逆効果ではないか？

しかし、そう考えるのは早計というもので、実はそれこそが米軍(米国防府)の狙う本当の目的であつて、表面きはいくまでも否定しながらも、やが

て来たるべきUFOとの遭遇時代に備えて、今から一般人のバニク(カルチャー・ショック)を少しでも軽くするために、少しずつ小出しにUFOに関する本当の情報を流しているのかも知れないと想像するのは、筆者の考えすぎであらうか？ もしそうだとすれば、ストリングフィールド氏も、この記事を書かせと書いている筆者も「未知との遭遇」を作ったスピルバーグ監督も、本誌も皆、まんまと操られていることになるわけだが……。

(取材協力: レオ・ストリングフィールド氏、チャールズ・ウィルヘルム氏、MUFON)

発売2年
謝恩セール

銅製3点セット500組に限り

特別価格で奉仕!!

定価 ¥15,400 → ¥10,000 お早くどうぞ!!

驚異のピラミッド・ハウス

■四角錐の中に謎の力がある

組立簡単、三点セット(座禅用・横臥用・実験用) ¥4,900

実験レポート

おことわり (ピラミッド製品は医療器具ではありません)

欧米諸国においては、ピラミッド・モジュール体(ピラミッドの寸法を基準にした工作物)による医療の効果を狙った実験がさかに行なわれています。

そして、その結果ピラミッド・エネルギーが不眠症・ノイローゼ・頭痛・歯痛・扁桃腺炎・鼻炎・神経痛・冷え症・関節炎・腰痛・捻挫・打撲傷等の疾患に少なからず治療の効力を有するとの報告がなされています。

しかし、だからといって、ピラミッド・エネルギーの生体におよぼす医療の効果について、その実体がはっきり解明されたわけではありません。

牛乳や果実などによる実験によればピラミッド体の中に未知の力が存在するということは確かなことといえます。しかし、その未知の力がはたして人体に何如なる影響を与えるかということについては、未だ疑問が残されています。

したがって全てのピラミッド製品は医療器具ではありませんので、これらを使用するときは、あくまでも遊びの精神を忘れずに実験用具としていろいろ楽しむようにして下さい。

ピラミッド・パワーに関する当社の実験報告

○牛乳による実験

- 15分間煮沸した同じ形の2つのコップにビン詰(200ml)の牛乳を半分ずつ入れる。
- 2つのコップのうちの1つを方向を合わせた実験用ピラミッドの中に、他の1つを外に置く。
- 以上の方法によって、中・外・双方の牛乳の変化を7日間観察する。その間、牛乳には勿論のこと、容器にも手を触れないように留意する。

〔実験経過〕

- 1日目 双方も変化なし。
- 2日目 双方も変化なし。
- 3日目 外・表面にまくを生ずる。中・変化なし。
- 5日目 外・ヨーグルト状になりすっぱい臭いを発する。中・変化なし。

7日目 外・上部がヨーグルト状に凝固、下部が水だけになって分離する。中・全体的にチーズ状になり乳の臭いが強くする。

10日目 外・凝固した表面が赤味をおび悪臭を発する。中・チーズ状になって固みを増す。乳の臭いがする。

なを、牛乳による実験は、社員の知人(5名)に実験用ピラミッドを貸し、別個に実験を依頼したが、だいたい同様の結果がでた。



各種 ピラミッド・ハウス

実用新家・商標登録申請中

鉄製(アルミメッキ処理)

アルミ製

銅製

●大(座禅用)長サ 160cm

●中(横臥用)長サ 80cm

●小(実験用)長サ 25cm

附属品/コンパス グランドシート

	鉄 製	アルミ製	銅製	送 料
3点セット(大・中・小)	¥4,900	¥6,900	¥15,400	¥600
2点セット(大・中)	¥4,400	¥6,400		¥600
実験用のみ(小)	¥2,000	¥3,000		¥500

●ピラミッド・ハウス収納ケース(別売) ¥1,500(送料当社負担)

★お申込方法★

●現金書留・郵便にて代金引換注文文御希望の方は、住所・氏名、品名をハッキリご記入の上、ハガキか電話にて注文ください。(この場合手数料 ¥500 必要です)

●カタログ・資料(ピラミッド・ハウス使用の手引) 切手200円。

★ ◎21世紀の食生活を暗示するヘルス食品!!

輸入品・国産品共一流メーカー品。

クロレラ、ジャム・オイル(麦芽油ビタミンE)・ハイプロテイン(高蛋白食品)アルファ、プルン、ゲータレードその他

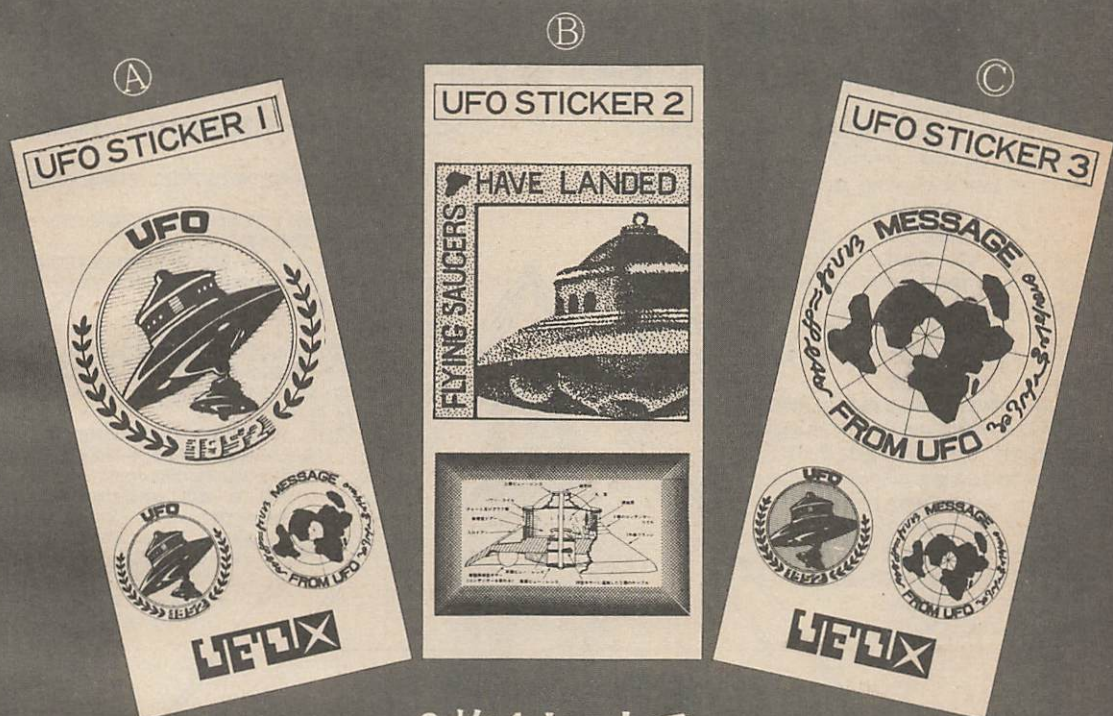
●詳しいことはヘルス食品のカタログ(切手200円要)でごらん下さい。

東京メールサービス

〒144 東京都大田区西糀谷4-29-3-5

TEL 03(744)7624

宇宙エイジのメタリックな UFOステッカー



裏面解説書付

2枚1セットで
新発売

2枚1セット
1,000円(千共)

君のアイデアで
色々なワンポイント
アクセサリとして
差をつけよう!!

ステッカー面の大きさ18×9.5cm

シール面は、当社で新しく開発したメタリックなモザイク模様。色はシルバーで美しく光っており、シックな素適なステッカーです。バッグに、ノートに、デスクに、何にでも貼れて、オリジナリティーが増します。今すぐ申し込んで、差をつけよう。

購入方法

3種類のステッカーの内、好きな記号を2枚選び1,000円を現金書留又は、郵便振替にてユニバース出版社・商事部迄お申し込み下さい。折り返し品物をお送りします。

豪華賞品が当たる!!

UFOと宇宙

クイズ

今月号の賞品

金賞



ESPトレーナー
(ボックス ¥10,000) 2名

●ESPを強める超能力開発訓練機。
ESPトレーナーによって、遠隔知覚
や未来予知、透視などの能力を高めよ
う!

銀賞

(創林社 ¥1,200)
フエノメナ

15名

●イギリスのユニークなオカルチスト
J・ミッチェルとR・リカードの共著。
本書は人類の歴史が封じこめてきた謎
と怖れの現象の数々を網羅している。

銅賞



アダムスキー型ブラモデル
(東京マルイ玩具 ¥800) 20名

●プラスチックモデルで創るアダムス
キー型UFO。神秘的光を放つ点滅発
光体付き。マニア指向の本格派向き。

本誌を読んで答えて下さい!

■問題■

去る7月の末に、オハイオ州デイトンで、アメリカのUFO研究団体MUFONの主催する第9回全米UFOシンポジウムが開かれました。この大会には、アレン・ハインツ博士やドナルド・キーパーも出席し、それぞれ興味深い講演を行ないましたが、最も注目を集めたのは、レオナード・ーストリング・フィールド氏のレポートでした。

彼によると、アメリカ空軍は、墜落したUFOの残骸や宇宙人の死体を、ひそかにある軍事基地に運び込んでいくというのです。

問題の基地は、この大会の開かれたデイトンにあります。さて、何という基地でしょうか?

- (A) ホロマン基地
- (B) デイトン基地
- (C) ライト・バッテリー基地

応募のきまり

- 必ず官製ハガキを使用し、左下の応募券を貼ってください。
- 締切り 昭和53年12月20日。当日の消印有効。
- 発表 『UFOと宇宙』2月号(1月20日発売)誌上。正解者多数の場合は抽選で決定します。

ハガキの書き方

- あて先 東京都台東区上野5-1-6
ユニバース出版社
ヤマトビル

- 裏面には、あなたの住所・氏名・年齢・職業(学生は学校名/学年)、そして、次の順序でお書きください。

- ①解答
- ②本誌を買った理由・動機
- ③本号で良かった記事の題名を2つ
- ④本誌への感想、またはこれから本誌に載せて欲しいと思われる企画
- ⑤今後、賞品として希望される商品名

10月号クイズ 当選者発表!

『UFOと宇宙』10月号の、第9回全米UFOシンポジウムを開催したUFO研究団体は、⑧のMUFONが正解でした。
応募総数1143通のうち、正解は1079通でした。
抽選により、左記の方々がめでたく当選されました。

★金賞

(UFO探知機/2名)

- 古川一夫(愛知県岡崎市市中町)
- 森田茂信(愛知県海部郡佐屋町)

★銀賞

(アダムスキー型ブラモデル/15名)

- 渡辺健一、鎌田知宏、須藤信次、滝戸満、高橋嘉朗、坂尾秀樹、若吉晃、佐藤美佐子、上代務、鈴木賢二、高桑新吾、三輪幸弘、真間昭弘、前沢貴史、長谷川晋

★銅賞

(本誌保存用特製バインダー/20名)

賞品の発送をもって、発表にかえさせていただきます。

12月号クイズ
応募券

国連大学は

「宇宙使節局」になる

狂騒され、忘却され、追憶されることは「流行」の特性である。夏祭りに見られる「打上げ花火」だ。

「学問」そのものは、狂騒されることがなく、忘却されることがなく、追憶されることがない。「学問」は「流行」ではない。

その研究は地道で、その行なわれる活動は絶えることがなく、追憶されるものというよりも引き継がれてゆくものである。

それゆえ、この世界に生きている種族は、その生命活動が絶えざる研究と創造を可能ならしめるには、新しさに対し、禁欲状態からいつも解放されている必要がある。

寛容が、学究態度の根本であるゆえんである。禁欲がないので、せきをきることなく狂喜が爆発することもない。が、寛容には大きな信頼感が寄せられている。

今、UFOを救えるのは、この「学問」の場だけである。

UFOが、かくまで、強烈な悪臭を放っているのは、帝国主義的資本家たちによる「流行」なるもののせいである。

る。

なすがまま、なされるままに放置しておいて、他の一方で禁欲令を發布し、情報の出入りをたくみに禁止してきたのは、東西のお上であつたが、お

上も悪いが、企業も悪い、とりわけ大衆の浮かれ騒ぎがよくない。

このような「流行」から一般家庭に連れ戻してUFOを救えるのは、ただ「学問」の場だけだ！

「流行」に汚染されたUFO、たれ流しを再処理し、「流行」に汚染されたUFO観に気品を与え、「流行」からも疎外されたUFOを社会に受け入れて



▲シカゴ大学

これに法人格を与える、そういう方向においてのみUFOを救い、よみがえらせ、ひいては、万人への利益に還元しうるのは、良識ある科学者と「学問」の場だけである。

寛容がUFOを救う。

バートランド・ラッセル卿の深遠な哲学的思索はUFOをも温かく迎え入れ、その家族の一員に加えている。

ヘルマン・オーベルト博士の力強い学際講演はUFOに輝きを与えた。

ラリー・ブライアント氏は、知る権利と「情報の自由法」を駆使してしばしば政府高官にお灸をすえてきた。

今CIAは告訴され、被告人となっている。

さらに、国連という地球最高の合議機関の内部では、「ユッフオ」と一声発したことによって1960年代後半に失職させられた人物ケビクツキー氏が、遂にUFOを総会議場へ登場させたという出来事も発生した。

海外におけるUFO救済にかける知識層の努力、推して知るるべしである。

ならば、わが国の学者層は何をしてる。知識層はUFOに何をしていたのか。

全米科学振興協会では公表されたUFO白書を検討して、堂々と政府を無

日本の科学者に問う

連載・UFO問題レポート(最終回)

地球開星運動主宰者 森脇十九男

能呼ばわりしてきたというのに、実際わが国では、宇宙博に來日して講演することになっていた同協会メンバーのハイネック博士に横槍を入れて、その決定済みをはごにしました。

近々、UFOの実在性に端を発して宇宙使節局が開設されるであろう国連大学本部の、そのお膝下でかような低落ぶりである。

UFOは「流行」でなく、「学問」もまた、「流行」ではない。

先師曰く、「——国に殉ずるの節ある者は死に就きて後れんことを恐れ、時を濟ふの略ある者は事に臨みて先だたんことを恐る」(吉田松陰)。

先日のあるテレビ番組ですこぶる興味ある情報が流されたことはUFOに関心を寄せているほとんどの人々が知

っていることだろう。

例の著名なコンタクトマン北野法師が、某大学学部長をUFOに同乗させることを異星人から許可してもらったと語った件である。これはちょうど、かつてアダムスキー氏が2人の著名な科学者をUFOに同乗させたという、シュピーゲル誌とのインタビュー会話を我々に思い出させる。

で、ゲリー首相の演説といい、この件といい、急速にUFOが日本国内に登場せんとしているようなので、今

禁欲から解放されている 2学生との対話

河 どうだい、就職の願末は？

和 ただどの様な職業を選択するかで大いに迷っている。

河 学生時代の決算は終了したかい？

後立ち上がるであろう学者たちの便宜のために、合衆国における大学並びに教授たちがUFOに係わってきたリストを作成しておいた(別表)。研究活動の参考にされたい。

最後に、新しさに対していつも禁欲状態から解放されている2学生、沢和田光生君と河井正庸君の見解と対話を掲げ、自己の無学・無能力を顧みず大きな論議を展開したことを恥じながら、本稿を閉じた。

和 ああ、野球、文学、自然科学に精出したものだ。それにUFOだね。

河 それは結構。そういえば、この夏UFOに遭遇したってね？

和 でも、最初に見たのは高校3年の夏。白昼、銀色の円盤2機を大勢の友人と見たのだが、受験ですっかり忘れていた。それで君に会って思い出した。そして、この夏帰省していた時のこと

だけど、夕涼みに星を眺めていたところ、チカチカ光る物体に遭遇、それがちょうど目の前を飛んでいたホタルの動きによく似ていて全くユーモラスだった。

河 やはりUFOの実在は真実なのだね？

和 もちろんだとも。アメリカ、カナダ、ブラジル等々では国会で論議され、ロケットの父ヘルマン・オーベール博士もその実在を認めている。前国連事務総長ウ・タント氏もベトナム戦争の問題の次はUFOだと語ったし、今年も11月に国連でグレナダ共和国ゲリー首相がUFO問題を提議す

るという一連の事情がある。

河でも日本では、UFO精神現象派が一般的だね。

和 それは怠慢だ。事実を直視すれば、精神不安の産物では説明できない膨大な証拠があるのだから。実際に自分の眼で見ないからというわけでは否定的になるのはどうかと思う。実際に見たわけでもないのに、私達はよく進化、クオーク、歴史等々を語るではないか!?河 そうかも知れないね。否定派は科学的研究をせずに科学発言するのだから、後に歴史的責任を問われてしるべきだろうね。宇宙船が実在するにせよしないにせよ、UFO問題は現実だからね。

和 確かに現実的問題だ。しかし現実的アプローチは行なわれにくい。宗教色が濃くなったり便乗したりして悪臭を放つ

戦後UFOにかかわってきたアメリカの大学および教授

〔アリゾナ州〕

- アリゾナ大学
ジェームズ・E・マクドナルド
(大気物理学)
- ウィリアム・K・ハートマン
(月・惑星研究所)

〔カリフォルニア州〕

- カリフォルニア州芸術技術単科大学
- カリフォルニア工科大学
ブルース・C・マーレイ
(地学・惑星科学)
- カリフォルニア州立大学
ハーヴェイ・ウィッチマン
(宇宙生命科学)
- カリフォルニア大学
ダグラス・R・P・ウィリアムズ
(心理学)
- ジェームズ・A・ハーダー
(土木工学)
- M・ヒルダブランド (動物学)
- P・S・モラー (機械工学)
- サマー・デーヴィス (物理学)
- ロバート・M・ペーカー Jr
(システム科学)
- スタンフォード大学
ピーター・A・スターロック
(プラズマ研究所)
- ロジャー・N・シェパード (心理学)
- レッドランド大学
- 南カリフォルニア大学

〔コロラド州〕

- デンヴァー大学
- コロラド大学
エドワード・U・コンドン (物理学)

〔コネチカット州〕

- ウェズリアン大学
ソートン・ベイジ (天文学)
- エール大学

〔ジョージア州〕

- ジョージア大学

〔ハワイ州〕

- ハワイ大学
フランクリン・ローチ (天文学)

〔イリノイ州〕

- シカゴ大学
R・サウダース (産業問題)
- ノースウェスタン大学

- J・アレン・ハイネック (天文学)
- ジャック・F・ヴァレー (天文学)
- W・T・パワーズ (デアボン観測所)
- イリノイ大学
ロバート・L・ホール (社会学)

〔アイオワ州〕

- ドレーク大学
デズモンド・H・ブラッグ (教育学)
- アイオワ州立大学
フィリップ・J・クラス (科学)
- アイオワ大学

〔ケンタッキー州〕

- ルイスヴィル大学

〔メリーランド州〕

- ジョン・ホプキンズ大学
- メリーランド大学
J・B・カールソン (天文学)

〔マサチューセッツ州〕

- ボストン大学
- ハーバード医科大学
- ハーバード大学
ドナルド・H・メンゼル
(天体物理学)

- マサチューセッツ工科大学
フィリップ・モリソン (物理学)
- タフツ大学
トーマス・ギップ Jr. (化学)
- マサチューセッツ大学

〔ミシガン州〕

- ヒルズデール単科大学
- ミシガン大学
ドナルド・I・ウォーレン
(社会労働問題)
- ウォード・エドワーズ (実験心理学)

〔ミネソタ州〕

- ミネソタ大学

〔ミシシッピ州〕

- ミシシッピ大学

〔ミズーリ州〕

- SW・ミズーリ州立大学
ハリー・D・ラトレッジ (物理学)

〔ネバダ州〕

- ネバダ大学

〔ニューハンプシャー州〕

- ベルクナック単科大学

〔ニューメキシコ州〕

- ニューメキシコ大学

〔ニューヨーク州〕

- バーナード単科大学
リチャード・P・ヨブツ (心理学)
- コーネル大学
カール・セイガン (天文学)
- フランク・D・ドレーク (天文学)
- ロングアイランド大学
ジョージ・コーヘン (哲学)
- ニューヨーク州立大学
- ロックフェラー大学
- ニューヨーク大学
- ロチェスター大学

〔ノースカロライナ州〕

- デューク大学

〔オハイオ州〕

- ケント州立大学
- オハイオ・ナザン大学
- オハイオ州立大学

〔オクラホマ州〕

- オクラホマ州立大学

〔ペンシルバニア州〕

- カーネギー・メロン大学

〔テキサス州〕

- ライス大学
- セントメリー大学
- テキサス工科大学
- テキサス大学

〔ユタ州〕

- ユタ州立大学
フランク・B・サルスベリ (植物学)

〔ヴァージニア州〕

- ハリソンヴァーク単科大学
- マディソン単科大学
- ヴァージニア大学

〔ワシントン州〕

- カソリック大学

〔ウェストヴァージニア州〕

- ウェストヴァージニア大学

〔ウィスコンシン州〕

- マルキート大学
W・マコーヴィッツ (物理学)

- ウィスコンシン大学

- ウィスコンシン州立大学

〔ワイオミング州〕

- ワイオミング大学
R・レオ・スプリングル (心理学)

注・教授名は当方所有論文筆者 (森脇)

様になった。

宇宙に対する

驚きは何も今

に始まったわ

けではなく、

古今東西の粹

な人達は^{宇宙}宇宙

の息による小

宇宙と大宇宙

の交感を楽し

んだものだ。

ところで流行

のチャクラと

は一体何のこ

とか説明して

くれるかい？

河 道教では、

黄宮・命宮・胎宮・心宮・丹宮・玄宮

・峻宮とか、ヨーガでは、サハスラー

ラチャクラ・アジナチャクラ・ヴィン

エダチャクラ・アナハタチャクラ・マ

ニプーラチャクラ・スワディスタナチ

ャクラ・ムラーダチャクラとか、ヨハ

ネ書では七つの燭台^{しゆくたい}という、脳下垂体

・松果体・甲状腺・胸腺・副腎・ライ

デン腺・性腺（大脳皮質・松果体・咽

頭神経叢・心臓神経叢・太陽神経叢・

腰仙骨神経叢・仙骨尾椎骨神経叢）の

七つの神経中枢のことで、何でも有機

エネルギーを蓄積補給する場らしい。



▲マサチューセッツ工科大学
◀ハーバード大学

ア、フロイドのリビドー、アンリ・ベルグソンのエラン・ヴィタール、フィード・ペインのオーラ、ハンス・ドリーシユのエンテレキ、ウィルヘルム・ライヒのオルゴン・エネルギー、ルイーギ・ガルヴァーニの生体電気、関英男のサイ粒子、ハンス・ライヘンバッハのオディック・フォース、ウスペンスキーのエネルギー蓄積庫、ヴィ・エムイン・ユージンの生体ブラズマ、ハロルド・エスパーとL

・J・ラヴィツの電気動力場、ピラミッド派ビラミッドパワー等々の諸自然エネルギー群でしょう。
和 なるほど。その有機エネルギーはUFOの推進力と関係する様な気がする。

河 もちろん！ 解答はそういった超重力エネルギーでしょう。

和 それはまた「神」の実体である動力エネルギーかもしれない。そんなエネルギーは、癌だの原子エネルギー等々を無効力にしてしまいうだ。もし同じくエネルギー危機もいつ

きよに解決できるなら、その意味でもUFOを科学的に研究する価値は十分にある。

莫大な予算で電波を送るよりも、わざわざ米星して下さる異星人を歓迎する

方がどれほど賢いことだろう。そこを科学者にお願

したいね。

河 うん。でもそう頼んでばかりもしてられない。

科学者だって自分の存在を固定する課題があるのだから。

和 ところで、情報の自由から異星人のメッセージを尊重すると、人間精神の荒

ら。



UFO情報秩序を求めて

河井正康(投稿)

日常の体験から、私はUFO問題のもっとも大きな欠点のひとつとして、情報に疎密のギャップがありすぎると思われ

てならない。
ある研究者のところにUFO情報があふれんばかりに集積され、一方にUFOが何の略語かも知らない人々がいる。この情報量の不均衡からUFO問題を阻害する誤解——たとえばUFOは心靈的なもので幻想にすぎない——が生まれるわけだ。

誤解の原因は時にUFO宗教者にないわけではないが、もしUFO派に、宇宙に対する驚きは何もUFOに限ったわけではなく、宇宙の深遠を垣間見た芸術家・詩人・哲学者・科学者・宗教家・一般人がその大いなる戦慄をとりあえずこらえ、いかに表現したものかと苦勞したその作品を理解するだけの心のゆとりがあれば問題は無い。

廃、太陽系の異常が圧倒的でしょう？
河「大衆の知性と性格とが、共同社会に価値ある何物かを生産する少数者の知性と性格よりも、比較にならないほど低い」とはアインシュタインのキッシーお言葉だ。僕等はマゾヒズムに浸らない程度に反省する必要があるのでしょうね。右・左・天・大脳への過度な依存も精神の荒廃の症候群ですね。

真偽のほどは別にしても、今日、コンタクト、異星人、スペースシップ等からさまざまな情報がこの惑星に送りだされている。

他方、地球からは数々の宇宙探査機が宇宙空間に送り出され、情報を収集している。しかし、これらの情報はすべて、常に私たちに直接正しいかたちでは入ってこない。心理学で、情報は受けとった者のパーソナリティによって多少なりとも屈折させられるという事実があるがまさに情報群は本人のパーソナリティによって少しずつデフォルメされ、エキスを雲がくする私を私たちは理解すべきなのだ。

私自身の科学者との対話経験から知ったことだが、どうやら学者もUFO問題には個人的コンプレックス(たとえば、自分がこれまでやってきたことが無価値になってしまおうのではないか、など)を

ところ、1957年から58年にかけて一般太陽ポロイダル磁場が逆転したけれども、これが小氷河期説やブレートクトニクス説よりも、三八豪雪あたりからの異常気象の本質的原因かも知れないね？

和 ああ、土星会議の例のテーマね？
アダムスキーの印象はソクラテスの「ダイモニオン」と同一でしょ。だか

もっているというふしがある。

また、良心的に学者の立場を考えると学者の方に重要な情報が流れていないといった事実がある。したがってもし立派な情報を皆さんがおもちなら直接自分の先生や大学教授・研究者に持参して誠実に問題意識を述べる必要がありはしないだろうか。

UFO問題は今や悪臭を放ちつつあり、それはへたをするとい流行歌(ピンクレディのUFOからサウスボーに移ると同じように)のファッション性と同じ質しかもたない。

私自身、昨年10月20日からスモール・スペースシップらしきUFOをどうやら呼べるようになり、これまで研究していたエネルギー、非市場経済学、生態系にUFOをにわかにつけ加えなければならなくなかった。それゆえ、森脇十九男氏との共同活動を開始したわけだ。元来、私はフィクションを好まない。ユング風の精神現象のみでUFOを考えるようなメタフォールを好まない。要はひとつ。UFO情報の不均衡状態を是正し、情報の秩序を回復することである。

らきつとベテンなんかではない。彼は神という言葉を用い過ぎたからおかしくなったのではないかな。

河 宇宙の英知だね、それでは。

和 「人間のあらゆる概念は、我々の住む惑星の規模に準じたものにすぎない。そのような概念は、科学技術が今後いかに進歩しても、地球としての限界」を越えて越えることはないとい

UFOの実態を実写フィルムで綴る驚異のスペース・ドキュメント8ミリ!!



これがUFOだ!

プロット■スカイラブ3号が撮影したUFO■ジェミニ7号が撮影したUFO■アポロ12号が撮影したUFO■ファントム機が撮影したUFO 他
¥10,800(千円)

宇宙人は地球にきた

プロット■ナスカ平原■パレンケの遺跡■イースター島・黙せる巨人たち■サハラのタッシリ山にある宇宙人の古代壁画 他
¥10,800(千円)

宇宙への挑戦①

——地球は青かった——
月に飛びたつアポロ11号
¥9,800(千円)

宇宙への挑戦②

——人類月に立つ——
月面着陸の歴史的瞬間
¥9,800(千円)

未確認飛行物体/友好か、侵略か?世紀の謎UFOに挑む!!

制作:東宝株式会社
各巻スーパー8カラー
55m10分・光学録音
カセットテープ付

ご注文は8ミリ題名を明記の上、現金書留にて下記までご送金下さい。カタログご希望の方はハガキで電話でお申込み下さい。

〒104 東京都中央区築地1-3-4 東宝8ミリショップ・ツクダ UFO12 ☎03(543)2733

う条件に基づいている。もし我々が宇宙通信を確立するのに成功したら、我々の哲学的・道徳的・社会的見解のすべてを修正しなければならないだろう」とは他ならぬレーニンの開かれた言葉だ。どこでエキスは硬化したのだ



▲ノースウェスタン大学

ろう？
河 素晴らしい。では、さっそく異星人用のコーヒーセットを購入しに行きましよう（笑い）。
（完）

あなたには《新知識》かもしれません …しかし、古代エジプト人はすでに知っていました！

幸福と心の安らぎをもたらす知識！ 諸問題を解決する方策、病気を克服する力！ 今日においてもいまだに模倣されている文明を創造したその英知と手腕——これらは古代エジプト人の生きる智慧の一部でした。



▶バラ十字会は、長い歴史をもち、宗教・政治団体とはまったく無関係の立場で、哲学的探究を目的としている同人組織です。本会は、幾世紀も保存し続けてきた未公開の英知を、希望者に対して通信教育方式により一般公開する活動を現在、世界63カ国で行っております。

▶古代の奇蹟とが神秘として伝承されていることの裏面には、古代人が探究した自然の法則、人間の精神の働き意外さ、人生の諸問題の対処のしかたなど、ユニークな視点、英知の数々が内包されています。

●詳細を説明した小冊子《人生を支配する》（日本語版）を無料でお送りします。下記にハガキでお申込みください。勿論、付帯義務や責任はいっさいございません。なお、教材はすべて日本語になっております。

■申込先＝〒165 東京都中野区若宮2-49-16 バラ十字会 日本本部AMORC事務局U-13係

The ROSICRUCIANS

米国カリフォルニア州サンノゼ市 バラ十字会AMORC 世界総本部

COLONIES IN SPACE

目前の宇宙植民計画

スペース・コロニーの内部

第五章

スペース・コロニー内部の景色や建物のようすは、南カリフォルニアあたり——別の場所でもかまわないが——を思い出させるものになるかも知れない。

人口はおよそ1万人。

位置は一定ではなく、地球から16万ないし32万キロ

メートルのあいだ。

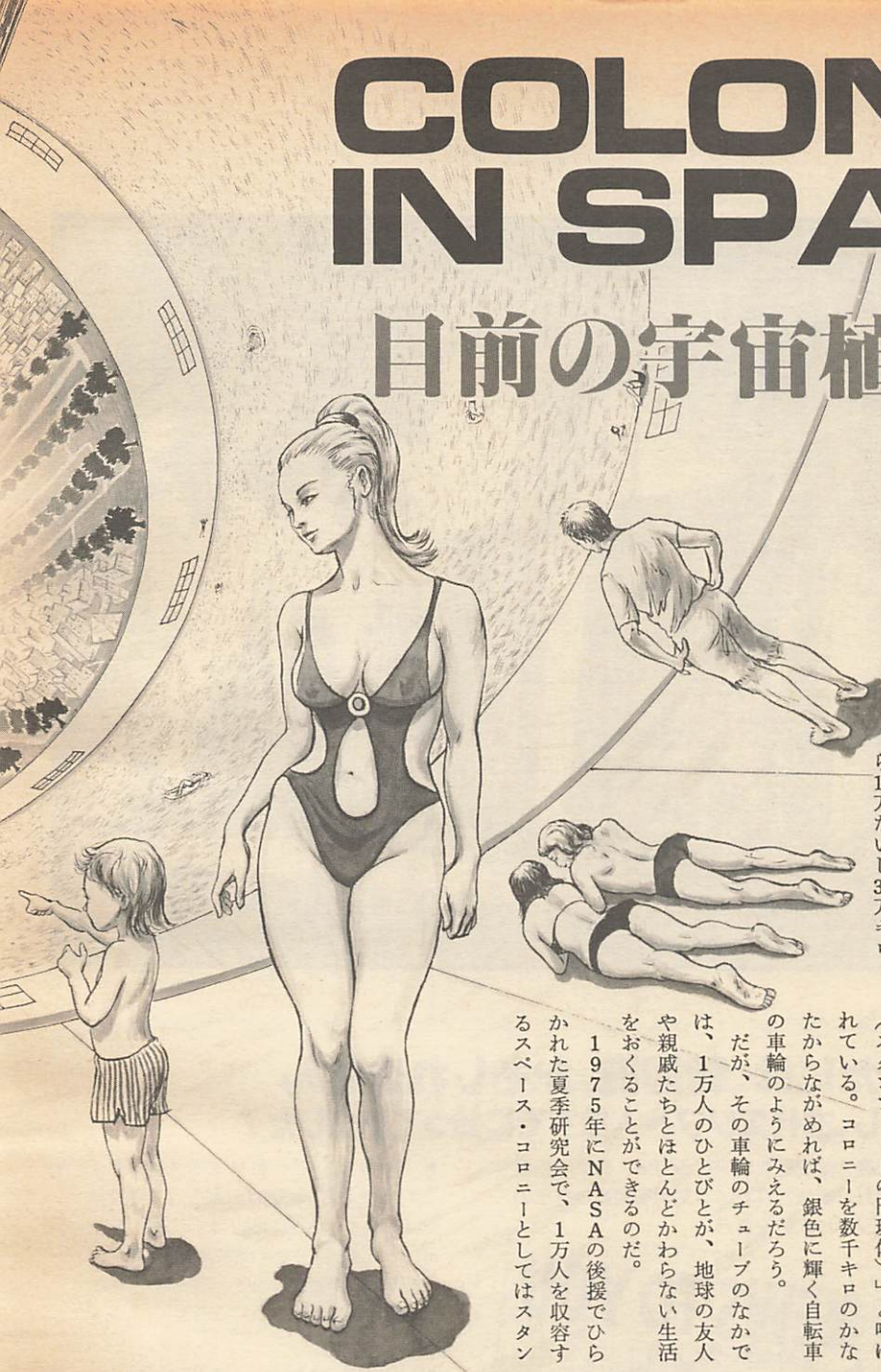
これが、宇宙開発の最先端に行く専門家たちによる、スペース・コロニーのおおまかなヴィジョンである。

このタイプのスペース・コロニーは、専門家のほとんどが支持しているもので、「スタンフォード・トーラス（スタンフォードの円環体）」と呼ばれている。コロニーを数千キロの小さなからながめれば、銀色に輝く自転車の車輪のようにみえるだろう。

だが、その車輪のチューブのなかでは、1万人のひとびとが、地球の友人や親戚たちとほとんどかわらない生活をおくることができるのだ。

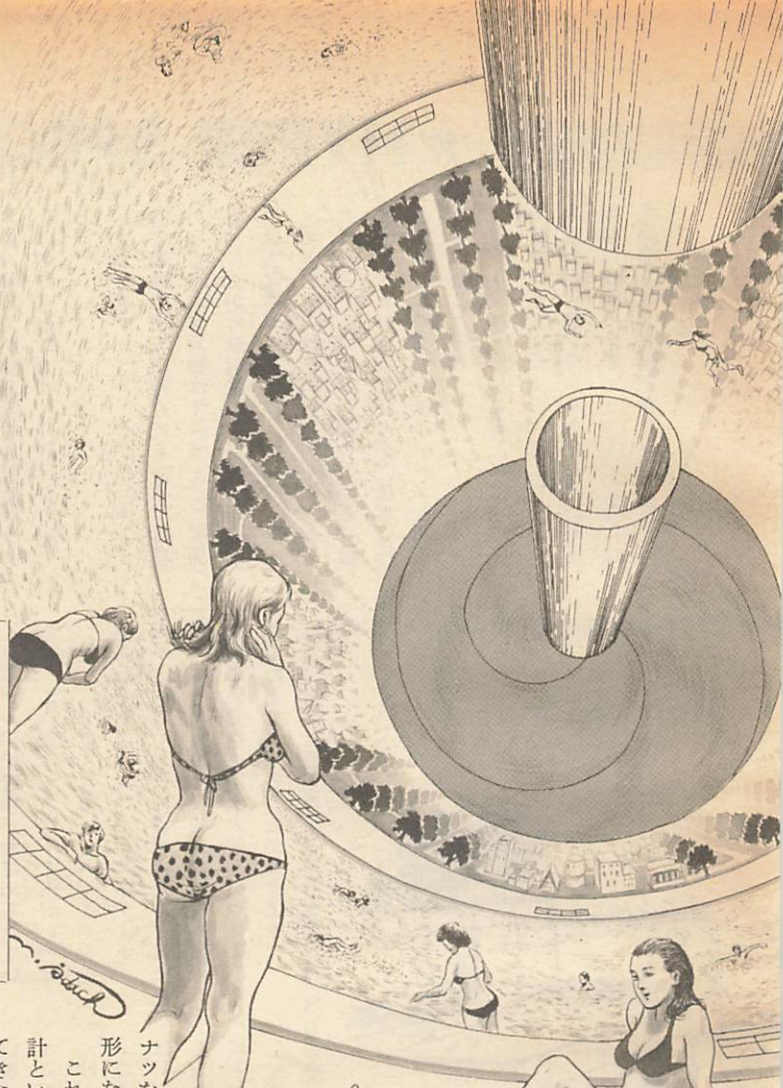
1975年にNASAの後援でひらかれた夏季研究会で、1万人を収容するスペース・コロニーとしてはスタン

スペース コロニー



短期集中連載 最終回

前号までのあらずじ
宇宙空間に人間が移住する宇宙植民
構想(スペース・コロナイゼーション)
はすでに始動している。
月面基地から送り出された大量の岩
石を、常時2000人が働く宇宙ステ
ーション内で処理して各種の金属を抽
出、この資材により車輪状の巨大な人
工都市スペース・コロニーを建設す
る。
この雄大な構想は今やSFの世界から
近未来の現実になりつつある。
宇宙にまで生活圏を広げたいこうと
する人間を待っているのはいったい何
であろうか？



フォード・トールスが最も
有望であるという結論がく
だされた。このトールス
(円環体)は毎分1回転し
て、地球上の重力と等しい
遠心力を発生する。

この自転速度でこの重力を
得るために、コロニーの直径
は1マイル(約1600メー
トル)よりわずかに大きくな
なくてはならない。そしてなか
に

おさまる「チューブ」の形状
は、太さ120メートル、周囲
6キロメートルあまりの、ドー
ナツを大きく細くひきのばしたような
形になる。

これはいろいろな点で都合のよい設
計といえる。まず、いままで研究され
てきたなかで最も軽量化が可能な設計

である。また、地面を段丘状にしてそ
の上に家を建てたり畑をつくったりす
ることができるので、内部空間の有効
な利用がはかれる。住民はこのチュ
ーブの内部で800メートル以上さま
で見通すことができるが、それでも、
コロニー全体を見わたせるわけではな
い。円環状に湾曲した構造のために、
かなりの部分がかくれてしまうからで
ある。

スタンフォード・トールスという、

設計の基本概念がきまれば、あとは比
較的かんたんにコロニーの細部を描い
てみるることができる。トールスの中心
にはセントラル・ハブ、つまり車軸に
相当する円筒状の部分がある。その先
端には、到着する宇宙船を受入れるた
めのドッキング・エリアがあるが、こ
の部分の自転速度についてはぐあいがある

●T・A・ヘッペンハイマー

- 第一章 ニューフロンティア
- 第二章 月面基地の建設
- 第三章 ムーン・マイナー(月面の採掘技術者)
- 第四章 宇宙ステーション
- 第五章 スペース・コロニーの内部
- 第六章 スペース・コロニー内のたのしみ

★HYPER SPECULATION★

いのでトラスとは逆向きの回転をあたえておく。セントラル・ハブの直径は120メートルで、その先端はいわばコロニーの「北極」ということになる。

セントラル・ハブは、たんにコロニーの物理的中心であるばかりでなく、いろいろな機能をかねそなえたものになるだろう。たとえば、レクリエーション・エリア、低重力体育センター、水泳プールなどをその内部につくることができる。セントラル・ハブ内の最大重力はわずか16分の1G程度にすぎないから、そこでは人力飛行も可能である。

また、セントラル・ハブはコロニー内の道路の中央交差点でもある。外部からくる人や貨物はすべてここを通る。ここから放射状にのびている6本の巨大なスポークには、エレベーター・シャフトのほかに、電力ケーブル、ヒート・パイプなどが通っている。毎日何千人というひとびとが、仕事の行き帰りにこのセントラル・ハブを通ることになるだろう。

セントラル・ハブの真上には、直径800メートル以上の、巨大でしかも軽量の反射鏡が浮かんでいる。この反射鏡は数基の小型ロケットで正確に位置調節され、太陽光線を反射して、セ

ントラル・ハブの外側の2重リング式2次反射鏡に集束させる。こうして、コロニー内に太陽の光が注がれるわけだが、また、反射鏡を傾けて太陽光線をそらすこともできる。じつさいには反射鏡の角度を日に2回変えることによりコロニーの昼と夜、たそがれとあけぼのを演出することになるだろう。

各スポークの太さは15メートルで、コロニーの外周部とセントラル・ハブを結んでいる。スポーク内部には、コロニーの動脈ともいえるエレベーター・ケーブル、配管類がおさまられているが、これだけでスポーク内がいっぱいというわけではない。スポークを全部あわせると、エンパイアステート・ビルと同じくらいの容積になる。したがってそのなかには、オフィスや商店、さらに研究室や宇宙大学といったようなものまでつくることができよう。

宇宙に浮かぶ 人口1万人 の小都市

しかし、コロニー内の生活の場はなんといっても外輪の部分である。そこには、農園、住居、公園などが段丘状に配置されている。円環状の外輪の表面のうち、中央に面した3分の1ほどはアルミのフレームにガラスを張りわたした構造で、2次反射鏡からの太陽光線がここから差しこむようになっていく。残る3分の2は約25ミリ厚のアルミ板で覆われ、外側から鋼索でしめつけてある。

こうしてできたスペース・コロニーは、宇宙空間にぽっかりと浮かぶ人口1万の明かぬ小都市だ。ここは人類にとって、その可能性を、希望を、そして未来をかいま見ることのできるは

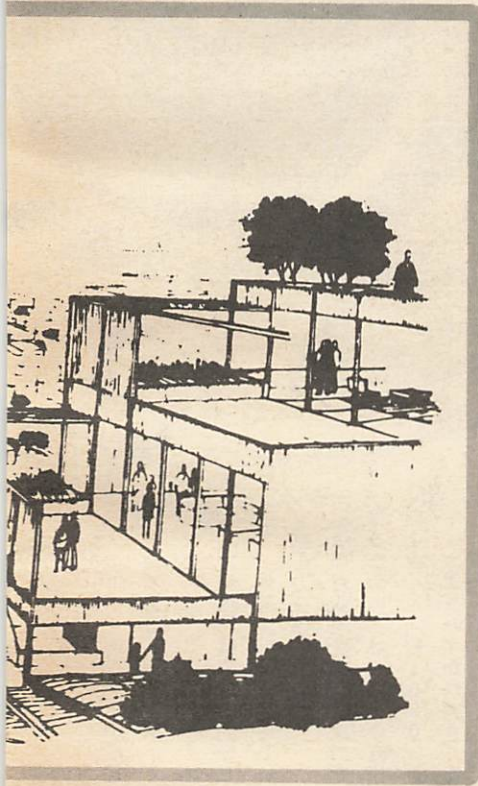
じめての場所となるだろう。

ここでは内部の景色や建物のようななどを自由に決めることができる。地球上の特定の場所をお手本にする必要はべつにない。だが、地球上の美しい町の景観がスペース・コロニーの設計にもとりいれられることは間違いないと言ってよいだろう。

たとえば南カリフォルニアで言えばサン・フェルナンド盆地などはじつに美しいところで、エンシノー、ターザナ、カノガ・パークといった町々は、コロニーを設計するうえで恰好のお手本といえそう。

これらの町にも、銀行やホテルなどの高層建築があることはあるが、数もすくないし、ロサンゼルスやダウンタウンのように密集しているわけでもない。ほとんどの建物は2階建てか、せいぜい3階建て程度の小じんまりとしたもので、いくらか建てこんでいるような印象をあてはえるが、それでも、ここかしこに豊富な緑が配されている。

こういった町のたたずまいを、そっくりそのままスペース・コロニーに持ちこむこともできそう。コロニーの設計においても、低層建築に限られた場所になくさん建てること、豊かな樹々の緑を配すること、家のつくりをシ

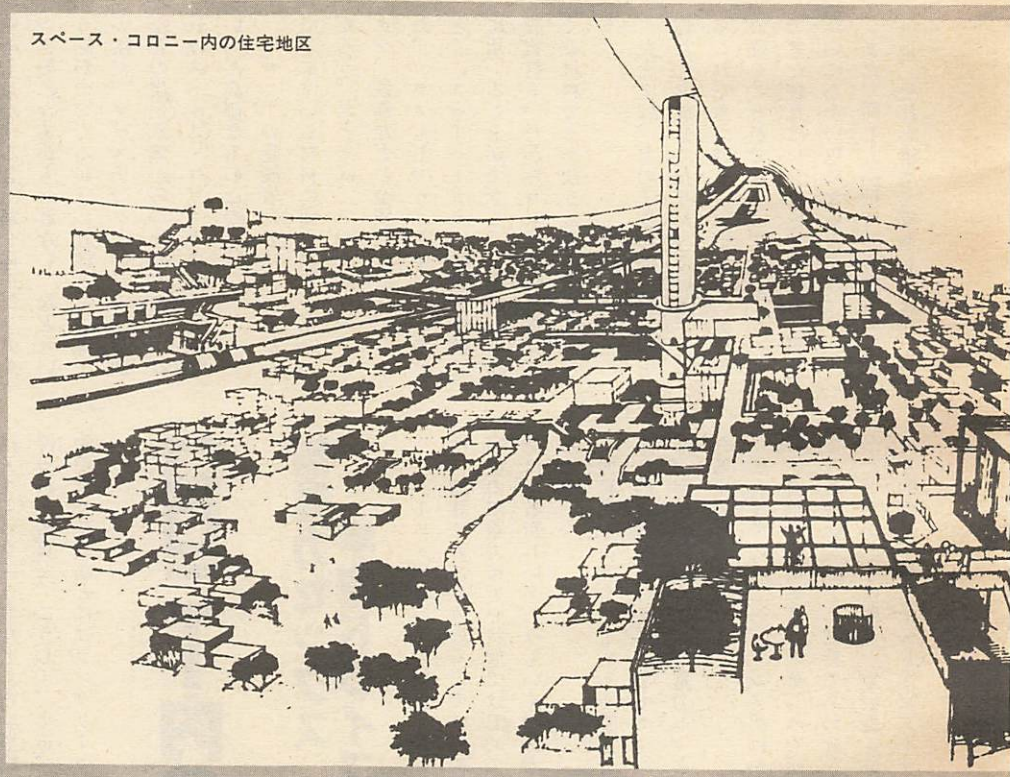


ンブルで開放的なものにするなどが、重要なファクターになると思われるからだ。このアナロジーにあまりこだわらずともいいが、さきほど述べたような町のありさまが宇宙の町づくりをめざすこの計画にヒントを与えてくれることもまた疑いのないところである。それどころか、いっそのことはじめから、地球上で最も好ましい最も魅力的な場所にかたどって宇宙の町づくりをすすめることだってできるわけだ。

このことは、SFによくでてくる宇宙都市のイメージからの訣別（けつべつ）を意味している。SFの世界では、オーティス・エレベーターの広告にでてくるような、200階もあるバケモノみたいな宇宙ビルの話があちこちに見られる。また、バックミンスター・フラー式の、「住居機械」と呼んだほうがよさそうな家などもでてくるが、だれがそんな家に白い垣根をめぐらせて、そこでくつろいだ生活をおくろうなどという気になるだろうか。スペース・コロニーでは、この種のSF的発想はまるく通用しない。

スペース・コロニー内では、造園も建築も、すべてがはじめから人工的である。デザインの基調となる自然の丘や湖などはひとつも存在しない。コロ

スペース・コロニー内の住宅地区



ニーにあるものはすべて、けっきょくは地球または月から運んできた材料をもとにつくられたものばかり、つまり、自然状態では宇宙に存在しないものばかりだ。いかにしてこの人工性を

克服するか、ひとびとが生活をエンジヨイできるような町を、人工性という制約のもとにいかにして実現するか、これがコロニー建築家の直面する主たる課題となるだろう。

じょうぶで長もち コロニー内の 住宅

コロニーのデザインは、宇宙で生活するとはどういうことかを具体的なあたちで示すような、格調の高いものでなければならぬ。これを実現するのはやさしいことではない。なかには、これを「ブルックリン再開発」と同列に考えて、大規模な共同住宅群の宇宙版をつくらうとする建築家グループもでてくることだろう。

この連中は、効率、一様性、統一性といったものをさかんに強調したあげく、さいごにつけ足しとして、すべてがコンクリートと土だけではないことを示すために、一本の木を植えるだろう。それはほんもののオークかもしれないし、スチロール製のオークかもしれない。また、月から採取したチタンを素材にしたオブジェ風のものかもしれないし、ひょっとすると、3次元的に投影されたオークの立体像にすぎないかもしれない。

これと似たような見当ちがいをおかす危険性はほかにもある。たとえば、海辺の村や高原の町などといった、地球上の好ましい環境をそっくり模倣（もか）ないし複製しようという考えかたがある

COLONIES IN SPACE

かもしれない。しかしそんなことをしたところで、それは全くの人工複製にすぎず、なんの脈絡もないものになってしまう。海のない海岸、そこでひとはほんとうの海辺の生活を味わえるだろうか。また、なにからなにまで人工的にできている山や丘に登らなければならぬとしたら、ひとはすっかりゆううつになつて、こんなことならもつとならかな道を歩いたほうがましだと思ふだろう。

このように、コロニーのつくりを地球上の実際の町にあまり極端に似せようとする、そこでの生活はどうしても芝居めいたものになり、コロニーそのものもたんなる芝居の背景に墮^だしてしまふ。

いや、宇宙の入植者たちはこんなおろかなあやまちはおかすまい。かれらは、どの時代のひとたちも新しい都市を建設するときにしてきたことを、やはりくりかえすだろう。つまり、新しい土地で手にはいる材料のなかから、これまで慣れ親しんできたものと似たものを選び出して建設に用いる。また、かつて住

んだ家や町の様式をまねながらも、新しい土地の状況に応じた新しい様式を生み出していく。

SFではよく、プラスチックを家の材料として用いることになるうとか、いやもしくはすると、家全体がプラスチック製になるかもしれない、などという話がでてくるが、これはとんでもない話だ。プラスチックというのは石油などの炭化水素からつくるもので、これはスペース・コロニーにおいてはたいへん高価なものなのだ。

コロニーの建設者たちは、かたんに手にはいる材料に頼らざるをえないだろう。たとえば、アルミニウム、チタン、鉄鋼などの金属がそうだ。また、ガラスもじゅうぶん手にはいる。とくにファイバーガラスは断熱や防音に用いることができる。このほかの建設資材も、月からコロニーに送られてくる材料でまかなうことができるだろう。

たとえば、月の土壌の多くは粘土と似た化学成分でなりたっている。だからこれを水で練り、成形して、太陽炉で焼くことができるはずだ。こうしてできた煉瓦^{れんが}はレンガ色ではなく、灰色か白にちがひ色になるだろう。

また、同じ太陽炉で月の玄武岩を溶かし、それを鋳型で成型して煉瓦をつ

くることもできる。この方法は、フランスでタイルや配管部品の製造に用いられているものだ。月の斜長石から得られる石灰を月の土と混ぜあわせ、水で溶けばセメントになる。石灰は月ではアルミニウムとおなじくらい豊富に得られる物質だ。こうして、歩道、建物の壁や基礎などにはコンクリートが

コロニー内のたのしみ

第六章

無重力セックス 宇宙ドライブ

スペース・コロニーの娯楽としては、地球でおなじみのもののほかに、宇宙の無重力に近い状態ではじめて可能になる新しい楽しみもいくつか考えられる。

世界中どこでも、もちろん宇宙でも楽しめる行為といえば、まずセックスだ。宇宙ではとくに、無重力セックスなるものが考えられる。

これまでのところ、マジメ男ばかりの宇宙飛行士たちはこの楽しみを試してみよう機会をほとんど持ちあわせなかった。だが、宇宙開発の重要性をあれほどの確に予見したSF作家アーサー

用いられ、また壁の上塗りにはモルタルが用いられることになるう。

鋼鉄、アルミニウム、煉瓦、ガラス、コンクリート、こういったほんものの材料が町の建設に用いられるわけだ。コロニーの家は、じょうぶで長もちするすばらしい家になるだろう。

・クラークもこう言っている。「これだけは、はつきりしている。無重力はエロチカに新しい形態をもたらすだろう。時間についても同じことが言える」
このような無重力の楽しみを味わう方法としては、まずスペース・バンが考えられる。コロニーからそう遠くないところに宇宙ドライブに出かけるには、これがさかんに利用されるだろう。

このスペース・バンは、宇宙船としての機能をすべてそなえた小型の乗物で、そのゆったりとした内部には敷きものやウォーターベッド・マットレスなどがよく似合い、大きな窓から四方が見わたせるようになっている。

スペース・バンには、小型のロケット・エンジン、燃料（おそらくアルコ

★HYPER SPECULATION★

ール)タンク、レーダー、それにかんたんな慣性誘導装置が装備されている。これによって、スペース・バンが他の物体との衝突コースにはいつていないか、また、このまま進んでも帰りの燃料はだいじょうぶかといったことをチェックすることができる。

スペース・バンは、家族連れの宇宙ピクニックにも用いられる。ひとは、コロニーから数キロメートルの宇宙に出て、そこから自分たちの住む場所をながめてみたいと思うだろう。また、もっと遠くへ行つて、広大な星空のまっただなかでボツンとひとり、宇宙の迷子になったような気分を味わいたいと思うひともあるだろう。

近くにスペース・コロニーがいくつある場合には、スペース・バンを使ってそのあいだを行き来することができ。こうしてひとつのサブカルチャー(下位文化)が形成されるかもしれない。若者たちは自分たちの手で改造したスペース・バンを乗りまわし、コロニーの自転にあわせてまわりをぐるぐるまわったり、スポークの外側をエレベーターと並んで飛んでみせたりするだろう。

また、有名人を乗せた宇宙船が到着したり、なにかめずらしい建造作業がはじまつたりすると、スペース・バン

に乗ったヤジウマたちがそれを遠まきに(いや、もしかすると近まきに)とりかむことだろう。

頭の真上で
水しぶきが上がる

住民たちがドライブからもどつて、セントラル・ハブ内の格納庫にスペース・バンをしまうと、そこにはまたべつた楽しみが待っている。低重力プールである。地球上の20分の1、あるいは50分の1程度の重力でも、水は円筒形プールのなかにうまくおさまってくれるだろう。

また、人間のからだだと水とでは密度がほとんど同じなので、水中を泳いで

いるかぎり、からだに加わるおもな力は、地球上での水泳の場合とまったく同じ、つまり、自分の泳ぎによる力と水の抵抗による力ということになる。だがこれ以外の点にかんしては、コロニーのプール(これはまた貯水池の役割も兼ねている)は地球上のプールとはまるで違うがちがう。

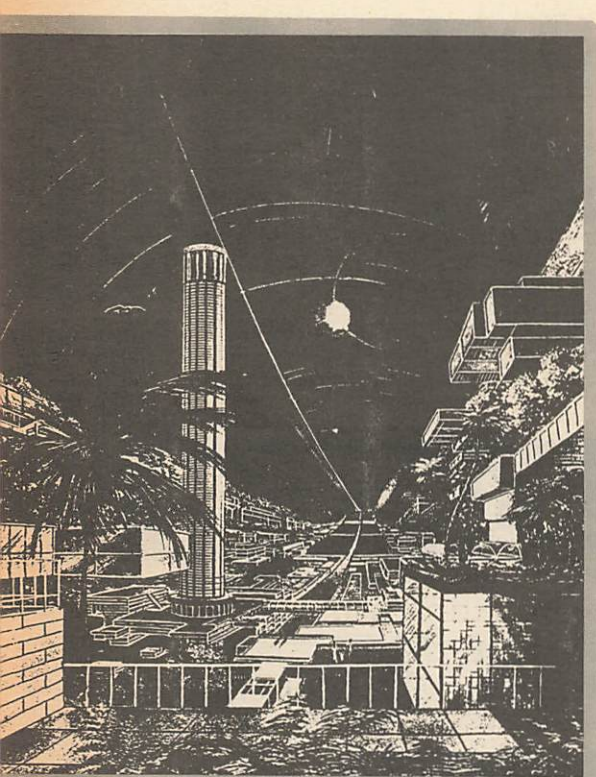
スペース・コロニーのプールは平らではなく、円筒状の曲面だ。タイル張りのプール・サイドに立って、まわりをながめてみよう。足もとに視線を落としていくかぎり、変わったことはなにも見あたらない。だが、いったん目を上げてまわりを見わたすと、プールが上のはうへ湾曲して、それがしまいに頭上でアーチを描いていることに

気がつくだろう。頭の真上で、ひとびとが歓声をあげながら水しぶきをとばしている。地球から着いたばかりのひとは、この光景に目をまるくしているはずだから、すぐに見わけがつく。

水とそのなかのひとびとの、ゆっくりと規則正しい動きも、慣れるのに多少時間がかかりそうだ。地球のプールでは、波はふつう小さく、それが水面を伝わる速度もおそい。だれかが高い飛込台からとびこんだすると、水しぶきが上がり、水柱が立ち、波が起こつて、それからまたいつもの静かな水面にもどる。

だが、コロニーのプールでは、低重力のために波はずっと高くなる。ちょうど、海岸に打ちよせる大波のようだが、その進む速度はじつに遅い。だれかが水にとびこんだすると、その水面には穴があいて、しかもその穴が埋まるのに1秒かそこいらはかかるだろう。

うんと離れたところどうして水の投げあいをするのもおもしろい。手やバケツで水をすくって投げると、表面張力の作用で水はひとかたまりになり、きらきら輝く大きなしずくとなって、伸びたり縮んだりくねったりしながら飛んでいくだろう。だが、あまりハデに水しぶきをとばすことがないように



▲コロニー内部。手前は市街地、後方は農業地区。建物は月の岩石を原料とするレンガ、鉄鎖、アルミ、ガラスなどで作られており、コロニー内のスペースは有効に利用される。

◀ビジネス地区のダウンタウン

頭の上にもあるので、垂直ダイビングに挑戦するひとでもでてるだろう。飛込台から真上にいきおいよく跳びあがり、重力ゼロの中心部を通りぬけ、頭上のプールにとびこむわけだ。このほか、じょうずなダイバーはいくらでも新しい技にいでんできることができる。このため、プールにはおそらく3

ある程度規制するルールも必要になりそう。空中がしびきだらけになると、それがおさまるのにしばらく時間がかかり、ほかのひとの迷惑になるからだ。

飛込台では、優美さと技をあますところなく披露することができ。台から十数メートルの高さに跳びあがったダイバーは、息をのむようなスローモーションの弧を描いてゆつくりと向きを変え、そのまま空中を滑るようにして水に吸いこまれていく。

組か4組の飛込台が設置されることになる。なかには、飛込台から飛込台へと、ひらりひらりと跳びわたる名人もあらわれるかもしれない。

こうなると、空中を泳ぐ術が水泳とおなじくらいものをいう。飛込台からちょうど真上に、力をかげんして跳びあがると、重力がほとんどゼロの中心領域にひじょうな低速で入りこむことができ、そこで手足を泳ぐように動かして無重力のなかに停止することも可能である。そこでじっとしていれば、プールとコロニー全体が自分を中心に回転しているようすがあめれることもできる。

こうして、手足をかくく動かすだけで空中をどこへでも泳いでいけるわけだが、なれないひとは、うまく水面にもどれないかもしれない。場合によっては、救助員のやっかいになって空中から引きずりおろしてもらわなければ

ならないひとでもでてることだろう。しかし、下におりるコツはだれにでもすぐに覚えられるはずだ。その場にじっとしていればよいのだ。そうすれば、プールといっしょに回転している空気に押されて自分のからだもコロニ

ーと同じ方向に回転し、あとは遠心力が水面までつれてきてくれる。

水上歩行もスポーツとしてさかんにおこなわれるだろう。足のうらを水面にたたきつけて水の上を歩くわけだ。ただし波につまずかないように気をつける必要がある。水の上に乗るには、イルカのように水中から水面にむかって泳いで、そのいきおいで空中にとびだせばよい。

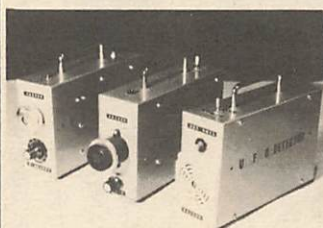
また、トビウオ遊びというのもある。足ひれをつけた両足で強く水を蹴りながら、両方の手のひらで思いきり水面をたたくの。こうすれば、水面をすれすれにかすめて空中を飛ぶ

UFO探知機

超高度

国産唯一の本格的磁気探知機！

現在320台が全国で活躍中！！
既にUFO探知成功20件！！



左からT-5・T-3a・T-3b型

T-5型……¥9,000
T-3a型……¥18,000
T-3b型……¥19,000
(来年度値上げ予定)

■その他、連続観測用のACアダプター及び、補助電池ボックス（新製品）があります。

申込先：〒213 神奈川県川崎市高津区長尾1606

折田 至

Tel. 044-866-8347

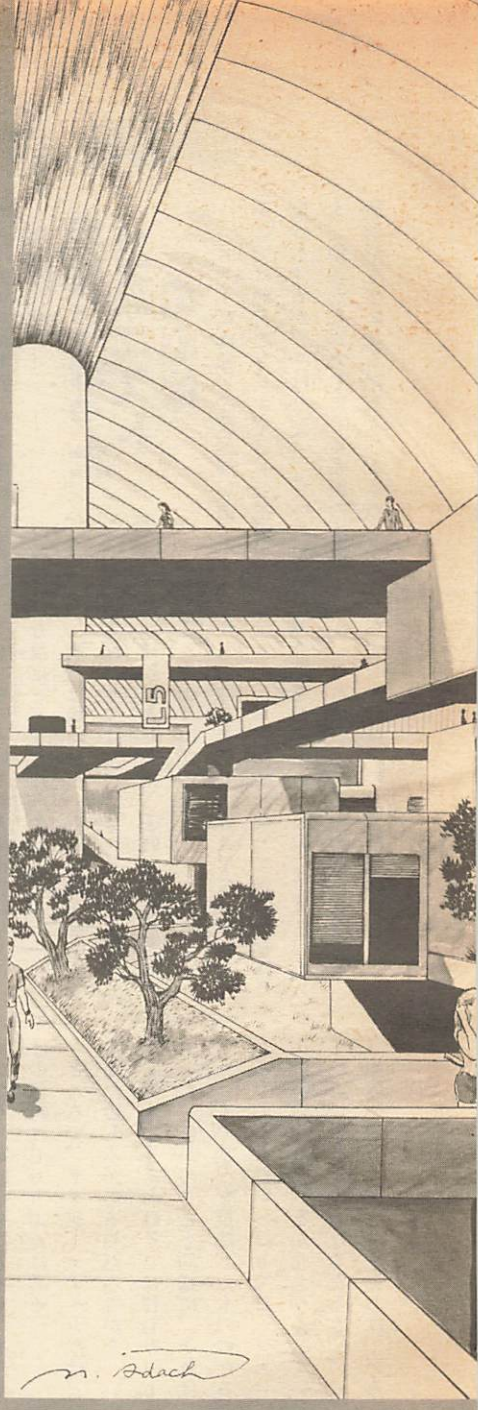
●カタログ請求は100円切手をお送り下さい。

★HYPER SPECULATION★

ことができる。

このとき、じゅうぶんなスピードをつけて、コロニーの回転方向とちょうど逆向きに飛べば、遠心力を生じるための回転運動が相殺されて、無重量の状態で空中に浮かぶことができる。こうなると、まるでほんもののトビウオのように、空気抵抗で失速してふたたび水面に落下するまで、空中たかく飛びつづけることができる。

水あそびはどうもという向きには、人力飛行などだろうか。このスピードをたのしむには、両手両足に翼をくくりつけて走り、離陸に必要なスピードを得ればよい。つまり、コロニーの回転による人工の重力を打ち消すように走るわけである。こうして、何機もの人間飛行機が、セントラル・ハブ内の空間で急降下や滑空や上昇をくり



食べほうだい サラダと フルーツ

かえしながら、蝶のように乱舞するにとだろ。

いままで述べたのはすべて、セントラル・ハブまたは無重力空間でのスピードだ。コロニー内の1Gの重力のもとでは、地球にいるときにやっていたスポーツ、たとえばハング・グライダーなどもつづけることができる。

町にはレストランも欠かせない存在だ。コロニーのレストランは、ビュッフェ式であることをのぞけば、地球のごくふつうの店とそっくりなものになるだろう。そこの呼びものももちろん、山盛りのサラダと食べ放題のフルーツだ。野菜や果物はすべてコロニー

の農園から供給される。

レストランの位置は、スポークのつけ根、コロニーのガラスのすぐ下がいかもしれない。そうすれば、食事をしながら自分たちの町を見はらすこともできるし、また、ハング・グライダーが飛びかうありさまをながめてたのしむこともできる。

食通が何人か集まって特別注文でも出さないかぎり、あまり凝った高級料理がテーブルにならぶことはないだろう。だが、有線放送の音楽を流し、やわらかな照明で店内をつつんで、すばらしい雰囲気をもたせることができにちがいない。地球にいる未来のコロニストたちがこのレストランのうわさを聞けば、コロニーにも楽しみがな

いわけではないことがわかるだろう。家庭での娯楽は、言うまでもなくス



重力研究所

〒798 宇和島市中央局私書箱33号

空飛ぶ円盤の科学研究誌 宇宙艇 隔月刊 B5判 (増頁)

内容 A) 空飛ぶ円盤の理論研究 B) 空飛ぶ円盤の試作
C) 時間反転機の理論研究と試作

☆ 部分品を頒布します (カタログは、宇宙艇巻末にあり)
誌代 4,000円 (6号分) 入会金 500円 (誌代にプラスのこと)

超相対性理論 (五訂増補版) 定価 5,000円
新発売 千 240円

振替 徳島 28986 (又は現金書留にて・切手は不可)

★HYPER SPECULATION★

地球に帰った
コロニスト
の心は

コロニーには独自の放送局があつてそこでは独自のラジオやテレビ番組の制作もするが、やはりなんといつても、地球から送られてくる番組の中継放送が主体になるだろう。1本のレー

テレオやテープデッキやテレビだ。コロニーでは、ヒット曲のテープをコピーする商売が大はやりするにちがいない。レコードを地球から輸入したりコロニー内で生産したりするのはたいへんだからだ。

情報は地球から一方的に送られてくるばかりではない。コロニーの住民は地球の友人たちに、手軽に電話をかけられるようになるだろう。コロニーに住む者はだれでも、WATS（広域電話サービス）回線を使って無料で長距離通話をたのしむことができる。だが、これはたんなるたのしみにとどまらず、それ以上の大きな意味をもって

ザ・ビームで、UHFとVHFあわせて83チャンネル分のTV番組をらくらくに送ることができる。コロニストたちが「スター・トレック」や「スペース1999」といった番組を見たらどんな反応を示すだろうか。

ところで、サタデー・ナイトにはどんなたのしみがあるのだろうか？いくらでも——それはそこに住むひとだ。ほかのことと同様に、それはコロニーの状況を反映したものになるだろうし、またいっぽうでは、コロニー独特の生活様式をかたちづくっていくひとつの要素にもなるだろう。地球へ帰るコロニストたちは、どん

いる。地球のひとつとコロニストたちをしっかりと結びつける強い絆として、電話は重要な役割を果たすと思われるからだ。このためには、電話設備にかなりの補助金を投じて、それだけの値打はじゅうぶんにある。

地球にもどったコロニストは、ある日、ブルに出かけるかもしれない。そこで、いつものように周囲を見まわし、また、頭上を仰いでみる。だがそこには、ただ青空が広がっているばかりだ。

遠山峻征

天文図書の

地人書館 〒112 東京都文京区後楽1-1-10
☎03(815)4422 振替東京6-1532

新刊

●ファン必携のガイドブック

'79天文観測年表

「年表編集委員会」編 B 5判 208頁 定価1200円 160円

天文観測年表は、天文ファンに、使いやすくすぐ観測に役立つ年表として永年親しまれています。79年は春、秋に月食がみられるほか限界線えんべいの多いのも特長。この他79年のすべての天体の動きがひと目でわかるよう予報した貴重なデータブック。

●お待たせしました！星座早見盤のついた「天文ポケット年鑑」

'79天文手帳

「天文と気象」編集部編 A 6判 208頁 定価480円 200円

天文手帳も三年目を迎え、またまた新しいデータが加わりました。赤道儀の据付に便利な2等星までの79年分点恒星位置表、初心者用四季の観望星図、10日ごとの惑星の位置・光度・視半径を表わした惑星の暦（水・金・火・木・土星、天王星）、惑星の合・留・離角の日を星図に示した惑星現象図、明るい恒星の食現象をまとめた主なえんべいなど内容が一段と充実し、名実ともに天文年鑑となりました。しかも16頁の増頁で定価据置

好評発売中

●宇宙への興味を深める

星空のはなし 天文学への招待

河原都夫著 A 5判 220頁 定価1200円 160円

●'79年度版天体望遠鏡カタログ

天体望遠鏡のすべて

「天文と気象」編集部編 B 5判 216頁 定価1000円 200円

●3年間の沈黙を破った筆の冴え

太陽系発見の証明 「おはなし天文学」第4巻

斉田博著 B 6判 292頁 定価1200円 160円

●サマルカンド開都2500年記念復刻版

ヘベリウス星座図絵

—付 ウルグ・ベグ星表—

藪内清訳・解説 A 3判 150頁 箱入 定価4500円 690円

●天文学習に役立つ天文ファン待望の書

天文観測辞典〔第2版〕

古畑正秋監修 A 5判 380頁 定価2900円 200円

●ヘール天文台校閲による天体写真の決定版

パロマ天体写真集（永久保存版）

大沢清輝解説 B 4判 120頁 定価1700円 240円

驚異のピラミッド・パワー!!

ピラミッドパワーの研究は 現在先進各国で積極的に 進められています、我々の身の廻りでも色々な実験が出来ます。正確に縮尺されたピラミッド模型を好条件の下に置くと、あなた自身も驚く様な実験を楽しむ事が出来ます。あなたも何か新しい発見に挑戦してみましょう。



ピラミッドーA

透明高級プラスチック製、大変美しくそのまゝインテリアとしても最高です。もちろん中の状態を外から観察できるので、実験にも最適です。(底辺 約24cm 高さ 約15cm) 6,000円



ピラミッドーB

実験を楽しんで頂く透明プラスチック製、折た・み式、ピラミッドです。(底辺 約24cm 高さ 約15cm) 1,000円

ピラミッド・ペンダント (アメリカ製)



ピラミッド・エネルギーをあなたのものにしましょう。一晩ピラミッドの中に入れてから身に着けるとさらに効果が高いと言われます。(Gは金色・Sは銀色・Tは金色の美しいペンダントです。Tは中央の部分が磁化され、中に小さな物が入られます)



G 3,000円 S 3,000円 T 4,500円



ピラミッドーMP

瞑想、実験用組立式ピラミッドです。底辺 約 180cm、高さ 約 115cmで、中にゆったり座れます。アルミ合金の止金で正確な角度が得られます。13,000円



ピラミッドーM

瞑想、実験用ピラミッドの止金です。パイプは各自、好きな長さの物を使って頂きます。パイプの太さや長さの計算は説明書に書いてあります。お徳用です 9,000円



ピラミッドーS

ピラミッド・パワーが金属中では最も高い真鍮にニッケルをメッキした高級折た・み式、瞑想用ピラミッドです。(底辺 約 180cm 高さ 約 115cmです) 25,000円

ピラミッド・ネックレス (アメリカ製)



ペンダントと同じように使えます。アクセサリとしても最高です。ピラミッドの中央は夫々磁化されています。5,000円

あなたにも念力がある!!

人は誰でも念力(超能力)を持っていると言われます。ただ永い間、念力を使う必要がなかった為、潜在能力となっていました。しかし練習を積み重ね、あなたも自分の能力に気がつき、それを強化する事が出来ます。これらの器具は潜在能力開発の基本となるものです。



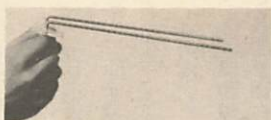
念力開発器 (ロジクルッション・ダイヤレット)

ダイヤレットであなたは自分に念力があることをすぐ確認できますし、訓練によって、それが強化されて行くのが分ります。バラ十字団はダイヤレットを使い自己の念力を強化して、実生活にも役立てていました。7,000円



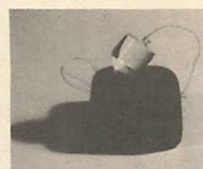
プランセット (西洋式こっくりさん)

プランセットはそれを行う人の意志とは関係なく、自然に動いて文章や図形が記されるもので自動書記とも呼ばれます。プランセットの実験は精神統一にも有益で、家族や友人と楽しめます。5,000円



ダウジング・ロッド (宝探しロッド)

このロッドで不思議な力を発揮できる様になります。少しの練習で多くの人が、紛失物やかくされた物を発見できる様になります。又ピラミッド・パワーによる効果の実験も出来ます。3,000円



魔法の振子 (シュブロール振子)

魔法の振子は、潜在能力開発のもっとも基本となる道具の一つです。同時にピラミッド・パワーによる振子のゆれ実験も出来ますし、占いや・集中力の強化も出来ます。2,000円

※上記商品には、詳しい説明書、練習方法等の解説書がついてます。

〒103 東京都中央区日本橋小舟町2-7
発売元 **ポラックス株式会社U係**

TEL (03) 666-0511代

技術指導 **潜在能力開発研究所**

●カタログ請求は200円切手同封して下さい。

ご注文は紙に商品名、住所、電話番号、氏名を書き捺印の上代金を現金書留封筒又は郵便振替(東京・4-8703)でポラックス株式会社 U係にお送り下さい。[送料はサービス]

部をつなぐ声のパイプライン

タクト広場



浦島太郎の伝説

木元三郎

(〒336 埼玉県浦和市辻2061)

『UFOと宇宙』第38号で、戦前に出版された『神道古義』という本に書かれたUFOを紹介しましたが、今回は『日本宗教史』に書かれた水江浦島子、すなわち浦島太郎を紹介することにしよう。少し難しいかも知れないがしんぼうして読んでほしい。

「彦火々出見命が海神の宮に逗留した」という伝説があったが、雄略朝22年(478年)、浦島子も亦海に入り仙郷に逗留したと伝える。『日本書紀』に曰く、「丹後国余社郡管川の人水江浦島子、船に乗りて釣す。遂に大亀を得たり。便ち女に化爲る。是に浦島子感りて以て婦と爲し、相逐ひて海に入りぬ。蓬萊山に到りて仙衆を歴観る」。以上の記事が最初であるが、この伝説に就いての詳細なる文飾は、『釈日本紀』に載る『丹後風土記』である。

浦島子は亀に乗ったが、『古事記』の神武天皇東征の条にも、宇豆昆古が亀に乗って釣を垂れ、海路の案内者になったと記し、亀が海に長寿する生物で、海的主であるという思想が徴される。浦島子の赴いた所は、『日本書紀』

に蓬萊山、『丹後風土記』には蓬山と記し、『日本書紀』は、蓬萊山と訓じてある。常世国は、神武天皇の兄である御毛沼命の赴いた所、垂仁朝90年(61年)田道間守が非時香菓を得て帰った所である。『万葉集』は、海若神之宮と記し、彦火々出見命の赴いた所と同じく伝える。浦島子の仙郷逗留伝説は、後に中国の神仙譚や仏教の因果応報説が混じって、遂に文学上の題材になった。

浦島子が故郷に帰って来た年に就いて、『丹後風土記』は、三百余歳を経たと伝え、『本朝神仙伝』は漸く百年を過ぐと記すが、何れにしても『万葉集』に詠ずる如く、3年と思つて幾多の年を経たと記した。『日本後記』は『丹後風土記』所載の三百余歳より推算して、淳和朝の天長2年(825年)に帰ったと記した」とある。

3年と思つたところが300年もたつていたなどとはSF的で面白いと思う。また文中の亀をUFOに蓬萊山をある異星上の都か場所と想定してみると大変に興味深いものがある。

更にその証拠として、丹後半島の伊根町にある浦島太郎を祀る宇良神社には「竜宮の絵地図」が奉納されてあり、現存するのである。

(参考資料) 比屋根安定著『日本宗教

文通しましょう

S F小説、TV、映画、マンガ、UFO、古代文明、心霊現象などのファン、または興味のある方と。なるべく神戸付近で、ときどき会える方を。男女問いません。

文原靖智(17)

(〒653 兵庫県神戸市長田区二葉町2-1-15 ☎078-621-6635)

U FOをはじめ、何でも真剣に、又気軽に楽しく話し合える、私の心から信頼できる同士を求めます。

藤原由美(高2)

(〒780 高知市永国寺町2-8)

日本にある宗教を調べています。内容・人数・組織など、詳しく教えて下さい。目的上、いかなる宗教にも加われませんが、みなさんの協力を期待します。

木村重子

(〒983 宮城県仙台市中江2-13-4)

U FOをたまに見ています。UFOに興味のある方、何でもいいです。から手紙に書いて送って下さい。返事は必ず書きます。

大岩範久(14)

(〒4116 愛知県南設楽郡鳳来町富栄字紺屋貝津35)

U FO、宇宙を愛する読者諸君、僕と一緒に語り合いませんか。

小島弘二(26)

(〒113 東京都八王子市高尾町156 ☎0426-6516841)



編集部からのお願い

できる限り多くの方々のご意見を掲載するため、投稿する方は、400字詰原稿用紙2枚程度に内容をまとめて下さい。

愛読者

読者と編集

コン

史』全巻・教文館・昭和26年発行

イオンクラフトは本当に宇宙電界で回るのか

堀角達朗(高3)

(〒289-15 千葉県山武郡松尾町上大蔵381-1)

読者の中にはイオンクラフトを製作された方も多々と思います。貴方はどうお思いですか？ 私はイオンクラフトが飛び回るには、宇宙電界はさして関係無いと考えます。

去年及び今年の2回、文化祭でイオンクラフトを手がけました。結論としては、イオンクラフトが、立位風なのであるということ。確かに十極より一極が大きいので、地球と反発するだろう。しかし、これだけで、回転する問題まで片付けて良いのだろうか？

イオンクラフトに高電圧をかける時、十極と一極の間の空気分子が、分極(同一分子内で、電位が片よる)が起る。これに針電極(十極)が避雷針と似た働きでこの空気分子を引き付ける。すると、針電極から十の電気を得て(電子を十極に放出して)十の電気を帯びた分子となり、今度は、もう

れつに十極と反発する。それとともに

一極に引き付けられる。一極は円筒状なので、十から一へのイオンの流れが起る。これがイオン風で、この風によってイオンクラフトは飛ぶのだ。

いろいろな形のイオンクラフトを試してみたら、十極は針電極、一極は筒状でなければならぬ。

これは単なる一説にすぎないので、宇宙電界説をまちがいと決めつけるわけではない。この2説の他にもいろいろとあるだろう。その判断は読者の方々におまかせする。

イオンクラフト、その他様々なことについての、御意見、御質問を待っています。

アダムスキーは何者か？

登阪雅聡

(〒790 愛媛県松山市朝日丘町1-1625-1 愛光学園聖トマス寮中学部内)

ジョージ・アダムスキーは、金星人やその他の異星人とコンタクトし、また、アダムスキー型と呼ばれるUFOの写真や、母船から出てくるUFOなどの写真で世界的に有名であり、また彼の記述や証言などは、確かにそれが

UFOに興味を持つひとりで、よく空を見上げるのですが、どんなでもけっこうです、お手紙下さい。UFOについて語り合いたいです。

岡本君江(20才)

(〒740 山口県岩国市元町2-5-25)

角 川文庫のJ・アダムスキー著『UFO同乗記』を読んだことのある方、意見や感想などを聞かせて下さい。

野口富雄(28)

(〒332 埼玉県川口市青木3-4-20)

UFO、心霊現象、超常現象に興味のある東京都県内の女の子、お手紙まっています。

西藤頼義(18)

(〒824-05 福岡県田川郡大任町下今任)

みなさん、こんにちは。私は本誌8月号(文通のコーナー)にのりました「志賀」と申します。たくさんのお便りをいただきました、ありがとうございます。又、私とまじめに未長く続く方と、文通を希望。なるべく同年の方。UFOや宇宙、異次元について話し合いたいです。返事は必ず出します。全国からのお便り楽しみにまっています。

志賀祐子(17)

(〒395 長野県伊那市西町区伊那部)

UFOと宇宙の研究会、The Space company(宇宙の仲間達)を結成！文化祭にはアンケート調査などをやりたいと思っています。研究会をつくっている方で、文化祭に何か催しものを行なった方は、教えて下さい。よろしく願います。

UFOと宇宙の研究会、The Space company(宇宙の仲間達)を結成！文化祭にはアンケート調査などをやりたいと思っています。研究会をつくっている方で、文化祭に何か催しものを行なった方は、教えて下さい。よろしく願います。

よろしく願います。



▶大隈浩樹(愛知県) ▶東広宣(鹿児島県)



事実であることを物語っている。さらに、本誌で連載していた「宇宙・引力・空飛ぶ円盤」でも、彼の写したUFOは、その飛行する上での力学において、その形は適していることを示している。

ところが、最近の技術であるコンピュータによるUFO写真の判定にかけられた彼の写したUFOは、疑の判定が出た。感度を高めることによって「アダムスキー型UFO」の写真は、その上部に糸がうき出たし、「母船から出てくるUFO」の写真では、密度分布の色表示によって、母船はのっぺりした厚紙のようなものでUFOは電球のようなものだったことがはっきりとしたのだ。



▶入山賢一(東京都) ▶萩原恵子(静岡県)



しかし、彼の写真は否定されても、彼の証言はどうだろうか。たとえば、地球の地軸のゆがみという事実、「宇宙文字」、「宇宙ボタルの存在」、「月に大気が存在すること」等だ。これらは、彼が体験記を発表した後確認されたり目撃されたりした。

さらに、アダムスキー型UFOでは「ロドファー・フィルム」や、ステイヴン・ダービシヤ(13歳)と従弟のアドリアン・マイヤー(8歳)が発見し、写真に収められたもので、実在が証明されている。ということは、アダムスキーは宇宙人とコンタクトして、さまざまな体験をしたが、UFOの写真は写せず、宇宙空間に出ていって、大母船に乗ったということは疑わしい



▶酒井紀夫(栃木県) ▶佐藤美佐子(宮城県)



ということだ。

しかし、いつわりのはずの写真の中のUFOは実在し、また、先にあげたUFOの飛行力学にも適した型だから、その写真も100パーセント完全なうそではなく、UFOについての貴重な資料ともなるだろう。

それでは、なぜ彼は本物の写真を写さず、ニセの写真を作ったのだろう。単純に考えられることは、

①彼のコンタクト・ストーリーはまったくのウソだった。

②写した写真がフォースワールドなどによって感光してしまった。

③本物の写真をとったが、何者か(ブラックメンなど)にすりかえられた。

飯島幸枝

(〒311-21 茨城県鹿嶋郡大洋村上幡

木957-11 ☎029191

3980夕方6時半〜7時半)

私は、UFOをよく見ます。他にも

古代遺跡、心霊、超自然現象に興味があり、何冊か読みました。あとアニメーションやまんがが大好きです。

お手紙待っています。

山広豊子(高3)

(〒709-12 岡山県児島郡灘崎町北七区200)

心霊、ピラミッドパワーなど超常現象に興味のある近辺の方、一緒に研究しませんか。男女問いません。資料が有りますのでお手紙下さい。

長崎政男

(〒536 大阪府城東区中央1-11-21

あけぼの荘18号室)

UFOファン集まれ

UFO、超能力、心霊現象等の超常現象は、人類に何を警告しているのか。又人類は如何に生きるべきかを考えている人、募ります。

石崎光教(38) 僧侶

(〒602 京都市上京区寺之内通大宮東入ル妙蓮寺前町87-1玉龍院内)

アニメーション研究会R・Cテラでは、第2期会員を募集しています。

1つの作品にこだわらず、また、アニメの製作過程から作品分析まで、いろいろな面を通してアニメーションを愛しているという会です。ご希望の方には案内書を送りますので、左記の住所



▶稲垣真司(高知県) ▶清水優美(福岡県)



④コンタクトしたが、UFOを写す機会がなかった。

ということなどだ。しかし①は彼の記述によって違っていることがわかるし、②では母船の写真は無事ですんだかもしれない。それから③では、彼自身も無事でなかったはずだ。とする、考えられることは④だけだ。

ここで一つ他の例を考えてみよう。

1961年7月に、アメリカ・マサチューセッツ州ビッツフィールドの電子工学技師ボブ・レナードは、自作の無線機でコレンダー星から来たという宇宙人と偶然交信し、1963年12月28日、ついに宇宙人と会い、地底基地などへ招待された。つまり、初めは直接コンタクトしたのではなく、交信だけ



▶仲川友康(茨城県) ▶近藤秀人(福岡県)



だったのだ。

アダムスキーの場合もこうではなかったのだろうか？ つまり、はじめからテレパシーだけで宇宙人と会い、UFOもテレパシー像で見せられたりしたが、ついに写真にとる機会を得られなかった。そのかわり、宇宙のさまざまな現象について知ることができたので、それをもとに体験記を書いたりした。しかしそれだけでは空想的なので、真实性を高めるために、やむなくUFOのインキ写真をとってコンタクト・ストーリーを発表したということだ。実際、アダムスキーはまず「UFO会見記」を出したが、彼につづいて続々とUFOに同乗したと言うものが現われた。そこで次に彼は「UFO



▶中川世志子(山口県) ▶井上真理子(愛知県)



和田忠夫(日本地震予知協会代表)

棕平虹は健在である！

同乗記」を発表した。つまり、彼の発表には売名の意図が感じられるのだ。ただし、これは良い意味にも悪い意味にもとれる。彼が平和主義者で、原・水爆の反対を主張するものであったとすれば、この体験記は大きな効果があつたことにもなるし、ただの売名行為だったのかもしれない。しかし、本当のことはアダムスキーなき今日ではわからない。いつの日か、「フーコン」や「オーソン」らと会える日があつたら、わかるのかもしれないが。

APELO 会員募集中!! 荒川雅夫

0286-21-7045
〒320 栃木県宇都宮市
今泉町286

アウトサイダー達の中には宇宙的なカルマの持ち主が数多くいます。ただ低水準の地球的な想念の渦にドップリつかり埋もれている魂がいかに多いことか！

私達は目覚めて、自らの努力によって精神的に進化して行かなくてはなりません。地球で生まれた私達の義務は創造主を知ること、地球の同胞に責任をもつことです。

本誌愛読者の皆さん！元氣を出して頑張ってください！！僕はたとえ一人になっても続けます。アペロの使命は次の通りです。個人の精神的な成長・知覚領域

の拡充・地球的なカルマの修正 etc の為の宇宙的な理想環境の提供。Get-Acquainted Programの遂行・地球人への哲学的な啓発・宗教ドグマの論破。進化した惑星社会と同水準の共同社会・生活空間の建設。——この三種です。そしてこれらの優先順位は 個人 > 太陽系 > 組織 と定めます。



入会ご希望の方は〒200円分を同封の上ご連絡下さい。私見二つとアンケートとご返事を送ります。お便りお待ちしております。78・10/10 荒川雅夫

アペロ

椋平虹をめぐる真実は、一昨年の毎日新聞、サンデー毎日の中傷記事により、著しく誤解され今日におよんでいる。だが椋平虹は今なお健在である。去る10月10日、私は椋平広吉翁から「ニジノカタチブンレツ十一ヒアサカントウジャクシン」という電報を受けとった。事実、翌10月11日の午前10時49分頃、八丈島近海を震源地とする震度1~4の弱い地震が関東地方で観測されたことは、各新聞が報じた通りである。これによって、毎日新聞の椋平虹トリック説は完全に覆えされた。大地震が起こればいちばん被害にあうのは私たち民衆である。今こそ、私

(〒158 東京都世田谷区中町3-12-1)



▶立岩朋子(愛知県) ▶菊地啓子(栃木県)



自然な微妙なバランスの上にならな
っており、共存共栄こそ、天地の理で
あり、自然の姿なのだとは私は思う。炭
酸ガスがたまったときアクビがでるよ
うに、人間のからだには自然に異常を

高田伸一

(〒655 神戸市垂水区千代ヶ丘2-4)

17

愛は地球を救う

たち民間の地震研究者をしめ出し、地
震研究の独占を図る予知連——東海地
方判定会の陰謀と、体制による地震情
報管理の危険性を暴き、民衆のための
地震予知体制の確立を目ざそう。



▶佐瀬ゆき子(千葉県) ▶太田和人(三重県)



地震予知の秘法から 超科学まで!

ムクヒラ・アーク/地震スモッグ/震生焼け/
地震雲/オジギ草/前兆UFO現象/異常渦/
地震ヘアー/噴砂・噴水/鳴動現象
……etc の徹底説明

●月刊広報紙「予知と防災」執筆陣

和田忠夫 椋平広吉 大石小四郎 真鍋大覚
阿基米得 大黒明博 荻原宏之 ほか

会員募集中→申込みは当協会U係まで

①購読会員(年3000円) ②正会員(年5000円)

日本地震予知協会 (代表: 和田忠夫)

東京都世田谷区中町3-12-24

郵便振替 東京2-90043

なおして、つねに健康状態を保たせる
はたらきとものがそなわっているとい
われている。
現在の地球の状態は病いにたとえる
ことができると思う。すなわち各地で
みられる異常気象(環境)、地震への
兆候等は、地球本来の正常性(自然的
バランス)を回復しようとする症状
(異常の真相を知らせるためまたは防
衛機構としての最上の適応現象反応)
であって、バランスを害する異常(環
境汚染、核実験、人口増大等々)をと
り除こう、またどこかの異常部を守ろ
うとするバランス維持のはたらきとい
えないだろうか。
あきらかにこれは、人間が自然環境

埼

玉県を中心とした全国一斉UFO
資料を募集します。必ずやほとん

(南5)

千場敬史(22)
(〒062 北海道札幌市白石区本郷通2)

多
くのスペース・プラザが地上
に居る現在では、相当数の人が直
接、間接にしろ彼(彼女)たちとコン
タクトしています。現在の状態では、
全国各地に分散しているコンタクト
の得た情報が広く社会へ伝わらず、
個人的な知識のみで終わってしまう例
が多くあります。そこで各人の体験談
の情報交換システムを作ろうと考えて
おります。皆様のお手紙をお待ちして
おります。

山下裕美
まで50円切手同封の上ご連絡下さい。
(〒183 東京都府中市本町2-35-12)



▲平林光浩 (長野県)



▲祖父江慎 (愛知県)



▲西元 朗 (大阪府)

を敵に回してしまっている結果生じたものであり、地球の限界を示し警告するものだと思う。

核開発等マクロ的なものももちろん、我々の日々の生活は悪因を生みだしてはいないだろうか。しかたがないという慣れによる安易な妥協(例えば、車公害を叫びながら車を使用しての矛盾)こそ問題がある。バランスを回復しよう! 車を使うなら草木を植えるとか。病いは気からと同様、悪の波動も影響しているのかもしれない。

我々1人1人が被害者であり、加害者となつてしまった今日、ガン細胞は日々増大し、安易な妥協をつづけている今、人類滅亡は自然の摂理なのかも知れない。技術進歩は、均衡状態において必要なものであり、また歓迎すべきものであると思う。

今こそ方向転換を。

無限・永遠・絶対

佐藤静枝 (13)

(〒270 千葉県松戸市小金きよし丘

1-3)

——無限・永遠・絶対——。これらを通し、宇宙について考えてみた。

無限。宇宙は無限に続く——果たしてそうだろうか。自然数のように、無限に続くのだろうか。理論からいくとこれはちがう。宇宙にも、終わりはある。だが、どこで終わりをそこから先は何があるのか……それはだれにもわからない。

「神は永遠である」——いや、そうではない。神は、神を信仰する者がいない。

ければ、神ではなくなってしまうのだ。宇宙もまた、永遠ではない。宇宙は生きている。だから必ず最後はくる。——生あるものは死す——この宇宙の法則にしたがって……。

絶対——宇宙に、この言葉の通用するものは、ないのではないか。私はそう思う。「自然」にも、絶対は通用しないのだ。それは、感情というものをもっていないせいだと、私は思う。だから絶対という言葉は、我々人間の中でしか、通用しないのだ……。

これが私の考えである。この考えに同感だと思ふ方、又、否定なさる方の意見をお聞きしたいと思う。

どのUFOファンが協力してくれることを願う。特にUFO研究会の方々に、協力をお願いします。全国の人、至急お知らせ下さい。

小林正幸

(〒367 埼玉県本庄市寿1-1-6
☎0495-24-0570)

求む。民俗学、考古学、野草、アニメ、UFOなどに興味を持たれる、又は、行動されている人々の、交流の場になるような会の創立を計りたいと思います。準備設立委員を求めます。ジョークが通じ、やる気があり、行動力を有する方、左記にご連絡下さい。

小山 茂

(〒332 長野県須坂市南原町336-10)

脳波バイオフィードバック装置

(商標登録出願中)

新発売!!

アルファトーン

(2年間保証付)

¥29,500(送料¥500)

この機械は頭の電極から脳波を直接モニターし、精神がリラックスしてアルファ波が出ると、イヤホンから「ピロピロ」という音が聞こえ、ランプが点滅します。

この音が持続するように訓練をすると、集中力や記憶力、そして創造力が一段と高まり、学力の向上にも役立ちます。

また、精神的安定状態を保てるようになるため、座禅やヨガで行なう精神統一の効果が速やかに上がります。

〒248 鎌倉市小町1-15-17

☎0467(25)3035

橋本電子研究所

ESPカード…¥500(送料¥140) キリリオン写真機用
デスラコイル美顔器…¥13,000(送料¥500) 超科学四
号(特集超科学実験装置参照)…¥500(送料¥120)

橋本電子研究所内 日本超科学会

あなたと私のUFO不思議体験

清水市上空に出現したUFO

〒420 静岡県静岡市本通7-2-1

安本弘美(高校生)

本誌9月号の、横浜でUFO写真がとられたということでびっくりし、お手紙しました。私も場所こそ違いますが、静岡県清水市で、日も同じ7月9日に色も形もそっくりなものを母と一緒に目撃したのです。

清水市で開かれた「七夕まつり」に母と出かけ、午後6時頃、清水駅前の「アロハ」という喫茶店に入って休んでいたとき、突然母が「アッ、UFO!」と叫んだのです。私は母と向かいあっていましたので、すぐに振り向いて同じ所を見ましたが、そこには何もありませんでした。

この喫茶店はビルの2階にあり、ながめが良いのですが、ビルとビルの間にある地点を通ったということです。

そこにはハトがたくさんいましたから、私はハトを見まちがえたのではないかと思いましたが、母は確かにUFOだったと主張しました。

それから1分程たち、今度は私が別

の地点を東に向かって飛んでいる物体を見つけたのです。形は横浜で写されたのとまったく同じで、楕円球をしていて銀色に光っていました。5ミリ程の大きさでしたが、確かに何かの意志で動いているような感じを受けました。そのときは母が見たときと違い、横切ったのではなく遠ざかって行くところだったので、小さくなって見えなくなるまで眺めていられたと思います。その間、約20〜30秒程だったと思います。私は以前からUFOにとても興味を持っていて、見たいと切望していました。

雷鳴と共に出現したUFO

〒982-01 宮城県仙台市上飯田土手畑102-4

荻野行彦(13)

8月23日午後4時ごろ、ぼくは見たのです。あのUFOを! そのとき、ぼくとぼくの友人3人で野球をしていました。突然友人の一人が「ちょっとあれ何や!」とおびえた声で空をゆび

たから、そのときはもうボウゼンとしてしまいました。そしてそれがUFOであったと信じていましたが、UFO独特のジグザグな動きもしなかったの、一片の疑惑を捨てきれませんでした。ところが、本誌9月号の記事を見て自信がつき、投稿したわけです。というのも、私はそのとき、富士山の方に向かっているもので、よく富士山にはUFOの基地があると言われていたもので、それではないかと思っていました。清水港から富士山に向かい、そのまま海岸線を行くと横浜に至るので、色も形もそっくりなことから、私達が目撃したUFOは、横浜で目撃されたUFOと何か関係があるのではないかと思います。

さしたのです。見てみると、銀色のまゐる物体が西の空を飛んでいるではないですか! よく見ると、底の方が黒く、同じ速度でゆっくり北の空に飛んでいき、5、6分で見えなくなりました。

チ 葉県にもいろいろとUFO研究会があるようですが、私達の手でUFO研究会を結成しませんか。CUK(千葉県UFO研究同盟)入会希望の方は、入会金300円(記録書のコピー郵送代)同封の上、左記まで連絡を。千葉県の方大歓迎、もちろん他県の方でも歓迎いたします。

上代 務

(〒297 千葉県茂原市六ツ野1735)

12)

ア グムスキー系のUFO者に告げます! アペロでは今度A派を主軸に情報交換誌「月刊アペロ」を発刊します(創刊号12/7発送。投稿は11/27迄)。GAPやS・プロップ達、他のA哲学信奉者の誌上議論の場にも使います。文通、会員募集、意見、研究論文、Q&A、売買、結婚相談等、多角的に愛をこめて任務遂行/定期購読者募集。誌代安価。今の所湿式B5版。ボツ無し。宣伝広告可。購読は誰でも可能です。投稿期待しています。

荒川雅夫

(〒320 栃木県宇都宮市今泉町286)

●お詫び 11月号116ページ掲載の荒川雅夫さんの原稿は、編集部の手違いでキャンセル分を載せてしまいましたことを深くお詫びします。 編集部

目撃レポート

今月号より、読者から編集部に入りました最新のUFO目撃報告を、情報が入り次第、順次掲載することになりました。広く皆様の情報をお待ちして

最新刊絶賛発売中

驚異的占星医学の実用

計画受胎

S・オストランダー 共著 牧本ちひろ訳
L・シュロウダー男女産み分け、避妊、高受胎日の確定、
身障児の防止等を夫婦の誕生日から算出
するヨアンアシ博士方式。チェコで1252
例98%の確率。使用法詳述。天文暦付

定価1300円 送料160円

神と霊界の探究

この事実を
何と見る

カトリック司祭 志村辰弥 編著

涙を流す秋田の聖母像や大自然の驚異で
ある動植物の超能力現象を通し、キリス
ト教徒から見た聖書と心靈学の接点。

定価890円 送料160円

心療内科医の霊的挑戦

心身の奇跡

赤川今夫 著

心療内科医でありながら、武道および心
霊研究にも打ち込み、医療面に生かして
いる筆者のユニークな体験記。心霊や医
療関係者の読物としても好適。

定価1200円 送料160円

出版予定や新刊内容、催事等については隔月
刊心霊総合誌『たま』をお読み下さい。送料
共て1冊210円、年予約1200円。直接注文扱制株たま出版 162 東京都新宿区納戸町33番地
☎260-4367 振替東京3-94804

池袋上空に出現したUFO

〒173

東京都板橋区板橋2-6-7 横尾莊

原田秀美<20>

た。この日はくもっていて、UFOが
出る少し前まで雷が鳴っていて、飛び
去ったあとまた、雷が鳴っていてまし
た。両親やほかの人に話しても信じて
もらえず、バカにされるだけだと思
い、ずっと黙っていました。そんなと
き、本誌9月号に、横浜でUFO連続

撮影に成功という記事がありました。
その写真と説明を見て、ぼくは驚きま
した。形、色、飛び方など、すべてが
ぼくが見たUFOと同じではありませ
んか！ 横浜のUFOはぼくが見たU
FOと同一のものであったのでし
ょうか？

鳥といった類には見られない速さで、
音もなく現われたのです。

現われた瞬間、私は『UFOだ！』
と思いました。UFOまでの距離はち
よつとわかりませんが、目には2セン
チ位に見えました。銀色で、とても重
そうに見えるわりには、フワフワと、
まるで舞っているといった感じでし
た。しばらくフワフワ飛んでいたかと
思うと、急に下降したり上昇したりし
ながら遠くなっていって見えなくなっ
たのです。

私は型がとても似ていること、同じ
日に見ていることから、横浜の方が見
られたのと同じUFOだと確信してい
ます。

います。電話やハガキなどで御連絡下
さい。

- ①目撃者の氏名・年齢・学年その他
 - ②目撃者の住所
 - ③目撃日時
 - ④目撃地点
 - ⑤天候
 - ⑥目撃継続時間
 - ⑦同時目撃者
 - ⑧観測方法
 - ⑨物体の形状
 - ⑩飛行状態その他
- ①岩川篤紀(37) (生長の家 神奈川県
教化部の監理人) ②神奈川県横浜市
瀬谷区 ③1978年10月23日午後5
時35分頃 ④第3京浜の平塚料金所
⑤くもり ⑥数秒間 ⑦ナン ⑧車の
助手席から肉眼で光体発見 ⑨最初は
飛行機と思ったが、黄と赤の光点に見
えた。⑩仰角2時の方向に光点が見
え、黄と赤に光っていたが突然消失。
また、7時の方向に母船らしきもの
が、小さくネオンサインが回るように
見えた。これも突然消失。

私は7月9日、本誌9月号に載って
いた横浜の会社員の方が撮ったUFO
と同じものを見ました。
私の見たのは、横浜ではなく豊島区
池袋の西武デパートの屋上です。その

日はとても良い天気でした。疲れて一
休みして、何気なく空を見ていると、
急にある物体がこちらへ、グリーンと近
づいてきたのです。その速さといった
らヘリコプターとか飛行機、あるいは

蚤の市

譲ってください

- ▼UFO教育グループ講演会時のシャロ
ット・ブロップ女史らをカラー写真におさ
めた方、写真代千共当方負担で譲って下さ
い。本誌No.517のいすれかとアダムスキ
ーの撮ったUFO写真を差し上げます。ま
ずはハガキで連絡を。
- 辻 克幸(千592 大阪府高石市西取石1
26-22)
- ▼高橋信次著『大自然の波動と生命』を譲
って下さい。なお内容を全部コピーした物
でもOK。ハガキで連絡を。
- 岩城啓隆(千751 山口県下関市貴船町2
13-10)
- ▼「宇宙戦艦ヤマト」についての本、資料、
カセットテープ、セル原画などを譲って下
さい。「切手」と交換します。特に「宇宙
戦艦ヤマト」のロマンアルバムを高価で買
います。まずは往復ハガキか電話で。
- 富永壮一(千757-01 山口県厚狭郡山陽町
津布田永安台208367611905)
- ▼UFO、心霊、超能力、遺跡の写真・新
聞・出版物を。又アニメ、イラストの本も
譲って下さい。往復ハガキで連絡を。
- 深田保一(千462 愛知県名古屋市中区上飯
田通2-59寿荘)
- ▼買いたし。「ビクター」SEAグラ・イ
コ SEA-50B、「ビクター」バイホニ
ック・プロセッサBN-5、「テクニク
ス」アンビエンスコントロールSH-30
- 40、「テクニクス」ビーク/アベレー
・メータユニット20M、「サンスイ」モニ
タ・コンソレットMA-7。
- 小野晴樹(千272 千葉県市川市鬼高2-26
1-1)
- ▼「プロレス」誌51年2・10月号、52年1
・7・12月号、53年1・3月号。切り抜き
のない物を1冊1500円と2000円で譲っ
て下さい。
- 奥井正浩(千519-04 三重県度会郡玉城町
宮古2-1-1)
- ▼本誌No.1(コスモ)と24までを譲って下
さい。お礼に「UFOのひみつ」の本(3
00円)と、未知との遭遇のカラーポスタ
ーを1枚差し上げます。価格は相談の上
で。本誌保存用の特製バインダー、その他
UFOに関する写真などなんでも結構です
から私に譲って下さい。気長に待っており
ます。
- 志賀祐子(千396 長野県伊那市西町区伊那
部202657-8(3704)
- ▼UFO写真を安く(支払いは切手、送料
当方負担)。
- 福土幸樹(千036 青森県弘前市新里字中里
見72)
- ▼映画「シビルの部屋」に関する物、「フ
ァントジュー」No.1・6、「リボンの騎士
(初版)」No.2、アダムスキー型UFOの
ポスター、オカルト時代No.4以外をお持ち
- の方譲って下さい。
- 斉藤千明(千720 広島県福山市霞町2-5
12松井方)
- ▼「プレイボーイ」昭和51年1月20日号、
「平凡パンチ」昭和51年5月3日号を持
ちの方、送料共1冊5000円で譲って下さ
い。
- 佐久間憲正(千114 東京都北区王子4-2
5鹿浜荘)
- ▼古代ヨーロッパ民族の「ケルト人、ケル
ト語、ケルト国の祭祀」に関する文献(ケ
ルト語原書可、古代秘密結社(フリーメ
ーソン以前)の)についての研究文書。コピ
ーで結構ですので、格安で左記へ。
- 鈴木麻仁(千188 東京都保谷市東町2-10
11コーポ東栄1-120424-23-5
192)
- ▼「銀河鉄道999」の第1話、第2話を
録音したカセットテープ(コピーでも可)
を、7000円(送料別)で譲って下さい。
連絡は往復ハガキで。
- 松原理江(千493 愛知県瀬戸市八幡台13-
33)
- ▼ジョージ・アダムスキー著「空飛ぶ円盤
実見記」「空飛ぶ円盤同乗記」「精神感應
(テレパシー)」「空飛ぶ円盤の真相」以
上をまとめて(千共)10000円で譲って
下さい。バラ売りは、1冊(千共)250
0円で譲って下さい。美品希望。ハガキで連
絡を。
- 山日早苗(千059-15 北海道夕張郡栗山町
角田83)
- ▼ダナ・ハワード著の本をお持ちの方、譲
って下さい。
- 平野泰敏(千431-33 静岡県天竜市南鹿島
58-18205392-52615)
- ▼「火の鳥ライター」を適価で。そのほか
火の鳥に関するものを。ハガキで連絡を。
国本 誠(千639-31 鳥取県西伯郡中山町
住吉)
- ▼本誌創刊号とNo.37のうちのどれでも、20
00円と2500円で譲って下さい。
- 成田秀明(千361 埼玉県行田市持田163
415)
- ▼本誌No.1・7(なるべく美品)を5000
0円くらいで譲って下さい。連絡は往復ハ
ガキで。
- 田中延人(千030 青森県青森市新城市山田
288-50)
- ▼UFOの写真を1枚2000円で、特に昭
和49年阿蘇山火口に出現したUFOの写真
を5000円と10000円で譲って下さい。
本誌創刊号とNo.7、「UFO写真集」を安
価で譲って下さい。お礼にUFO写真(5
枚・連続撮影)を差し上げます。
- 坂野康隆(千299-16 千葉県富津市長崎2
791330439617-11549)
- ▼二見書房刊「西洋呪術秘伝」を適価で
お譲り下さい。
- 戸川雄文(千243 神奈川県鎌倉市苗田20
22)
- ▼末広千幸著「超能力開発講座講義録」(全
4巻)を80000円で、「精神力学入門」
「読心力入門」「勘の研究」「霊感術」を
定価で譲って下さい。
- 児玉浩樹(千729-63 広島県三次市上川立

編集部からのお願い

読者のページをもっともつと
楽しいものにしていきたいと思
っています。みなさんの意見交
換・情報交換、編集部宛のお便
りを多くお待ちしています。
なお、本誌に対するご意見、
ご希望を自由に編集部までお知
らせください。
ご投書の際、ご住所・ご氏名は
わかりやすくお書きください。

譲ります

町403)
▼「未来少年コナン」に関する物なら何でもかまいません。原画、セル画、台本、コピーも可、写真白黒でも新聞の切り抜きで

もかまいません、無料か切手と交換して下さい。
大崎文経(〒059-17 北海道勇払郡厚真町軽舞)

▼本誌No.10(15、16ナシ)と、学研『宇宙よりの来訪者』を一括して送料共、7000円で譲ります。多少キズあり。往復ハガキで連絡下さい。
山本文彦(〒750-04 山口県豊浦郡豊田町飯塚)

▼交響組曲「宇宙艦艦ヤマト」(カセット)を1000円で譲ります。往復ハガキか電話で連絡下さい。
進士紀彦(〒415 静岡県下田市吉佐美319-2 ☎05582134506)

▼「ブラック・ジャック」4、9、11巻を送料共1冊5000円で、『リーダーズダイジェスト』74年6、12月号、75年1、5月号、77年5、12月号を送料共1冊4000円で譲ります。連絡は往復ハガキで。
森田君夫(〒397-03 長野県木曽郡開田村末川)

▼本誌創刊号とNo.5、20を適価で。バラ売り可、新品同様。連絡は往復ハガキで。
三宅了平(〒606 京都府京都市左京区浄土寺東町29三橋方)

▼「ヒマラヤ聖者の生活探究」全5巻を譲ります。希望価格を往復ハガキで連絡して下さい。
清水 誠(〒320 栃木県宇都宮市宝木本町1149-59)

▼月刊誌「ポディビルディング」44年6、8、10、11、12月号、45年1、2月号、46年1、2月号、47年1、2月号を譲ります。他に各増刊号あり(45年11月、46年8月号はナシ)。くわしくは往復ハガキで連絡下さい。
安尾寿芳(〒272-01 千葉県市川市相之川2-15-15)

▼学生服中ラン、ハイカラ、トンボ、タクトン、定価1万7000円を1万3000円で、新品同様。
大槻博美(〒960 福島県福島市岡部当木91)

▼フィンガー5のレコード「個人授業」恋のラッキーストライク」他、キャンディーズの「暑中お見舞い申し上げます」、ピンクレディーの「渚のシンドバッド」などを譲ります。油絵具少し使っておりあります。市内の取りに来る方に譲ります。価格は相談の上で。
志賀祐子(〒396 長野県伊那市西町区伊那部 ☎026571813704)

▼本誌No.35、No.38を6000円、SF映画28曲入LP(2枚組)「スターウォーズ」などを22000円で(一枚12000円)、腕力養成器を8000円で、魔法の砂、ミニモデルガンを2つで10000円で、以上お譲りします。全部新品で送料込みです。まとめて買ってくれた方、高く買ってくれた方に、レコードをプレゼント。往復ハガキで連絡下さい。
城戸達也(〒852 長崎県長崎市西町378)

▼CB250(赤)、CL250(青)、C72、各10万円、FX50を3万円で購入します。機外極上。本誌No.1、19を譲ります。価格は相談の上で。
石田保憲(〒573 大阪府枚方市南中振2-1616)

▼重力研究所開発の重力直接発電池用高周波三相電源真空管UY807を3個に「重力直接発電池の組立」の回路図を添えて1万円です。又、私達は各種円盤機関の研究もしていますので、興味のある方はお便り下さい。往復ハガキで連絡。
杉野隆三郎(〒468 愛知県名古屋市中白区元八事4-1661)

▼(財)日本通信美術学園のレタリング用具、ワークブック4冊、テキスト6冊、以上を1冊で約半額の1万8000円、学生服ハイカラ13号4カ月使用、肘痛みあり、細身170cm程度を1冊で約半額の8000円、アニメーション映画の用具・テ

キストを1冊で約半額の9000円、以上お譲りします。往復ハガキで連絡。
相沢里悦(〒981-36 宮城県黒川郡大衡村待井沢16-2)

▼「私は幽霊を見た」悪霊があなたを狙う「百ものたり」3冊を譲ります。計15800円を10000円にて。ハガキか電話で連絡下さい。
梨子下トモ子(〒364 埼玉県北本市下石戸上959-1 武田方 ☎048519214312)

▼本誌創刊号(1万円) No.2(5000円) No.3(3000円) No.4(1500円) No.5(1000円) 角川文庫初版本、デニケン著「宇宙人の謎」『未来の記憶』を各3000円から。『魔の三角海域』、『UFO写真集(初版)』、『空飛ぶ円盤実在の証拠(初版)』を各20000円で譲ります。その他にもいろいろあります。往復ハガキで連絡下さい。
伊藤栄二(〒010-16 秋田市新屋元町18-29 鈴木アパート5号室)

▼KCコミック「マジンガーズ」1、5巻を一括して10000円、『魔太郎がくる』1、13巻を一括して26000円、『ドカベン』1、27巻を一括して54000円で譲ります。往復ハガキで連絡下さい。送料別。
上川真樹央(〒913 福井県坂井郡三国町新保)

▼「未知との遭遇」オリジナル・サウンドトラック(新品同様)を20000円、『富田勲の世界』『惑星(富田)』『宇宙幻想』を25000円、15000円、3000円、『実験円盤浮上せり』『空飛ぶ円盤製作法』を各7000円、『絵でみる地球科学』『絵でみる医学』を各4000円で。往復ハガキで連絡を。送料当方負担。
竹内伸光(〒239 神奈川県横浜須賀野津久井672)

▼本誌No.13、14、17、20、29、78年1、3月号、『天文ガイド』76年12月号、77年2、4月号、『天文と気象』77年1、3月号、『UFO写真集』、『世界のUFO』写真、資料の他にUFO関係のもの多数あり。また、レコードも譲ります。希望者はリストを送りますので、50円切手を同封して下さい。
武田政美(〒087 北海道根室市汐見町88)

▼ソニーのカセットデンスケ(TC3000SD)を4万円、2カ月使用、キズなし。ナショナルのデジタルラジオ、プロシヨナルの5バンドラジオ、クイガー1115を1万3000円で、キズなし。ソニーのブームスタンドB1401を70000円で、キズなし、キヤリオン(2本セット)ECM12270Fを1万40000円で、キズなし、ケースつき。以上どれも新品なので少々高いかもしれませんが、往復ハガキで連絡下さい。
湯木正人(〒083 北海道中川郡池田町)

▼黒沼健著『空飛ぶ円盤の謎と怪奇』を1冊7000円で、『日本沈没』上・下巻を6000円で、リチャード・アダムス著『ウォーターシップダウンのうさぎたち』を1冊7000円で、『動脈列島』を5000円で譲ります。
長着満義(〒396 鹿児島県串木野市下名6988)

▼日本通常切手使用済50種3000円、日本記念切手使用済50種(大型切手含む)4000円で譲ります。先着順です。送料別。
吉本浩一(〒059-02 北海道伊達市北黄金49)

▼「地獄でメスがひかる」『ガラスの橋』『姫がいく』『血まみれ親音』『OH!離婚家族』『シャボン玉空へ』『ふたごのプリンス』『愛と誠』を各3000円、『ジニの魔法つかい』『華麗なるあいつ』『新婚は甘くない』『ボクの初体験』No.1各2500円、『彩りのこころ』No.1、3を6000円、『リーダーズダイジェスト』1977年の2、10、12、1978年の1、4を譲ります。往復ハガキで連絡下さい。
平川玲子(〒873 大分県臼杵市熊崎3)

▼「ハムになる本」と『初級ハム国家試験問題集』800円、『BCLハムライフ入門』5000円、『中国の歴史』『北京原人』『中国の地理概況』(新品)を6000円、『短波』4月号、『ランラジオ』1977年4、4月号、『ヤマタの探偵バズ』1200円を6500円で。連絡は往復ハガキで。

大槻博美(〒960 福島県福島市岡部当木91)

なんと
350円

UFOの謎解明!!

第0巻(四六判160頁)

地球の地軸は傾き、
今その中でヒマラヤ、聖
者やアトランティス人、
宇宙人は? 最後のド
ラマがくりひろげられ
る。

◆只今、大好評発売中の超特
価本0巻(350円)についてい
ろいろな噂が乱れとんでいま
す。「この価格は一時的な赤字
出血サービスで、続かないも
の」などと。しかし当社では
この特価はくずしません。常
時在庫がございます。

第一巻(既刊) 定価750円
UFOによって少年に
何が起こったのか……

第二巻(既刊) 定価750円
富士に異変が!!……
東京は……

第三巻(近日中発売予定)

◎セムジャーゼより

この本はすばらしい。地球に、地球人に今いちばん必要
なものを書いてある。私は最大最高の賛辞を送ります。

◎オーソンより

この本を書かれた方は私にとって唯一最高の方です。
この本は今までだれによっても解かれることのなかった
太陽系宇宙の問題を解いている。私はこの本は真実宇宙の
真の姿をえがき出していると思つて読んだ。とんでもない
本が出た。地球にはとんでもない人がいる。今最低の地球
は最高の人によつてすばらしいもの、太陽系の中心、銀河
の中心となる。



◎読者の声

■もう何というか、面白いと言おうか、感嘆
の一語につきます。

■七次元の0巻、シヨックとビックリ。トシ
ちゃんカンゲキしました。

■この本は素晴らしいとか面白いとかですま
されない何かがある様で……

■著者の博識におどろかされた事が最大の印
象。

■この本はなんでもなくように書かれている
からなおさら奥深いものを感じました。

(京都府・萩原正幸 二十三才)

(川崎市・金沢弘子 二十才)

この本との出会いから宇宙人たちとのコン
タクトが始まった。

(清水正代・「UFOと宇宙」S 52年
8月号宇宙文字解説者)

リングセラール小説 五井野 正/著 七次元よりの使者

●著者は作家という形をとっているが実は……

■送料…160円(1冊につき)
200円(2冊～3冊)

創栄出版株式会社

〒162東京都新宿区市谷左内町31渡辺ビル1F
振替 東京6-90403 ☎260-2889

No. 17 ¥390

(1976年3月発売)

月面の謎：アポロ飛行士が撮ったUFO写真初公開／UFOは地球の救済にくるのか／ピーター・フルコスの驚異的大発見／アポロ飛行士は月で地球外文明を見た／奇跡を起こす方法／巨大円盤横須賀に出現！ 他



No. 18 ¥390

(1976年5月発売)

UFO同乗事件／私は宇宙人のクビをすげえた／UFOは地球の救済に来るのか／マヤと飛鳥を結ぶ宇宙人の遺産／森林伐採エトラビス・ウォルトンのUFO同乗事件／(続)宇宙・引力・空飛ぶ円盤① 他



No. 19 ¥390

(1976年7月発売)

私はUFOを何度も見た／ムーディ軍曹砂漠で円盤に誘拐される／世界の12の魔の基地／宇宙人はなぜ人類と正式に交流しないのか／大地震は予知できるか／火星生物発見の旅／(続)宇宙・引力・空飛ぶ円盤② 他



No. 20 ¥430

(1976年9月発売)

口絵：火星の大地他／トラビス・ウォルトン事件の真相／東北地方UFO事件／UFOインタビュー／月はUFOの中継基地か／(続)宇宙・引力・空飛ぶ円盤③ 他



No. 21 ¥430

(1976年11月発売)

口絵：ビレネーの怪他／日本のUFO研究者3人の主張展開／精密UFO大図鑑／UFO事件完全年鑑／空飛ぶ円盤の推進原理を探る／月世界はUFOの中継基地か／私は宇宙人に身体検査をされた 他



No. 22 ¥430

(1977年1月発売)

UFOは石を食べていた／チベット山中の金星人基地／金髪的女性宇宙人として接触／女性3人を身体検査した巨大UFO／着陸した円盤に宇宙人の死体／UFOアメリカ／(続)宇宙・引力・空飛ぶ円盤⑤ 他



¥500

★『UFOと宇宙』を破損・紛失しないために、このバインダーをご利用ください。

★6冊とじこめます。

★荷造送料 1〜2個 ¥850

3〜4個 ¥700

〒110 東京都台東区上野5-1-6

ヤマトビル ☎832-1341

本誌保存用
特製バインダー



ユニバース出版社

本誌
バックナンバー

◆1〜7、10号は売切れ、8号は残部僅少。
◆送料：50円(1冊につき)
◆振替：東京11119478
◆お申し込みはお近くの書店、または現金書留・振替・小為替・低額切手などで当社宛にご注文ください。

No. 13 ¥360

(1975年7月発売)

千葉市にアダムスキー型円盤出現／円盤の宇宙人を見た／宇宙通信のためのテレパシー通信／原子・銀河系・理解③／円盤現象を解釈するためのアインシュタインの3つの基本事項／ソ連圏のUFO現象② 他



No. 14 ¥390

(1975年9月発売)

1897年の謎の飛行船／私は金星文字を解読した／大気圏外生命体とのコンタクト／実在する超感覚と念力／原子・銀河系・理解④／ソ連圏のUFO現象③／円盤をよく見る人／マルセル・オム教授の不思議な発見物 他



No. 15 ¥390

(1975年11月発売)

ランシング夫人の不思議な写真／ドラギニヤンの怪事件／ワルストンの奇怪なロボット／聖書の予言とスペース・プログラム①／原子・銀河系・理解⑤／ソ連圏のUFO現象④／(続)ルーマニアのUFO出現事件 他



No. 16 ¥390

(1976年1月発売)

三原市の驚異コンタクト事件／テレポーテーションとテレパシー／聖書の予言とスペース・プログラム／X博士の怪UFO事件／作図によるアダムスキー型円盤解析の試み／名古屋上空に円盤大挙出現！ 他



No. 8 ¥330

(1974年9月発売)

マンテル大尉の悲劇／イタリアの不思議な小人出現事件／ネス湖における悪魔ばらいの儀式とUFOの着陸／天体オーラと宇宙電界の謎／宇宙・引力・空飛ぶ円盤③／千葉県に出現した大型円盤！ 他



No. 9 ¥400

(1974年11月発売)

UFOによる米空軍機追尾事件／スペインに出現した円盤と乗員／ジョージ・アダムスキーはまだ影を投げかけている／宇宙・引力・空飛ぶ円盤④／地震の鍵をにぎるマンテル対流！ 他



No. 11 ¥360

(1975年3月発売)

月面は円盤の中継基地か／ニューヨーク州の着陸事件／1980年代の宇宙連絡船／原子・銀河系・理解①／東北、東関東をよぎったUFOの大編隊／アダムスキー型円盤、尾道市に出現／宇宙・引力・空飛ぶ円盤⑤ 他



No. 12 ¥360

(1975年5月発売)

甲府市にUFO着陸／古代の天空人／オーストラリアの光るカタツムリ状物体／原子・銀河系・理解②／ソ連圏のUFO現象①／長野県に落下した小型円盤／重力波とは何か／シベリアの謎の大爆発 他



No.35 ¥430

(1978年月刊6月号)
 <特集>UFO 飛来学説
 異次元説、地球空洞説、
 生物説、海底基地説、空
 中生物説他/UFOに隠
 われた貨物船/横浜に宇
 宙人現る/横尾忠則対談
 :南山宏/(続)宇宙・
 引力・空飛ぶ円盤⑨/フ
 ァティマの奇跡⑨ 他



No. 29 ¥430

(1977年月刊12月号)
 札幌市で異星人との驚異
 コンタクト発生/雲は未
 来の出来事を語る/ア
 プリカの超能力研究/星
 のささやく新宇宙/灼熱
 の密林より永遠に⑨/海
 溝に消えた太古の首長竜
 ⑨/(続)宇宙・引力・空
 飛ぶ円盤⑨ 他



No. 23 ¥430

(1977年3月発売)
 <特集>ジョージ・アダ
 ムスキー/闇夜に牛が殺
 された/UFO写真のコン
 ピューター分析/女性宇
 宙人セムジャーゼとの会
 話/星・生命の始まりと
 ころ/大ニューヨークの
 郊外に円盤着陸⑨ 他



No.36 ¥430

(1978年月刊7月号)
 <特集>よみがえったア
 ダムスキー:O・プロップ
 直撃インタビュー、ア
 ダムスキーの弟子たち、宇
 宙人を診察した医者他/
 横尾忠則対談:古山晴久
 /銀河大渦巻の謎/UFO
 製造秘密工場/日本の
 UFO事件の全貌⑨ 他



No.30 ¥430

(1978年月刊1月号)
 フレッド・ステックリン
 グ氏に聞く/各界著名人
 特別寄稿/共産圏UFO
 事件簿/聖書と宇宙人⑨
 /シベリアの爆発は別な
 惑星の宇宙船?/札幌で
 異星人との驚異コンタ
 クト発生⑨/ハロー・異星
 人、こちら地球 他



No. 24 ¥430

(1977年5月発売)
 <特集>戦後UFO 30年史
 /ウィンチェスターに出
 現したUFOと不思議な
 人間/謎のニューヨーク
 大停電/驚くべきコン
 タクトの全貌/UFOに家
 族をさらわれた/(続)宇
 宙・引力・空飛ぶ円盤⑨
 他



No.37 ¥430

(1978年月刊8月号)
 <口絵>星雲カタログ他/
 G・ルーカスは宇宙人と
 会ったか?/神秘の錆び
 たナイフ/横尾忠則対談
 :秋元秀成/異星人のメ
 ヂセージか?UFOのシ
 ンボルマーク/人類惑星
 間大移動史/O・プロップ
 直撃インタビュー⑨ 他



No.31 ¥430

(1978年月刊2月号)
 世界5大予言者1978年を
 診断/セムジャーゼは何
 を語ったか/星からの無
 人探測船/ライ博士の
 UFO撃墜装置/月は異
 星人の宇宙基地か⑨/コ
 ンドン白晝批判/奇跡の
 力を訪ねて/宇宙教育の
 原点を探る 他



No. 25 ¥430

(1977年月刊8月号)
 <特集>謎の黒い影/宇
 宙人の言葉の解読に成功/
 私は円盤に乗った宇宙人
 に救われた/UFOと謎
 の奇怪な生物⑨/聖書と
 宇宙人⑨/UFO目撃に
 つきまとう怪人たち/メ
 キシコのココヨクに奇妙
 なUFOが着陸! 他



No.38 ¥430

(1978年月刊9月号)
 New York上空を何が飛ん
 だのか/ゲリー首相に
 特別インタビュー/空飛
 ぶ円盤墜落/虫の穴
 から恒星間飛行/脈動す
 る太陽の謎/宇宙文字の
 起源を探る/宇宙の知的
 生命を探る/南米パラグ
 アイの異次元ハウス 他



No.32 ¥430

(1978年月刊3月号)
 国連で採択されたUFO
 問題の真相/巨大UFO
 の怪光線で火傷した運転
 手/世界宇宙考古学会報
 告/横尾忠則対談:札幌
 の異星人コンタクティ
 ー/ネス湖の未確認動物
 は実在する!⑨/金星の
 足跡を解読! 他



No. 26 ¥430

(1977年月刊9月号)
 超能力少年/怪物ビッグ
 フットとUFO/UFO
 と謎の奇怪な生物⑨/奇
 跡!ルードの聖泉⑨/
 超能力の謎は科学で解け
 たか/聖書と宇宙人⑨/
 恐怖の地下洞穴ロス・タ
 ジョスに潜入/(続)宇宙
 ・引力・空飛ぶ円盤⑨ 他



No.39 ¥430

(1978年月刊10月号)
 全米UFOシンポジウム
 /幻のコンタクティー登
 場/スペース・コロニー
 ⑨/太陽誕生の謎/聖書
 と宇宙計画/チャールズ
 ・フォートのふしぎな世
 界⑨/地下を通る宇宙エ
 ネルギー/A・ハイネッ
 ク博士最後の講演 他



No.33 ¥430

(1978年月刊4月号)
 <総力特集>私は宇宙人
 を見た/北野大僧正宇宙
 人の声を録音/反重力エ
 ンジンによる円盤製造/国
 連でUFOの科学的研究
 を/横尾忠則対談:西丸
 震哉/ネス湖の未確認動
 物は実在する!⑨/P・
 マッソンTMを語る 他



No. 27 ¥430

(1977年月刊10月号)
 ワシントンのUFOパニ
 ック/宇宙人からテレバ
 シー・メッセージを受ける
 科学者たち⑨/謎の第
 10番惑星/奇跡!ルード
 の聖泉⑨/聖書と宇宙
 人⑨/沖縄にUFO着陸
 ?/米アリゾナ州メサの
 怪物体 他



No.40 ¥430

(1978年月刊11月号)
 宇宙人の死体が米軍基地
 に隠されていた/三重
 県鈴鹿市にUFO大接近
 /超能力者が明かすU
 FOの秘密/宇宙大衝突
 の脅威/第5回世界宇宙
 考古学会議/惑星録金工
 学/ナポリ上空に黒いU
 FOを見た 他



No.34 ¥430

(1978年月刊5月号)
 <特集>日本にもあった
 宇宙人遭遇事件/UFOの
 作った異次元カーテン/
 ファティマの奇跡⑨/天
 体カタログのなぜ/横尾
 忠則対談:富田勲/生体
 エネルギーを利用するパ
 ワー療法の科学/日本の
 UFO事件の全貌⑨ 他



No. 28 ¥430

(1977年月刊11月号)
 驚異の宇宙人撮影事件/
 宇宙人からテレバシー・
 メッセージを受ける科学
 者たち⑨/スバイに使わ
 れる超能力者/灼熱の密
 林より永遠に⑨/海溝に
 消えた太古の首長竜/聖
 書と宇宙人⑨/UFOを
 観測する百眼の巨人 他



新年号

予告

●新春特別座談会

UFO問題の現状と新年の展望

日本空飛ぶ円盤研究会 荒井欣一
元SFマガジン編集長 南山 宏

日本宇宙現象研究会 並木伸一郎
UFO教育グループ 蕨沢潤一郎

●オーストラリア・国際電話インタビュー

セスナ機UFO遭遇事件の真相は!?

宇宙の秘密にせまるワンダーマガジン

●新春特別プレゼント

石森章太郎の

UFOスペシャル劇画

●急報

群馬県で小学校教諭と
生徒80名が接近遭遇!

●スーパーマッド・サイエンス第5弾

テレパシー研究の新戦略(上)

——レムリアからの贈り物

NEW YEARに開花する

宇宙哲学のすべて

久保田八郎

●惑星天文学の最前線

輪廻する多元宇宙

斎藤守弘

UFOからの

メッセージ総まとめ

その他最新カラー写真、

情報を満載!!

都合により内容を変更することがあります。

編集後記

▼UFOスペシャル78と題して、今年一年のUFO事情をふりかえってみました。良くも悪くも「未知との遭遇」ベースで始まった1978年は、いささか空虚な部分で騒がしいという要素もありましたが、国連におけるグレナダの活動も新たな展開を見せ、UFO問題が市民権を獲得する端緒となった年として永久に記憶に残ることになるでしょう。

投稿歓迎

本誌はUFOおよび一般ミステリー問題に関する原稿・写真・研究発表等を広く募集しています。原稿はなるべく原稿用紙(タテ書き)をご使用ください。なお、投稿された原稿類はお返しいたしません。

あて先

〒110 東京都台東区上野五―一六 ヤマトビル

ユニバース出版社「UFOと宇宙」編集部

UFOと宇宙 1978年12月号 第41号

定価 四三〇円 送料五〇円

発行 昭和五十三年十二月一日
(月刊/毎月二〇日発売)

編集人 武田益尚

発行人 大木茂男

発行所 株式会社 ユニバース出版社

住所 〒110 東京都台東区上野五―一六 ヤマトビル

電話 〇三(八三三)一三四一―四四

振替 東京一―一九四七八

印刷所 三晃印刷株式会社

年きめ購読料 五一六〇円(送料サービス)

書店で入手できない場合は、本社へ直接ご注文ください。

本誌掲載記事・写真の無断転載を禁じます。海外の記事はすべて翻訳転載権取得済。

UFOと宇宙

新発売!!

●無料でご覧になれます

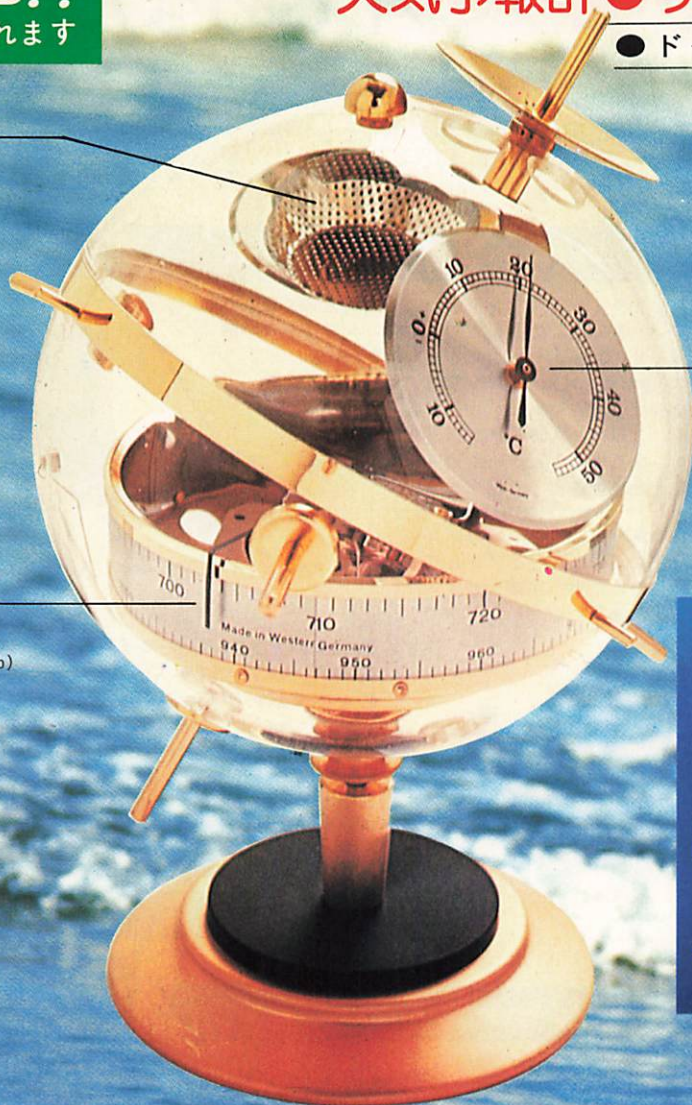
温度計+湿度計+気圧計 天気予報計●サテライト・3

●ドイツ製、直輸入品

●湿度計
(20%~100%)

●気圧計
(700mb~1060mb)

●温度計
(-15°C~+55°C)



球体直径 130mm
高さ 205mm
重量 610g

晴れ、のち曇り、一時雨—?

天気予報に最も大きな関係があるのは、気圧の高低ではなく、気圧が上昇中(快方に向う)なのか、下降中(下り坂)なのかということです。欧米ではウェザー・バロメーター(天気予報計)が一般の会社や家庭に広く普及しています。しかし、我が国ではあまり普及しておりません。公害や天気不順の折から現代人は、毎日の天候…温度や湿度、気圧に適応する、健康管理を、ひいては生活設計をしなくてはなりません。このドイツ生まれの「サテライト・3」は、気圧計・温度計・湿度計の3つの精密機器が、コンパクトに収まり、そのうえ、洋風にも和風にも調和する豪華で美しい室内装飾品にもなります。また、お子様の科学の勉強に、興味をひく面白い天気観測器は、机や書斎の上に飾るインテリアアクセサリに最適です。なお、ご結婚や新築のお祝い、ご入学・卒業などの贈り物に実生活に役立つ天気予報計「サテライト・3」はぴったりです。

申込先 社団法人 日本割賦協会 事業会員
フェースアートギャラリー 企画部

●手にとって無料でご覧になれます!!

「天気予報計「サテライト・3」」を手にとって無料でご覧になれます。もし、ご満足できないようでしたら、現品受取後、5日間以内にご返送ください。この場合、何らの購入義務もありません。お気に入りになりましたら、そのままご購入ください。

●月つき3,000円×6回払いでOK

いま、お申込みの方は奉仕価格⇒月つき3,000円×6回払いでお求めいただけます。(一括払いの場合は16,800円) しかも現品先送り、代金は後払いで結構です。

ご希望の方は上記の申込書を切り取り、住所・氏名・支払方法を明記し、印を押して当社(東京大阪)へお送りください。なお現品をご覧になってご不満の場合は、現品受取後5日間以内にご返送ください。この場合、何らの購入義務もありませんので安心してお申込みください。

〈〒556〉 大阪市浪速区大町1の121の8 ☎(06)649-5508
〈〒170〉 東京都豊島区駒込1の34の8 ☎(03)945-2810

「サテライト・3」 価格表	
●現金価格 16,800円 (一括払いの場合のみ)	●割賦価格 18,000円
●分割回数 3,000円	●支払回数 6回
●梱包送料当社負担 ●製品保証	●支払期間 6カ月

今、スグ切り取ってポストへ!!

●下記の申込書に記入し捺印の上、封筒に入れてお送りください。

「サテライト・3」購入申込書

■天気予報計「サテライト・3」を購入申込みします。現品到着後に下記の方法で必ず送金します。

●支払方法 (〇印をしてください)
1. 月つき 3,000円×6回払い
2. 一括払い 16,800円

●現品に不満の場合は現品受取後5日間以内に返送し、この場合、購入義務は一切ありません。

おなまえ	捺印	年令	TEL
	Ⓜ	才	
おところ(郵便番号)			
(様方)			
保護者名(18才未満の方は保護者の印が必要)			捺印
			Ⓜ

UFO-12

●印のない場合は無効になりますので必ずご捺印ください。

日本の秋 ピラミッドとあなたの遭遇?

当社のピラミッド製品は全て世界でもっともピラミッド・エネルギーの研究に実績のあるアメリカのピラミッド・プロダクツ社の製品です。

Only Sold Here : The Modular Pyramid System

無限の応用分野を約束するユニークなピラミッド・テント。ねじも道具も何も使わずに2分間でセットできます。また、ワンタッチで折りたたみも簡単。わずかのスペースに格納できます。このシステムは3フィート(90cm)がベースとなり、3フィートごとに21フィート(630cm)まで組み立てが可能です。アメリカで何年もの間、徹底的に効果を実験して生まれたものです。瞑想にリラクセスに、また健康のためにもすぐれた効果があります。横尾忠則氏、ミッキー・カーチス氏、中岡俊哉氏にもご使用いただき、他の多くの人々も当社のモジュラーの効果に大変満足しています。あなたもすぐれた製品と効果を確信するはずです。

ピラミッド・エネルギーのより深い効果を求めるために特に6フィートの高性能ピラミッドが開発されました。パイプからリベットに至るまで純銅製の貴重なものです。正確なピラミッドがワンタッチで作れ、また簡単にたたむことができます。

高性能銅製ピラミッド

6フィート ¥38,500

(送料 ¥2,000)



写真は
6フィート・ピラミッド
(アルミパイプ製)

3フィート・ピラミッド(ベーシック) ¥13,800(送料 ¥900)
植木鉢ベットなどなんでも実験したいものを中に置き、じっくり観察して下さい。

6フィート・ピラミッド(ベーシック3フィートピラミッド+エクステンションキット1セット)
大人ひとりか横になれるぐらいの充分なスペースがあります。心身のリラクセスやメディテーション(冥想)にお使いください。 ¥21,500(送料 ¥1,100)

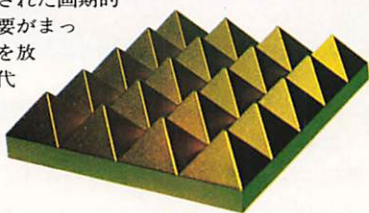
9フィート・ピラミッド(ベーシック3フィートピラミッド+エクステンションキット2セット)
この大きさになるとキングサイズのベットのすばり中に入ることができます。ピラミッドテントの中でリラクセスした睡眠をお試しください。 ¥30,000(送料 ¥1,100)

Only Sold Here : Cheops Copper Pyramid

Only Sold Here : Pyramid Energy Generators

ジェネレーターは古代エジプトの知恵がプラスされた画期的な20世紀のピラミッドです。方向を合わせる必要がまったくなく、半永久的にピラミッド・エネルギーを放射します。コンパクトでポータブルな新しい現代のピラミッドです! 食物、花、タバコなどで実験して下さい。また安眠・健康にもご利用下さい。

特許申請中ですから日本では製造できません。当社が一手に輸入してあなたにお届けします。



エネルギー・ジェネレーター

3×5インチ ¥3,000(送料 ¥200)

4×5インチ ¥3,950(送料 ¥200)



エネルギーの発生している瞬間

キルリアン写真とは目で見ることのできない放射エネルギーを撮ることができる新しい写真技術で、様々な物体の目には見えないオーロラの撮影をはじめ、多くの科学研究活動に使われています。

Only Sold Here : Pyramid Medallion

ピラミッドが秘める永遠のエネルギーを一層身近にした美しいアクセサリーで、写真のようにピラミッド・エネルギーが充てんできるピラミッドケース入りです。

大型ピラミッド・メダル(直径45mm)

¥3,800(送料 ¥200)

小型ピラミッド・メダル(直径19mm)

¥3,000(送料 ¥200)

当社では合計66種のピラミッド製品を取り扱っております。美しいカタログ(無料)はハガキで下記へお申し込み下さい。

ご注文は現金書留か郵便振替(東京4-21609)で商品名を明記して当社宛お申し込み下さい。



マンカインド株式会社

〒150 東京都渋谷区宇田川町12-3 ニュー渋谷コーポラス1105号 ☎東京03(464)8075

宇宙からの訪問者

偉大な惑星人との会見記

ジョージ・アダムスキー著／久保田八郎訳

B6判335頁
定価1300円
(送料160円)

空飛ぶ円盤は実在する！ 遠い惑星から偉大な進化をとげた人類が、巨大な宇宙船に乗って地球の救援にやってくる……壮大な宇宙空間の大スペクタ

クルと驚異の事実を伝える本書はまさに20世紀最大のドキュメントである。巻頭には未発表写真を含め50点以上の写真・図版を一挙掲載した。

■ジョージ・アダムスキー財団より翻訳出版権取得

私は円盤に乗った！

驚異のホワイトサンズ事件

ダニエル・フライ著／久保田八郎訳

B6判272頁
定価750円
(送料160円)

1950年7月4日夜、米ニューメキシコ州ホワイトサンズのロケット実験場に突如一機の円盤が着陸、内部から呼びかける声に誘われて乗りこんだ科学者フライはニューヨーク上空まで

を30分で往復する。その間、円盤の推進法や宇宙人の故郷と超絶した科学などについて知らされる。ほかに同著者による関連記事三篇を合わせて収録。UFO研究者必読の書。

パプア島の円盤騒動

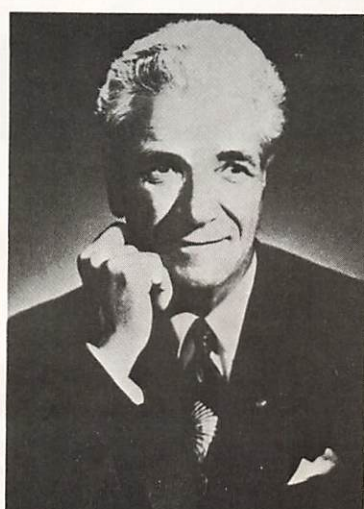
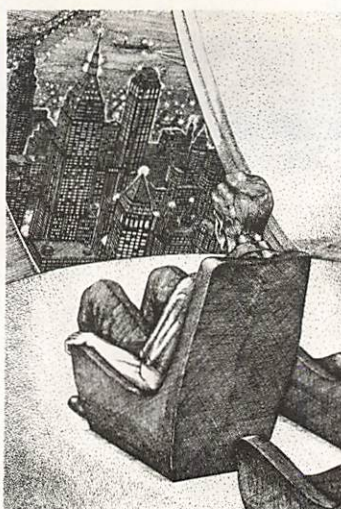
宇宙人の劇的出現事件

ノーマン・クラットウェル著／増野一郎訳

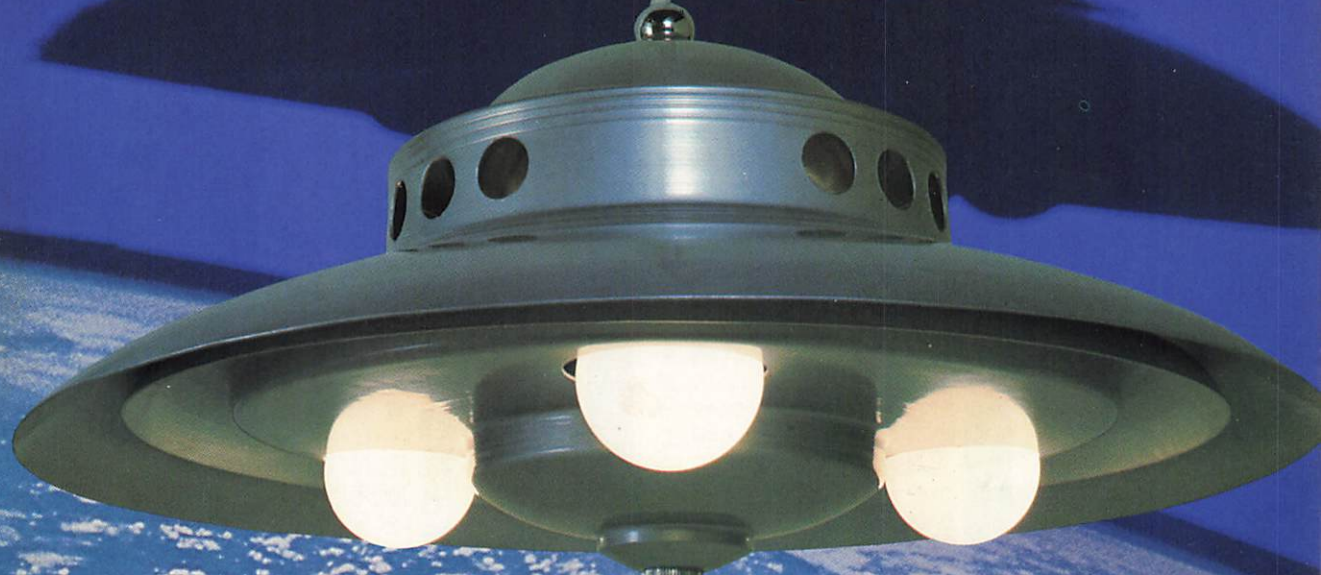
B6判268頁
定価750円
(送料160円)

ニューギニア島パプアで1959年に一大UFO出現ブームが発生した。島内の各所に円盤が低空で降下し堂々と姿を現わしたが、とくにポイアナイにおける出現は劇的であった。地上数

十メートルの位置に停止した円盤の上部から数名の「人間」が島民に手を振ったのだ。この事実を現地在住のクラットウェル神父が徹底的に調査報告して事件の全ぼうを克明に伝える！



- パブレストランの照明に
- 喫茶店・スナックの照明に
- お店のディスプレイとして
- ショーウィンドのアイキャッチとして
- 新しいインテリア用品として



★ここにふれると明りがパッ!!

消す時も同様パッ!!のタッチスイッチ

UFO博開催中

●ボールランプ(25W×3・但し40W使用可) ●大きさφ390×H200㎜ ●タッチスイッチ付

**タッチオン・パッ
ふれるだけで
明りがつき、消える不思議な
UFO型コードペンダント**

購入方法

スチール製・シルバーマッキ仕上げの美しい本格的な照明器具です。個人ばかりでなく商店・飲食店・事務所のインテリアとして、色々な使い方ができます。このコードペンダントは、ユニバース出版社開発商品のため、ご購入は代金を直接当社商事部まで現金書留又は振替にてお送り下さい。折り返し品物をお送りします。

特別価格 **¥13,800**(送料共)

株式会社ユニバース出版社商事部

〒110 東京都台東区上野5-1-6 ヤマトビル
振替 東京1-119478

200mm ¥14,000
135mm ¥13,000
35mm ¥12,000

500mm ¥24,000
300mm ¥18,000
400mm ¥21,000

2倍・3倍テレコンバーター ¥7,000 ~ ¥11,000

35mm一眼レフ用 スリコール リライアンス交換レンズ

驚異的低価格

★天体望遠鏡の光学技術で作られたスリコールリライアンス、驚異的低価格で登場以来圧倒的売行、国内販売数3万本突破！
★スリコールリライアンス(300%・400%・500%)は天体望遠鏡、ズーム望遠鏡に利用できます。(別売部品使用)
★スリコールリライアンスは経済的・カメラを替えた場合でもPマウント(¥1,500)を購入すれば他のカメラにも使えます。

●交換レンズ・テレコンバーター購入希望の方はお持ちの35mm一眼レフカメラ名を記入の上ハガキでカタログお申込み下さい(電話は不可)

35mm F2.8 ¥12,000・300mm F5.6 ¥18,000
135mm F2.8 ¥13,000・400mm F6.3 ¥21,000
200mm F4.5 ¥14,000・500mm F8 ¥24,000

(Pマウント・ケース付。プリセット式絞込測光・35mm一眼レフ専用)

使用できる一眼レフカメラ

アサヒペンタックス・ニコン・ニコマート・キヤノン・オリンパスOM・ミノルタ・コニカ新・ベトリ・フジカ・リコー・マミヤ・ブラクチャ・トプコンエキザクタ・ヤシカ(ネジ込み)・ミランダ・

2倍・3倍テレコンバーター

標準レンズ50%に付けると100%又は150%の望遠レンズに望遠レンズ200%に付ると400%の超望遠レンズに成ります ¥7000~¥11000
★使用できる35mm一眼レフカメラ
アサヒペンタックス・キヤノン・オリンパスOM・ミノルタ・ニコン・ニコマート・

夜の望遠鏡 MG7

¥18,700 ケース付



★ご注文は必ず
お知らせ下さい

カメラ名を



●明るさの秘密は短焦点レンズF3.9・集光力、人間の目の50倍・人間の瞳孔に理想的に設計された口径比倍率・レンズ・プリズムの全面に増透処理
●35mm一眼レフカメラに付けたら超望遠カメラレンズになります。600mm F12・750mm F15・900mm F18・1250mm F25・1400mm F28・1550mm F31・1700mm F34の7通りに使えます
●対物レンズD50mm F195倍 接眼レンズD20mm F38倍 構成3群6枚 重量570g 長さ21cm 倍率7倍



標準レンズ50%で撮影 600%で撮影 900%で撮影 1700%で撮影

ズームスコープ TZ820

8倍~20倍ズーム・カメラに付けたら超望遠！



ズーム望遠鏡として8倍~20倍、35mm一眼レフカメラに付けたら400%~1000%(間接式)及720%~1800%(直接拡大式)のズーム超望遠カメラレンズに使えます

●間接式は標準レンズのフィルターネジにネジ込みます。取付リング49%・52%・55%・58%の4種あります
●直接拡大式はカメラボディに直接取付けます。使用できるカメラは上のスリコールリライアンス交換レンズと同じです

B型 ¥24,800 (35mm一眼レフカメラ名とフィルターサイズお知らせ下さい)

A型 ¥21,800 (フィルターサイズお知らせ下さい)
間接式400~1000%専用

普及価格の夜の望遠鏡 MG8

パトロールマンに最適！従来の物より数段明るい！



¥9,900 ケース付
重量430g・長さ17cm・倍率7倍

人間の目よりグリーンと明るい小型望遠鏡です。肉眼では見にくい暗がりが見え、昼間も夜もブレが少なく鮮明に見え、警察官、ガードマン、警備員の必需品です。

★MG7と機能上異なる点・カメラの取付不可。通常の視界、レンズ構成3群5枚。

標準レンズ 切替式 ストロボ 内蔵のポケットカメラ

この性能この機能 ポケットカメラ ¥12,000 ケース付



ワンタッチで標準から望遠に室内や夜間はストロボでピント調節は必要なし鮮明に写せます
軽量で小型わずか250g
フィルム装てんはかんたん
レンズ・標準25%望遠40%ワンタッチ切替式シャッター・1/125秒 ストロボガイドNo.16
大きさ・59mm×30mm×16mm

超ミニ天体望遠鏡 チビテレ260

全長わずか21cmの小型天体望遠鏡！ 新発売！



¥30,000

天体でも地上でも使えます。月面や土星の環、木星、金星の観測に！人物、動物の観望に。小型軽量ですので旅行に持ちこたえが楽にできます

■小さくてもすごい性能
アクロマートレンズ口径60mm 焦点距離260mm
倍率(天体用)130倍104倍52倍42倍21倍(地上用)52倍21倍
本体最短長さ21cm 最大径7cm 付属品 地上プリズム、天頂プリズム、パーロレンズアイピース2個、携帯用ケース、標準器、三脚取付バンド付
●カメラ用四段エレベーター三脚付 ¥35,000(指定注文)
■別売部品・カメラアダプターC-A 21倍に使用で1350~1600%、使用できるカメラは上の交換レンズと同じ ¥4,500・660~780mm用アイピース(10倍) ¥1,800



驚異の高性能 高級ズーム望遠鏡 Z50

驚異の高性能・天体地上兼用

大迫力！ 倍率ズーム変倍 27倍~80倍



40m先の小さな新聞の活字が読める！
500m先の人の顔がわかる！
月面が手に取る様に目前に！
土星の環が見えます
木星の縞が見えます

レンズ口径50mm (アクロマートレンズ)
総金属製
総重量1.8kg
本体長58cm
脚高42~108cm

¥15,800

(カメラ用エレベーター四段三脚付)

本体のみ価格 ¥10,800

(カメラ用三脚お持ちの方は本体のみ指定注文下さい。)

35mmフィルム現像と引伸し現像が カラー・白黒 かんたんにできる カラーフォトセット



フィルム現像と引伸し現像ができるので秘密の写真もOK！カラー写真も7×10cm判に伸ばせます。現像剤、印画紙は後日追加購入ができます(数量割引有)

カラーフォト12点セット ¥9,500

白黒7点セット ¥5,500

[内容]引伸しプリンター・カラー白黒現像定着剤及印画紙・カラーフィルター・ネガバサミ・フィルム現像タンク・計量カップ・現像バット・使用指導書等

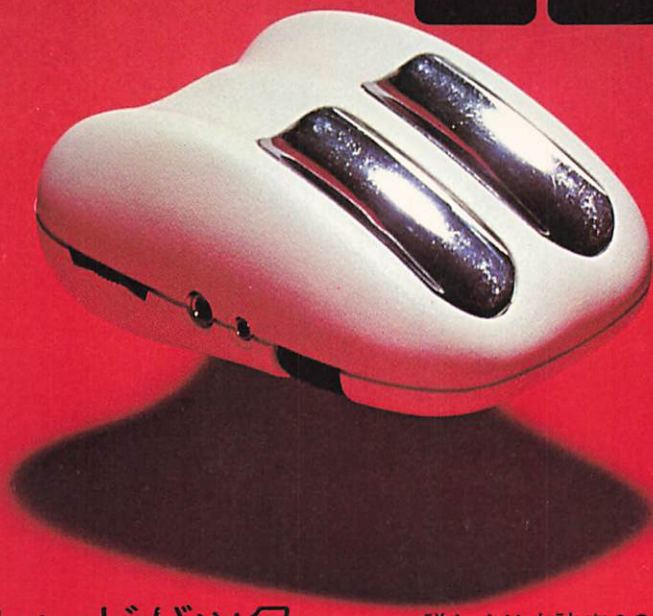
ご注文は電話又はハガキで/東京都03(850)6110・(859)1331

[全品送料無料] 営業時間 午前10時~12時 午後1時~5時・日曜、祭日は休業

ご注文は品名をハッキリ書いて下さい。遅くとも7日以内に代金引換郵便で送ります。お近くの郵便局から着荷の案内がききましたらストメ印を押して代金と共に持参しお受け取り下さい
〒121 東京都足立区平野3-7-17
(株)スリーピーチ UFO12係
[5日以内に返品可能です。但し諸費用申受けます]

アメリカ、カナダで今、
爆発的人気!!

GSR2
ジー エス アール ツー



バイオフィードバック

詳しくは本誌表2 GSR 2 広告をご覧ください。

ESPTレーナー▶

(超能力訓練機)

N005

ESPとはExtra Sensory Perceptionの略で、一般的には超能力と云われます。私達人間は、視覚、聴覚、味覚、嗅覚、触覚と云ういわゆる五感を持っていますが、これらの他に第六感または、感覚器管外知覚と呼ばれる特殊な感覚能力を潜在的に持っています。これがESPと云われるものです。原始時代には人間もこのESP能力を可成り使っていたと推測されますが、知能の発達と共に能力がだんだんうすれ、現在は潜在能力となっていました。動物の間にはESP能力を毎日の生活に使っている例が多々あります。伝書バト、渡り鳥、サケ、イルカ、モグラ、コウモリ、数えればきりがありません。

あなたも潜在能力となったESPをトレーナーによる訓練で呼び出すことができます。そしてテレパシー(遠隔知覚)、プレコグニション(未来予知)、クワイヤボヤンス(透視)、サイコキネジス(念力物動)などの能力を高めることができます。同時に集中力の強化にも役立つと云われます。ぜひ試してみましょう。詳しい説明書がついています。

10,000円



ウソ発見器▲

(ラブテスター)

N008

二人の愛情度がバッチリ。それぞれの指にリングをはめ二人で握手するとランプがつかます。ランプがいくつついたかで愛情の度合いが分ります。これは二人の皮膚電気抵抗の変化によるもので科学的です。ラブテスターは一人で使うときはウソ発見器にもなりますので友人達とゲームとして楽しむこともできます。

ラブテスターは簡易なバイオフィードバックモニターとしても応用できますので、一台で色々の分野に使えます。

説明書に詳しい使用法が書いてあります。 6,000円

問合せ、カタログ請求は下記へ。

輸入総代理店

ポラックス株式会社U係

東京都中央区日本橋小舟町2-7 ☎ 666-0511(代) 〒103

製造元

THOUGHT TECHNOLOGY LTD.
CANADA

お申込みは、取扱店又はポラックス(株)へお願いします。
直接ポラックス(株)へお申込みの場合は、氏名、住所、年令明記、捺印の上、代金は現金書留又は郵便振替(東京4-8703)でポラックス(株)U係へお願い致します。現品急送します。